

ユーザーズガイド
for Windows

**一発翻訳!10カ国語ワールドパック
一太郎特別エディション**

お願い

一発翻訳!10カ国語ワールドパック 一太郎特別エディションをお買い上げいただき、有り難うございました。本ユーザーズガイドは、製品の主要な使い方を説明しています。本ガイドに記載のない事柄につきましては、オンラインヘルプやLVナビをご参照いただけますようお願いいたします。

また本製品は、DVD-ROMから実行することはできません。製品パッケージに同梱されている『インストールガイド』をご覧ください、お使いのコンピュータに本製品をインストールしてからお使いください。

©LogoVista Corporation 1994-2018

U.S.Patent No. 5,528,491; 6,278,967; 6,470,306; 6,760,695.

※LogoVista、LogoVista電子辞典はロゴヴィスタ株式会社の商標または登録商標です。

※「一太郎」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

※Readiris Pro© 1989-2018 Image Recognition Integrated Systems SA All rights reserved.

※Microsoft、Windows、Microsoft Internet Explorerは米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。Includes Microsoft Agent technology.

※TextBrigeの著作権は、米国Scansoft社に帰属します。TextBrigeは、米国Scansoft社の米国及びその他の国における登録商標です。

※「研究社新英和・和英中辞典」は株式会社研究社の著作物です。

※「海外生活で役立つ英文手紙文例集」(著者:久野揚子)は株式会社DHCの著作物です。

※ロジカルテック株式会社LT-CAT'S EYE PROエンジンを搭載しています。

※本製品は日本語声読み上げに(株)アクエストの規則音声合成ライブラリAquesTal®を使用しており、その著作権は同社に帰属します。

※記載された会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

- ・本製品は、優れた翻訳技術を備えた製品ですが、翻訳する原文によっては翻訳結果の内容が正確でない場合があります。予めご了承ください。
なお、ロゴヴィスタ(株)は本製品の翻訳結果の内容を保証するものではありません。翻訳結果につきましては、お客様の責任においてご使用ください。
- ・お客様が本ソフトウェアをインストールし、使用するためには、使用許諾契約の各条項をよくお読みいただき、お客様が本ソフトウェアをご使用された場合は、使用許諾契約の各条項にご同意いただいたものとみなされます。
- ・本製品のレンタルおよび中古販売による再使用を禁じます。
- ・本製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

Chapter 1

機能概要

こんなときにお使いください

一発翻訳！ 10 カ国語ワールドパック 一太郎特別エディションには、いろいろな作業に適合する複数の翻訳アプレットがあります。翻訳アプレットは、翻訳作業を行うためのインタフェースです。また、Internet Explorer や一太郎、Office アプリケーション、Adobe Acrobat などに翻訳機能を組み込んで翻訳する機能も用意しています。作業場面に合った、適切な翻訳アプレットをお使いください。

◆主要な翻訳アプレット

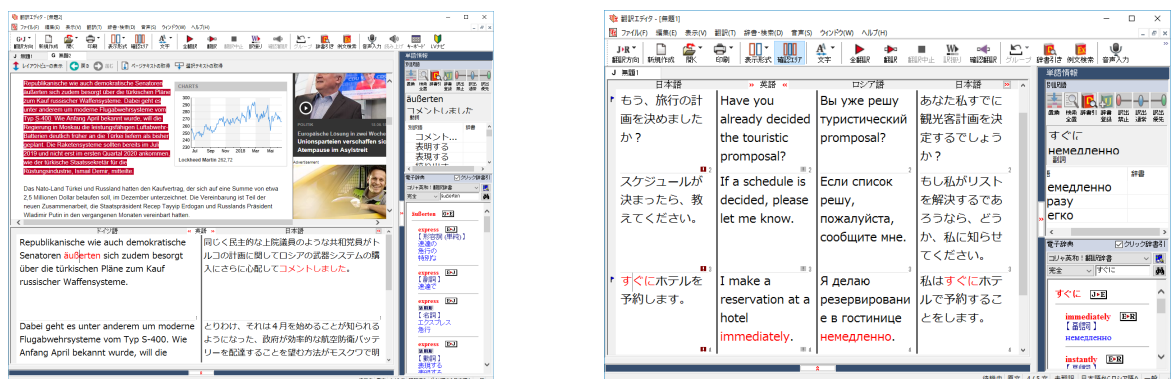
いろいろなアプリケーションの使用中に翻訳したいときは..... 操作パネル ⇨ 第2章

本製品の翻訳機能、辞書引き機能などを効率的に呼び出すために操作パネルを用意しています。ワープロ、表計算、Webブラウザ、メールソフトなど、文書を扱う様々なアプリケーションで翻訳を行うことが可能になります。



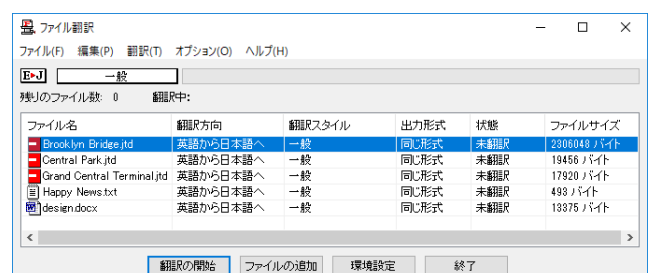
原文と訳文を比較しながら翻訳したいときは.....翻訳エディタ ⇨ 第3章

原文と訳文を比較検討しながら逐一翻訳結果を向上させることができるアプレットです。テキストファイルをはじめ、HTML形式などのWebページ、PDFファイルなど、いろいろな形式の文書ファイルを読み込んで翻訳することができます。さらに、翻訳エディタにWebページを呼び出して翻訳・辞書引きなどを行うことも可能です。



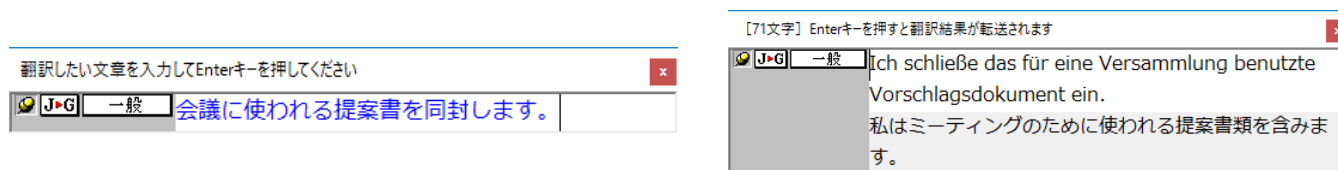
複数の原文ファイルをいっきに翻訳したいときは.....ファイル翻訳 ⇨ 第2章

原文が保存されているファイルを翻訳し、翻訳結果をファイルに保存します。複数のファイルを一度に翻訳できるほか、テキストファイル、HTMLファイル、一太郎文書ファイルなど多様な形式に文書ファイルを翻訳することができます。



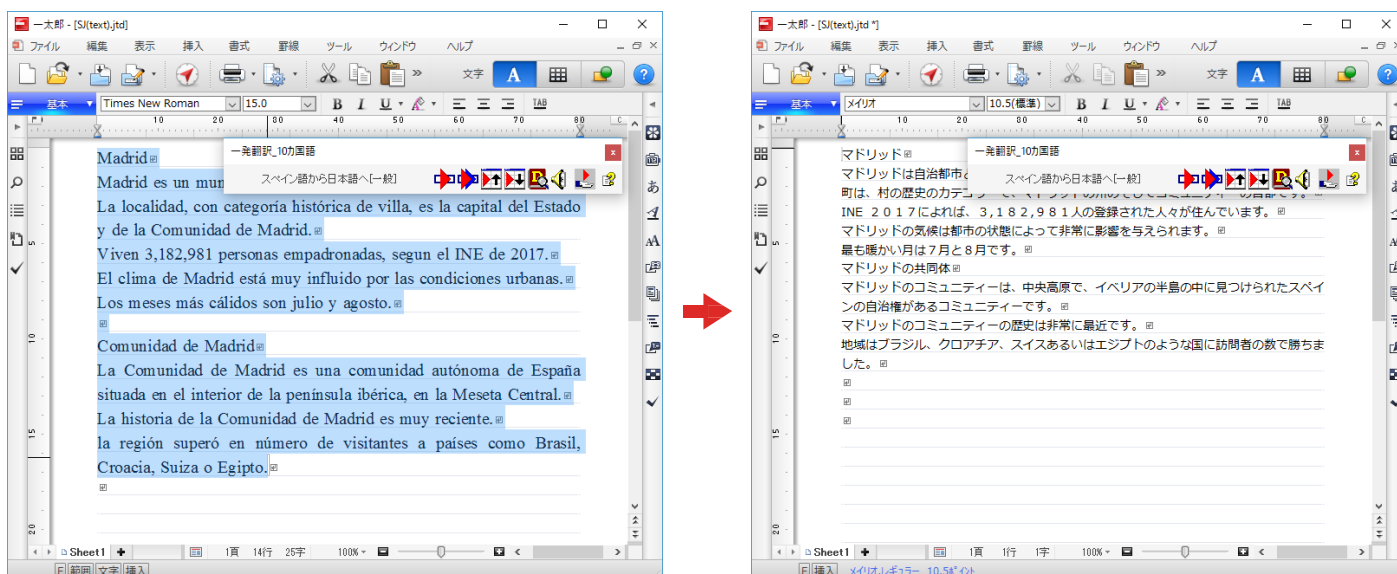
原文をタイプしながら訳文をアプリケーションに入力したいときは.....タイピング翻訳 ⇨ 第2章

タイピングされた原文を翻訳し、アプリケーションの文書に訳文を入力するツールです。



アプリケーションから直接翻訳したいときは.....アドイン翻訳 ⇨ 第6章

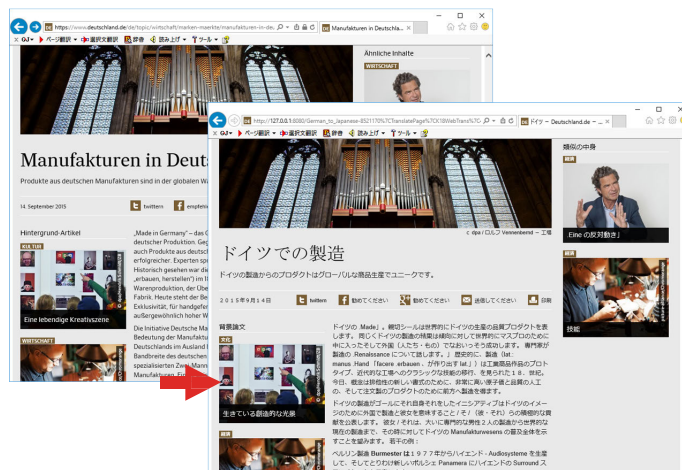
一太郎、Microsoft Office、Adobe Acrobatなどのアプリケーションに翻訳機能を組み込むことができます。これにより、それぞれのアプリケーションで直接翻訳を実行できるようになります。



◆ 翻訳しながらインターネット検索

Internet Explorerで呼び出したWeb ページを翻訳.....アドイン翻訳 ⇨ 第4章

Internet Explorer がインストールされている環境では、本製品の翻訳機能が組み込まれます。これらを使って、いつでも翻訳・辞書引きを行うことができます。下図は、呼び出した英文サイトを日本語に翻訳する例です。



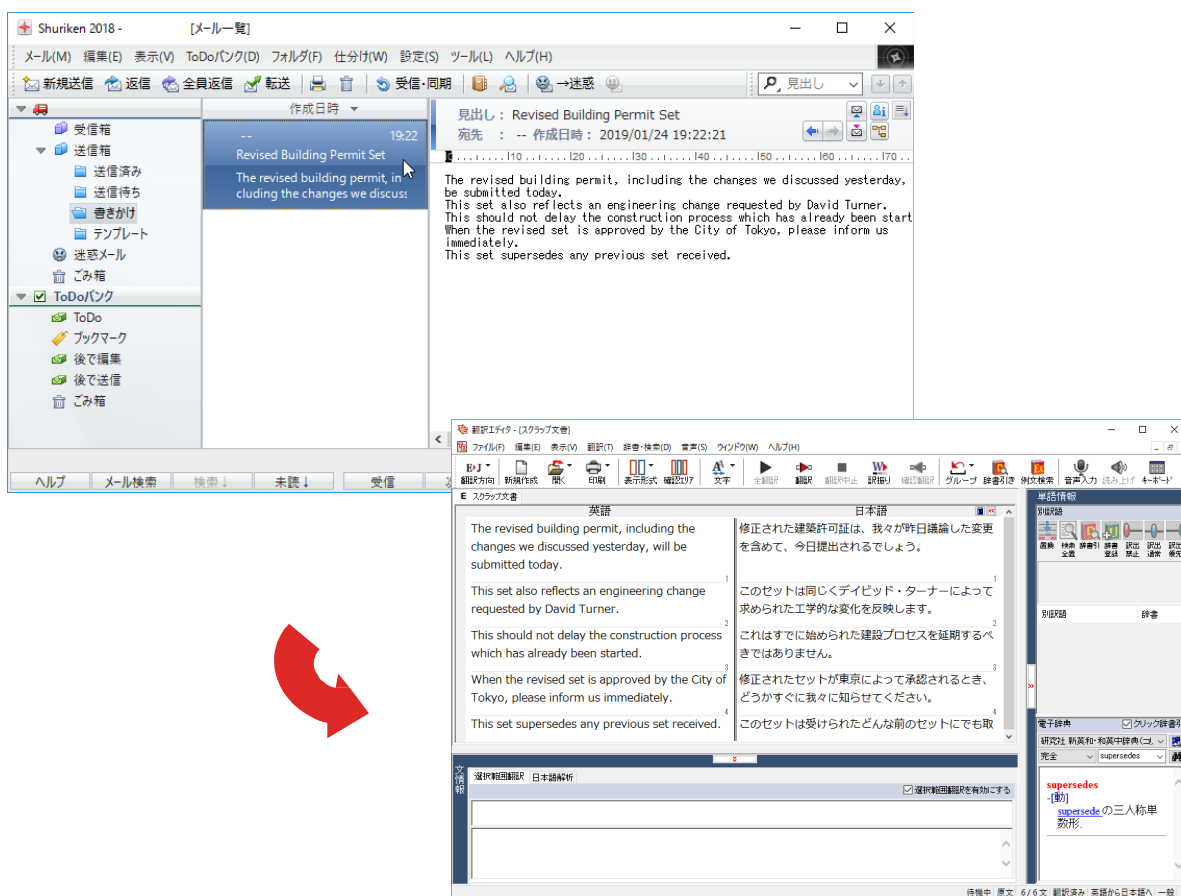
◆ジャストシステム Shuriken アドイン

ジャストシステム Shurikenでメールを翻訳するには ⇨ 第5章

ジャストシステム Shuriken にアドイン機能を使って翻訳機能のメニューをアドインできます。これにより、翻訳したいメールを翻訳エディタに転送できます。

注意！

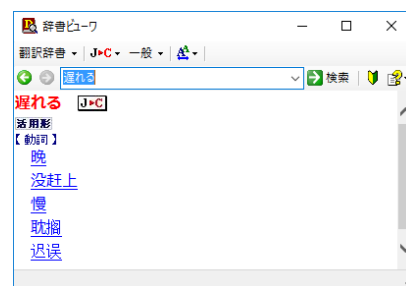
Shurikenが起動していると正しくアドインできません。起動している場合、必ず終了させてから作業してください。アドイン機能については、[第6章アプリケーションで翻訳するには]を参照してください。



◆辞書ツール&支援ツール

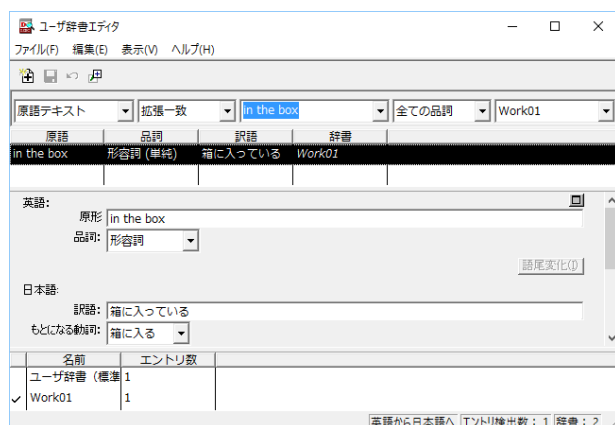
簡単操作で辞書引きしたいときは.....辞書ビューワ ⇨ 第2章

研究社の新英和・和英中辞典やクイック辞書、翻訳辞書で辞書引きできる「辞書ビューワ」を用意しています。LogoVista 電子辞典がインストールされていると、それらの辞書でも辞書引きできます。



ユーザ辞書を編集したいときは.....ユーザ辞書エディタ ⇨ 第2章

本製品では、特異な語句をユーザ辞書に登録し、翻訳に活用することができます。ユーザ辞書に登録した内容は、編集したり、ファイルに書き出したりすることができます。もちろん、テキストファイルに保存した用語を読み込んでユーザ辞書を充実させることもできます。



役立つ支援ツールが揃っています ⇨ 第2章

手紙の書き方や英文法などを確認したいときに役立つツールも揃っています。

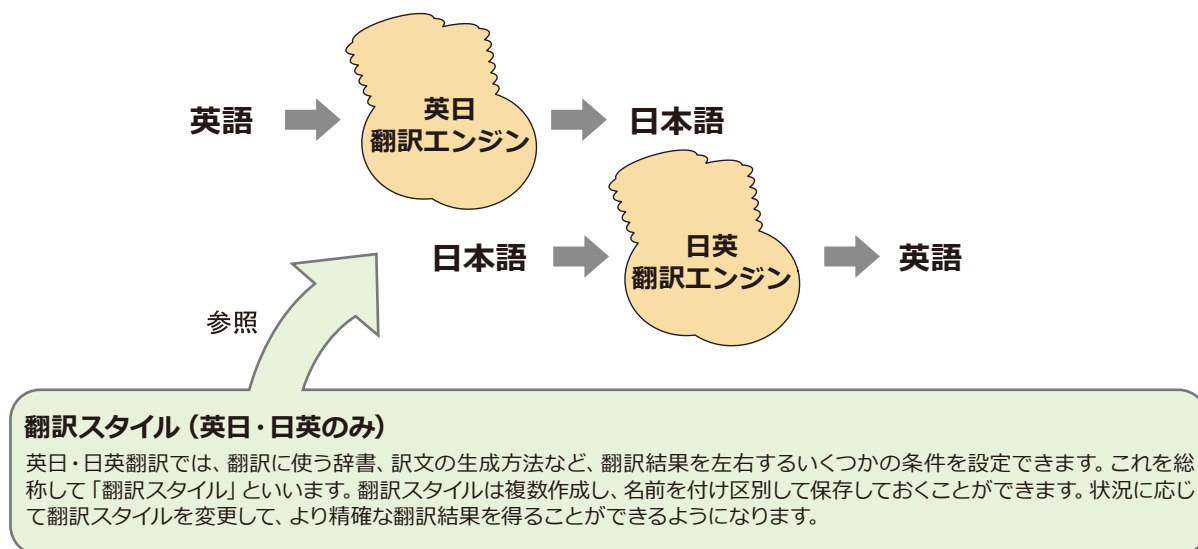


翻訳エンジンについて

「翻訳エンジン」とは、本製品の中で、実際に翻訳を実行するソフトウェアを指します。ここでは、翻訳エンジンの概要を説明します。

◆翻訳エンジンの働き

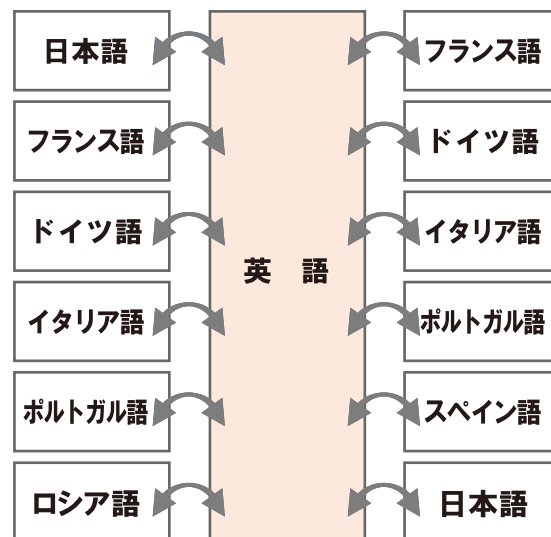
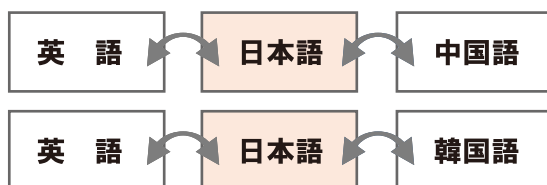
一発翻訳! では、英日翻訳と日英翻訳を行う2つの翻訳エンジンが働き、英日・日英の双方向の翻訳を行います。



◆ワールドパックの翻訳方法

「一発翻訳! 10カ国語ワールドパック」(以下「10カ国語版」と略記します)では、日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、韓国語、ロシア語、中国語(簡・繁)の双方向翻訳を行うことができます。ワールドパックは英語を介して多言語の翻訳を行います。例えば日本語の場合、英語を介して各国語との双方向翻訳を行います。同様に、英語を介してフランス語⇄ドイツ語、イタリア語⇄スペイン語といった翻訳を行うこともできます。

ただし、韓国語と中国語は直接日本語との双方向翻訳が行われず、韓国語と中国語を英語にする場合、日本語を介して翻訳されます。



前記のようなしくみで翻訳を行う性質上、より良い翻訳結果を導くためには、いったん中間になる言語(英語または日本語)に翻訳し、その結果を修正してから目的の言語に再度翻訳することで訳質を向上させることができます。

翻訳スタイルについて

「翻訳スタイル」とは、翻訳するための複数の条件をセットとしてまとめたものです。翻訳スタイルには、使用する辞書と翻訳設定が含まれます。ここでは、翻訳スタイルの概要を紹介します。

☞ 翻訳スタイルの操作方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「3. 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方」をご覧ください。

◆ 翻訳スタイルとは

翻訳スタイルとは、使用する辞書、翻訳設定（訳出する方法）を定義したひとまとまりの条件を言います。翻訳スタイルは名前を付けて登録しておくことができますので、翻訳目的にしたがって翻訳スタイルを切り替えるだけで、訳出方法を変えることができます。翻訳のたびに辞書や翻訳設定をいちいち変更する手間が無くなります。以下は英日用翻訳スタイル「趣味・娯楽」の設定例（初期値）です。

● 翻訳に使う辞書

ユーザ辞書：ユーザ辞書（標準）



システム辞書：LogoVista E to Jシステム辞書



専門辞書：エンターテインメントV2（標準）



● 翻訳設定

文体	～です調
固有名詞の訳出形式	日本語のみ
英数字	そのまま
全角と半角の間にスペースを挿入する	はい

◆ 翻訳に使う辞書（システム辞書・専門辞書・ユーザ辞書）

本製品では、システム辞書、専門辞書（分野辞書）、ユーザ辞書の3種類の辞書を利用できます。システム辞書は、常に使用する基本的な辞書です。専門辞書は分野別の専門用語を収録した辞書です。ユーザ辞書はお使いになる方が独自に使用する語句を登録しておく辞書で、複数作成することができます。また事例文をまとめた事例文ファイルを活用することもできます。使用する辞書を翻訳スタイルに登録すると、翻訳に利用されます。

システム辞書



専門辞書（複数可）



ユーザ辞書（複数可）



事例文ファイル

■ 使用できる辞書の種類

使用できる辞書については、次節「4. 翻訳に使用できる辞書について」をご覧ください。

◆ 翻訳設定

翻訳設定には、以下の訳出方法が定義されます。翻訳目的にそって設定を変更します。

英日

設定項目	選択できる値
文体	「～だ調」、「～です調」*、「～である調」のいずれか
固有名詞の訳出形式	「英語のみ」、「日本語のみ」*、「日本語(英語)」のいずれか
英数字	「そのまま」*、「半角(1バイト)」、「全角(2バイト)」のいずれか
全角と半角の間にスペースを入れる	「はい」*、「いいえ」のいずれか

※印は、翻訳スタイル「一般」に初期値として設定されている値

日英

設定項目	選択できる値
箇条書きの表現	「命令文」*、「平叙文」、「動名詞」、「to-不定詞」、「3 人称単数現在形の動詞句」のいずれか
主語のない文	「"it"を主語に補う」、「受動態で表現する」*、「人称代名詞を主語に補う」、「命令文で表現する」、「3 人称単数現在形の動詞句で表現する」のいずれか
冠詞の付け方	「冠詞"the"を出力」、「冠詞"a/an"を出力」、「無冠詞」、「無指定」*のいずれか
略語・数字間のブランク	「ブランクあり」*、「ブランクなし」のいずれか

※印は、翻訳スタイル「一般」に初期値として設定されている値です。ただし、会話モードでは、主語のない文は「人称代名詞を主語に補う」が設定値になります。

中日(繁体字・簡体字)

設定項目	選択できる値
文体	「～です調」*、「～である調」のいずれか
中国語の自動認識	「はい」、「いいえ」*のいずれか

※印は、翻訳スタイル「一般」に初期値として設定されている値

翻訳に使用できる辞書について

本製品では、翻訳に必ず使用されるシステム辞書のほかに、以下の辞書を使用することができます。



これらの辞書は、いずれも「翻訳スタイル」に設定して有効になります。
設定方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「3. 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方」をご覧ください。

◆ユーザ辞書

翻訳に必要な単語をユーザ自身が登録していく辞書です。ユーザ辞書はあらかじめ英日・日英用それぞれ、1つずつ空の辞書が用意されています。

◆分野辞書

本製品にあらかじめ搭載されている翻訳用の辞書です。翻訳を行う文章に合った分野辞書を指定して使用します。分野辞書は専門辞書の一種として扱われます。

英日翻訳用の分野辞書のジャンル.....

英日翻訳用には、以下のジャンルの分野辞書を用意しています。

ビジネス一般	科学技術一般	コンピュータ	エンターテインメント	パソコン用語
法律	ライフサイエンス	金融・経済	情報一般	軍事
医学	機械	電気電子通信	バイオ	応用物理
材料資源	建築	船舶鉄道	地球科学	応用化学
農業	化学	都市工学	物理	航空宇宙
土木	動物	生物	プラント	固有名詞：日本人名
固有名詞：日本地名		コンピュータIT総合		

日英翻訳用の分野辞書のジャンル.....

日英翻訳用には、以下のジャンルの分野辞書を用意しています。

ビジネス一般	科学技術一般	コンピュータ	カルチャー	パソコン用語
法律	ライフサイエンス	金融・経済	情報一般	軍事
医学	機械	電気電子通信	バイオ	応用物理
材料資源	建築	船舶鉄道	地球科学	応用化学
農業	化学	都市工学	物理	航空宇宙
土木	動物	生物	プラント	固有名詞
インターネット	コンピュータIT総合	自然・社会科学	住所	航空分野
ビジネスレーター	トラベル			

日・欧州5言語／欧州5言語・日の分野辞書.....

フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語には、以下のジャンルの分野辞書を用意しています。

ビジネス	法律	コンピュータ	医学
------	----	--------	----

日・中／中・日の分野辞書.....

以下のジャンルの分野辞書を用意しています。

医学	化学	環境	機械工学	金属
金融	軽工業	建設	原子力	固有名詞
鉱業	情報工学	数学	生物学	地質学
地理学	電気工学	電子工学	農業	物理学
力学				

◆ 専門辞書

翻訳用の専門辞書です。翻訳を行う文章に合った専門辞書を指定して使用します。

英日・日英翻訳の専門辞書.....

ビジネス・法律 (日外アソシエーツ)
電気・電子・情報 (日外アソシエーツ)
科学技術 (日外アソシエーツ)
ビジネス (日中韓辞典研究所)
化学 (日中韓辞典研究所)
機械 (日中韓辞典研究所)
軍事 (日中韓辞典研究所)
情報 (日中韓辞典研究所)
数学 (日中韓辞典研究所)
電気 (日中韓辞典研究所)
農林 (日中韓辞典研究所)
輸送 (日中韓辞典研究所)

コンピュータ・IT (日外アソシエーツ)
機械・工学 (日外アソシエーツ)
人文社会 (日外アソシエーツ)
医学 (日中韓辞典研究所)
環境 (日中韓辞典研究所)
金属 (日中韓辞典研究所)
自動車 (日中韓辞典研究所)
食品 (日中韓辞典研究所)
地学 (日中韓辞典研究所)
土木 (日中韓辞典研究所)
物理 (日中韓辞典研究所)

ユーザデータを別のコンピュータに移すには

ここでは、使用したユーザ辞書や事例文ファイルなどのユーザデータを、別のコンピュータへ移動する方法を説明します。

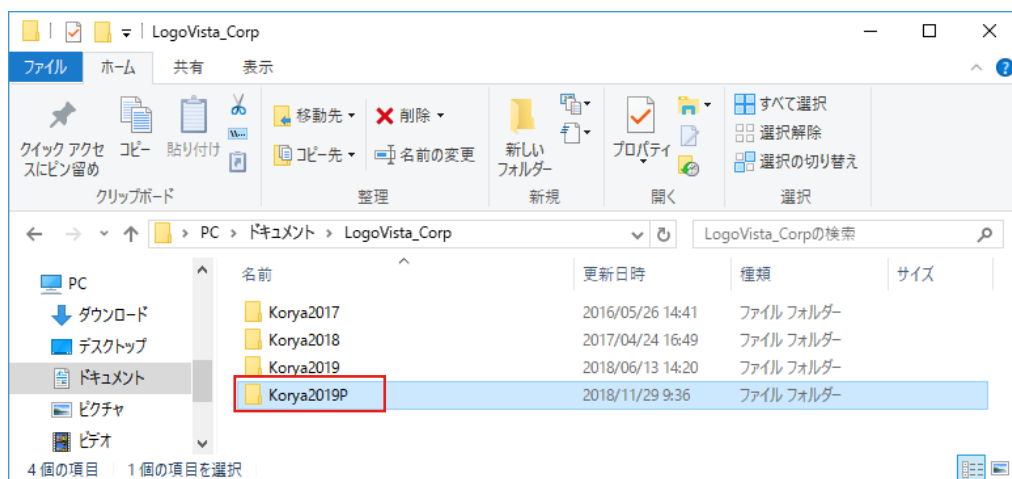
◆ユーザデータを移動するには

ユーザデータの保存場所はお使いのOSによって異なります。初期設定では下記の場所にユーザデータが保存されます。

C:\Users\%(ユーザーアカウント名)\Documents\LogoVistaCorp\Korya2019P

全てのユーザデータを移動するには.....

- 1** 移動先のコンピュータに、本製品をインストールします。
- 2** ユーザデータが保存されている[Korya2019P]フォルダをコピーし、移動先のコンピュータ上の[Korya2019P]フォルダに上書きします。



Windows 10での[Korya2019P]フォルダ

移動したユーザ辞書や事例文ファイルを使用するには、翻訳スタイルマネージャで該当する辞書をロードします。

☞ 辞書のロード方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「3. 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方」をご覧ください。

任意のユーザ辞書を移動するには.....

英日ユーザ辞書は初期設定では下記の場所に保存されます。

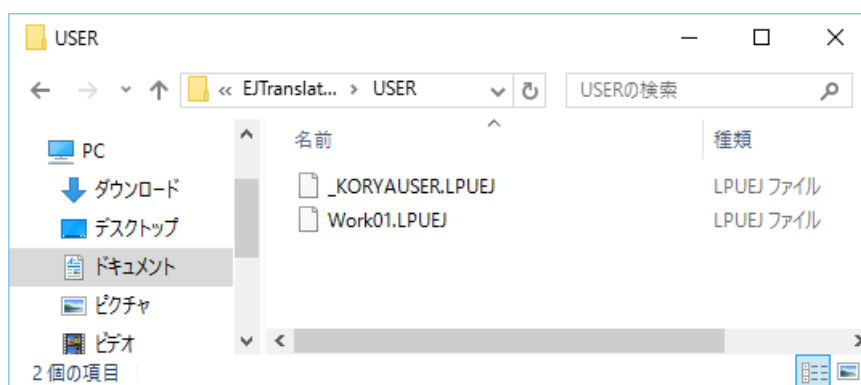
C:\Users\%ユーザーアカウント名%\Documents\LogoVistaCorp\Korya2019P\20.0\EJTranslation\USER

日英ユーザ辞書は初期設定では下記の場所に保存されます。

C:\Users\%ユーザーアカウント名%\Documents\LogoVistaCorp\Korya2019P\20.0\JTranslation\USER

1 移動先のコンピュータに本製品をインストールします。

2 ユーザ辞書が保存されている[USER]から、移したいユーザ辞書ファイル（拡張子「.LPUEJ」）をコピーし、移動先のコンピュータ上の[USER]フォルダに置きます。



Windows 10での[USER]フォルダ

移動したユーザ辞書を使用するには、翻訳スタイルマネージャで該当する辞書をロードします。

☞ 辞書のロード方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「8. 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方」にある「◆翻訳スタイルマネージャ」をご覧ください。

Chapter 2

操作パネルの使い方

操作パネルの名称と機能

操作パネルには、翻訳エディタをはじめとする翻訳のためのツールや、翻訳を補助するための便利なツールが集められています。これらの機能は、操作パネル上のボタンをクリックすることで、ご利用いただけます。

◆操作パネルを起動するには

デスクトップの「一発翻訳！10カ国語 操作パネル」アイコンをダブルクリックします。



■「一発翻訳！10カ国語 操作パネル」アイコン

注意！

デスクトップに「一発翻訳！10カ国語 操作パネル」が見当たらないときは、[スタート]ボタン→[(すべての)プログラム]→[一発翻訳！10カ国語]→[操作パネル]の順に選択します。Windows 8.1の場合は、[スタート]→[アプリ]→[操作パネル]を選択します。

「一発翻訳！10カ国語 操作パネル」が表示されます。また、デスクトップのタスクトレイに「操作パネル」アイコンが表示されます。

■操作パネル



翻訳作業によく使うツールのみをコンパクトに表示可能です。



■操作パネルアイコン

タスクトレイの「操作パネル」アイコンをクリックすると操作パネルが最前面に表示されます。操作パネルが非表示になっているときや、他のウィンドウに隠れているときに使います。

◆操作パネルの名称と機能

操作パネルのボタンのうち、右側に▼が表示されているものは、複数の機能が用意されています。ボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニューから機能させるコマンドを選択して実行します。その他のボタンもクリックして実行します。

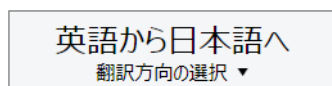
以下では、それぞれのボタンの概要を紹介します。



翻訳・辞書引きの実行

翻訳方向の設定や翻訳スタイルの選択、選択辞書引きなどを行うことができます。

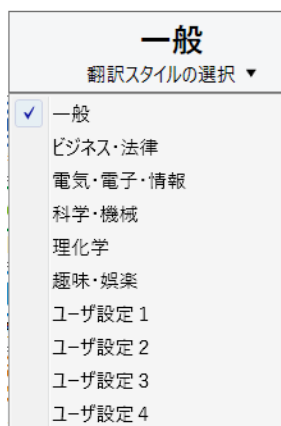
翻訳方向の選択



翻訳方向を選択するときに使います。

※詳細は、本章 [2 翻訳方向の選択ボタンの使い方] をご覧ください。

翻訳スタイルの選択



翻訳スタイルを選択するときに使います。

※詳細は、本章 [3 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方] をご覧ください。

翻訳エディタを起動



翻訳エディタを起動します。

※詳細は、[第3章 翻訳エディタで翻訳するには] をご覧ください。

選択翻訳



メモ帳や Internet Explorer など、他のアプリケーションで選択したテキストを翻訳するときに使います。

※詳細は、本章 [4 選択翻訳ボタンの使い方] をご覧ください。

選択辞書引き



メモ帳や Internet Explorer など、他のアプリケーションで選択したテキストを辞書引きするときに使います。

※詳細は、本章 [5 選択辞書引きボタンの使い方] をご覧ください。

ファイル翻訳



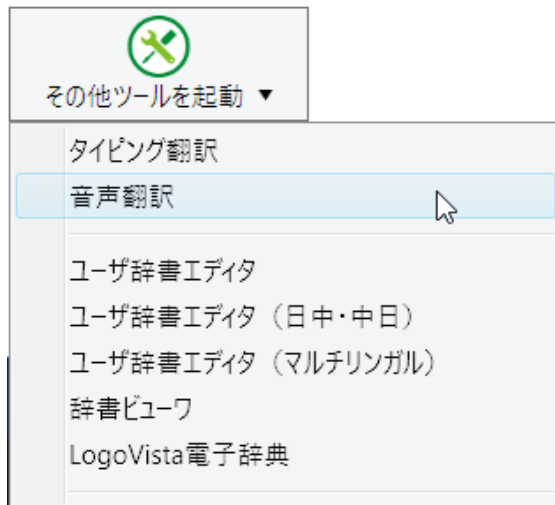
ファイルごとに翻訳します。1つから複数のファイルを一括して翻訳することができます。

※詳細は、本章 [6 ファイル翻訳を起動] をご覧ください。

ツールの起動.....

その他ツールを起動

※詳細は、本章 [7 その他ツールを起動ボタンの使い方] をご覧ください。



次のツールを選択して起動することができます。

タイピング翻訳	タイピング翻訳を起動します。テキストを扱うことができるアプリケーションで、日本語を入力しながら翻訳してアプリケーションに入力することができるシンプルな翻訳アプレットです。
音声翻訳	音声入力から翻訳して再生までを行う音声入力翻訳再生機能です。 音声入力に対応する言語は、フランス語、スペイン語、ドイツ語、日本語、簡体字中国語、繁体字中国語となります。 また、翻訳結果をお気に入りリストに登録し、音声データの書き出しができます。
ユーザ辞書エディタ	[ユーザ辞書エディタ]ウィンドウを開きます。翻訳アプレットで使用するユーザ辞書に語句を登録したり、登録済みの語句を編集したりすることができます。
ユーザ辞書エディタ (日中・中日)	[ユーザ辞書エディタ(日中・中日)]ウィンドウを開きます。中日・日中の翻訳エンジンで使うユーザ辞書への語句の登録や、登録済みの語句の編集ができます。
ユーザ辞書エディタ (マルチリンガル)	[ユーザ辞書エディタ(マルチリンガル)]ウィンドウを開きます。英日・日英、中日・日中以外の翻訳エンジンで使うユーザ辞書への語句の登録や、登録済みの語句の編集ができます。
辞書ビューワ	[辞書ビューワ]ウィンドウを開きます。研究社 新英和・和英中辞典、一発翻訳！で翻訳に使用する辞書で辞書引きができます。
LogoVista電子辞典	LogoVista電子辞典がインストールされているときは、LogoVista電子辞典で辞書引きができます。

設定ツールを起動

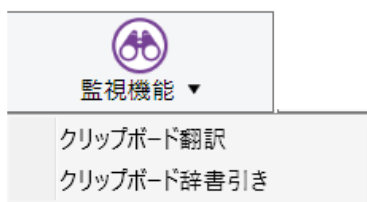
※詳細は、本章 [8 設定ツールを起動ボタンの使い方] をご覧ください。



次のツールを選択して起動することができます。

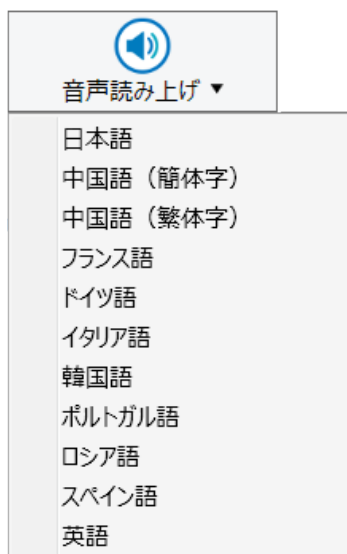
音声設定	音声合成エンジンがインストールされているとき、音声に関する設定を行います。
フォント設定	翻訳アプレットで使用するフォントの設定をおこないます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。翻訳に使用する専門辞書などを設定できます。
操作パネルの設定	操作パネルの表示方法を変更できます。「操作パネルの表示方法を設定するには」の項目をご参照ください。
ユーザデータフォルダの設定	ユーザ辞書などのユーザデータファイルを保存するフォルダを変更することができます。

監視機能



コピーコマンドなどでクリップボードに格納されたテキストの翻訳や、辞書引きを行い
※詳細は、本章 [9 監視機能] をご覧ください。

音声読み上げ



音声合成エンジンがインストールされているときは、アプリケーションで選択されている語句を読み上げることができます。中国語、英語、日本語以外の言語の音声読み上げには、インターネットに接続する必要があります。

アドイン設定



一太郎やMicrosoft Officeのアプリケーションなどに翻訳機能をアドインしたり、解除したりします。

※詳細は、[第6章 アプリケーションで翻訳するには] をご覧ください。

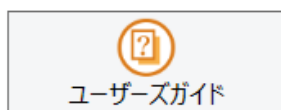
サポート



次のツールを選択して起動することができます。

一発翻訳! 10カ国語 アップデート	インターネット上のサーバから本製品の更新情報を取得し、最新バージョンが存在すれば、アップデートをダウンロードします。
バージョンチェッカー	現在お使いの製品のバージョン情報や状態が表示されます。
LVナビ	製品の使い方やサポート情報などを参照できます。
LogoVistaホームページへ	LogoVistaのホームページを開きます。
IEアドインについて	Internet Explorerを使用してホームページを翻訳する際の注意事項について記述しています。
Chrome機能拡張について	Google Chrome 使用してホームページを翻訳する際の翻訳モジュールのインストーラや機能拡張、注意事項について記述しています。
LogoVistaライセンス認証	ライセンス認証を起動します。
ユーザ登録/Q&Aページへ	製品のユーザ登録、サポートQ&Aページを開きます。
ロシア語の表示や入力を行うためには	お使いのコンピュータでロシア語の入力を行うために、ロシア語の入力機能 (IME) をセットアップ方法を説明します。
中国語 (簡体字) の表示や入力を行うためには	お使いのコンピュータで中国語 (簡体字) の入力を行うために、中国語 (簡体字) の入力機能 (IME) をセットアップ方法を説明します。
中国語 (繁体字) の表示や入力を行うためには	お使いのコンピュータで中国語 (繁体字) の入力を行うために、中国語 (繁体字) の入力機能 (IME) をセットアップ方法を説明します。
韓国語の表示や入力を行うためには	お使いのコンピュータで韓国語の入力を行うために、韓国語の入力機能 (IME) をセットアップ方法を説明します。

ユーザズガイド



ロゴヴィスタのユーザサポートページにアクセスし、LogoVista製品マニュアルの一覧を表示します。

画像からテキストへ



OCR (光学文字認識) ソフト「Readiris」を起動します。詳しい使い方は「Readiris」のメニューからヘルプを選択してください。

翻訳方向の選択

[翻訳方向の選択]ボタンは、[操作パネル]で翻訳を行う際の翻訳方向を切り替えるときに使用します。

◆翻訳方向の変更方法

翻訳方向を変更する場合は、[翻訳方向の選択] ボタンをクリックして開くメニューから翻訳方向を選択して設定します。例えば、日本語から韓国語に翻訳するときは、[翻訳方向の選択]ボタン→[日本語から]→[韓国語へ]の順にクリックして設定します。



翻訳スタイルの選択

翻訳スタイルは、翻訳結果を左右する条件をまとめたもので、使用する辞書（専門辞書、分野辞書、ユーザ辞書）が含まれます。ここでは、翻訳スタイルの選択方法を説明します。

◆ 翻訳スタイルについて（英日・日英を含む翻訳専用）

あらかじめ用意されている翻訳スタイルには、それぞれに名前がつけられています。本製品では、次の翻訳スタイルを用意しています。このうち、「一般」がデフォルトの翻訳スタイルです。「ユーザ設定 1」～「ユーザ設定 4」は、用意されたジャンル以外の翻訳スタイルを使いたいときに設定していただく翻訳スタイルです。以下の翻訳スタイルがあります。英日、日英ともに名称は同じです。

一般	ビジネス・法律	電気・電子・情報	科学・機械	理化学
趣味娯楽	ユーザ設定 1	ユーザ設定 2	ユーザ設定 3	ユーザ設定 4

これを使い分けることによって、原文をより正確に翻訳できるようになります。

注意!

翻訳スタイルの編集は、翻訳方向が「英語から日本語へ」、「日本語から英語へ」の場合と、これを含む翻訳方向の場合に可能です。たとえば、10カ国語版に搭載の「フランス語から日本語へ」の場合には、「フランス語から英語へ」と「英語から日本語へ」で構成されますので、「英語から日本語へ」の翻訳方向における翻訳スタイルが選択でき、編集も可能になります。

翻訳スタイルを変更するには.....

翻訳スタイルは、[翻訳スタイルの選択] ボタンをクリックしてメニューから選択して設定できます。[操作パネル] では、以下のメニューが表示されます。



このメニューから使用する翻訳スタイルを選択すると、その翻訳スタイルに設定されている辞書や翻訳設定が活用されて翻訳されます。

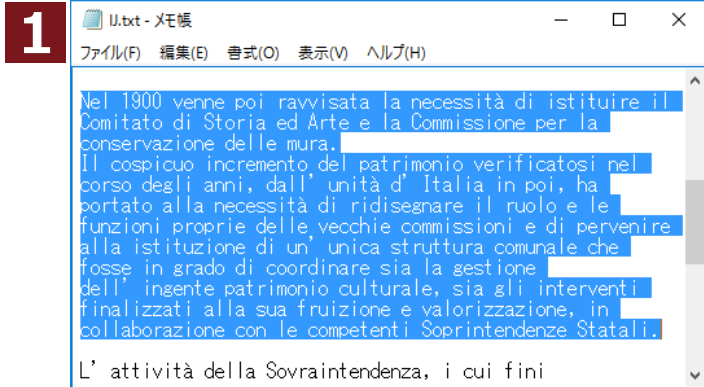
■ [翻訳スタイルの選択] ボタンをクリックして開くメニュー

選択翻訳

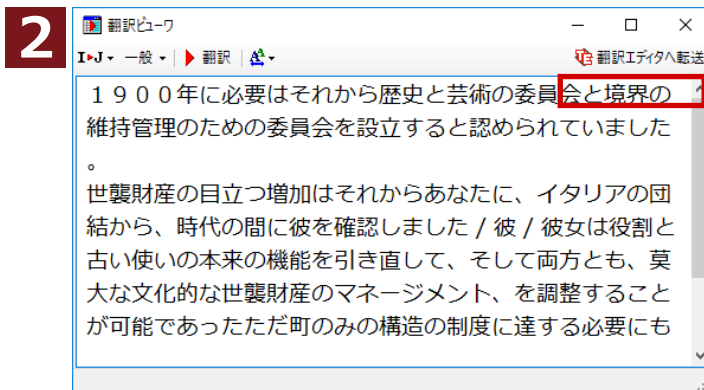
[選択翻訳] ボタンはアプリケーション上で選択された文章を翻訳するときに使います。実行すると、翻訳ビューフが起動し、翻訳結果を表示します。

◆操作パネルで翻訳するには

操作パネルを使って翻訳してみましょう。

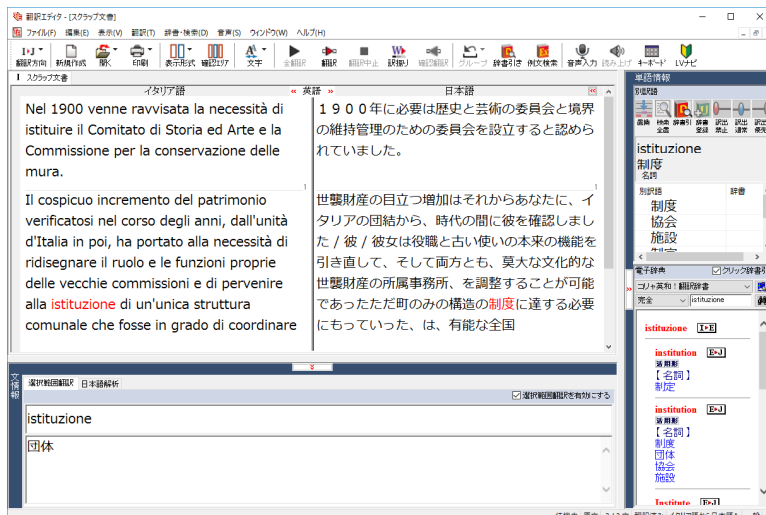


アプリケーションで翻訳するテキストを選択し、操作パネルで翻訳方向を設定して [選択翻訳] ボタンをクリックします。



翻訳ビューフに訳文が表示されます。

[翻訳エディタに転送] をクリックすると、翻訳エディタが起動します。



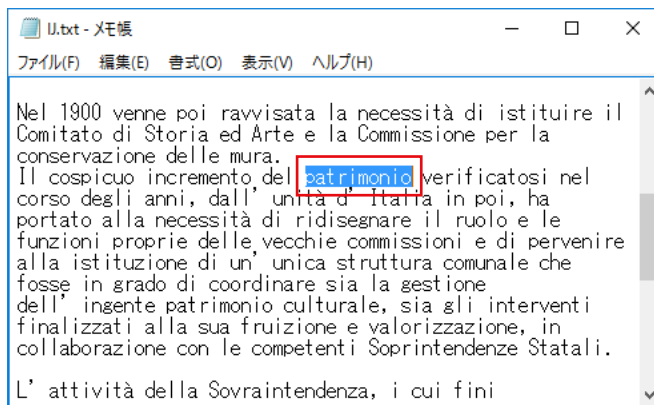
☞ 翻訳エディタの使い方については、「第3章 翻訳エディタで翻訳するには」をご参照ください。

選択辞書引き

[選択辞書引き]ボタンは、アプリケーション上で選択された語句の辞書引きを行うときに使います。各翻訳エンジンで使われている翻訳辞書を利用できます。

◆辞書引きするには

1



選択辞書引き

アプリケーションで辞書引きしたい語句を選択し、操作パネルで翻訳方向を設定して [選択辞書引き] ボタンをクリックします。

2



選択したテキストが辞書ビューワで辞書引きされ、結果が表示されます。

ファイル翻訳を起動

ファイル翻訳は、指定された原文ファイルを翻訳し、別の訳文ファイルを生成する翻訳アプリレットです。テキストファイル、HTMLファイル、一太郎、Word、Excel、PowerPointの文書ファイルを翻訳することができます。

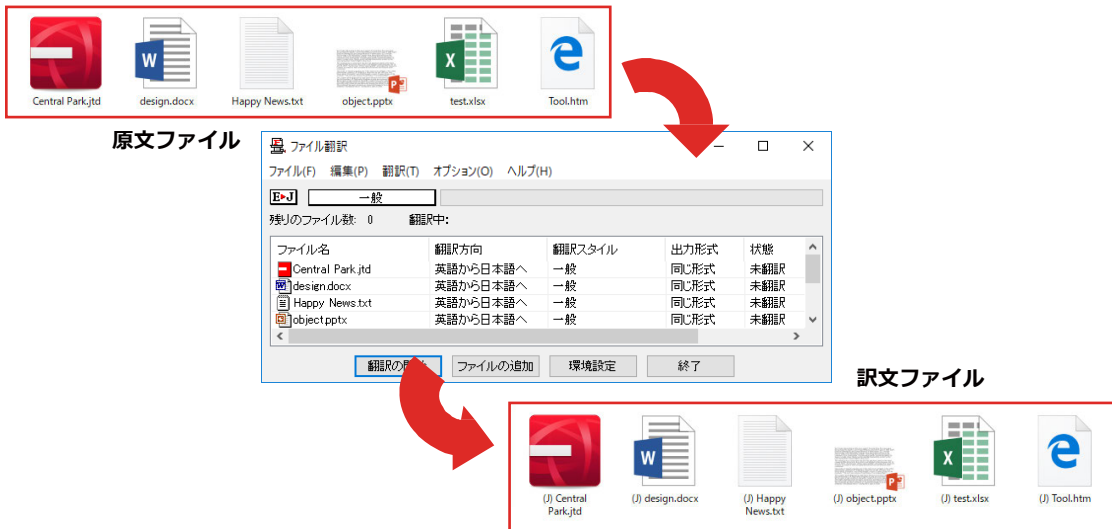


◆ファイル翻訳で行える翻訳

ファイル翻訳では、原文となるファイルを翻訳し、訳文を別のファイルに保存します。

- 一度に複数の原文ファイルを翻訳できます。
- ファイルごとに、適用する翻訳方向、翻訳スタイルを設定できます。
- テキストファイル、HTMLファイルなど、異なるタイプのファイルを一括して翻訳できます。

■ファイル翻訳の流れ



翻訳できるファイル.....

ファイル翻訳では、次のファイルを翻訳できます。

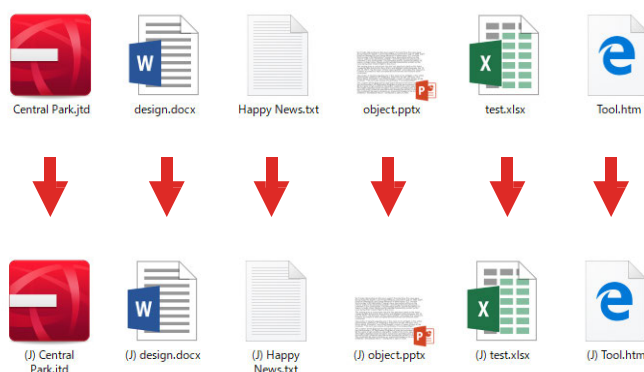
- テキストファイル
- HTMLファイル (Webブラウザで保存されたファイル、拡張子「htm」「html」など)
- 一太郎文書ファイル (拡張子「jtd」) ※1
- Word文書ファイル (拡張子「doc」「docx」「rtf」) ※2
- Excel文書ファイル (拡張子「xls」「xlsx」) ※2
- PowerPoint文書ファイル (拡張子「ppt」「pptx」) ※2

※1 対応しているアプリケーションのバージョンは、2013/2014/2015/2016/2017/2018/2019です。

※2 対応しているアプリケーションのバージョンは、2010/2013/2016です。

翻訳されたファイル.....

翻訳結果は、それぞれに同じ種類 (同じ拡張子) の別のファイルに書き出され、初期値では、元のファイルがあるフォルダと同じフォルダに保存されます。



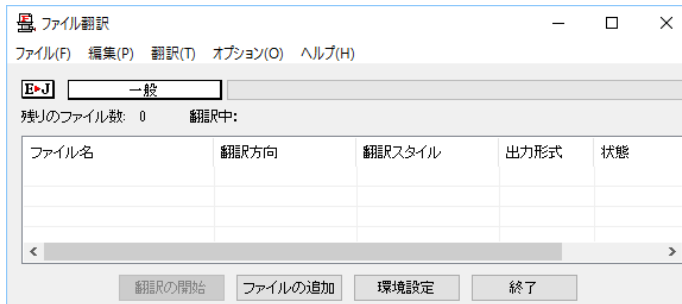
◆ファイル翻訳を起動するには

ファイル翻訳は、次の方法で起動することができます。



デスクトップの「一発翻訳! 10カ国語 操作パネル」をダブルクリックして、操作パネルを起動し、「ファイル翻訳を起動」をクリックします。

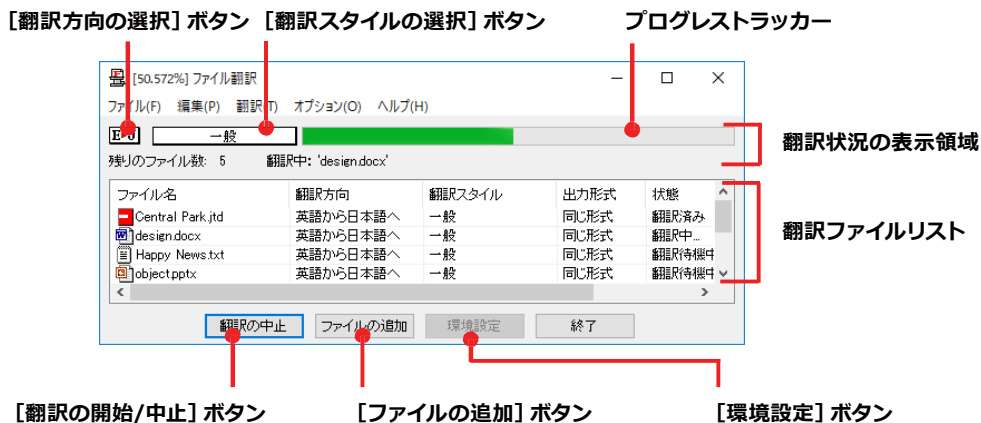
一太郎文書をファイル翻訳する場合、先にアドイン設定を行う必要があります。詳細は、Chapter 6の「2. ジャストシステム一太郎で翻訳を行うには」をご覧ください。



「ファイル翻訳」ウィンドウが表示されます。

◆「ファイル翻訳」ウィンドウの各部の名称と機能

「ファイル翻訳」ウィンドウの主な各部には、次の名称と機能があります。



【翻訳方向の選択】ボタン

原文ファイルを追加したときに適用される翻訳方向が表示されます。何もしないと、最後に翻訳したときに使われた翻訳方向が表示されます。変更するときは、右クリックしてコンテキストメニューから目的の翻訳方向を選択します。

【翻訳スタイルの選択】ボタン

原文ファイルを追加したときに適用される翻訳スタイルが表示されます。何もしないと、最後に翻訳したときに使われた翻訳スタイルが表示されます。変更するときは、右クリックしてコンテキストメニューから目的の翻訳スタイルを選択します。

翻訳状況の表示領域

ファイルの翻訳中に、以下の情報を表示します。

プログレストラッカー	翻訳の進行状況を表示します。翻訳が開始されると、左から右にバーが進み、進行状況を示します。
残りのファイル数	複数のファイルを翻訳するとき、まだ翻訳していないファイルの数を表示します。すべてのファイルを翻訳し終わると「0」になります。
翻訳中	翻訳中のファイル名を表示します。

翻訳ファイルリスト

原文ファイルを追加すると、このリストに表示されます。以下の情報が表示されます。

「ファイル名」「翻訳方向」「翻訳スタイル」「出力形式」「状態(未翻訳、翻訳待機中、翻訳中、翻訳済み)」「ファイルサイズ」
各行を右クリックすると、コンテキストメニューで翻訳方向や翻訳スタイルを変更できます。

【翻訳の開始】/【翻訳の中止】ボタン

翻訳ファイルリストに表示されているファイルの翻訳を開始します。翻訳中は【翻訳の中止】ボタンになり、クリックすると翻訳を中止します。

【ファイルの追加】ボタン

翻訳ファイルリストにファイルを追加します。クリックすると、【ファイルを開く】ダイアログが表示されます。

【環境設定】ボタン

ファイル翻訳の環境を設定します。このボタンをクリックすると、【ファイル翻訳の環境設定】ダイアログが開きます。

コンテキストメニュー

ファイルリストの上でマウスの右ボタンをクリックすると、次のコンテキストメニューが表示されます。ファイルごとに翻訳方向や翻訳スタイルを変更できます。また、リストから削除する際にもコンテキストメニューを使います。

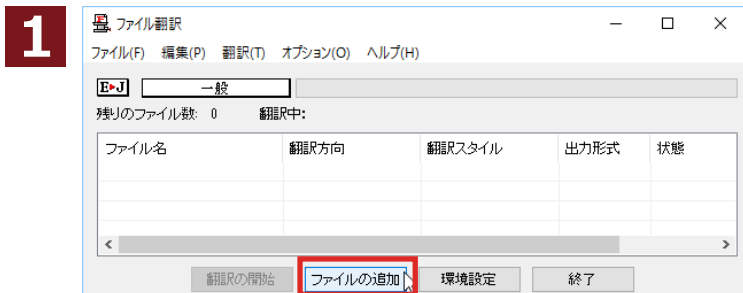
翻訳方向(T)	▶
翻訳スタイル(S)	▶
出力形式(O)	▶
リストから削除(D)	

◆ 翻訳を実行するには

翻訳するファイルの登録.....

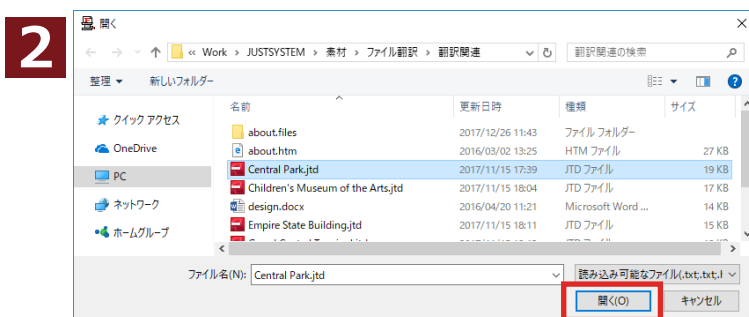
まず、翻訳する原文ファイルを [ファイル翻訳] ウィンドウのファイルリストに登録します。 [ファイルの追加] ボタンで登録する方法と、ドラッグ&ドロップして登録する方法があります。

[ファイルの追加]ボタンで登録する

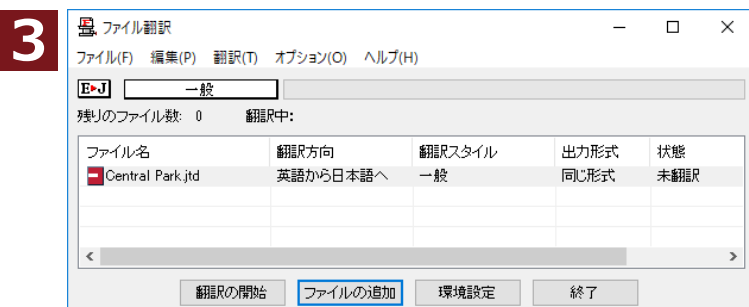


[ファイルの追加]ボタンをクリックします。

[ファイルを開く]ダイアログが開きます。



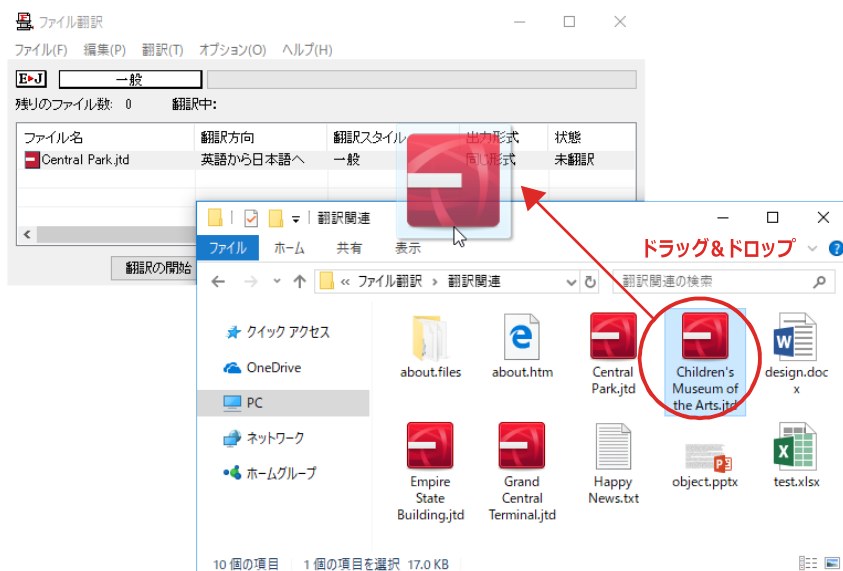
登録するファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。



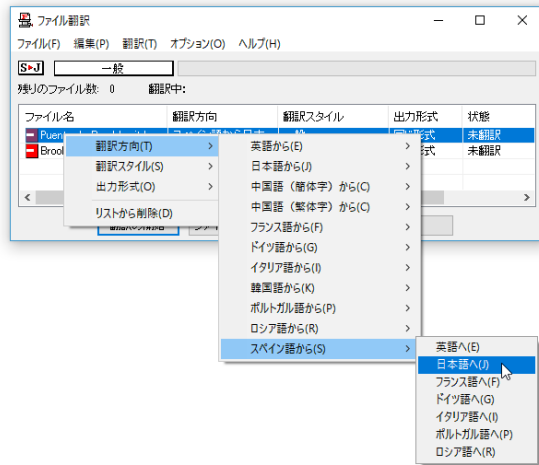
原文ファイルがリストに登録されます。

ドラッグ&ドロップして登録する

Windowsのエクスプローラーで原文ファイルを選択し、[ファイル翻訳] ウィンドウにドラッグ&ドロップします。これで、原文ファイルがリストに登録されます。複数のファイルを一度にドラッグ&ドロップで登録することもできます。

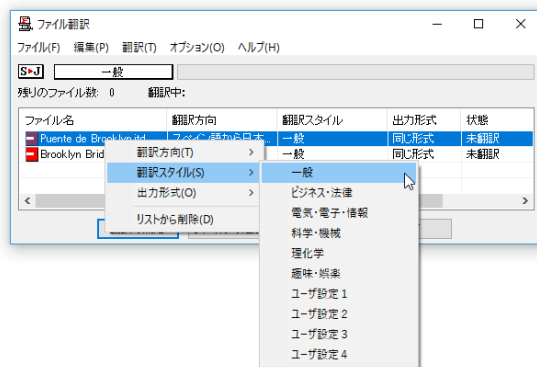


翻訳方向の変更



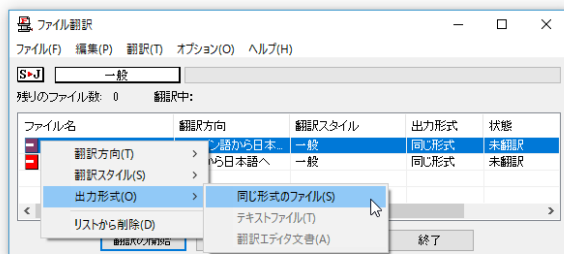
ファイルリストに登録した原文ファイルの個別の翻訳方向は、コンテキストメニューで個々に変更します。例えば、スペイン語から日本語へに変更するときは、対象の原文ファイルを選択し、右クリックして開くメニューから [翻訳方向] → [日本語へ] を選択します。

翻訳スタイルの変更



ファイルリストに登録した原文ファイルの個別の翻訳スタイルは、コンテキストメニューで個々に変更します。例えば、[一般] から [ビジネス・法律] に変更するときは、対象の原文ファイルを選択し、右クリックして開くメニューから [翻訳スタイル] → [ビジネス・法律] を選択します。

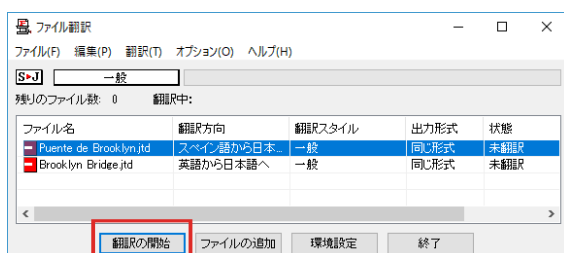
出力形式の変更



ファイルリストに登録した原文ファイルの出力形式は、コンテキストメニューで個々に変更します。例えば、翻訳エディタ文書に変更するときは、対象の原文ファイルを選択し、右クリックして開くメニューから [出力形式] → [翻訳エディタ文書] を選択します。

翻訳の実行

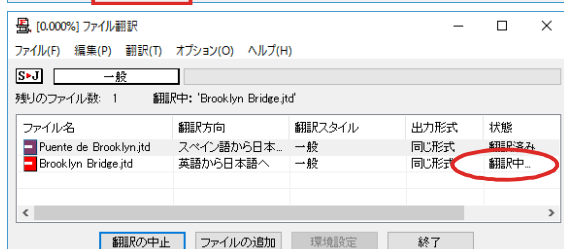
翻訳方向や、翻訳スタイルが設定できたら、[翻訳の開始] ボタンで翻訳を開始します。



[翻訳の開始] ボタンをクリックします。

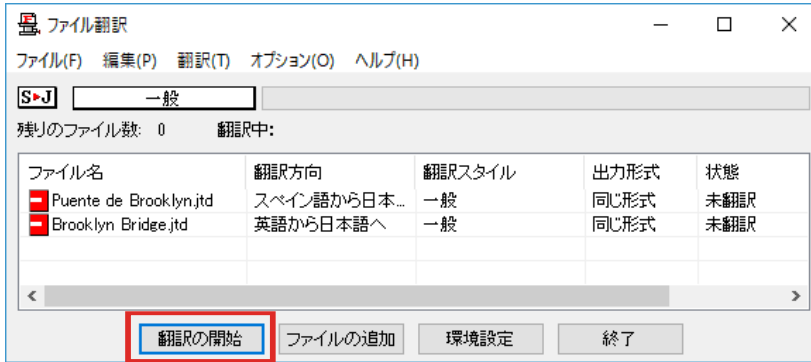
先頭のファイルから翻訳が実行されます。翻訳中は、プログレストラッカーが伸び、[状態]の列に「翻訳中」と表示されます。

一太郎の場合は、一太郎が起動して翻訳が完了すると終了します。起動と終了は一太郎文書の数だけ繰り返されます。



翻訳された訳文ファイルは、初期値では、原文ファイルと同じフォルダに生成されます。

翻訳の実行（一太郎の場合）



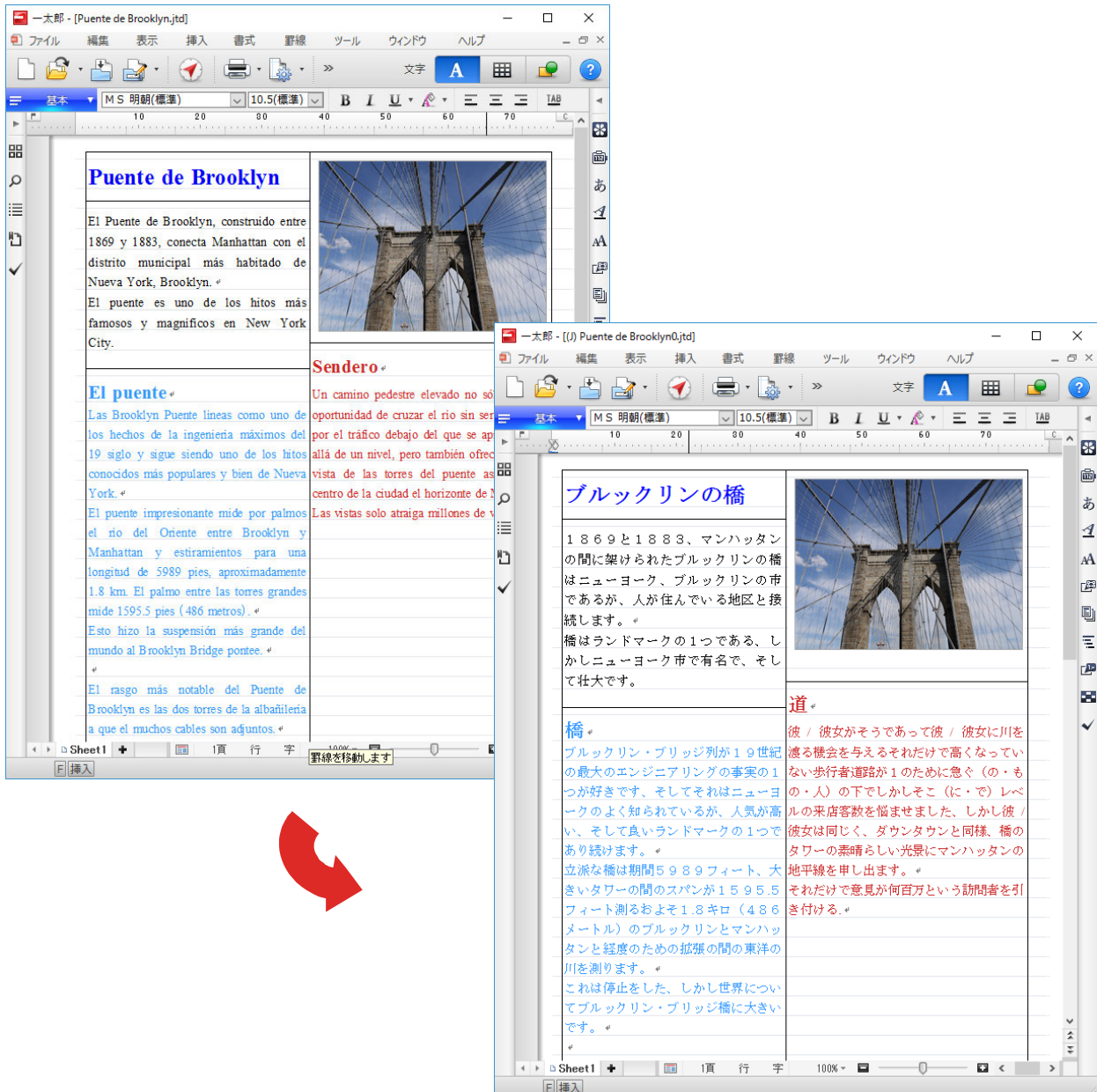
[翻訳の開始]ボタンをクリックします。

一太郎の場合は、一太郎が起動して翻訳が完了すると終了します。起動と終了は一太郎文書の数だけ繰り返されます。

翻訳された訳文ファイルは、初期値では、原文ファイルと同じフォルダに生成されます。

レイアウトを保って翻訳

一太郎文書のファイル翻訳の機能として、レイアウトを保ったまま翻訳が可能です。

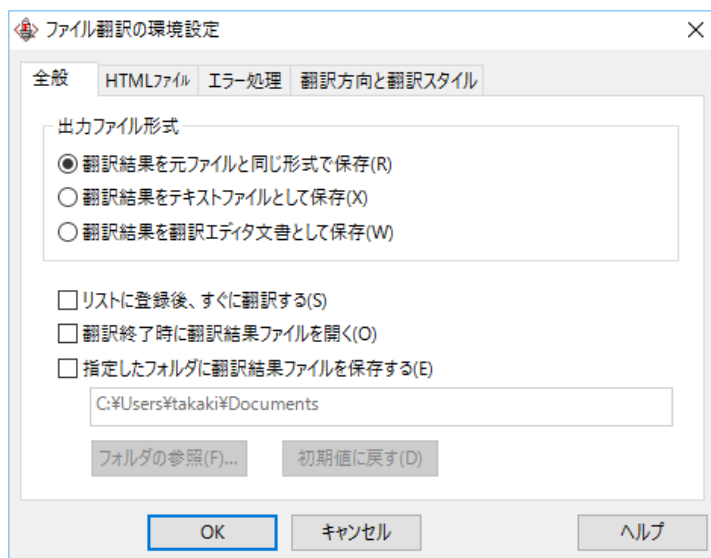


◆ファイル翻訳の環境を設定するには

ファイル翻訳の動作を変更したり、翻訳対象のHTMLファイルを指定したりすることができます。ファイル翻訳の環境設定は、[ファイル翻訳] ウィンドウの [環境設定] ボタンをクリックするか、[オプション] メニューから [ファイル翻訳の環境設定] を選択し、[ファイル翻訳の環境設定] ダイアログを表示されて行います。

◆ファイル翻訳の動作を設定するー [全般] タブ

[ファイル翻訳の環境設定] ダイアログの [全般] タブでは、以下の設定を行い、動作を変更することができます。



[出力ファイル形式]

翻訳ファイルリストに原文ファイルを追加したときに設定される出力形式を選択します。初期値では、このラジオボタンは [翻訳結果を元のファイルと同じ形式で保存] になっています。

[リストに登録後、すぐに翻訳する]

翻訳ファイルリストに原文ファイルを追加すると、すぐに翻訳を開始します。翻訳方向と翻訳スタイルは、[ファイル翻訳] ダイアログの [翻訳方向の選択] ボタンおよび [翻訳スタイルの選択] ボタンで設定されているものが適用されます。初期値では、このチェックボックスはオフになっています。

[翻訳終了時に翻訳結果ファイルを開く]

翻訳が終了すると、翻訳結果のファイル形式に従ってアプリケーションソフトを起動し、翻訳結果を表示します。初期値では、このチェックボックスはオフになっています。

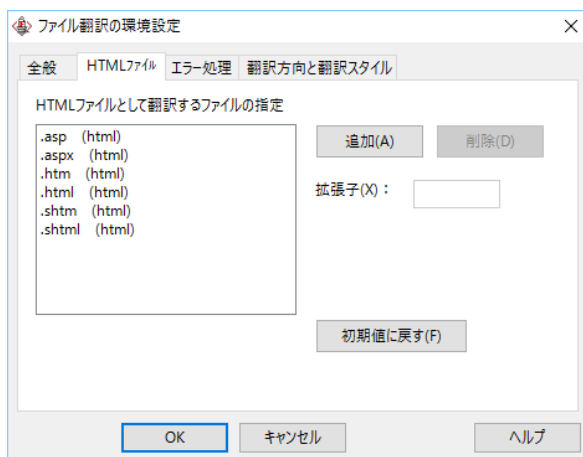
[指定したフォルダに翻訳結果ファイルを保存する]

チェックボックスがオンになっていると、翻訳結果のファイルまたはフォルダが保存先指定ボックスに入力したフォルダに保存されます。オフになっていると、訳文ファイルが原文ファイルと同じフォルダに保存されます。初期値では、このチェックボックスはオフになっています。

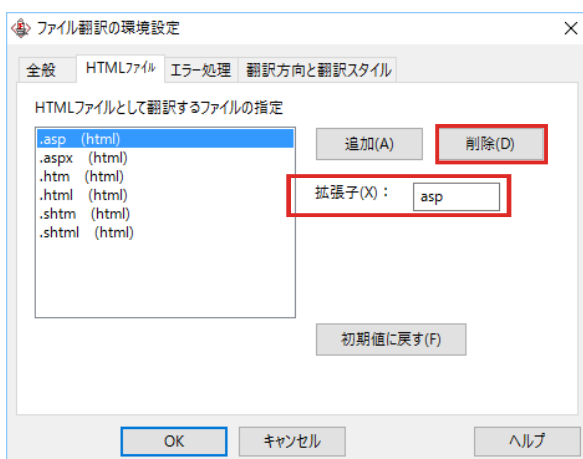
[保存先指定]ボックス	訳文ファイルを保存するフォルダを指定します。
[フォルダの参照]ボタン	クリックすると [フォルダの参照] ダイアログが表示されます。保存したいフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックすると、そのフォルダのディレクトリが [保存先指定] ボックスに入力されます。
[初期値に戻す]ボタン	クリックすると、保存先が Documents に戻ります。

◆ 翻訳対象の HTML ファイルを指定する —[HTML ファイル]タブ

[HTML ファイル] タブでは、ファイル翻訳で HTML ファイルとして識別させたい拡張子の追加登録または削除ができます。ここに登録されている拡張子を基準にファイルを識別し、HTML ファイルと判断した場合、自動的にタブを正しく処理して翻訳します。



拡張子の追加と削除

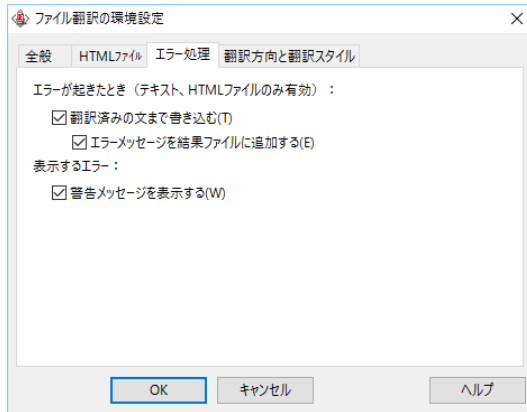


拡張子を追加する場合は、[追加] ボタンをクリックします。[拡張子] 入力ボックスが表示されますので、キーボードから拡張子を入力して登録します。

拡張子を削除する場合は、対象の拡張子を選択してから [削除] ボタンをクリックします。

エラー時の処理方法を変更するには — [エラー処理] タブ.....

[エラー処理]タブでは、翻訳を行っているときに起きたエラーの処理方法を設定します。



[エラーが起きたとき (テキスト、HTMLファイルのみ有効)]

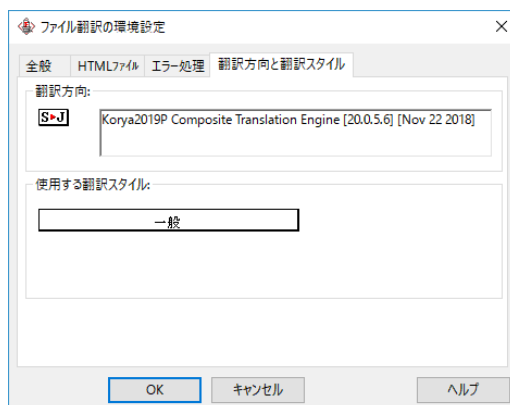
[翻訳済みの文まで書き込む]	エラー発生時以前に翻訳を終了していた文までを保存先のファイルに書き込みます。オフにすると、翻訳済みの文は保存されません。初期値では、このチェックボックスがオンになっています。
[エラーメッセージを結果ファイルに追加する]	エラーの内容を保存先のファイルに書き込みます。このタブは、[翻訳済みの文まで書き込む] チェックボックスがオンになっているときに有効です。この初期値ではこのチェックボックスがオンになっています。

[表示するエラー]

[警告メッセージを表示する]	エラーが発生したときにダイアログを開き、警告メッセージを表示します。初期値では、このチェックボックスがオンになっています。
----------------	---------------------------------------------------------------

翻訳方向と翻訳スタイルを設定するには — [翻訳方向と翻訳スタイル] タブ.....

原文ファイルを追加したとき、デフォルトで適用される翻訳方向と翻訳スタイルを指定します。



[翻訳方向]

デフォルトの翻訳方向が表示されます。クリックするとリストから別の翻訳方向を選択して変更できます。

[使用する翻訳スタイル]

原文ファイルを追加したときにデフォルトで適用される翻訳スタイルが表示されます。クリックするとリストから別の翻訳スタイルを選択して変更できます。

その他ツールを起動

[その他ツールを起動] ボタンには、本製品のいろいろな翻訳アプレットや辞書ツールが用意されています。ここでは、いろいろな翻訳アプレットの概要を紹介します。



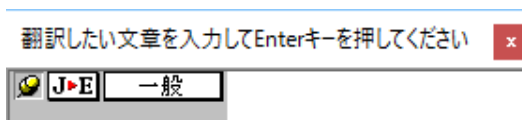
◆タイピング翻訳を行うには

タイピング翻訳は、日本語入力システムでカナ漢字変換するような感覚で、入力した原文を訳文に変換していくシンプルな翻訳アプレットです。メールソフトやワープロソフトなどのアプリケーションとともに使用すると、翻訳した訳文を [Enter] キーひとつで編集中の文書に入力できます。

タイピング翻訳の機能.....

タイピング翻訳の起動方法

操作パネルの [その他ツールの起動] ボタンをクリックして開くメニューから [タイピング翻訳] を選択します。[タイピング翻訳] ウィンドウが表示されます。



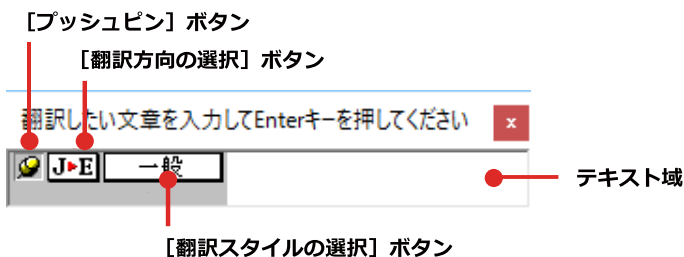
- [タイピング翻訳] ウィンドウ



必要に応じてワープロやメールソフトなど、タイピング翻訳で翻訳した訳文を入力したいアプリケーションを起動しておきます。

[タイピング翻訳]ウィンドウ各部の名称と機能

[タイピング翻訳]ウィンドウには、左側のボタン表示部と右側のテキスト域があります。



[プッシュピン]ボタン

タイピング翻訳を常に表示するかしないかの表示モードを切り替えます。ボタンをクリックするたびに、この2つの状態が切り替わります。



：固定位置表示



：浮動表示

J-E 【翻訳方向の選択】 ボタン

現在選択されている翻訳方向が表示されます。変更するときはクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳方向を選択します。

一般 【翻訳スタイルの選択】 ボタン

現在選択されている翻訳スタイルが表示されます。変更するときはクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳スタイルを選択します。

テキスト域

原文を入力します。原文は青で表示されます。入力後、[Enter] キーを押すと翻訳が行われ、原文が訳文に入れ替わり、確認翻訳の結果が下に表示されます。また、このテキスト域で訳文を編集することもできます。

タイピング翻訳メニュー

タイピング翻訳コマンドメニューは、以下のいずれかの方法で表示されます。

- [タイピング翻訳] ウィンドウのタイトルバーの上で、マウスの右ボタンをクリックします。
- タスクトレイのタイピング翻訳アイコンを右ボタンでクリックします。

**T** タイピング翻訳アイコン

Windowsのタスクトレイに表示されます。クリックするとタイピング翻訳ウィンドウが、Windowsの最前面に表示されます。また、右クリックすると、タイピング翻訳メニューが表示されます。(上右図)

タイピング翻訳ウィンドウの表示モード

タイピング翻訳には、固定位置表示と浮動表示の2通りの表示モードがあります。作業の形態に合わせて、使いやすいモードを選択してください。


固定位置表示

常にウィンドウが画面上の一定の位置に表示されます。他のアプリケーションと重なる場合は、常にその前面に表示されます。表示する位置は自由に変更できます。翻訳結果を [Enter] キーでアプリケーションの文書に入力した後も、ウィンドウはアクティブなままになるので、すぐに別の原文を入力できます。タイピング翻訳で翻訳しながらアプリケーションに訳文を入力していくような場合に便利です。


浮動表示

[タイピング翻訳] ウィンドウが通常は非表示となり、ホットキーを押す、またはタスクトレイの「タイピング翻訳」アイコンをクリックしたときに表示されます。[Enter] キーで翻訳結果をアプリケーションの文書に入力した後は、自動的に非表示に戻ります。

タイピング翻訳を終了するには

タイピング翻訳を終了するには、タイトルバーの  をクリックします。またはタイピング翻訳メニュー（タイトルバー上で右クリック）から [閉じる] コマンドを選択します。[タイピング翻訳] ウィンドウおよびタスクトレイのアイコンが消え、プログラムが終了します。

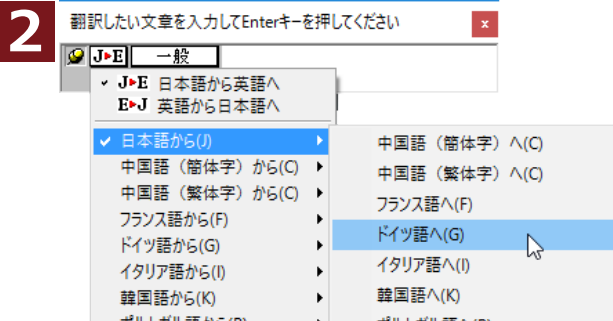
タイピング翻訳を常駐させるには

タイピング翻訳を常に使う場合、常駐させておくことができます。常駐させると、タイトルバーの  をクリックしてウィンドウを閉じても、タスクトレイにタイピング翻訳のアイコンが残ります。これをクリックするといつでもタイピング翻訳を起動できます。常駐させるときは、タイピング翻訳メニュー（タイトルバー上で右クリック）から [常駐する] コマンドを選択してチェックマークをつけます。常駐を解除するときはチェックマークを外します。

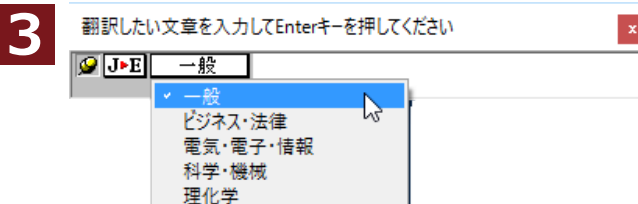
翻訳を実行するには.....

タイピング翻訳では [Enter] キーを押すだけで、テキスト域に入力した文書を翻訳できます。翻訳後は、別訳語への置き換えや、訳文の手直しができます。タイピング翻訳のテキスト域に、キーボードから原文を入力しながら翻訳できます。訳文は、同時に開かれていたワープロやメールソフトなどの文書に、[Enter] キーで入力できます。

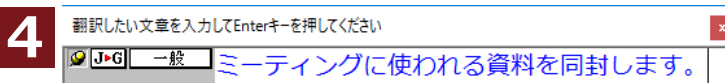
1 あらかじめ、ワープロやメールソフトなど、テキストを扱えるアプリケーションソフトを起動し、文書を開いておきます。



タイピング翻訳を起動します。[翻訳方向の選択] ボタンに使用したい翻訳方向が表示されているか確認します。変更するときは、[翻訳方向の選択] ボタンをクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳方向を選びます。



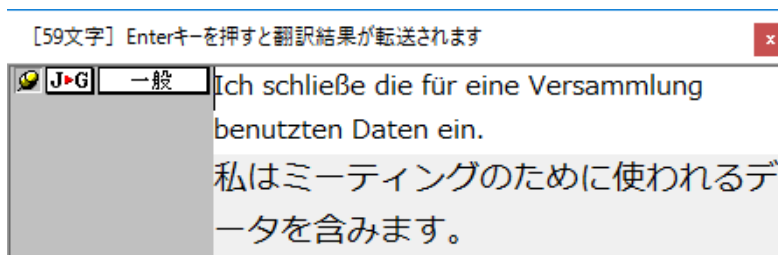
[翻訳スタイルの選択] ボタンに使用したい翻訳スタイルが表示されているか確認します。変更するときは [翻訳スタイルの選択] ボタンをクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳スタイルを選びます。



キーボードから原文を入力します。原文が青で表示されます。

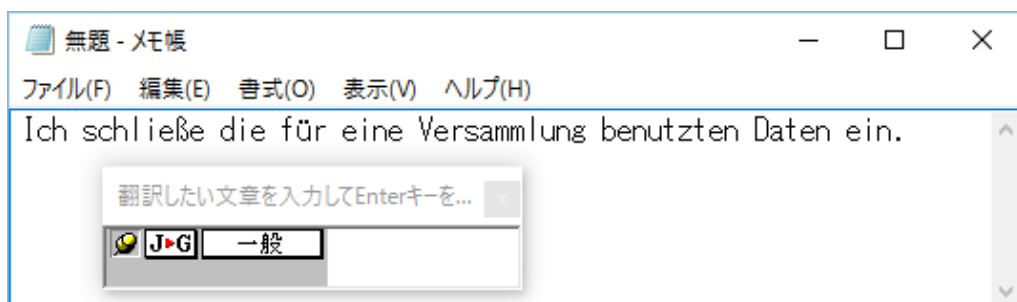
ヒント 原文の入力を最初からやり直したい場合は、[Esc] キーを押して、入力テキストをクリアします。

5 [Enter] キーを押します。原文が翻訳され、訳文に入れ替わり、確認翻訳の結果が下に表示されます。同時に訳文の文字数がタイトルに表示されます。Twitter などの文字数制限のある場合の入力時に参考にしてください。



この時点で必要に応じて訳文を編集することができます。

6 もう一度 [Enter] キーを押します。訳文がアプリケーションソフトのカーソル位置に入力され、[タイピング翻訳] ウィンドウのテキスト域はクリアされます。

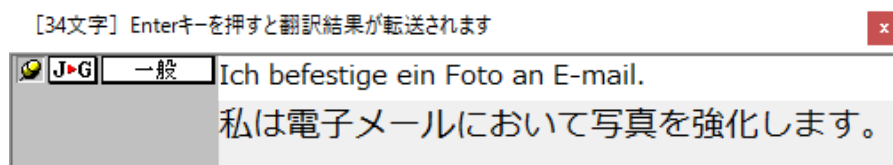


ヒント 固定位置表示モードになっている場合は、[タイピング翻訳] ウィンドウがアクティブなままになり、テキスト域にカーソルが表示され続けます。そのまま続けて、別の翻訳を行うことができます。浮動表示モードになっている場合は、[タイピング翻訳] ウィンドウは見えなくなります。

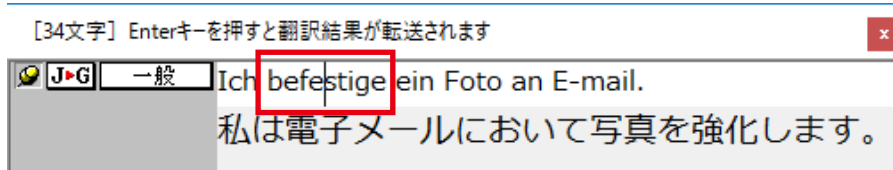
テキスト域の訳文を編集するには.....

翻訳後、別訳語への置き換えを行って、訳文を改良することができます。

- 1** この時点で必要に応じて訳文を編集することができます。

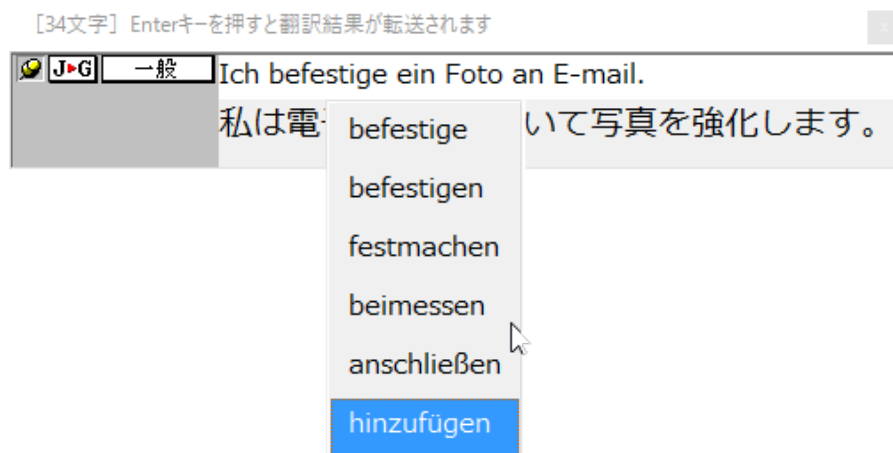


- 2** 別訳語に置き換えたい単語に caret を立てます。



- 3** caret が立っている状態で、Ctrlキーを押したまま上矢印キーまたは下矢印キーを押すと、別訳語のリストが表示されます。選択された単語の、別訳語のリストが表示されます。

- 4** リストの中に使用したい訳語があるときは、さらに上または下矢印キーを押して、その訳語を選択し、[Enter] キーを押します。



翻訳結果のテキストの該当部分が別訳語に置き換わります。



翻訳結果テキストは、手作業で自由に編集することができます。ただし、いったん手作業で修正を加えると、そのテキスト内での矢印キーによる語句の選択、別訳語の表示・選択はできなくなります。

◆音声翻訳を行うには

音声入力から翻訳して再生までを行う音声入力翻訳再生機能です。

注意！

- 事前にWindowsコントロールパネルにある音声認識の設定や言語パックのインストールが必要となります。また、OSによって利用できる言語の条件やインストール方法に違いがあります。対応するOSは、Windows10/8.1となります。
- ご使用のパソコンに入力装置がない場合は、別途入力装置が必要です。

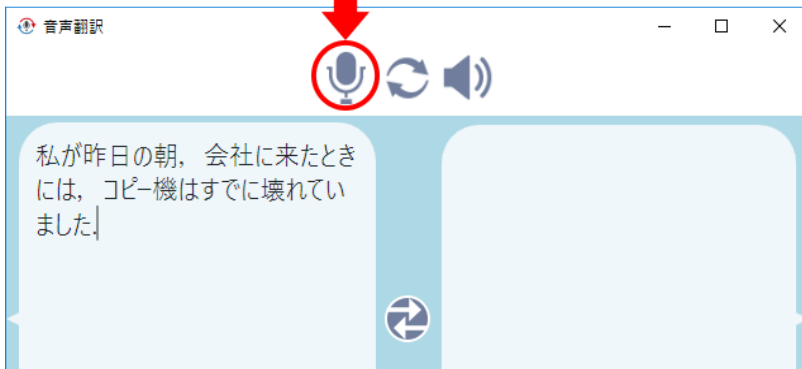
1



操作パネルの[その他ツールを起動]をクリックし、音声翻訳を選択します。

2

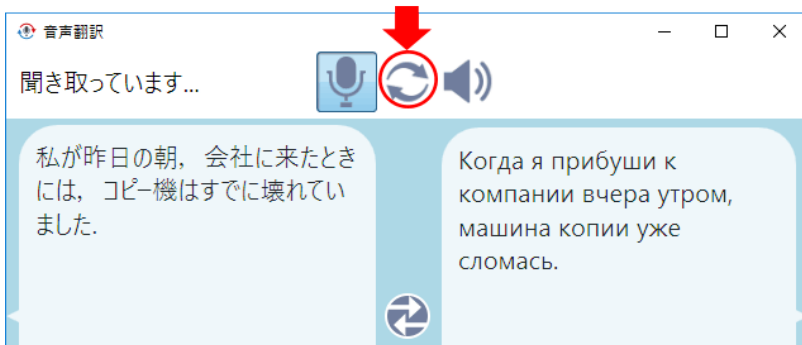
1.ここをクリック



音声翻訳画面がでできます。
マイクボタンをクリックします。
翻訳する原文を音声入力します。

3

2.ここをクリック



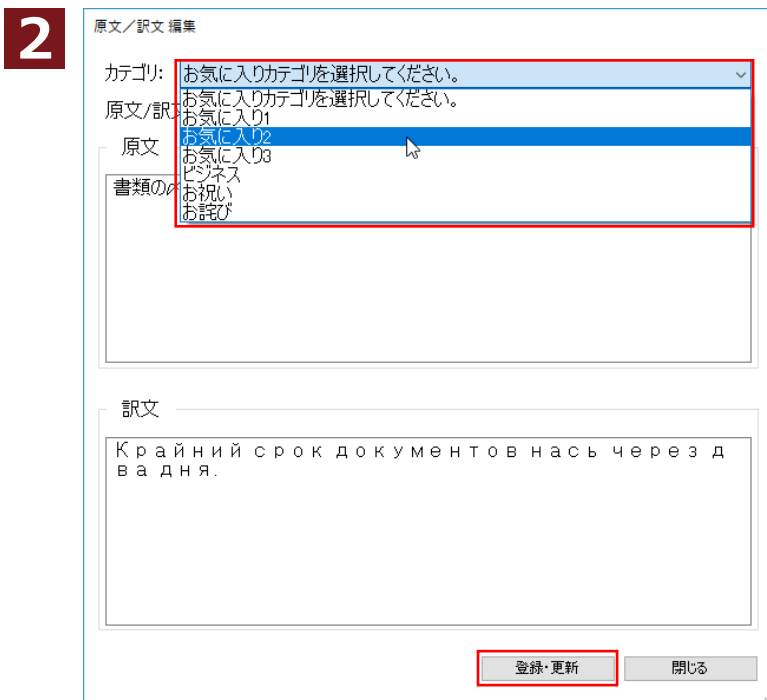
真ん中のボタンをクリックすると翻訳結果を自動で読み上げます。

◆お気に入り登録を行うには

音声翻訳した内容をお気に入りに登録します。

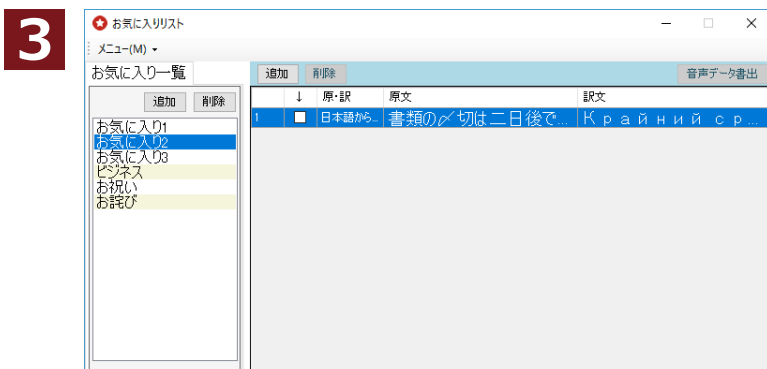


音声翻訳実行後、お気に入りに登録ボタンをクリックします。



登録先のカテゴリをプルダウンメニューから選択します。

登録・更新ボタンをクリックします。



登録が完了します。

登録した内容を編集する場合は、該当項目をダブルクリックすることで[原文/訳文 編集]画面が表示されます。

編集後、登録・更新ボタンをクリックして編集を完了します。

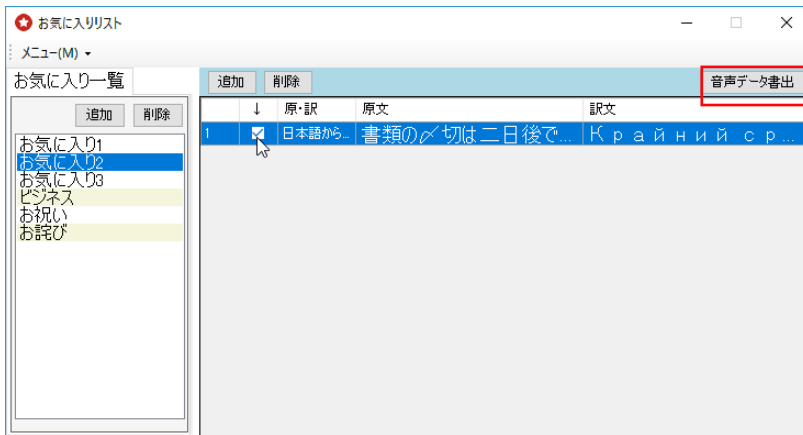
◆音声データ書き出し

お気に入りに登録した内容の音声データを書き出します。
音声再生については、製品の言語に対応しております。

注意！

- 繁体字中国語の音声データ書き出しは、Windows 10のみに対応しております。対応するOSは、Windows 10/8.1となります。
- 事前にWindowsコントロールパネルにある音声認識の設定や各言語パックのインストールが必要となります。また、OSによって利用できる言語の条件やインストール方法に違いがあります。

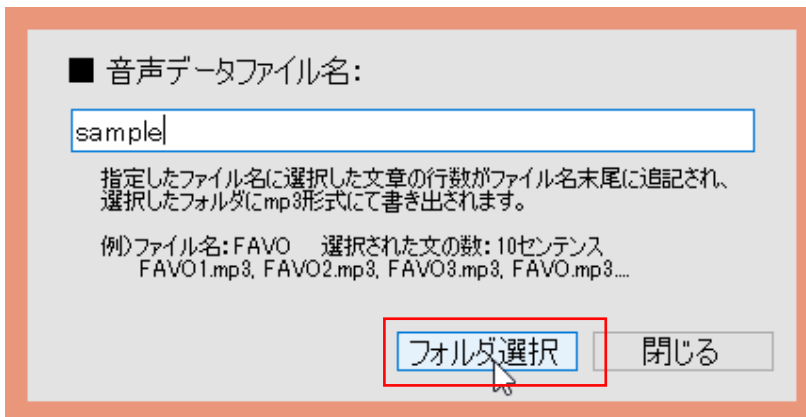
1



音声データの書き出しを行いたい文章の左側にあるチェックボックスにチェックを入れます。

音声データ書出 ボタンをクリックします。

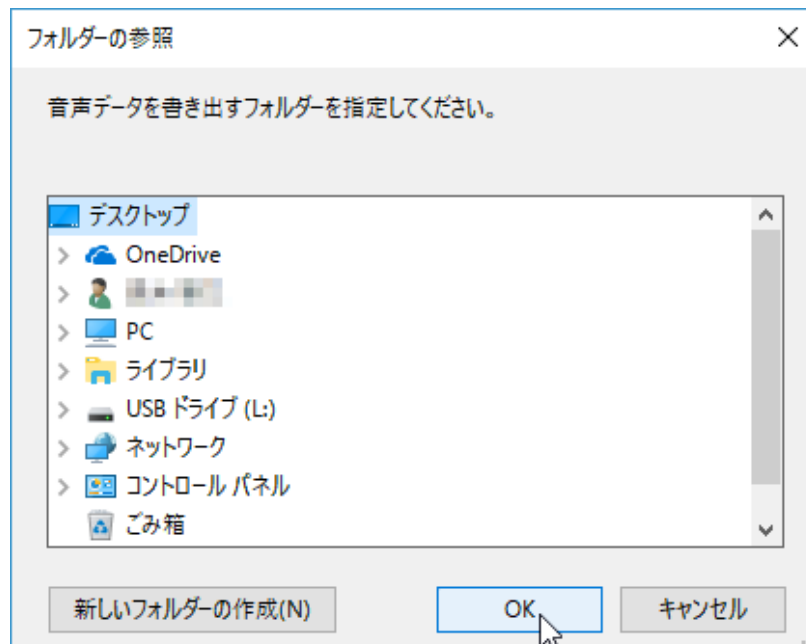
2



ファイル名を指定してフォルダ選択ボタンをクリックします。

※指定されたファイル名に、選択した行数 + 拡張子 (.mp3) の形式で書き出されます。

3



保存先の指定ダイアログが表示されます。任意のフォルダを選択してOKボタンをクリックします。

選択したフォルダに音声データが保存されます。

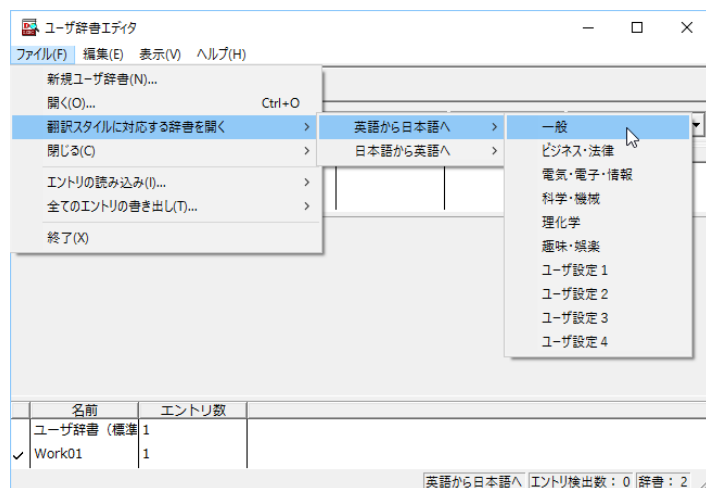
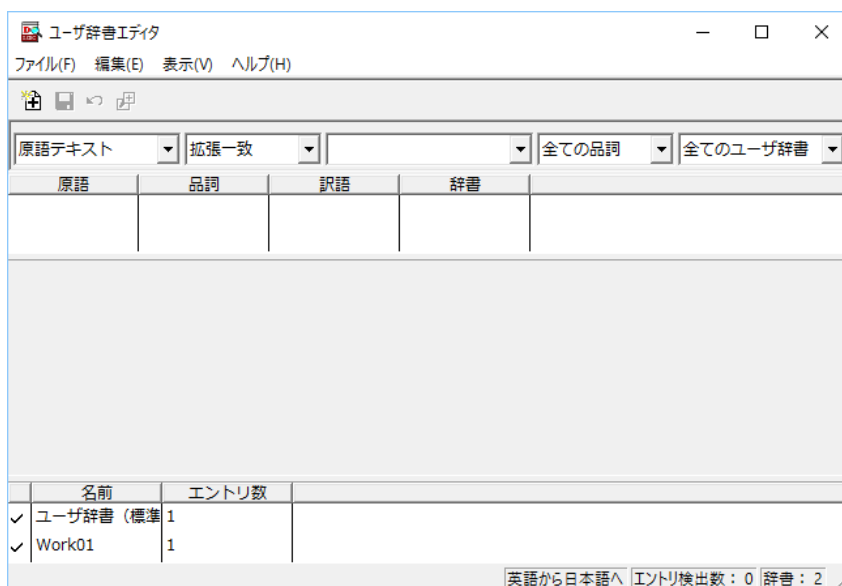
◆ユーザ辞書エディタを使うには（英日・日英翻訳専用）

ユーザ辞書はお使いになる方が独自に語句を登録し、地名や人名など辞書にはない独特な語句を翻訳するときなどに活用します。このユーザ辞書に登録された語句などの編集を行うアプレットが「ユーザ辞書エディタ」です。ここではユーザ辞書エディタの概要を紹介します。

ユーザ辞書エディタを起動するには.....

1 [その他ツールの起動]をクリックし、表示されるメニューから[ユーザ辞書エディタ]を選択します。ユーザ辞書エディタが起動し、次のウィンドウが開きます。

2 「ユーザ辞書(標準)」が開きます。



最初にユーザ辞書エディタを起動したときは、[英語から日本語へ]が選択されています。[ファイル]メニューから[翻訳スタイルに対応する辞書を開く]を選択し、翻訳方向と翻訳スタイルを指定します（この例では[英語から日本語へ]の「一般」）。



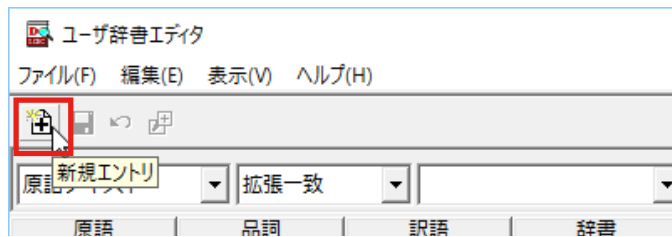
ユーザ辞書は複数作成でき、用途に合わせて使い分けことができます。使用するユーザ辞書は、翻訳スタイルを編集するときに指定できます。実際の翻訳作業では、翻訳スタイルを選択することで使用するユーザ辞書を使い分けます。

「翻訳スタイルに対応する辞書を開く」というのは、英日または日英の翻訳スタイルに登録(ロード)されているユーザ辞書のことです。複数のユーザ辞書をロードしているときは、すべてのユーザ辞書を対象にします。ここでは、翻訳スタイル「一般」にあらかじめ用意されている「ユーザ辞書(標準)」だけがロードされているものとして説明しています。

語句を登録するには.....

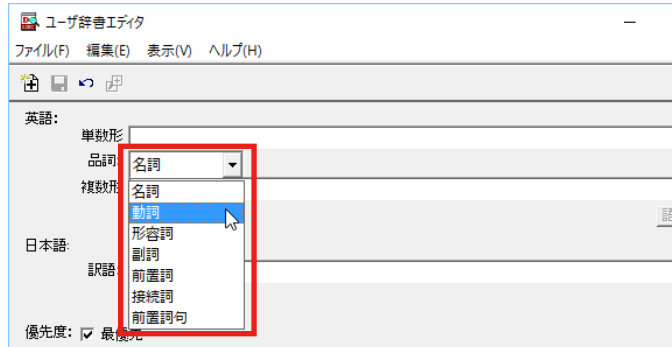
ユーザ辞書エディタで語句を登録するときは、以下の手順で行います。

1



[新規エントリー]ボタンをクリックします。
登録画面(詳細表示)に変わります。

2



これは名詞の語句を登録するための画面です。
登録する語句の品質によって画面が異なります。
たとえば、[品詞]のプルダウンリストから[動詞]を選択します。

動詞の登録画面になります。

3



例として、英語の語句「live」を他動詞で日本語訳を「～の生活をする」として登録する場合は、文型を「他動詞」にし、活用形や日本語訳を図のように入力、設定します。



[不定詞形]を入力し、[語尾変化]ボタンをクリックすると、活用形が表示されません。必要に応じて修正します。

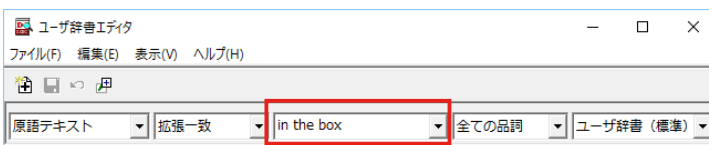
設定できたら、[エントリー保存]ボタン(📁)をクリックします。

画面が戻ります。登録した語句がリストに表示されます。終了するときは、[ファイル]メニューから[終了]を選択するか、右上のクローズボックスをクリックします。

語句を編集するには.....

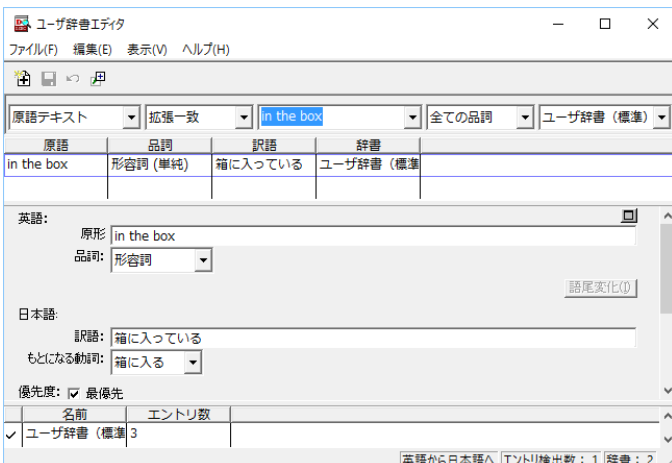
ユーザ辞書に登録した語句はユーザ辞書エディタで編集することができます。ユーザ辞書エディタで編集する語句を検索し、目的の語句を呼び出して編集します。

1



検索フィールドの見出し語入力ボックスに編集する語句を入力します。

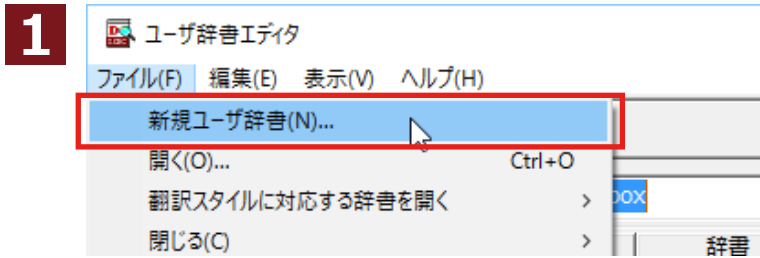
2



見出し語が入力されると、検索され、結果がリストに表示されます。必要な編集作業を行い、[エントリー保存]ボタンをクリックして保存し直します。

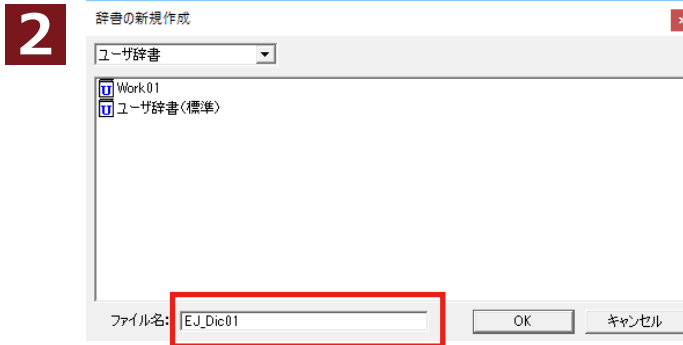
新規にユーザ辞書を作成するには.....

ユーザ辞書エディタから新規にユーザ辞書を作成することもできます。

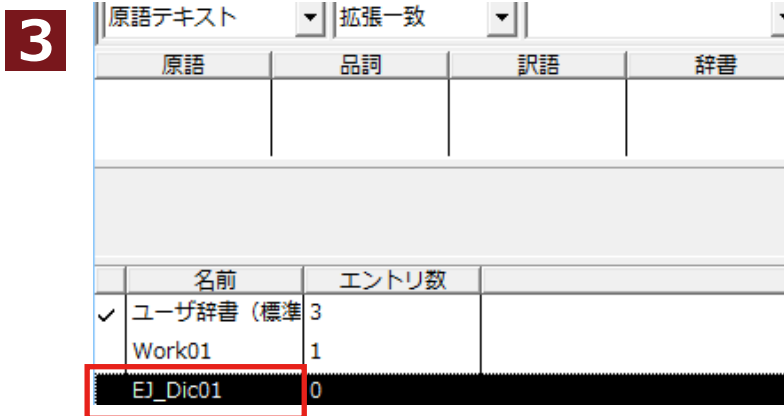


[ファイル]メニューから[新規ユーザ辞書]を選択します。

[辞書の新規作成]ダイアログが開きます。



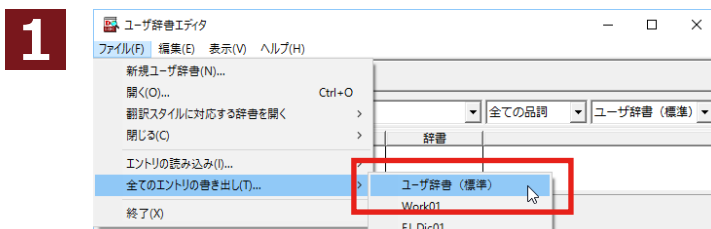
任意のファイル名を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



ユーザ辞書エディタに戻ります。作成したユーザ辞書はオープンされた状態になっています。これで新規にユーザ辞書を作成できます。

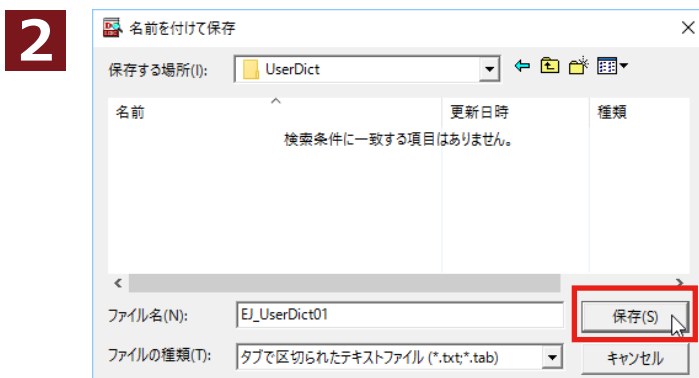
登録した語句を書き出すには.....

ユーザ辞書に登録した語句やその情報は、テキストファイルに書き出すことができます。テキストファイルに書き出すと、ワープロソフトや表計算ソフトで語句を管理・編集することができます。また、他のユーザ辞書にテキストファイルを読み込んで語句を一括して登録することができます。



[ファイル]メニューから[全てのエントリの書き出し]を選択し、対象のユーザ辞書(この例では「ユーザ辞書(標準)」)を選択します。

[名前を付けて保存]ダイアログボックスが開きます。

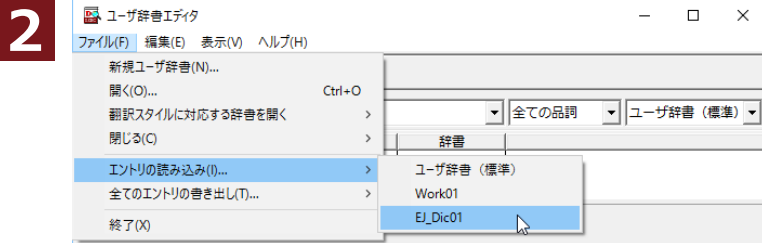


保存先のフォルダに移動し、任意にファイル名を入力して[保存]ボタンをクリックします。

テキストファイルの語句を読み込むには.....

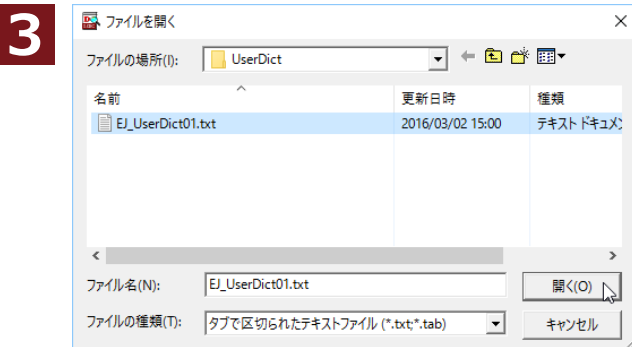
「登録した語句を書き出すには」で書き出したテキストファイルを別のユーザ辞書を読み込むことができます。これで一括して語句を登録することができます。

1 読み込むユーザ辞書を開いておきます。



[ファイル] メニューから [エントリの読み込み] を選択し、読み込み先のユーザ辞書を選択します。

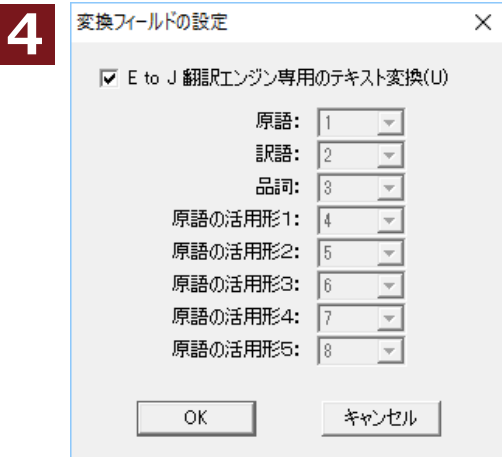
[ファイルを開く] ダイアログボックスが開きます。



ユーザ辞書形式のテキストファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

[変換フィールドの設定] ダイアログボックスが表示されます。

ヒント ユーザ辞書から書き出したテキストファイルは1つのエントリが1行にまとめられ、項目間はタブ記号で区切られます。項目には順番があります。順番が異なると不正な内容が登録されてしまいます。[変換フィールドの設定] ダイアログボックスは項目の順番を調整するためにあります。通常は、このまま [OK] ボタンをクリックしてかまいません。



ここでは、このまま [OK] ボタンをクリックします。これでテキストファイルを読み込むことができます。

☞ 変換フィールドの設定の詳細は、オンラインヘルプをご覧ください。

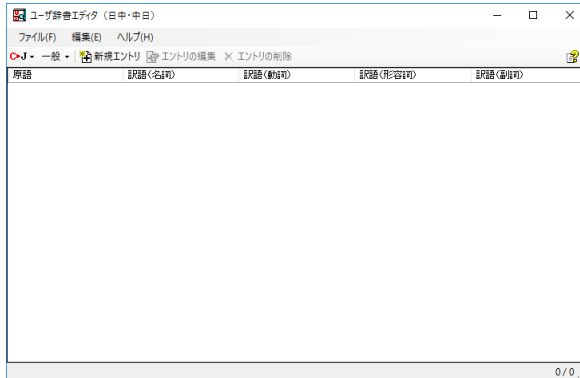
◆ユーザ辞書エディタ (日中・中日) を使うには

ユーザ辞書エディタ (日中・中日) では、日中・中日翻訳エンジン用のユーザ辞書を編集できます。

ヒント 日翻訳スタイルごとに別々のユーザ辞書が利用可能です。

ユーザ辞書エディタ (日中・中日) を起動するには.....

- 1 [その他ツールを起動] ボタンをクリックし、表示されるプルダウンメニューから [ユーザ辞書エディタ (日中・中日)] を選択します。ユーザ辞書エディタが起動し、次のウィンドウが開きます。



ユーザ辞書エディタが起動し、左のウィンドウが開きます。

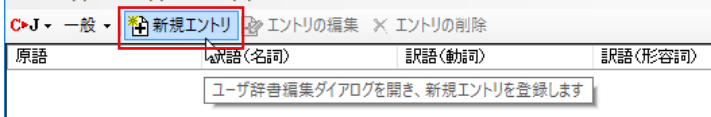
語句を登録するには.....

ユーザ辞書に語句を登録するときは、以下の手順で行います。

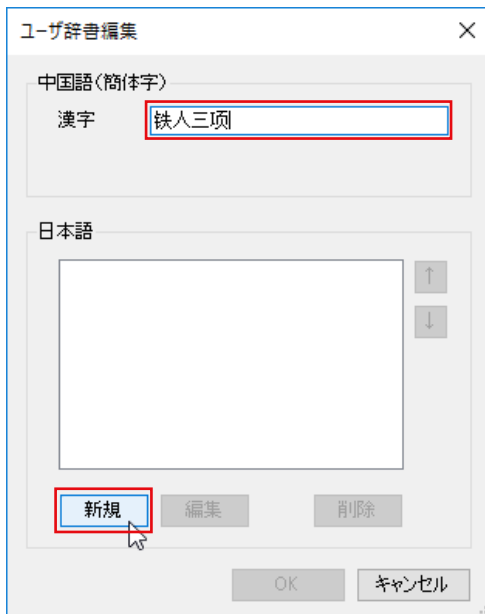
- 1 [翻訳方向の選択] ボタンをクリックし、翻訳方向を選択します。この例では、[中国語 (簡体字) から日本語へ] を選択します。

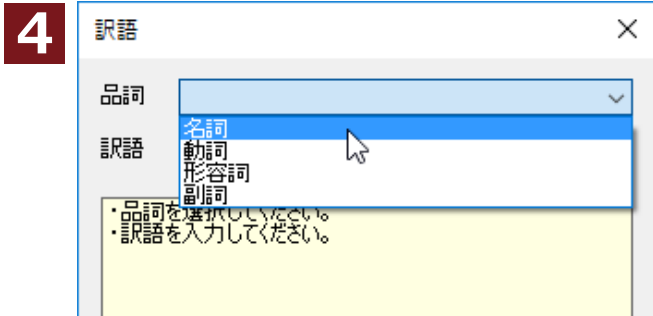


- 2 [新規エントリ] ボタンをクリックします。
[ユーザ辞書編集] ダイアログが開きます。

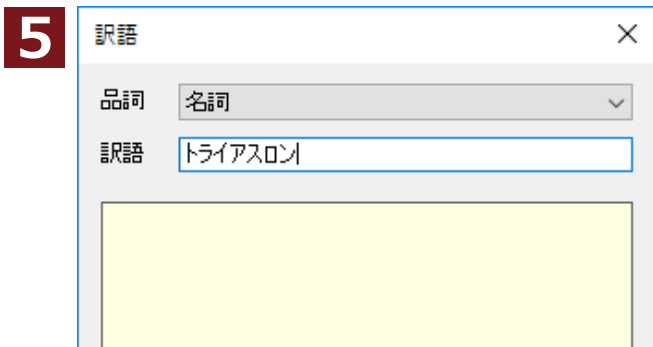


- 3 [漢字] ボックスに中国語の名詞「鉄人三项」を入力し、[新規] ボタンをクリックします。
[訳語] ウィンドウが表示されます。



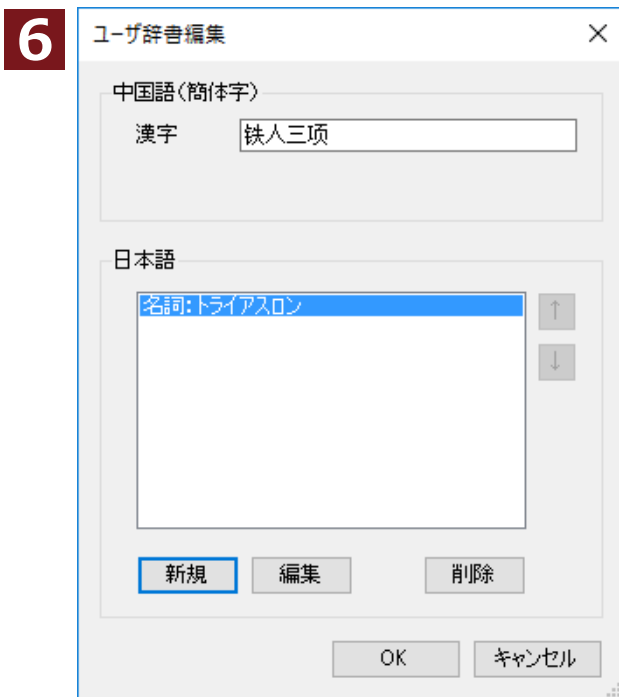


[品詞]をクリックして、表示されるメニューから品詞を選択します。



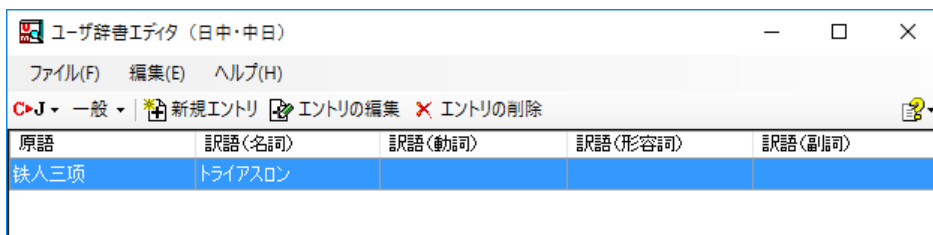
訳語ボックスに【トリアスロン】と入力し、【OK】ボタンをクリックします。

【トリアスロン】が「鉄人三项」の訳語の1つとして登録されます。



「鉄人三项」に対して、さらに別の訳語を登録したい場合は、手順 4～6 の操作を繰り返します。訳語の入力が終わったら、【OK】ボタンをクリックします。

[ユーザ辞書編集]ダイアログが閉じ、語句が登録され、[ユーザ辞書エディタ(日中・中日)]ウィンドウに一覧表示されます。



- ・ [エントリ編集]ボタンで、登録した語句を編集することができます。
- ・ [エントリの削除]ボタンで、登録した語句を削除することができます。

◆ユーザ辞書エディタ (マルチリンガル) を使うには

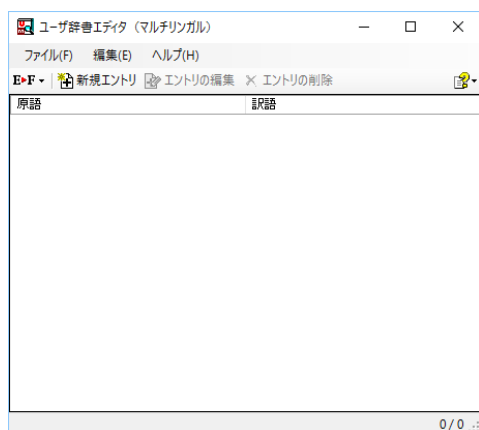
ここでは、10カ国語版のユーザ辞書エディタの概要を紹介します。なお、10カ国語版で使用できるユーザ辞書は、英語→フランス語、英語→ドイツ語、英語→イタリア語、英語→ポルトガル語、英語→スペイン語、英語→ロシア語、日本語→韓国語、フランス語→英語、ドイツ語→英語、イタリア語→英語、ポルトガル語→英語、スペイン語→英語、ロシア語→英語、韓国語→日本語の各翻訳方向1つずつです。



日本語→中国語、中国語→日本語のユーザ辞書は、ユーザ辞書エディタ(日中・中日)を利用します。マルチリンガルの場合、使用できるユーザ辞書は1つだけで、名詞だけを登録することができます。

ユーザ辞書エディタ (マルチリンガル) を起動するには.....

- 1 [その他ツールの起動] ボタンをクリックし、表示されるプルダウンメニューから [ユーザ辞書エディタ (マルチリンガル)] を選択します。

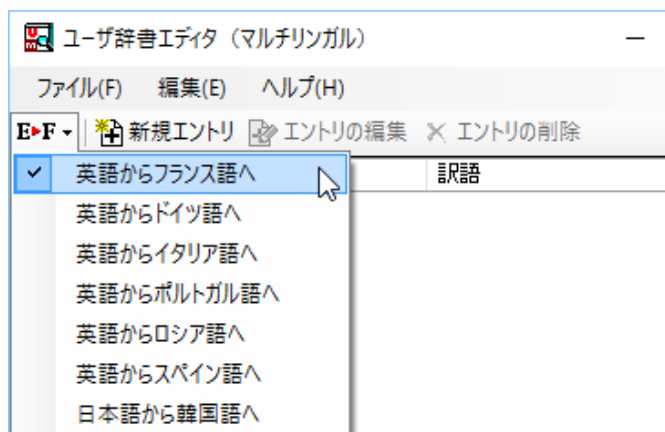


ユーザ辞書エディタが起動し、左のウィンドウが開きます。

ユーザ辞書エディタ (マルチリンガル) を起動するには.....

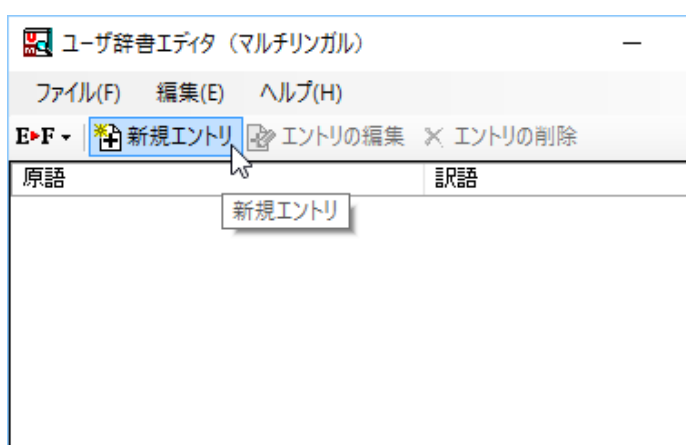
ユーザ辞書に語句を登録するときは、以下の手順で行います。ここでは、英語→フランス語で登録する例を紹介します。

- 1 [翻訳方向の選択] ボタンをクリックし、翻訳方向を選択します。この例では、英語→フランス語で説明します。



[翻訳方向の選択] ボタンをクリックし、翻訳方向を選択します。この例では、英語→フランス語で説明します。

- 2 [新規エントリ] ボタンをクリックします。 [ユーザ辞書編集] ダイアログが開きます。



[新規エントリ] ボタンをクリックします。 [ユーザ辞書編集] ダイアログが開きます。

3

[原語] ボックスに英語の固有名詞「Brown」を入力し、[活用パターン]で「単数のみ」を選択します。

4

[フランス語] (訳語) ボックスに、訳語を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

[ユーザ辞書編集]ダイアログが閉じ、語句が登録され、[ユーザ辞書エディタ(マルチリンガル)]ウィンドウに一覧表示されます。

原語	訳語
brown	Brun

注意!

翻訳エンジンの制限により、登録する原語の大・小文字を変換いたします。

- ドイツ語から英語へ
⇒先頭文字だけを大文字、先頭文字以外はすべて小文字にします。
- 英語からスペイン語へ
⇒変換しません。
- その他 (英語からフランス語、英語からドイツ語、英語からイタリア語、英語からポルトガル語、フランス語から英語、イタリア語から英語、ポルトガル語から英語、スペイン語から英語)
⇒すべて小文字に変換します。

ヒント

- ・ [エントリ編集]ボタンで、登録した語句を編集することができます。
- ・ [エントリの削除]ボタンで、登録した語句を削除することができます。

◆辞書ビューワで辞書引きするには

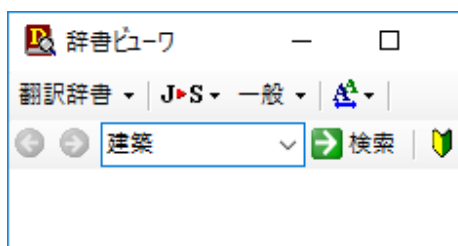
[その他ツールを起動]ボタンのリストから[辞書ビューワ]を選択すると、[辞書ビューワ]ウィンドウが開きます。辞書ビューワでは、英日・日英翻訳で、次のいずれかの辞書で辞書引きすることができます。その他の翻訳方向では、翻訳辞書で辞書引きすることができます。

- 研究社 新英和・和英中辞典
- クイック辞書
- 翻訳辞書

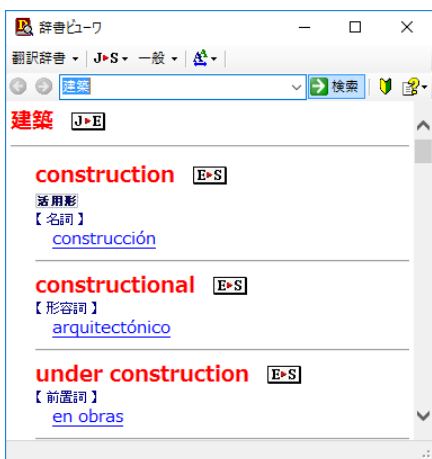
基本的な辞書引き

- 1 [その他ツールを起動]ボタンをクリックして表示されるメニューから「辞書ビューワ」を選択します。
[辞書ビューワ]ウィンドウが開きます。

- 2 ツールバーの入力フィールドに辞書引きする語句を入力し、[検索]ボタンをクリックします。

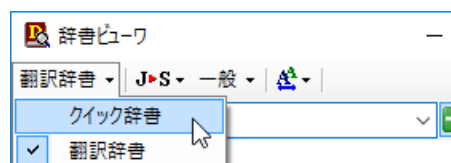


- 3 辞書引き結果が表示されます。この例では、研究社 新英和・和英中辞典で辞書引きが行われました。

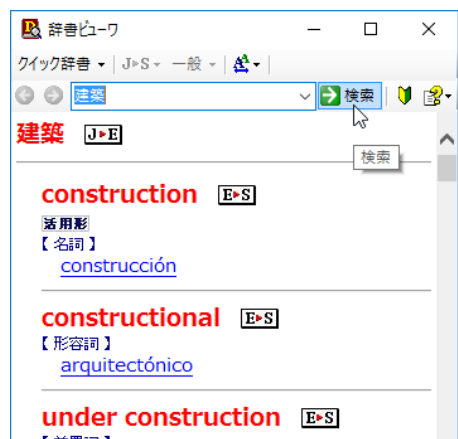


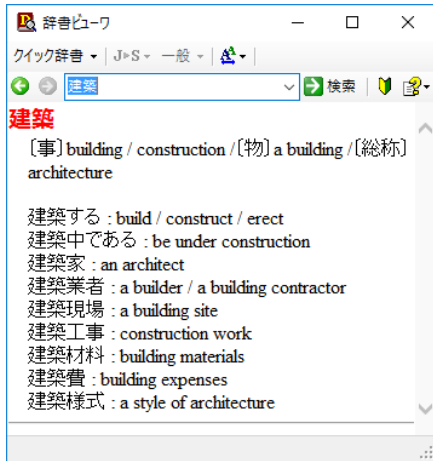
辞書の変更

- 4 今度は、別の辞書で辞書引きします。辞書のリストから「クイック辞書」を選択します。



- 5 [検索]ボタンをクリックします。





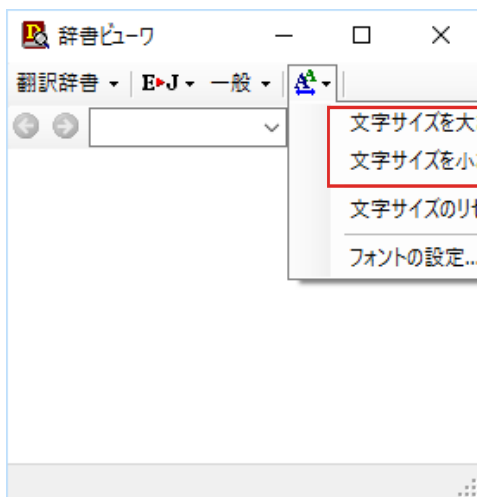
クイック辞書による辞書引き結果が表示されます。



- ・[戻る]ボタンをクリックすると、1つ前の辞書引き結果に戻ることができます。[進む]ボタンで1つ後の辞書引き結果に進むことができます。
- ・[クイック辞書]を選択した場合は、より高速な辞書引きが可能な専用の辞書から辞書引きすることができます。語句によっては、英語の発音記号を確認することもできます。

表示フォントを変更する.....

[フォント設定]ボタンをクリックするとメニューが表示され、文字サイズやフォントを変更することができます。



文字サイズを一段階変更します。

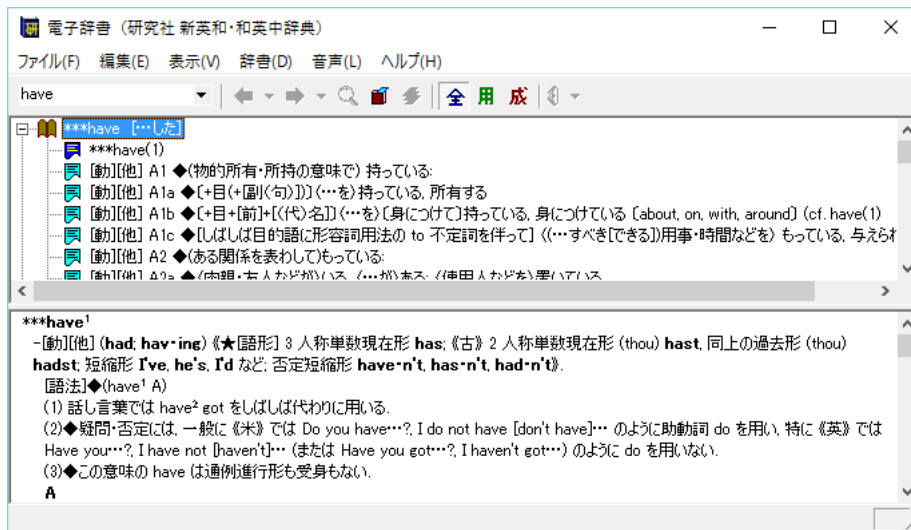
文字サイズをデフォルトに戻します。

言語別にフォントと文字サイズを設定します。

☞ その他の機能については、オンラインヘルプをご覧ください。

◆電子辞書（研究社 新英和・和英中辞典）

電子辞書（研究社 新英和・和英中辞典）を起動します。



◆LogoVista電子辞典

LogoVista 電子辞典ブラウザを起動します。

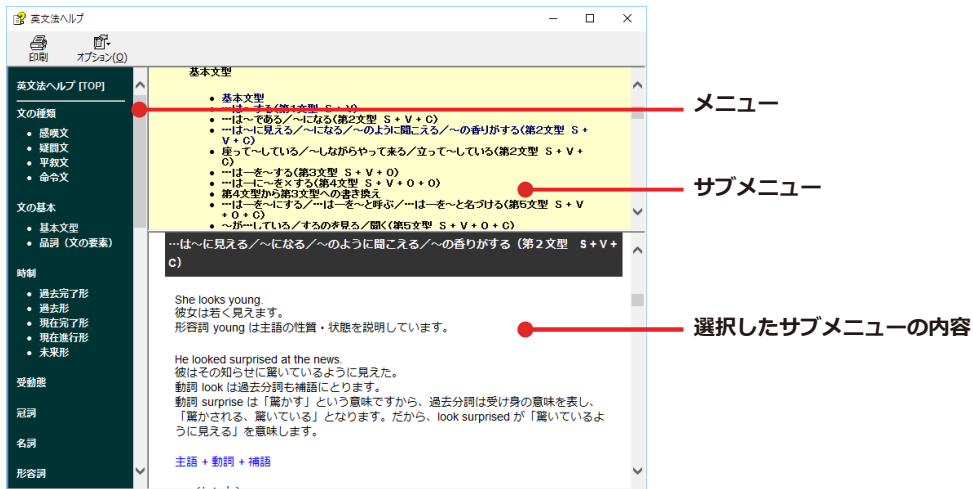


※画面は、別売の、大修館「ジーニアス英和（第5版）・和英（第3版）辞典」をインストールした LogoVista 電子辞典ブラウザです。

◆英文法ヘルプを参照するには

英文法ヘルプでは、英文法の基本がまとめられています。ちょっとした疑問を解決したいときにお使いください。

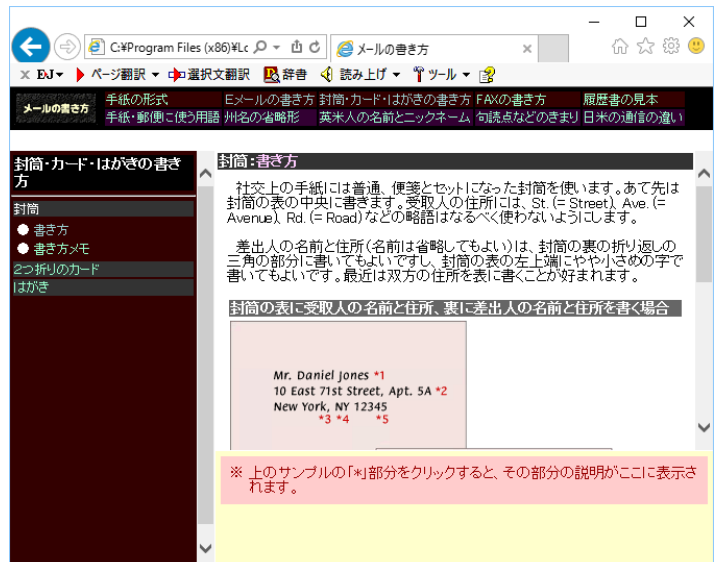
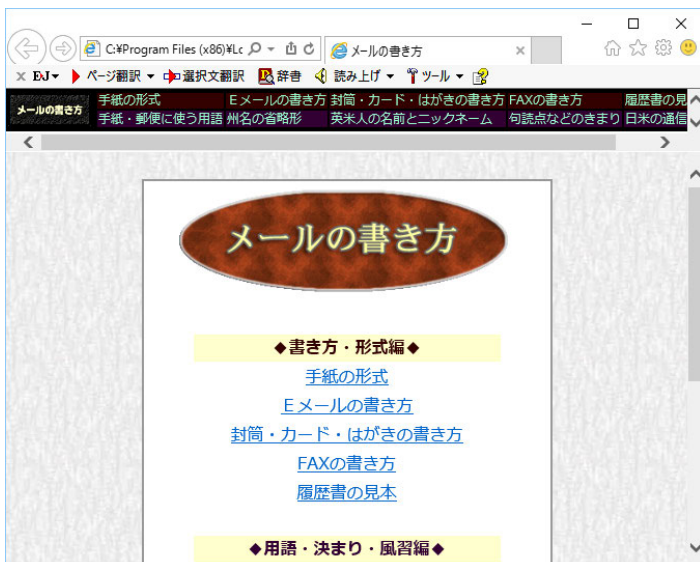
- 1 [その他ツールを起動]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[英文法ヘルプ]を選択します。英文法ヘルプが表示されます。
- 2 左側のメニューから、読みたいタイトルをクリックし、上のフレームに表示されたサブメニューからサブタイトルをクリックします。選択した内容が、下のフレームに表示されます。



◆メールの書き方を参照するには

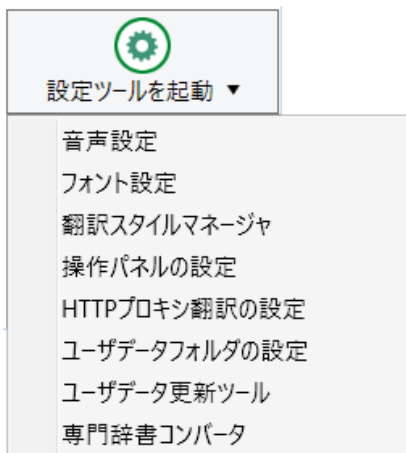
メールの書き方には、いろいろな手紙の作成基準がまとめられています。英文メールを作成する際の参考にお使いください。

- 1 [その他ツールを起動]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[メールの書き方]を選択します。メールの書き方が表示されます。
- 2 参照したい項目をクリックして表示させます。



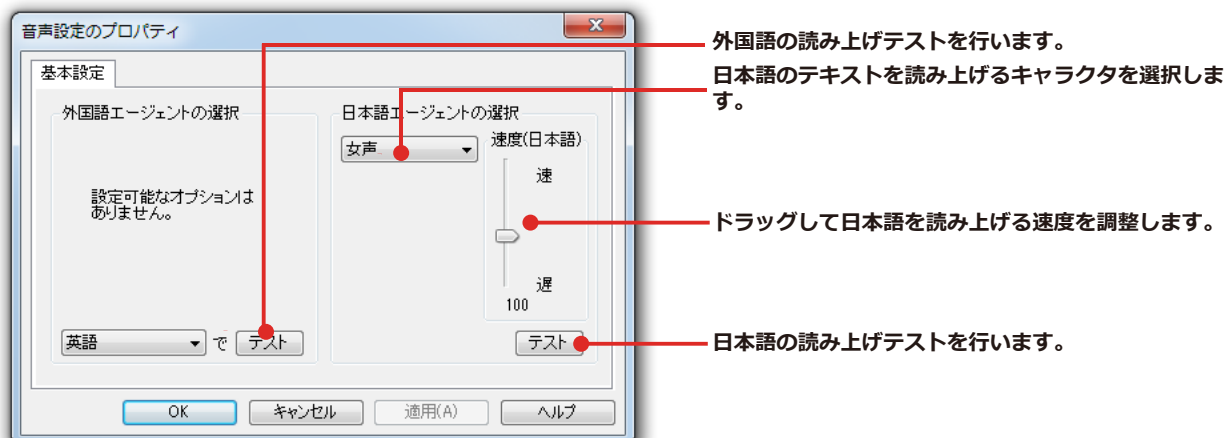
設定ツールを起動

[設定ツールを起動]ボタンには、音声読み上げのキャラクタや音量、速度を調節する「音声設定」を行う機能や、本製品の翻訳アプレットで使用するフォントの種類やサイズを設定する「フォント設定」などが用意されています。



◆音声設定

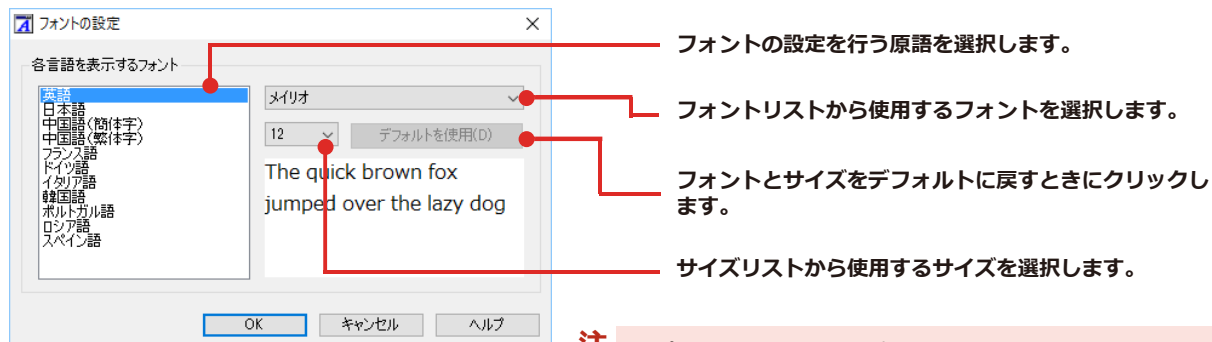
音声設定の読み上げ機能について、キャラクタを選択したり音量を調節したりすることができます。各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



※Windows8.1以降のOSの場合はコントロールパネルの音声認識のプロパティで設定を変更します。

◆フォント設定

本製品の各アプレットで表示するフォントの種類とサイズを設定します。[設定ツールを起動] ボタンから [フォント設定] を選択して [フォントの設定] ダイアログボックスを開いて設定します。



注意!

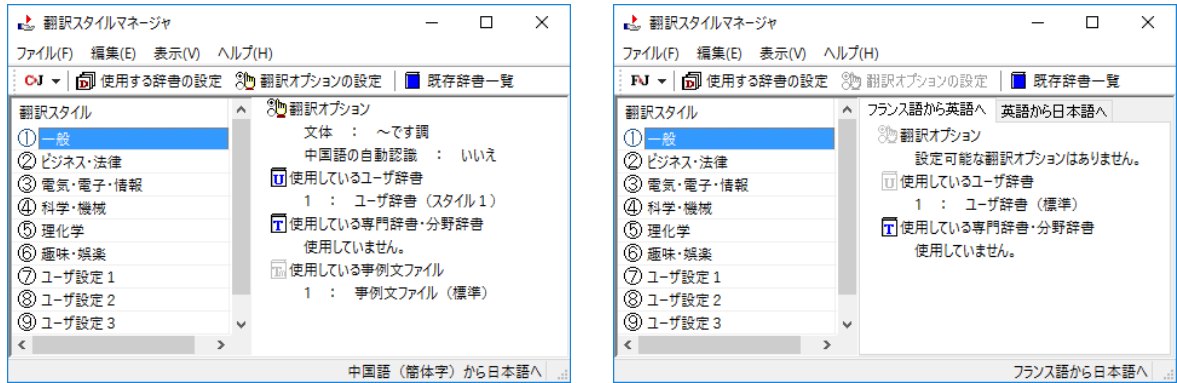
アプレットによっては、処理の都合上、「フォント設定」で選択した表示フォントが使われない場合があります。

◆ 翻訳スタイルマネージャ

翻訳スタイルマネージャを起動します。

翻訳スタイルを編集するには.....

翻訳スタイルに設定されている内容は、[翻訳スタイルの選択]ボタンのメニューにある[翻訳スタイルの編集]で、いつでも編集することができます。このボタンをクリックすると、[翻訳スタイルマネージャ]が起動します。2つの翻訳エンジンを組み合わせて使う欧州言語の翻訳では、各翻訳エンジンの翻訳スタイルが言語により、タブで分類されています。

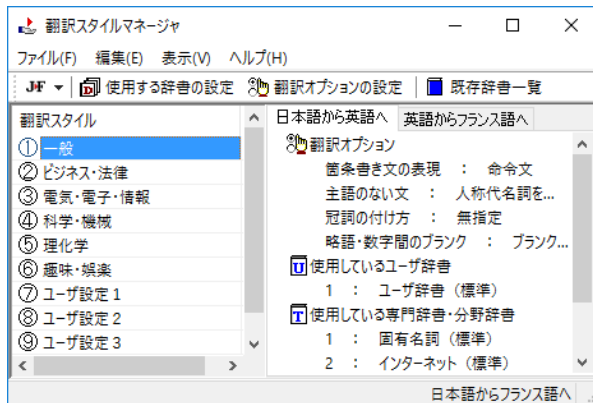


このダイアログの左側には、設定されている翻訳スタイルが一覧表示されます。その1つを選択すると、右側に設定されている内容が表示されます。

ヒント ▶ アプレットによっては、呼び出しが異なることがあります。その場合は、オンラインヘルプをご覧ください。

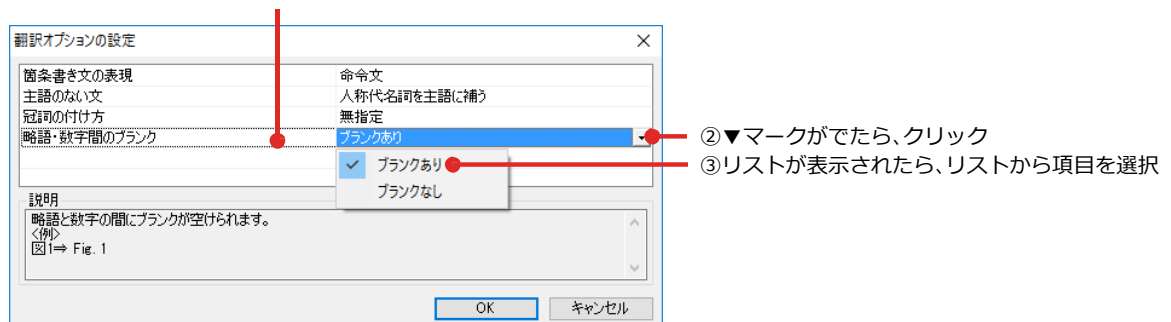
翻訳オプションを変更するには.....

[翻訳スタイルマネージャ]ウィンドウで、翻訳オプションを変更する翻訳スタイルを選択し、[翻訳オプションの設定]ボタンをクリックします。



これで、[翻訳オプションの設定]ダイアログがひらきます。翻訳オプションでは、それぞれの項目をクリックすると、▼マークが出ますので、これをクリックして開くメニューから選択して設定します。

① 編集する項目をクリック

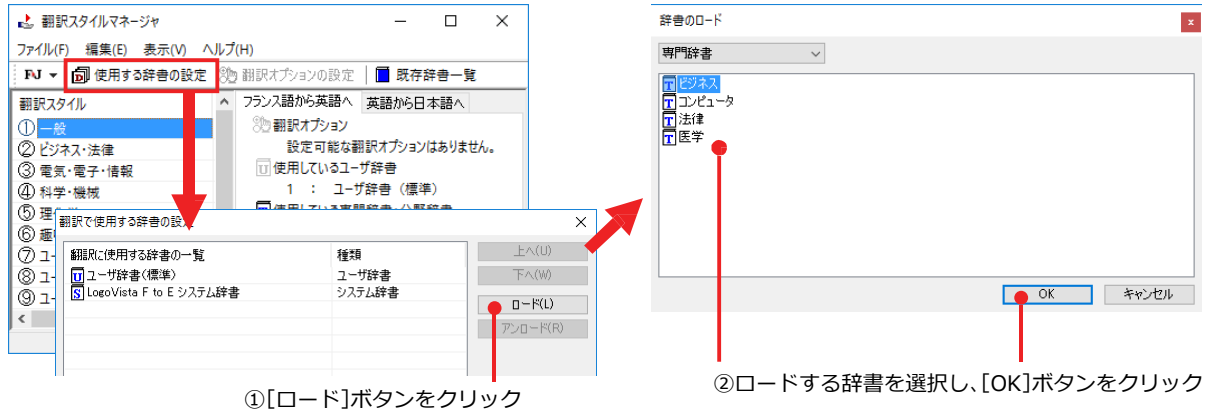


ヒント ▶ 翻訳オプションの変更は、「英語から日本語へ」、「日本語から英語へ」の場合と、欧州言語の場合これらを含む翻訳方向の「英語から日本語へ」、「日本語から英語へ」のタブでのみ可能です。

分野辞書・専門辞書・辞典連携機能対応製品の翻訳辞書をロード（登録）するには.....

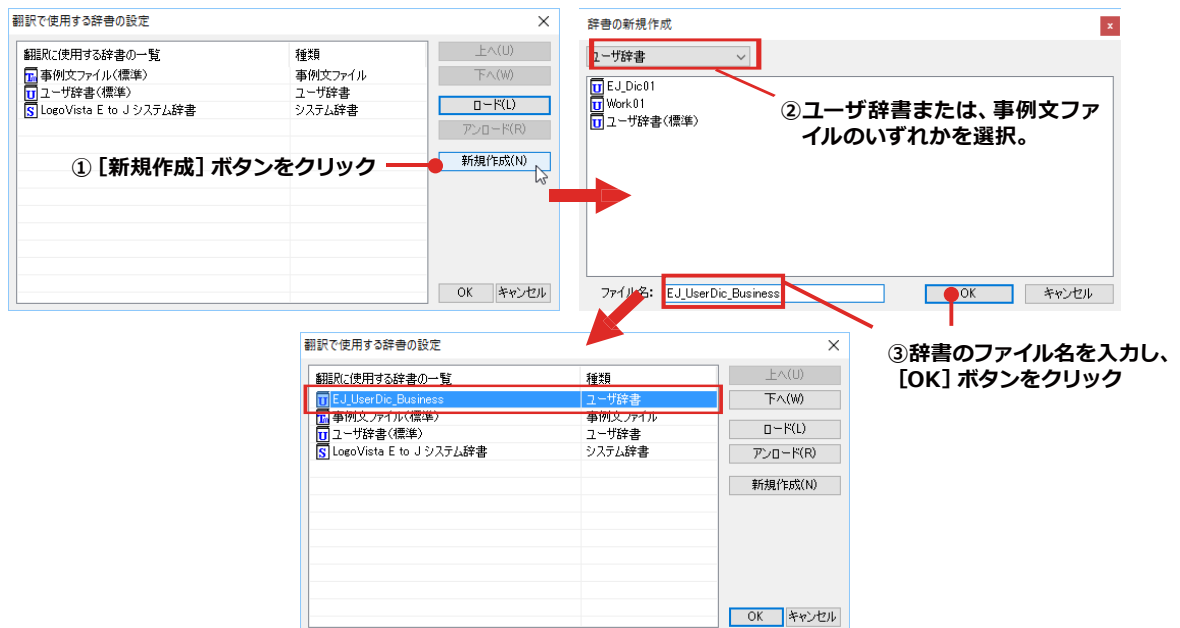
翻訳スタイル「一般」や「ユーザ設定」には分野辞書・専門辞書・辞典連携機能対応製品の翻訳辞書はロードされていません。ロードすることで翻訳に使用されます。

[翻訳スタイルマネージャ]ウィンドウで、辞書をロードする翻訳スタイルを選択し、[使用する辞書の設定]ボタンをクリックします。これで、[翻訳で使用する辞書の設定]ダイアログが開きます。



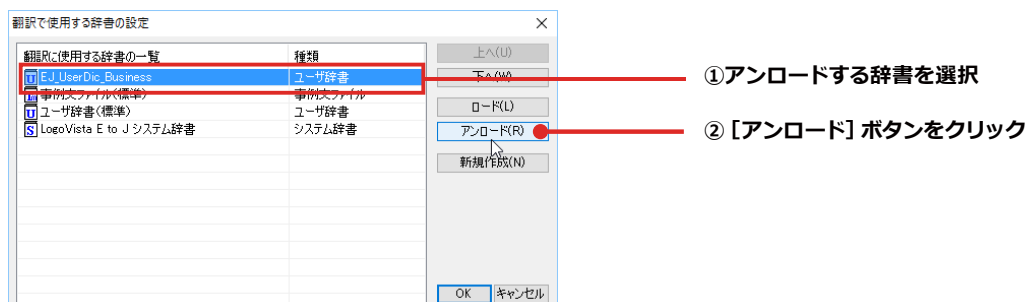
ユーザ辞書や事例文ファイルを新規に作成するには.....

ユーザ辞書は、デフォルトでは「ユーザ辞書（標準）」が用意されていますが、複数作成し、目的にそって使い分けすることができます。また、事例文を登録しておく事例文ファイルを活用することもできます。これらが必要になったときは、新規にファイルを作成し、翻訳スタイルにロードしておく必要があります。



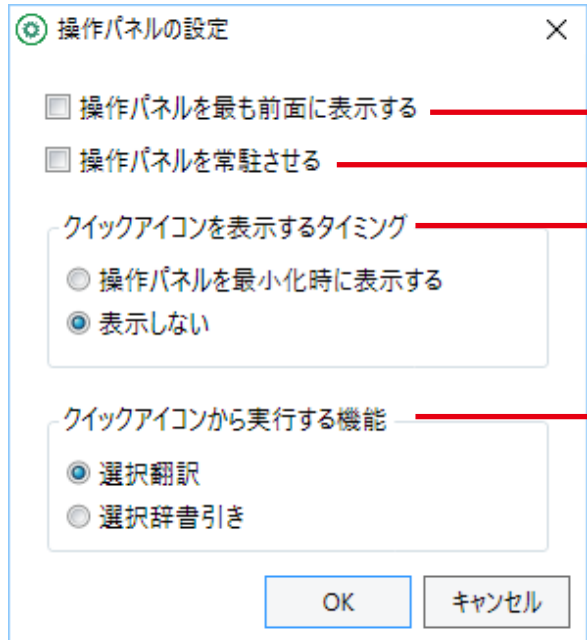
辞書をアンロード（解除）するには.....

使わない辞書をロードしたままにしておくと、翻訳速度が低下したり、思わぬ翻訳結果になったりします。使わない辞書はアンロードしておきます。



◆操作パネルの設定

ワープロなどのアプリケーションと同時に起動して、操作パネルを使う場合、翻訳を中心に作業を進めたいときは、操作パネルが常に前面に表示されていると便利です。また、翻訳を補助的に使いたいときなど、操作パネルが隠れていた方が便利な場合もあります。本製品では、このような使い方に合わせて操作パネルの表示方法を変更できます。



The screenshot shows the '操作パネルの設定' (Operation Panel Settings) dialog box. It contains the following settings:


- 操作パネルを最も前面に表示する
- 操作パネルを常駐させる
- クイックアイコンを表示するタイミング
 - 操作パネルを最小化時に表示する
 - 表示しない
- クイックアイコンから実行する機能
 - 選択翻訳
 - 選択辞書引き

Buttons at the bottom: OK, キャンセル

[操作パネルを最も前面に表示する] チェックボックス
 チェックしておくことで、操作パネルを常に画面の最前面に表示しておくことができます。

[操作パネルを常駐させる] チェックボックス
 [操作パネル]を終了させても、タスクトレイに[操作パネル]アイコンを残します。Windowsを起動したときにも表示されますので、いつでも本製品の機能を活用できます。

クイックアイコンを表示するタイミング
 [操作パネルを最小化時に表示する]を選択すると、カーソルの横にクイックアイコンが表示されます。



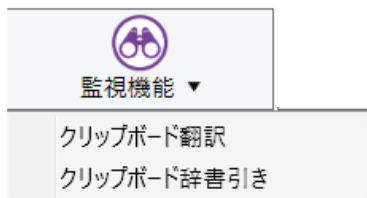
クイックアイコンから実行する機能
 選択翻訳または選択辞書引きを選択します。

◆ユーザデータフォルダの設定

ユーザ辞書などのユーザデータファイルを保存するフォルダを変更することができます。

監視機能

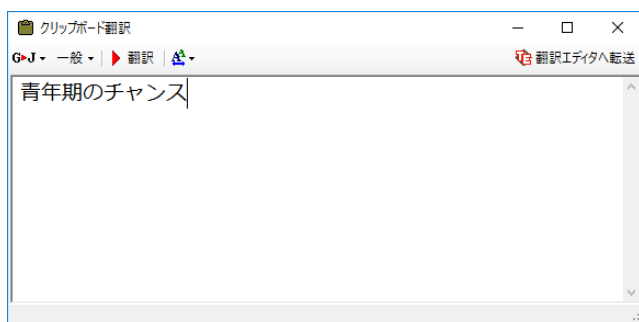
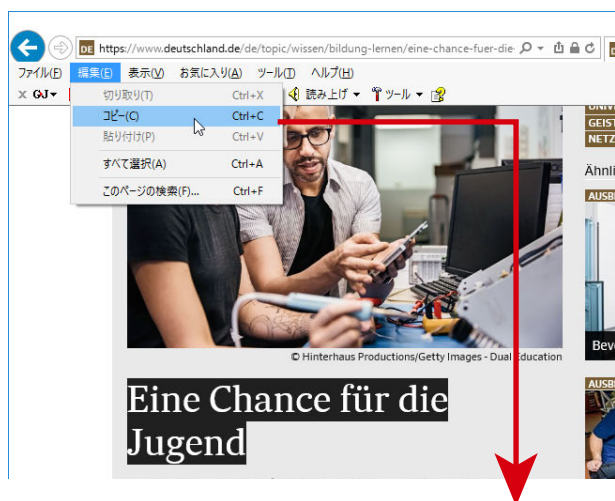
監視機能は、クリップボードを監視し、クリップボードに収納されたテキストに対し、メニューのいずれかを実行させる機能です。



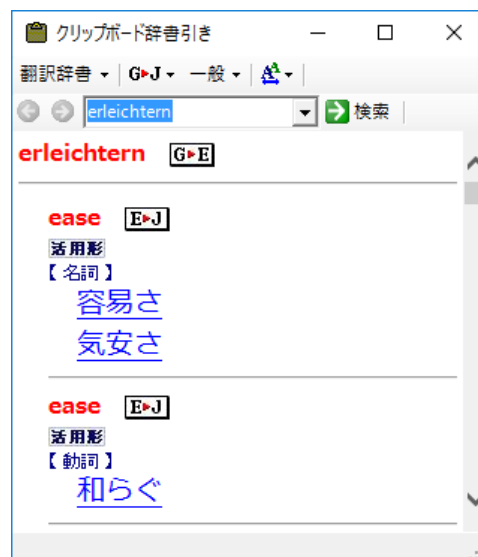
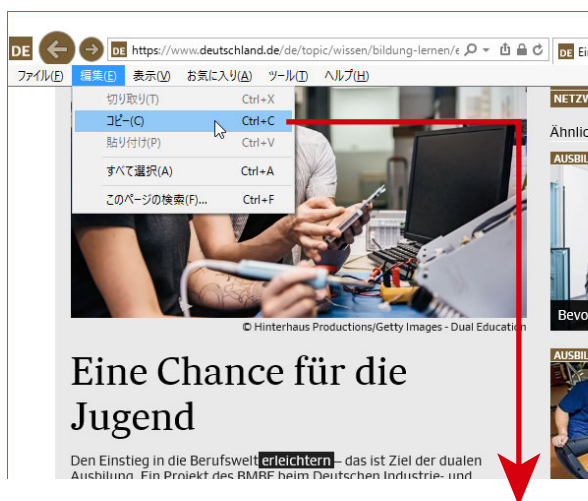
◆クリップボード翻訳、辞書引きを使うには

アプリケーション上のテキストをコピーや切り取りコマンドで、クリップボードに収納すると、翻訳、辞書引きのいずれかの機能を実行します。

翻訳



辞書引き



Chapter 3

翻訳エディタで翻訳するには

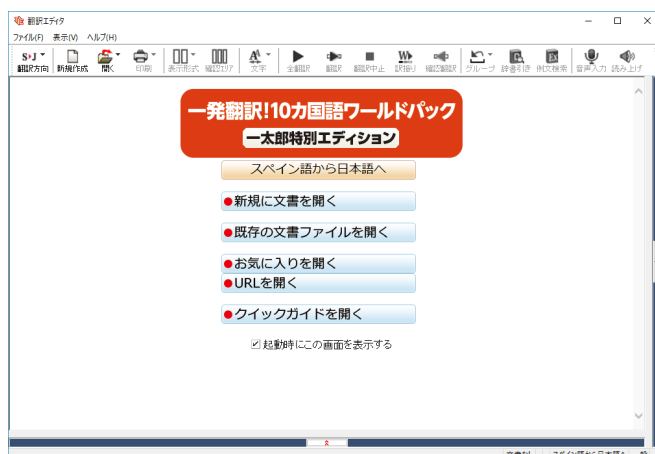
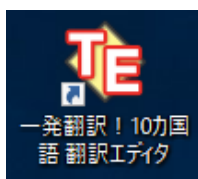
翻訳エディタについて

翻訳エディタでは、入力した原文の訳や翻訳結果の書き出し、印刷をはじめとして、原文や訳文の編集、翻訳方法の変更、辞書引き、ユーザ辞書への語句の登録などが行えます。この章では、翻訳エディタの主な機能やよりよい翻訳結果を得るためのコツを実際の翻訳例に添って説明します。

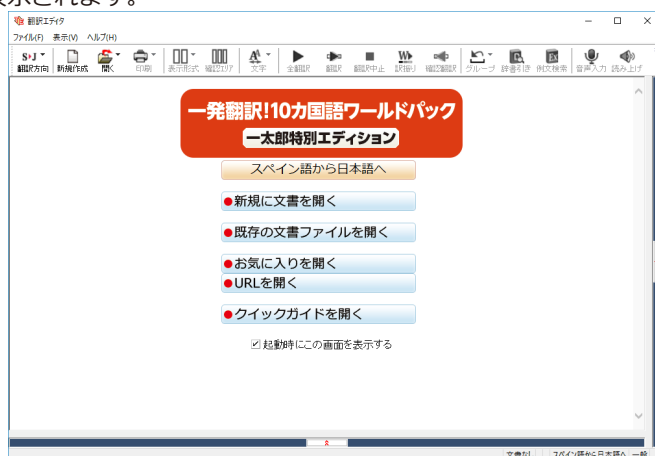
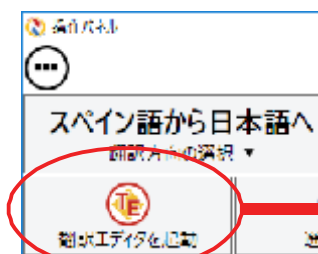
◆ 翻訳エディタを起動するには

次の3つの方法で翻訳エディタを起動できます。

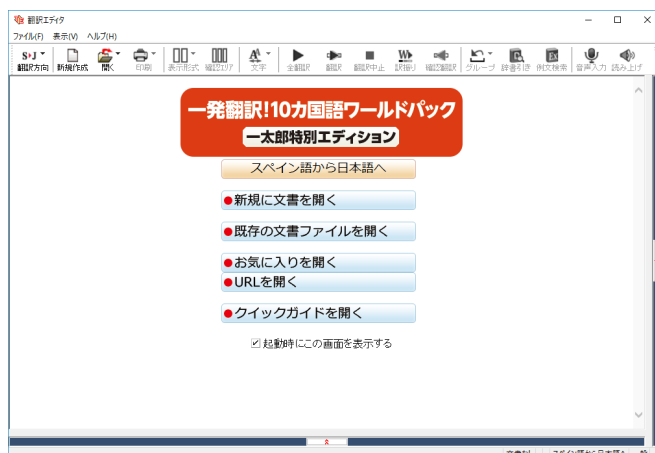
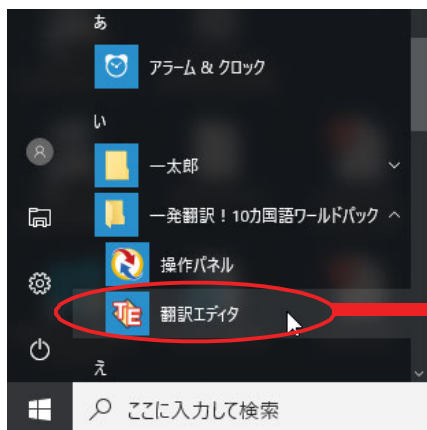
- ① デスクトップの[一発翻訳! 10カ国語 翻訳エディタ]をダブルクリックします。[翻訳エディタ]ウィンドウが表示されます。



- ② デスクトップの[一発翻訳! 10カ国語 操作パネル]をクリックして[操作パネル]を起動し、[翻訳エディタを起動]ボタンをクリックします。[翻訳エディタ]ウィンドウが表示されます。



- ③ [スタート] ボタン → [すべてのプログラム (アプリ)] → [一発翻訳! 10カ国語] → [翻訳エディタ] の順に選択します。Windows 8.1では [スタート] → [アプリ] → [一発翻訳! 10カ国語] → [翻訳エディタ] を選択します。



◆ 翻訳エディタで扱えるファイル形式

翻訳エディタでは、原文として以下のファイル形式の文書を開いて翻訳することができます。

- テキストファイル (拡張子「.txt」)
- HTMLファイル (Webブラウザで保存されたファイルまたはWebページ、拡張子「.htm」「.html」など)
- Word文書ファイル (拡張子「.doc」「.docx」)
- リッチテキスト形式のファイル (拡張子「.rtf」)
- Acrobatファイル (拡張子「.pdf」)



- ・ HTML ファイル、Word の文書ファイルやリッチテキスト形式のファイルを読み込んだときは、フォントやスタイルなどの書式情報は失われます。
- ・ 読み込めるファイルのサイズは、約 4MB(30,000文程度)までです。
- ・ Word の文書ファイル、リッチテキストファイルを読み込むためには、Word 2010～2016 のいずれかが必要です。



- 英語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・ポルトガル語・スペイン語・ロシア語の文は、大文字で始まり、ピリオド・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。ピリオド (.)・疑問符 (?)・感嘆符 (!) の後にスペース・タブ・改行コードのいずれかが続き、更に次の語句が大文字で始まる場合、文の切れ目と認識します。ダブルコロン (:;)・セミコロン (;) は、見出しなど翻訳の区切りとして認識しますが文の切れ目は認識されません。
- 日本語の文は、句点・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。全角の句点 (。)・疑問符 (?)・感嘆符 (!) で文の区切りとします。これらの後に括弧が続いても構いません。
- 韓国語の文は、ピリオド・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。半角のピリオド (.)・疑問符 (?)・感嘆符 (!) を文の区切れとします。
- 中国語の文は、句点・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。全角の句点 (。)・全角または半角の疑問符 (?/?)・感嘆符 (!/!) で文の区切りとします。
- 2つ以上の改行コードは文末と認識します。見出しや箇条書きのように句読点を含まない文の場合は、次の文とつながらないように、改行を2つ以上入れます。



- 英文の場合、単語の区切りに 3 つ以上の連続したスペース記号を入れると、タブ記号として処理され、スペース記号が 2 つ以下のときに翻訳結果が異なります。特に必要がなければ、スペース記号の入力は、2 つ以下にしてください。

翻訳結果は、次のファイル形式に保存、書き出しができます。

- 翻訳エディタ専用の文書ファイル (拡張子「.krydoc」) 原文や訳文以外に、翻訳方向、翻訳に使用した辞書、翻訳のしかたに関する情報などが含まれます。
- テキストファイル (拡張子「.txt」) 原文のみ、訳文のみ、左右対訳、上下対訳のいずれかの形式でテキストファイルに書き出せます。

◆ LogoVista電子辞典連携機能

付属または別売の LogoVista 電子辞典を翻訳辞書「英語→日本語翻訳」として使用することができます。

※本製品に「専門辞書」として追加されます。使用するには、他の専門辞書と同様に翻訳スタイルで辞典をロードしてください。ロードについては、[第 2 章 操作パネルの使い方]→[8 設定ツールを起動ボタンの使い方]の「分野辞書・専門辞書・辞典連携機能対応製品のロード(登録)するには」を参照してください。

※使用できるのは翻訳方向が「英語→日本語」のときのみです。

※英語以外の言語では使用できません。

※対象となる別売の LogoVista 電子辞典は、ロゴヴィスタのホームページにある専用サイトをご確認ください。

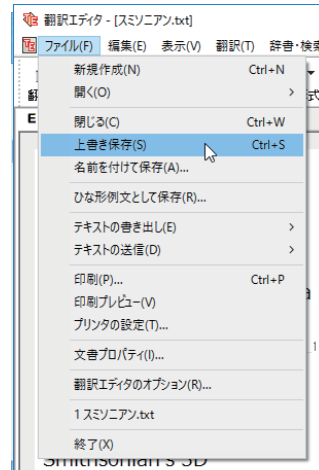
[操作パネル]→[サポート]→[辞典連携機能対応製品について] を選択してください。Web ブラウザが起動して弊社の専用ページが表示されます。

https://www.logovista.co.jp/LVERP/information/shop/trans-dic_align/index.html

メインメニュー

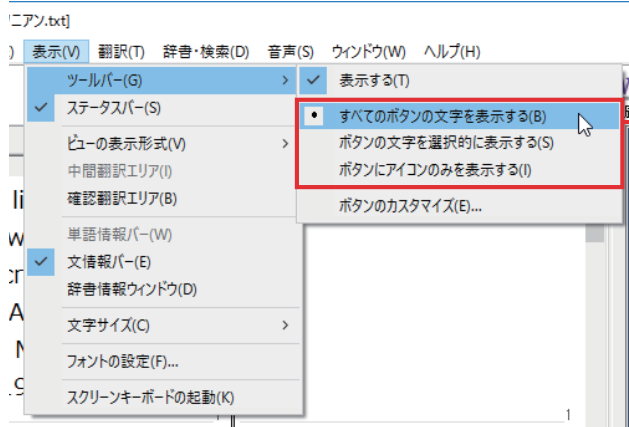
翻訳エディタのコマンドメニュー形式でまとめられています。メニュー項目をクリックするとプルダウンメニューが表示され、その中から実行するコマンドを選択します。

☞メインメニューのコマンドについては、オンサインヘルプをご覧ください。



ツールバー

よく使用する翻訳エディタのコマンドボタンの形式でまとめられています。クリックすると、実行できます。ツールバーの表示形式は[表示]メニューの[ツールバー]のサブメニューで設定できます。[すべてのボタンに文字を表示する][ボタンの文字を選択的に表示する][ボタンにアイコンのみを表示する]のいずれかを選択できます。



ツールバーにコマンド名を表示するかどうかを設定

【すべてのボタンの文字を表示する】



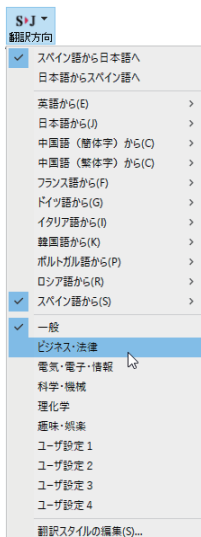
【ボタンの文字を選択的に表示する】



【ボタンにアイコンのみを表示する】



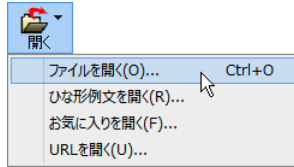
【翻訳方向】ボタン



翻訳方向の選択と翻訳スタイルの選択を行います。

[新規作成] ボタン

新しい文書を開き、空の文書ウィンドウを表示します。

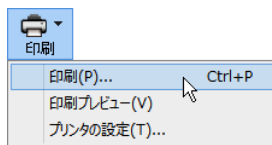
[開く] ボタン

クリックすると、文書や Web ページを開くためのメニューが表示されます。

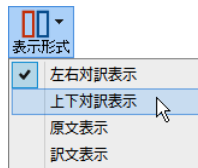
[ファイルを開く] では、保存してある翻訳エディタ専用の文書ファイル（拡張子「.krydoc」）や、翻訳したいテキストファイル、Word 文書ファイル、PDF などを開くことができます。

[ひな形を開く] では、300 以上の英文レターのひな形例文から作成したい英文のサンプルとして文書を開くことができます。

[お気に入りを開く]、[URL を開く]では、Web ページを開くことができます。

[印刷] ボタン

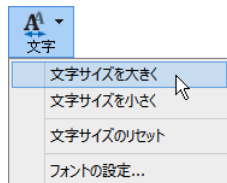
クリックすると、文書の印刷に関するメニューが表示されます。

[表示形式] ボタン

文書ウィンドウの表示形式を変更できます。[左右対訳表示][上下対訳表示][原文表示][訳文表示]のいずれかの形式を選択できます。

[確認翻訳エリア表示] ボタン

[確認翻訳エリア]の表示/非表示を切り替えます。

[文字] ボタン

文書ウィンドウに表示する文字サイズやフォントを変更します。

[文字サイズを大きく][文字サイズを小さく][文字サイズのリセット]では、原文ボックス、訳文ボックス、日本語解析、選択範囲翻訳、単語情報バーすべての文字サイズを同時に変更します。[フォントの設定]では、言語ごとにフォントと文字サイズを指定できます。

[全翻訳] ボタン

原文ボックスのすべての未翻訳の原文を翻訳し、訳文ボックスに訳文を表示します。翻訳後、編集した原文も翻訳対象にします。

**[選択文翻訳] ボタン**

ポインタが置かれている原文、または選択されている複数の原文を翻訳し、訳文を訳文ボックスに表示します。

**[翻訳停止] ボタン**

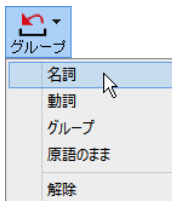
実行中の翻訳を中止します。

【訳振り】 ボタン

クリックしてオンにすると、文書ウィンドウの表示が訳振りモードになります。訳振りモードでは、原文の主要単語の上に訳語が表示されます。

【確認翻訳の実行】 ボタン

ポインタが置かれている文の翻訳結果の文、再度、オリジナル言語へと逆方向に翻訳し直し、結果を表示します。確認翻訳された文が原文テキストとほぼ同じ意味であれば、翻訳がかなり正確だと判断できます。

【グループ指定】 ボタン

英語から日本語へ翻訳する場合に有効になります。翻訳結果が思わしくないとき、特に文節の区切りや品詞を取り違えて翻訳されているときに使います。選択した語句の品詞（[名詞][動詞]）の設定、文節を明確にするために選択した語句の[グループ]の指定、[原語のまま]訳したい語句の指定、または、これらの[解除]をすることができます。

【辞書引き】 ボタン

選択した語句を研究社 新英和・和英中辞典、クイック辞書、翻訳辞書で辞書引きします。

【例文検索】 ボタン

ビジネスレターや私的な手紙、案内状などのひな形や、状況に応じたさまざまな例文を検索して、編集中の文書に転送できます。

【Web検索】 ボタン

選択した語句を、検索サイトで検索します。[Google Web 検索][Yahoo! Web 検索]のいずれかを選択できます。

【音声入力】 ボタン

発話された音声を聞き取って翻訳エディタに入力します。

【音声読み上げ】 ボタン

選択した文を音声読み上げします。
※日本語、英語、中国語以外は、インターネット接続が必要です。


【スクリーンキーボードの起動】 ボタン

スクリーンキーボードを起動します。英語に含まれないアルファベットやアクセント記号などを入力するときに便利です。

【ナビ】 ボタン

簡単な操作説明を記述した LV ナビのウィンドウを表示します。

文書ウィンドウの表示エリア

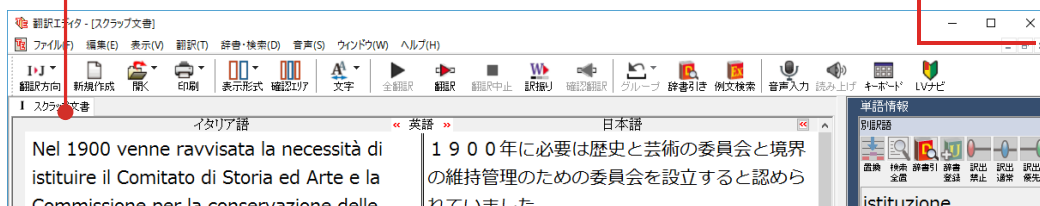
翻訳エディタでは、原文と訳文を含む文章のセットを1つの文書として扱い、文書ウィンドウに表示します。翻訳エディタを起動後の最初に新規文書や既存の文書を開くと文書ウィンドウは最大化され、[翻訳エディタ] ウィンドウと一体化します。複数の文書を開いたときは、タブまたはウィンドウメニューで編集する文書を選択できます。編集中の文書を閉じるときは、[ファイル] メニューの [閉じる] を選択するか、 [閉じる] ボタンをクリックするか、タブを右クリックしてコンテキストメニューから [閉じる] を選択します。

タブ

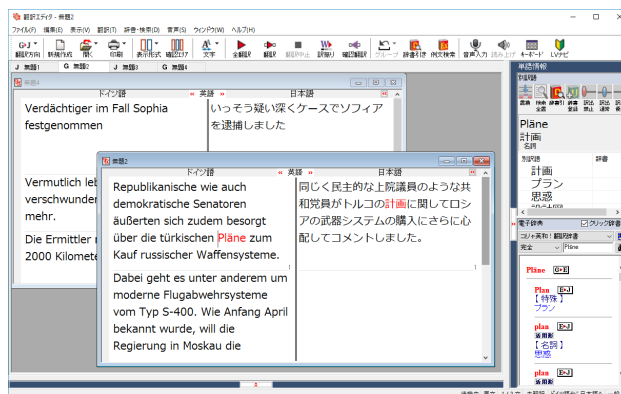
原文の言語を表すアルファベットと、文書名が表示されます。クリックした文書が表示されます。

[閉じる] ボタン

表示中の文書を閉じます。



文書ウィンドウを最小化または拡大表示して、複数の文書を同時に表示することもできます。



文書ウィンドウ

原文ボックス

翻訳元のテキストを入力するボックスです。翻訳エディタはこのボックスにあるテキストを翻訳します。原文ボックスには、次のいずれかの方法でテキストを入力します。

- キーボードから直接入力する、ファイルに保存されたテキストを読み込む、アプリケーション上からテキストをコピー&貼り付け、またはドラッグ&ドロップする。
- OCRソフトでテキストファイルに保存されたテキストを読み込む。

原文ボックスのテキストは [編集] メニューのコマンドやキーボードで編集できます。翻訳済みの原文テキストを編集すると、その文が自動的に再翻訳されます。(自動的に再翻訳しないオプションもあります。)



訳文ボックス

翻訳された訳文が表示されます。1文ごとに原文に対する形式で表示されます。訳文ボックスのテキストは [編集] メニューのコマンドやキーボードで編集できます。

確認翻訳ボックス

[確認翻訳]には、翻訳結果の文を、再度、オリジナル言語へと逆方向に翻訳し直した結果が表示されます。確認翻訳された文が原文テキストとほぼ同じ意味であれば、翻訳がかなり正確だと判断できます。

中間翻訳結果 (三面エディタ表示)

欧州言語間と日本語との翻訳など、英語を介して翻訳するときに表示されます。原文を中間言語である英語に翻訳した結果が表示されます。原文を中間言語である英語に翻訳した結果が表示されます。[中間翻訳結果] の内容を編集すると、訳文に反映されます。中間翻訳結果ボックスの表示、非表示は、 [中間翻訳結果を開く] ボタン/ [中間翻訳結果を閉じる] ボタンをクリックして切り替えます。

単語情報バー

単語情報バーには、原文ボックスまたは訳文ボックスで選択した単語に関する情報が表示されます。▶▶ [バーを閉じる] ボタン/◀◀ [バーを開く] ボタンで表示/非表示を切り替えられます。

[別訳語]には、単語対応表示させた単語の別訳語が表示されます。

[電子辞典]では、電子辞典での辞書引きが可能で、[クリック辞書引]にチェックを入れている場合、選択した単語が自動で辞書引きされます。

- 原文ボックスまたは訳文ボックスで単語を選択後 [辞書引き] コマンドの実行
- 原文ボックスまたは訳文ボックスで単語を選択し [クリック辞書引] での自動辞書引き
- [別訳語] のリストでリスト内の項目を選択
- 電子辞典の入力ボックスに語句を入力して辞書引き

文情報バー

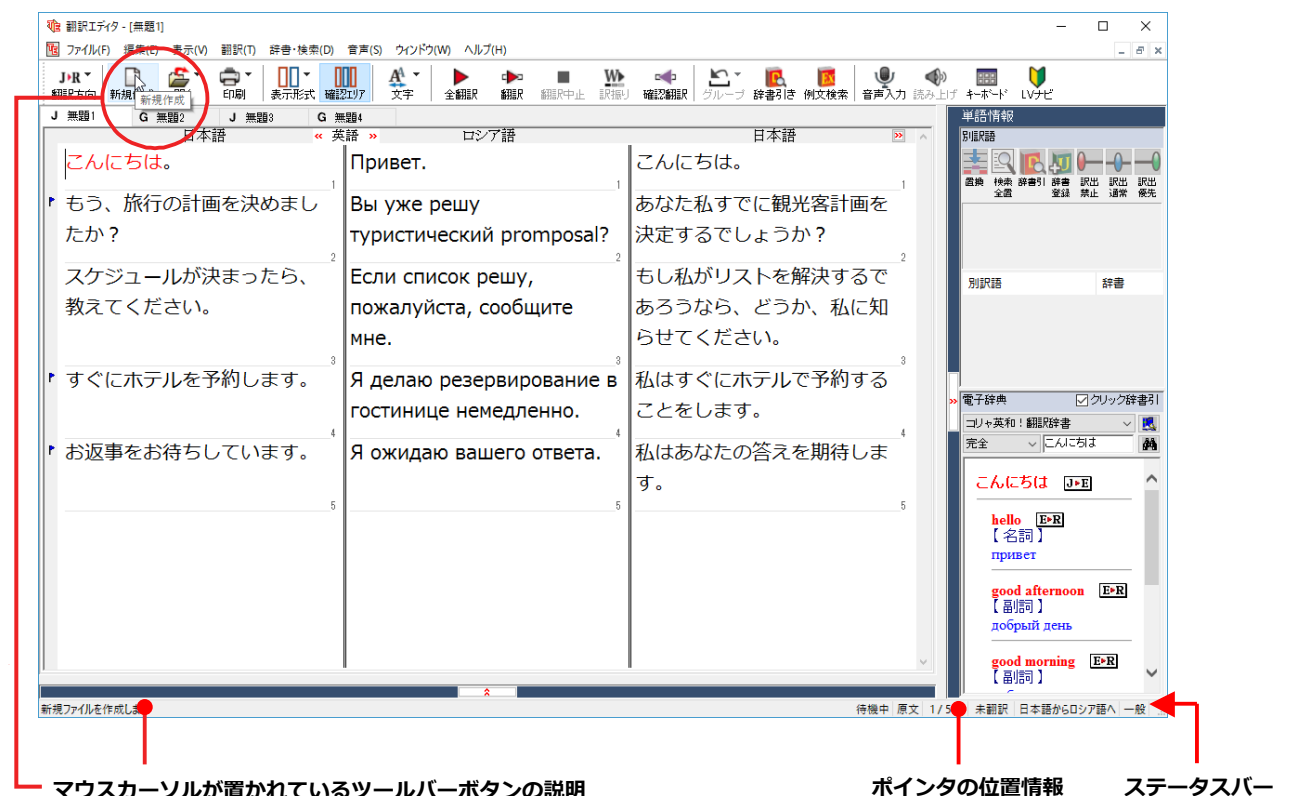
文情報バーには、原文ボックスまたは訳文ボックスで選択した単語に関する情報が表示されます。文情報バーの表示/非表示は、[バーを開く] ボタン▶▶/[バーを閉じる] ボタン◀◀をクリックして切り替えます。

[日本語解析]は、日本語から別の言語に翻訳するとき有効になります。原文を分析し、編訳に誤りが出そうなあいまい要素があった場合は、その情報の文頭部分を表示します。読みたい情報を選択して [詳細説明] をクリックすると、[日本語解析の詳細説明] ウィンドウが開き、情報の全文が表示されます。情報を参考に原文を修正することで、訳文がより正確になることが期待できます。また、[日本語チェッカー] ボタンを使えば、自動的に翻訳に適した日本語に変換してくれます。

[確認翻訳]には、翻訳結果の文を再度、オリジナル言語へと逆方向に翻訳した結果が表示されます。確認翻訳された文が、原文テキストとほぼ同じ意味であれば、翻訳がかなり正確だと判断できます。日本語と欧州言語間など、英語を介して翻訳するときには、訳文から中間言語に翻訳し直した結果も表示されます。

ステータスバー

コマンドボタンの説明や、現在行われている作業の内容 (待機中、翻訳中など)、ポインタの位置の情報 (原文か訳文か、行数) を表示します。また、選択されている翻訳方向や翻訳スタイルも表示されます。



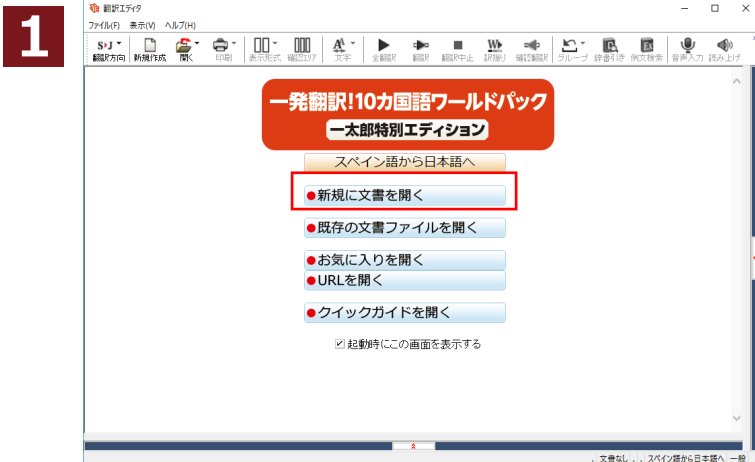
◆原文エリアへの音声入力

原文エリアへの音声による入力機能です。

音声入力に対応する言語は、フランス語、スペイン語、ドイツ語、日本語、簡体字中国語、繁体字中国語となります。

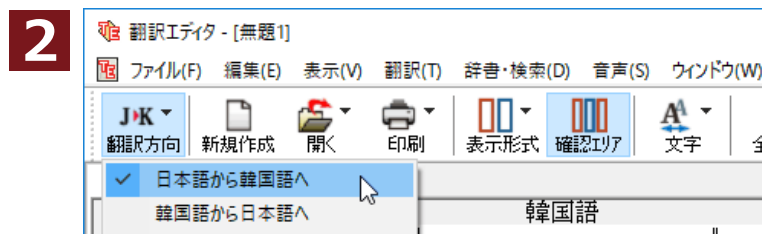
注意!

- 事前にWindowsコントロールパネルにある音声認識の設定や言語パックのインストールが必要となります。また、OSによって利用できる言語の条件やインストール方法に違いがあります。対応するOSは、Windows10/8.1となります。
- ご使用のパソコンに入力装置がない場合は、別途入力装置が必要です。
- 繁体字中国語の音声再生は、Windows 10のみに対応しております。



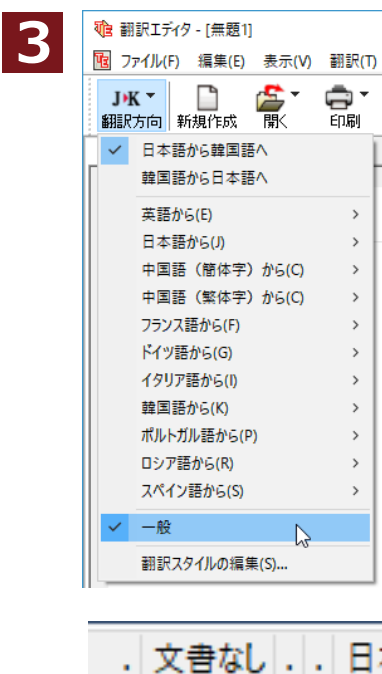
翻訳エディタを起動します。

起動メニューから[新規に文書を開く]ボタンをクリックし、新規文書を開きます。



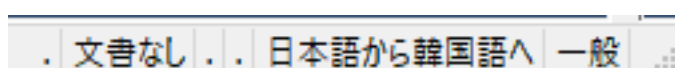
[翻訳方向と翻訳スタイルの選択] ボタンをクリックし、翻訳方向を選択します。

この例では、[日本語から韓国語へ]を選択します。



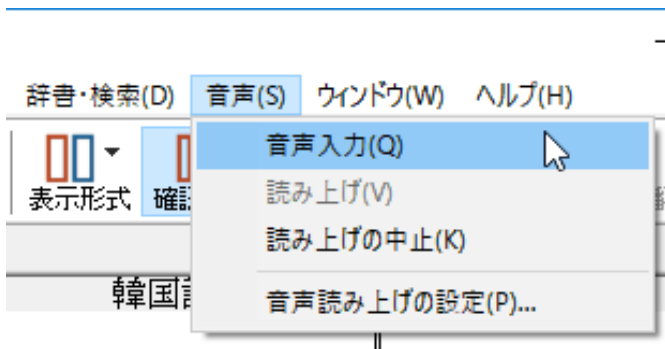
再度、[翻訳方向と翻訳スタイルの選択]ボタンをクリックし、翻訳スタイルを選択します。

この例では、[一般]を選択します。



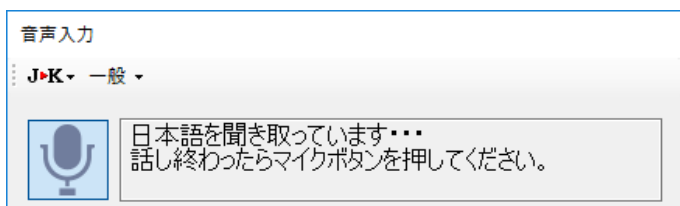
選択した翻訳方向と翻訳スタイルがステータスバーに表示されます。

4



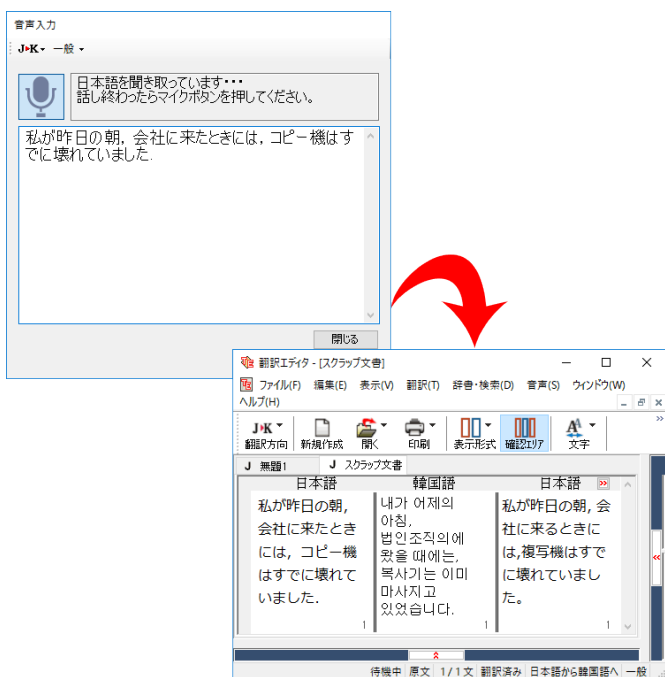
メニューにある[音声]から[音声入力]を選択します。

5



音声入力画面がでできます。
翻訳する原文を音声入力します。

6



話し終わったらマイクボタンをおしてください。
マイクボタンを押すと自動で翻訳結果が表示されます。

2

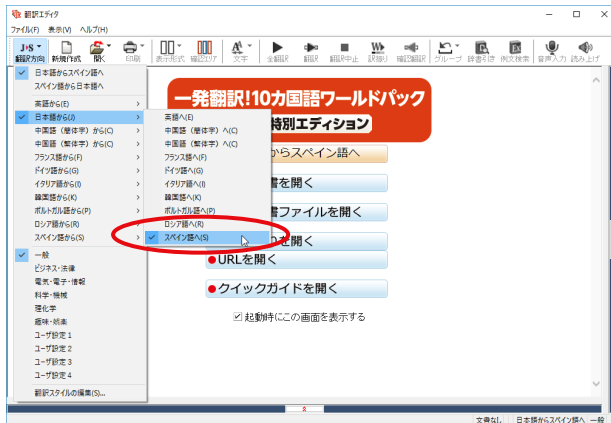
基本的な翻訳の流れ

翻訳エディタの最も基本的な機能を使って、原文の翻訳から、結果を保存・印刷するまでの流れを説明します。

◆ 翻訳の準備

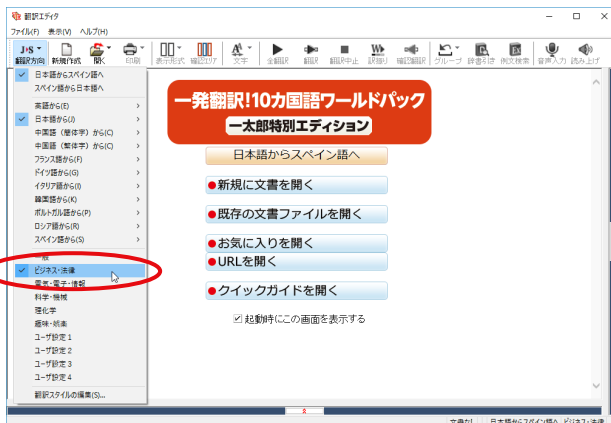
翻訳エディタを起動したら、起動メニューから[新規に文書を開く]を選択して新規文書を開きます。翻訳方向と翻訳スタイルを設定し、翻訳する原文を入力します。

1



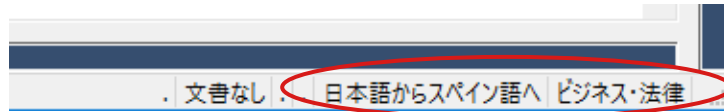
翻訳エディタを起動します。
[翻訳方向と翻訳スタイルの選択] ボタンをクリックし、メニューから原語、サブメニューから訳語をそれぞれ選択します。
この例では、メニューで[日本語から]サブメニューで[スペイン語へ]を選択します。

2



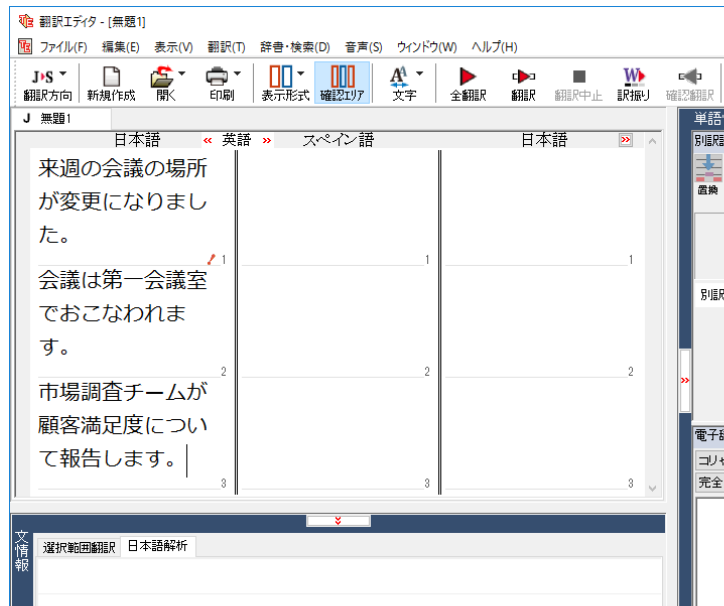
再度、[翻訳方向と翻訳スタイルの選択]ボタンをクリックし、翻訳スタイルを選択します。
この例では、[ビジネス・法律]を選択します。

3



選択した翻訳方向と翻訳スタイルがステータスバーに表示されます。

4



[新規作成]ボタンをクリックし、翻訳する原文を入力します。
これで翻訳の準備ができました。

◆ 翻訳する

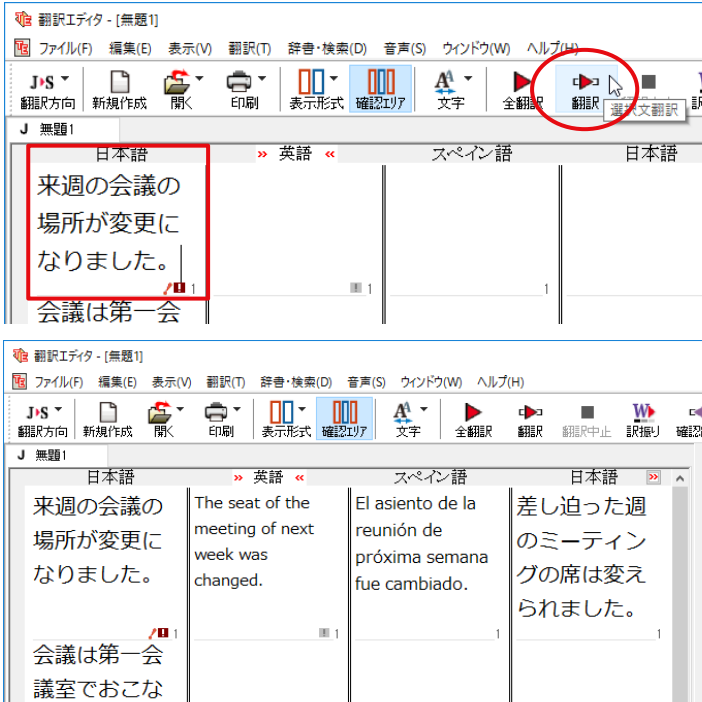
入力した原文は、[全翻訳]または[翻訳]ボタンで翻訳できます。

- ヒント**
- ・[選択文翻訳]は、翻訳・未翻訳に関わらず、ポインタが置かれている文または選択している複数の文を翻訳します。
 - ・[すべて翻訳]は、未翻訳のすべての原文を頭の子から順次翻訳します。

注意！

一度翻訳した後に原文を編集した場合、その原文も「未翻訳」として扱われます。

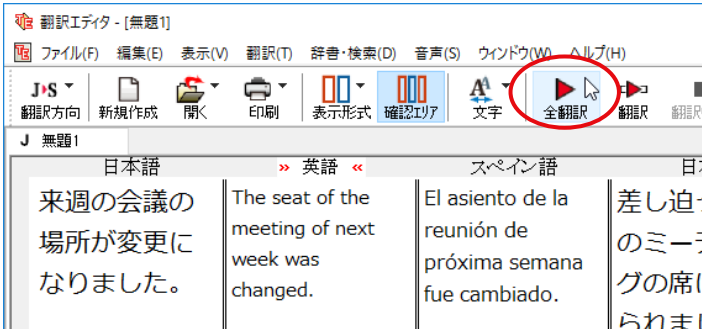
1



最初の文だけ翻訳をしてみましょう。
1文目の原文にポインタを置き、[翻訳]ボタンをクリックします。

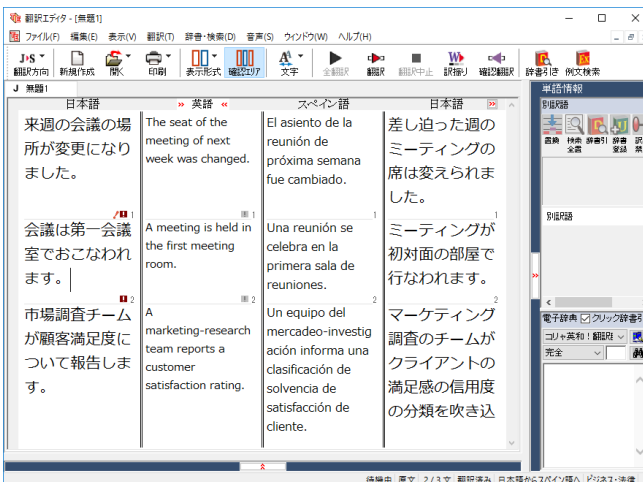
1文目が翻訳され、中間翻訳結果ボックスや訳文ボックスに結果が表示されます。
このように[翻訳]では、ポインタの置かれた文だけを翻訳します。

2



残りの文をまとめて翻訳してみましょう。
[全翻訳]ボタンをクリックします。

未翻訳の全ての原文が翻訳され、訳文ボックスのそれぞれの行に訳文が表示されます。



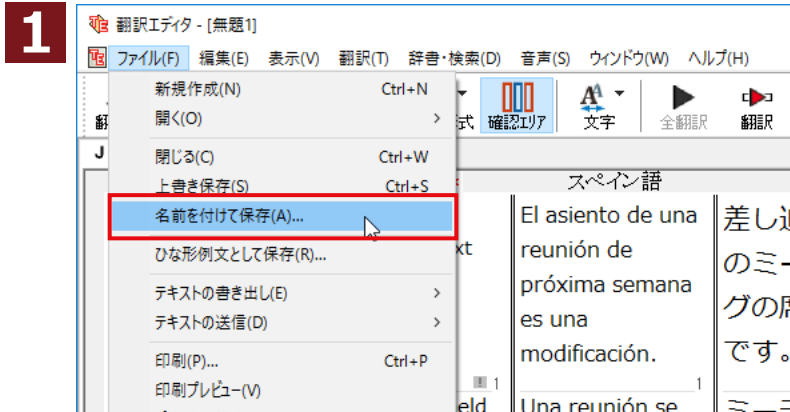
- ヒント**
- ・翻訳エディタには、訳文の精度を高めるためのさまざまな機能が用意されています。詳しくは「3 外国語を翻訳してみよう」、「4 和文を翻訳してみよう」をお読みください。

◆ 翻訳結果を保存する

翻訳結果は翻訳エディタ専用の文書ファイルに保存できます。文書ファイルには、原文と訳文のほか、翻訳方向や使用した翻訳スタイルなどの情報も記録され、翻訳エディタでの作業内容がそのまま保存されます。また、翻訳結果を別のアプリケーションソフトなどで利用したい場合は、テキスト形式のファイルに書き出すことができます。

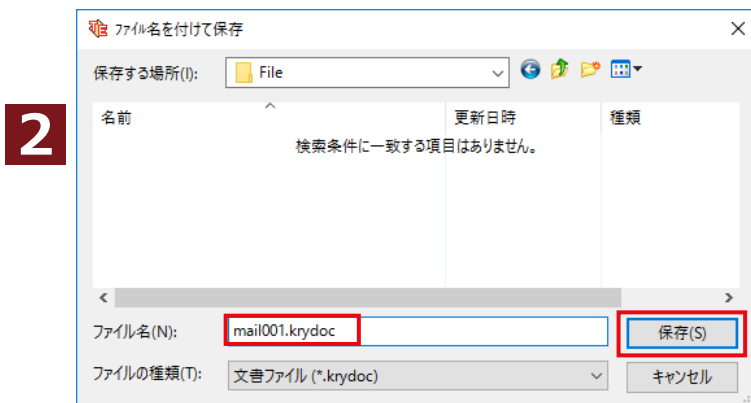
文書ファイルに保存する.....

翻訳結果を翻訳エディタ専用の文書ファイルに保存します。



[ファイル]メニューから[名前を付けて保存]を選択します。

[ファイル名を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。



必要に応じて、保存先のフォルダに移動し、ファイル名を入力して[保存]ボタンをクリックします。

これで文書ファイルに保存できます。



保存されると、ファイル名がウィンドウに表示されます。

ヒント

すでに保存してある文書ファイルに上書き保存するときは、[上書き保存]コマンドを使います。まだ保存したことがない文書の場合は、[ファイル名を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

テキストファイルに書き出す.....

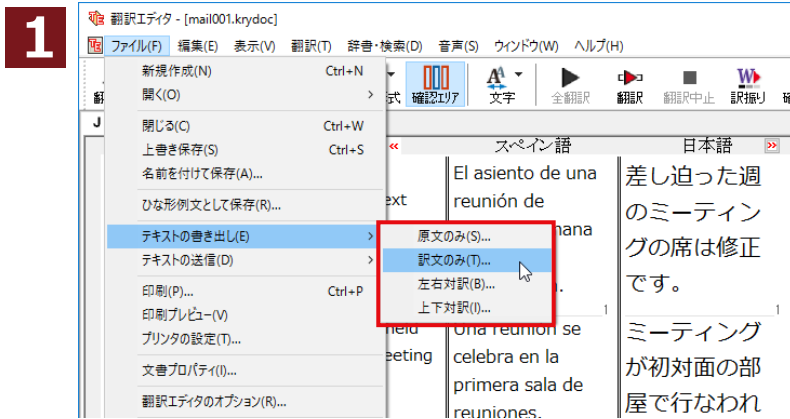
テキストファイルには、次のいずれかの形式で書き出しができます。

- 原文のみ
- 訳文のみ
- 左右対称：原文(タブ)訳文(改行)という形式で書き出します。
- 上下対訳：原文(改行)訳文(改行)(改行)という形式で書き出します。

ここでは「訳文のみ」の形式で書き出しましょう。

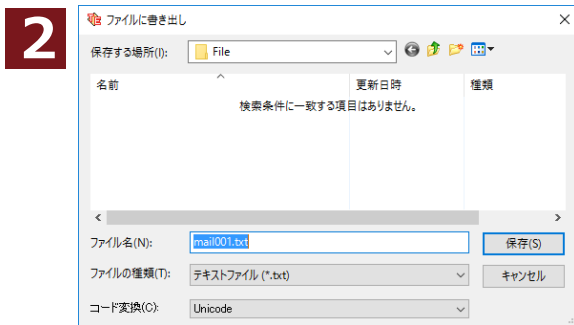
ヒント

いずれの形式でも、中間翻訳は含まれません。



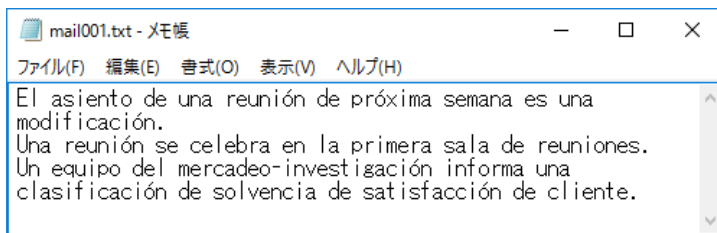
[ファイル]メニューから[テキストの書き出し]を選択し、サブメニューから[訳文のみ]を選択します。

[ファイルに書き出し] ダイアログボックスが表示されます。



必要に応じて、保存先のフォルダに移動し、ファイル名を入力して[保存]ボタンをクリックします。

訳文ボックスの内容が、テキストファイルに書き出されます。



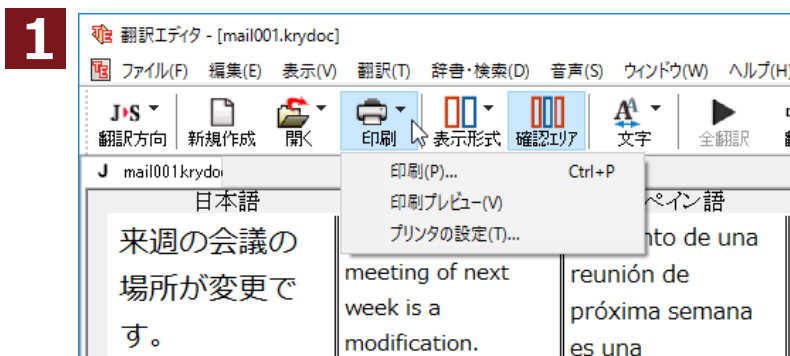
左の画面例は、書き出されたテキストファイルをメモ帳で開いたものです。このように、1文ごとに改行して保存されます。

◆ 翻訳結果を印刷する

翻訳結果を印刷してみましょう。翻訳エディタではビューの表示形式に応じて印刷することができます。最初に表示形式ボタンから、印刷する表示形式を決めておきます。

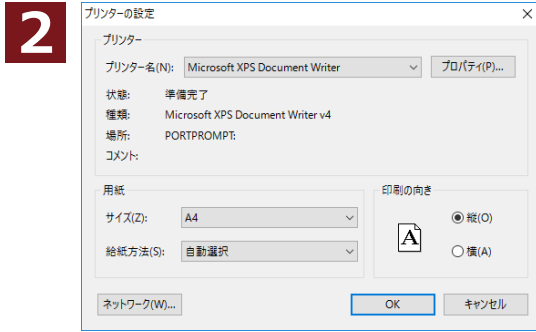
プリンタの設定.....

始めに印刷するプリンタや用紙サイズ、用紙の向きなどの設定を行います。



[印刷]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[プリンタの設定]を選択します。

[プリンタの設定] ダイアログボックスが開きます。

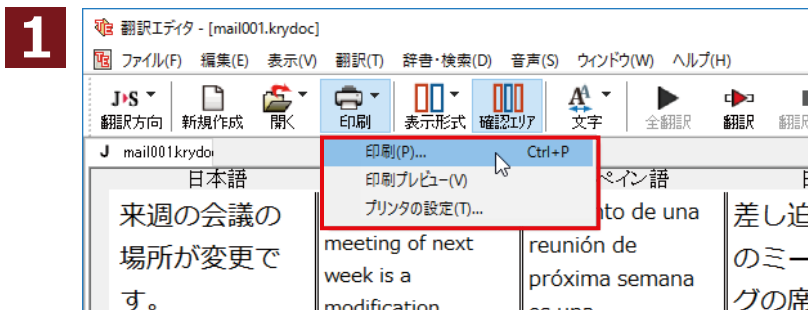


印刷するプリンタや用紙サイズ、用紙の向きなどを設定します。このダイアログの機能は、他のWindowsのアプリケーションと共通です。設定できたら [OK] ボタンをクリックします。

注意! ご使用のプリンタによって、ダイアログの内容は異なります。

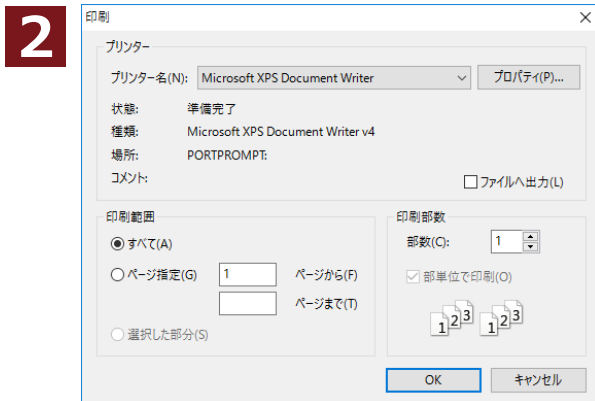
印刷の実行

印刷を実行する前に、プリンタが接続され、印刷できる状態になっていることを確認してください。



[印刷] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [印刷] を選択します。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。



印刷部数などを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

注意! ご使用のプリンタによって、ダイアログの内容は異なります。

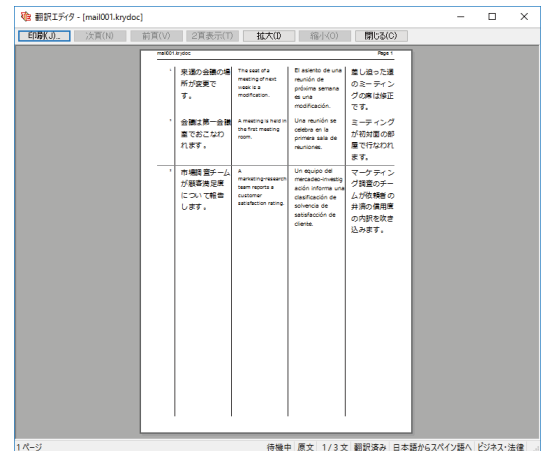
印刷が実行されます。



印刷前に、印刷されるイメージを画面に表示して確認できます。確認するときは、[印刷] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [印刷プレビュー] コマンドを選択します。図のようなプレビュー画面が表示され、どのように印刷されるかが確認できます。

- 中間翻訳結果ボックスを表示した状態で印刷すると、中間編訳結果も含めて印刷されます。また、左右対訳表示で 原文と訳文のみ印刷したいときは、中間翻訳結果ボックスを非表示にした状態で印刷します。

- [ファイル] メニューの [翻訳エディタのオプション] コマンド [印刷] タブでは、印刷に関する次の設定ができます。
 - ・ 原文表示や訳文表示の印刷時に、文のセパレータを印刷するかどうか。
 - ・ ヘッダーを付けるかどうか。
 - ・ 余白を空けるかどうか。
 - ・ 左右対訳表示の印刷時に文番号を付けるかどうか。



外国語を翻訳してみよう

外国語の文を日本語に翻訳し、適切な訳文に仕上げるための機能や注意点を紹介します。

ここでは、スペイン語を日本語に翻訳する例で説明しますが、他の言語でも同様の操作ができます。

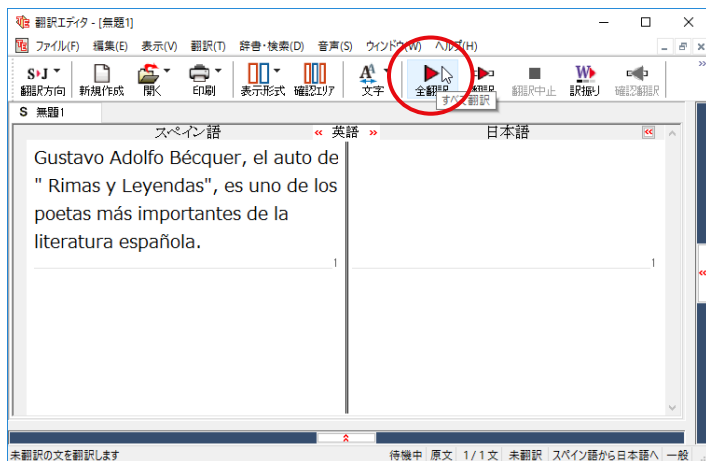
◆単語対応表示を使って原文にミスがないかチェックする

不自然な訳文になってしまった場合、その原因がタイプミスや、OCRの認識ミスなど、原文の不備である場合がよくあります。訳文の意味が通らないときは、まず不自然な箇所を単語対応表でチェックすることで、原文のミスを見つけて修正できることがあります。ここでは、次の文を翻訳する例で紹介します。

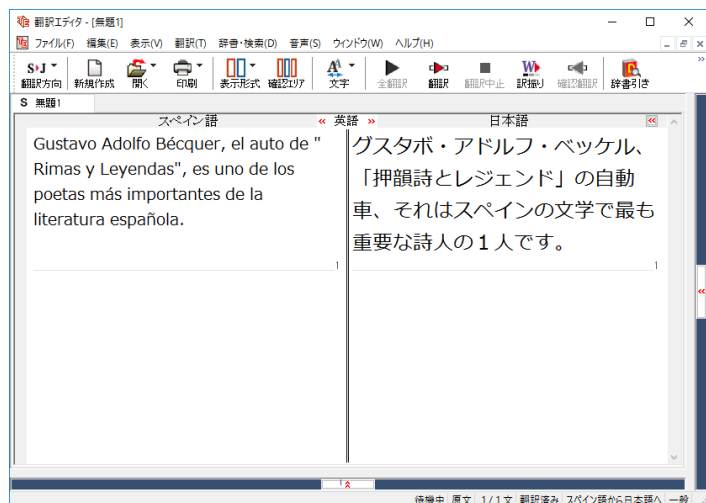
Gustavo Adolfo Bécquer, el auto de "Rimas y Leyendas", es uno de los poetas más importantes de la literatura española.

上記の文では、“autor” とするべき部分が、タイプミスで “auto” となっています。なお、この例では、原則的に中間翻訳結果ボックス、単語情報ボックスを非表示にした画面例で説明します。

1



原文をクリックしてポインタを置き、[翻訳]ボタンをクリックします。

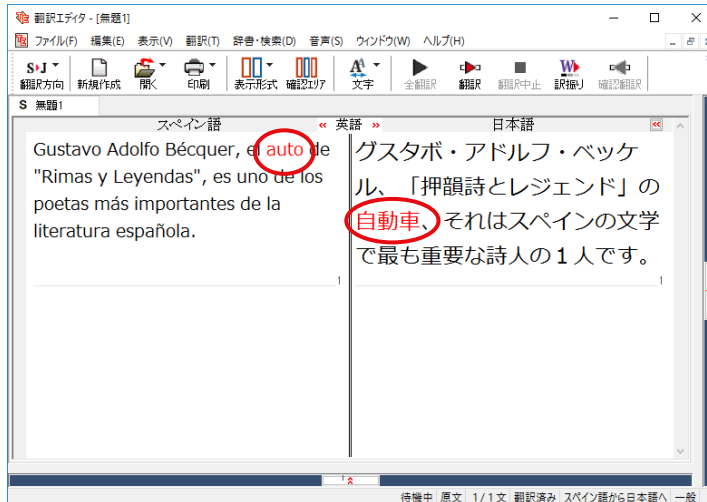


原文が翻訳され、次の翻訳結果が訳文ボックスに表示されます。

グスタボ・アドルフ・ベッケル、「押韻詩とレジェンド」の自動車、それはスペインの文学で最も重要な詩人の1人です。

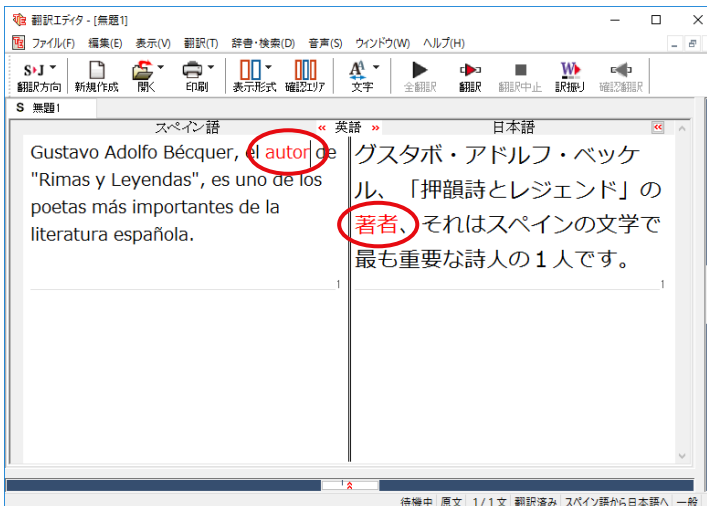
原文では、“autor” という単語が “auto” と誤って入力されているため、不自然な文に訳出されてしまいました。そこで、原文を修正し、再度翻訳してみましょ。ここではすでに、修正するべき単語がわかっています。しかし実際の翻訳では、まず、間違っている単語を見つけなければなりません。この作業は、翻訳エディタの単語対応の機能を使えば簡単にできます。

2



訳文の“自動車”という部分をクリックします。訳文の“自動車”と原文の“auto”が赤で表示されています。これで“自動車”を改善するためには、対応する“auto”を修正すればよいことが分かります。

3



“auto”の最後に“r”を入力します。翻訳済みの原文を編集すると、すぐに際翻訳が実行されます。

グスタボ・アドルフ・ベッケル、「押韻詩とレジェンド」の著者、それはスペインの文学で最も重要な詩人の1人です。

意味の通る訳文になりました。

このように、翻訳結果が思わしくないときは、まず、不自然な部分を単語対応で検討することで、原文に不備がなかったかどうかをチェックできます。



編集後の単語対応表示について

翻訳後に文を編集すると、単語対応表示は次のようになります。

《原文を編集》

編集後、再翻訳が実行されます。原文、中間翻訳結果、訳文の単語対応も見なおされるので、編集後も単語対応を表示できます。

《訳文を編集》

編集した部分の単語対応が無効になります。それ以外の部分は、原文、中間翻訳結果、訳文の単語対応を表示できます。

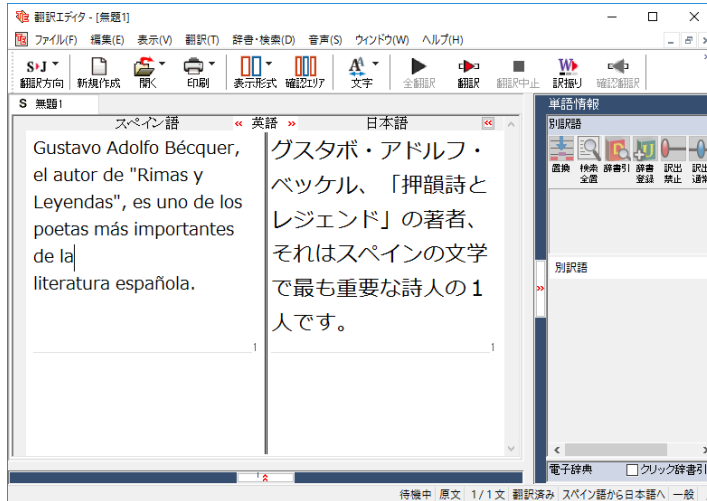
《中間翻訳結果を編集》

編集後、中間翻訳結果の再翻訳が実行されます。このため、中間翻訳結果と訳文の単語対応は表示できますが、原文の単語対応は表示できなくなります。

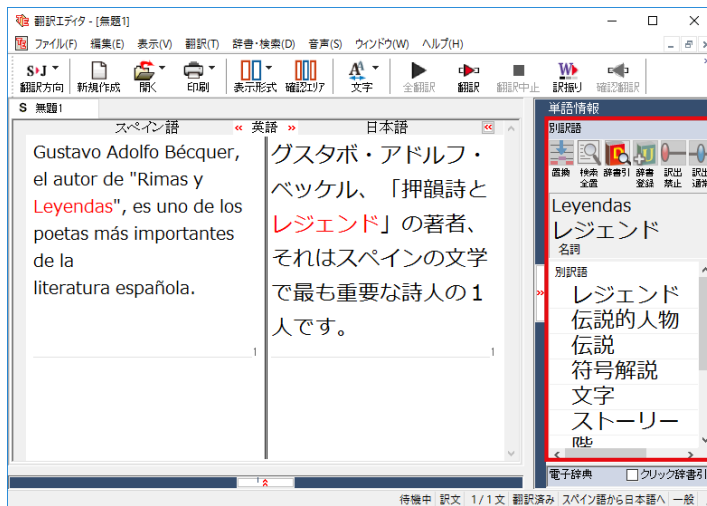
◆別の訳語を選択する

ある単語の訳語は1つだけではありません。翻訳エンジンは、もっとも使用頻度の高い訳語を使って翻訳を行います。別の訳語を選んだ方が、より好ましい訳文になることもあります。そこで翻訳エディタには、翻訳後、任意の単語に対する訳語の一覧を表示して、別の訳語に変更する機能が用意されています。

1

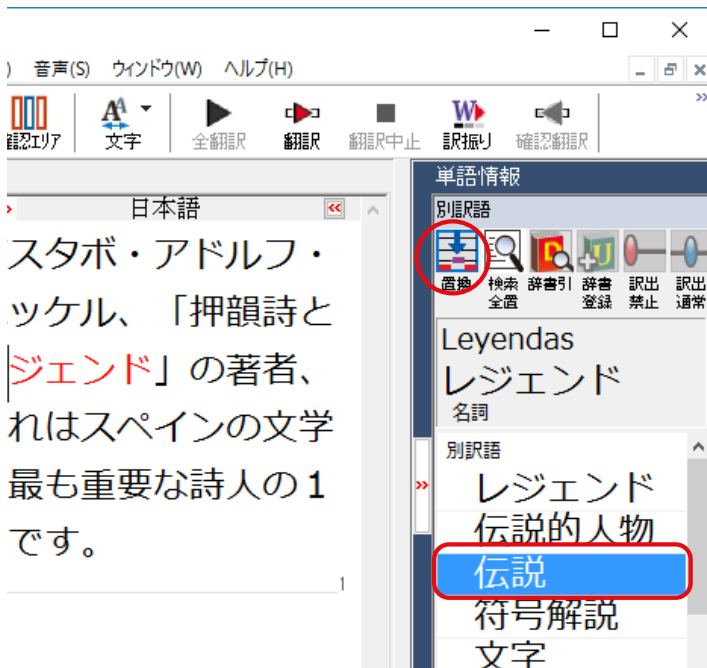


単語情報ボックスを表示しておきます。先程、翻訳した和文の“レジェンド”にマウスカーソルを合わせ、マウスをクリックします。

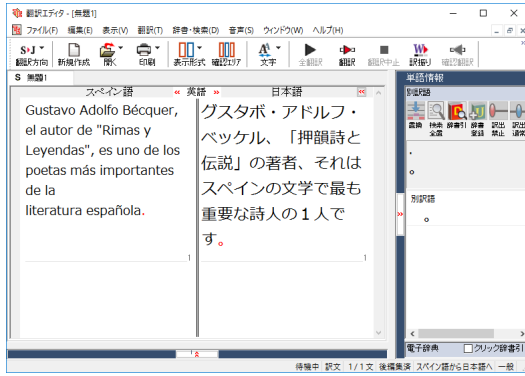


原文の“Leyendas”と“レジェンド”が赤で単語対応表示されます。また、単語情報バーの[別訳語]に“Leyendas”に対する訳語の一覧が表示されます。

2



別訳語の一覧から、“伝説”を選択し、[置換]ボタンをクリックします。



訳文の“レジェンド”が“伝説”に変わります。

グスタボ・アドルフ・ベッケル、「押韻詩と伝説」の著者、それはスペインの文学で最も重要な詩人の1人です。

このように、別訳語を選ぶことで、より適切な訳文になりました。

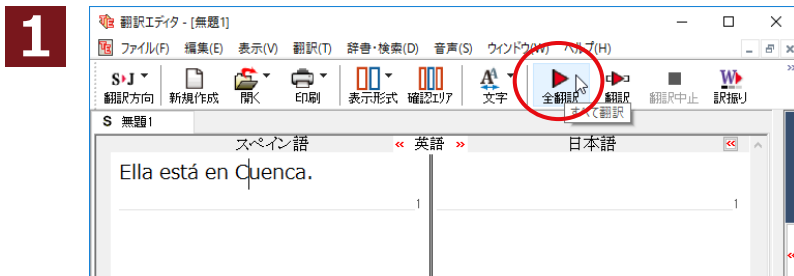
◆ユーザ辞書を使用する

本製品には、ユーザ自身が語句を登録できるユーザ辞書の機能があります。翻訳実行時に訳せなかった単語や固有名詞などを登録していくことで、翻訳の精度が上がっていきます。本製品をインストールした時点では、「ユーザ辞書（標準）」という名称のユーザ辞書が翻訳スタイルに登録されています。ユーザ辞書は、最大5個まで同時に使用できます。また、5個以上のユーザ辞書を作っておき、必要に応じて切り替えて使用することもできます。ユーザ辞書の管理は、翻訳スタイルの一部として行います。新規作成、ロード（本製品で使用するユーザ辞書として指定すること）、アンロード（本製品で使用するユーザ辞書の指定から外すこと）が行えます。翻訳スタイル「一般」にロードされている「ユーザ辞書（標準）」に語句を登録する方法を紹介します。

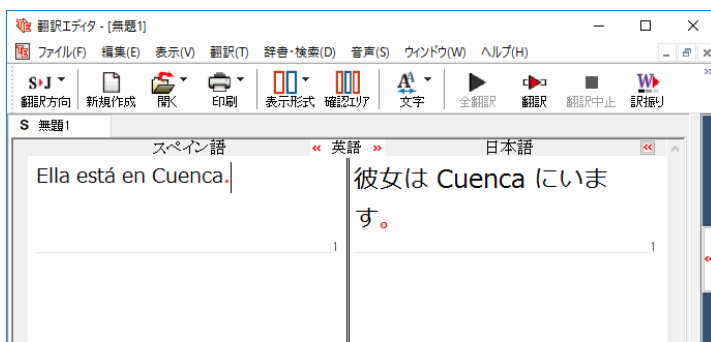
辞書にない単語が含まれる文を翻訳してみる.....

翻訳エディタで、辞書に登録されていない単語が英文に含まれる場合、どのように翻訳されるかを見てみましょう。ここでは、次の文を翻訳します。

Ella está en Cuenca.



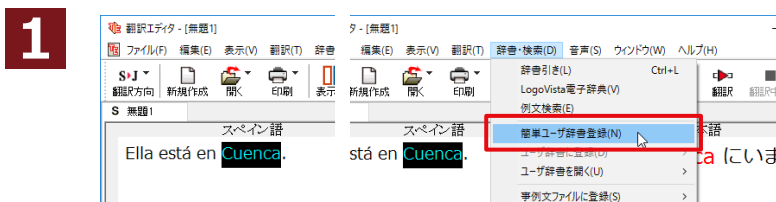
原文にポインタを置き、[翻訳]ボタンをクリックします。原文が翻訳され、翻訳結果が訳文ボックスに表示されます。



“Cuenca” は地名ですが、辞書に登録されていないため、原語のまま訳出されてしまいました。

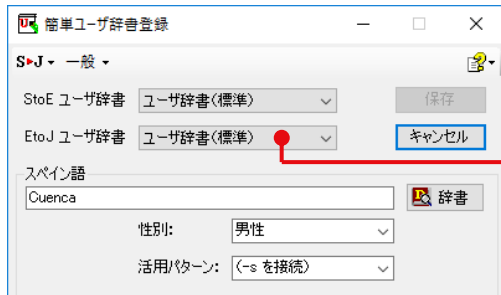
ユーザ辞書に語句を登録する.....

“Cuenca”をユーザ辞書に登録し、再翻訳してみましょう

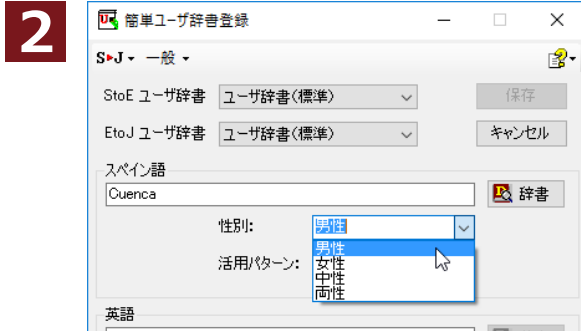


“Cuenca”をマウสดラッグで選択して、[辞書・検索]メニューから[単一ユーザ辞書登録]をクリックします。

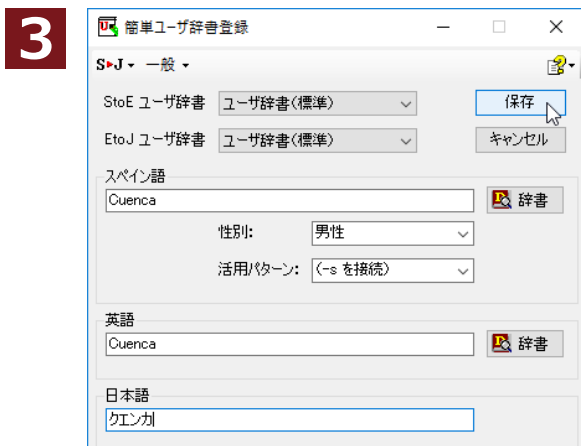
[簡単ユーザ辞書登録] ダイアログボックスが表示されます。スペイン語の欄には、選択した“Cuenca”が自動的に入力されます。



選択中の翻訳スタイルに中間言語と日本語間のユーザ辞書が複数ロードされているときは、登録先のユーザ辞書を選択できます。



必要に応じて、単語の性別、活用パターンを設定します。



次の各欄に入力します。

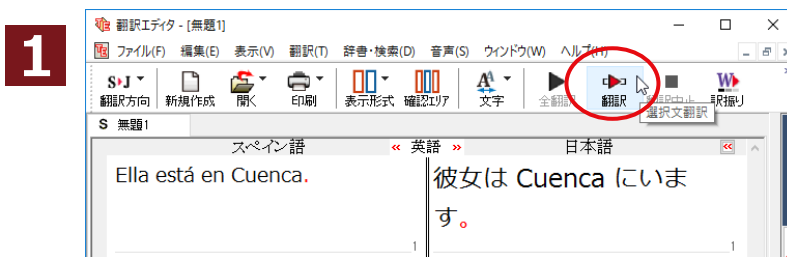
英語 Cuenca

日本語 クエンカ

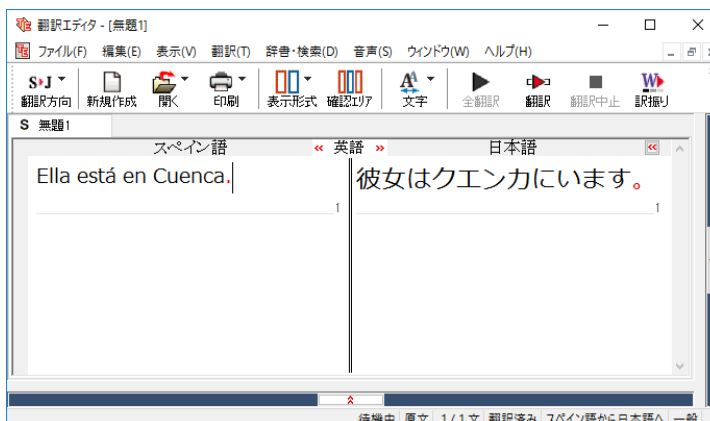
入力したら[保存]ボタンをクリックします。

これで登録が終了し、[簡単ユーザ辞書登録]ダイアログボックスが閉じます。

再翻訳する.....



翻訳エディタの[翻訳]ボタンをクリックして、再翻訳してみます。



再翻訳され、“Cuenca”が正しく翻訳されます。



ユーザ辞書が出典元の語句は、青字で表示されます。

◆専門辞書・分野辞書を使用する

専門辞書や分野辞書は、分野ごとの専門用語が収録された辞書です。翻訳を行う文書に応じて使い分けると、より適切な翻訳結果を得ることができます。ここでは、専門辞書・分野辞書を使うことにより、翻訳結果がどのように変わるかを紹介します。



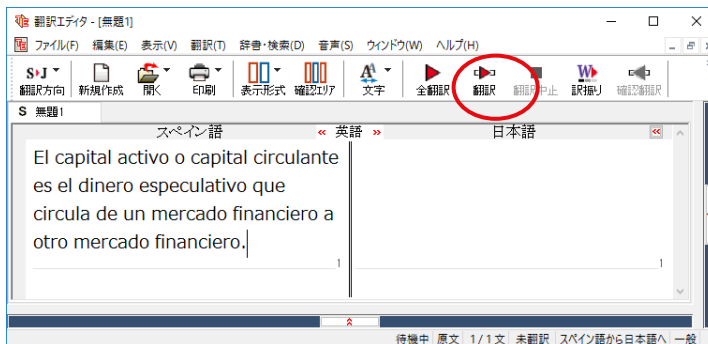
- ・ 翻訳に使用できる専門辞書・分野辞書については、本マニュアル第 1 章の「4 翻訳に使用できる辞書について」をご覧ください。
- ・ 分野辞書は、翻訳スタイルの編集ダイアログ上では専門辞書の一種として扱われます。

専門辞書なしで翻訳してみる.....

まずは、専門辞書を利用しない場合、どのように翻訳されるかを見てみましょう。

El capital activo o capital circulante es el dinero especulativo que circula de un mercado financiero a otro mercado financiero.

1

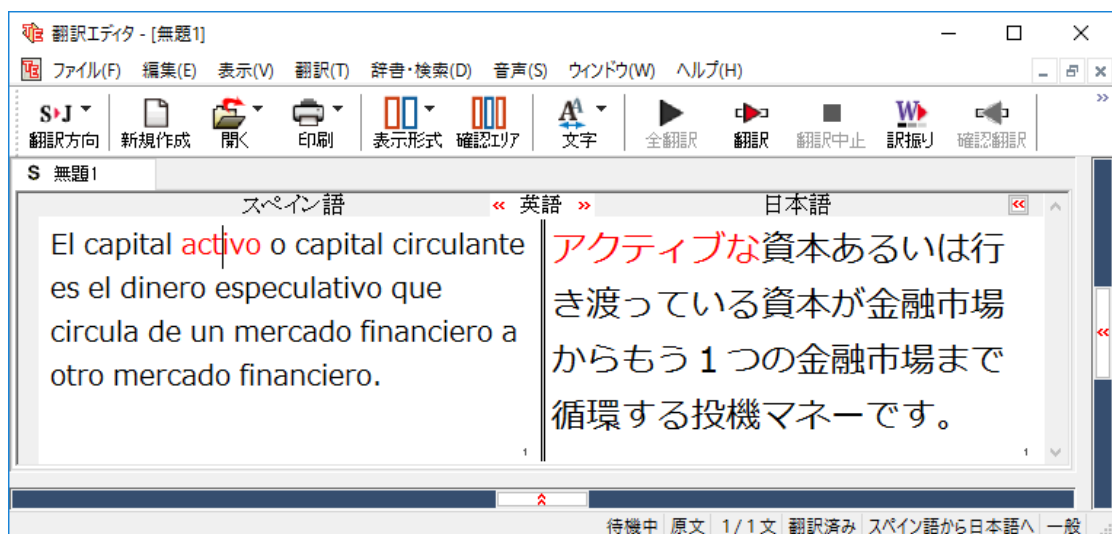


原文にポインタを置き、[翻訳]ボタンをクリックします。

次のように翻訳されます。

アクティブな資本あるいは行き渡っている資本が金融市場からもう1つの金融市場まで循環する投機マネーです。

“activo”が「アクティブな」と訳されていることがわかります。それでは、専門辞書を利用すると、この文がどのように訳されるか見ていきましょう。



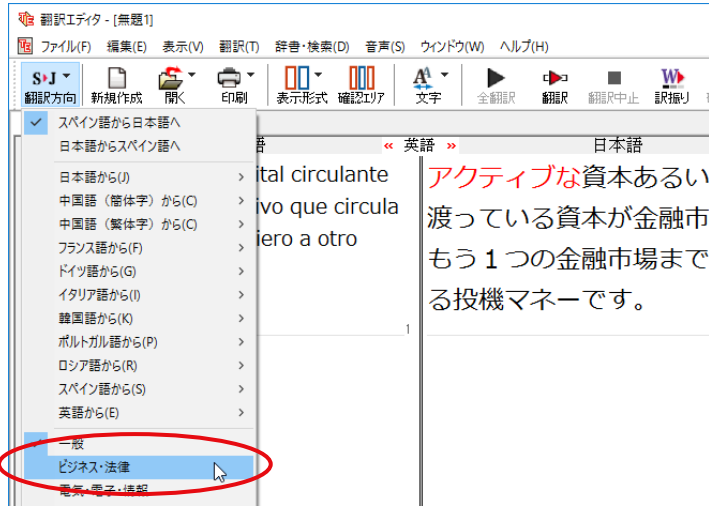
翻訳スタイル「ビジネス・法律」を使って再翻訳する.....

専門辞書は翻訳スタイルにロードすることで利用できるようになります。ここでは、金融・経済関連の専門辞書があらかじめロードされている翻訳スタイル「ビジネス・法律」を使用して再翻訳してみます。

翻訳スタイルの「ビジネス・法律」には、次の専門辞書がセットされています。

『ビジネス一般V2』『金融・経済V2』『法律V2』

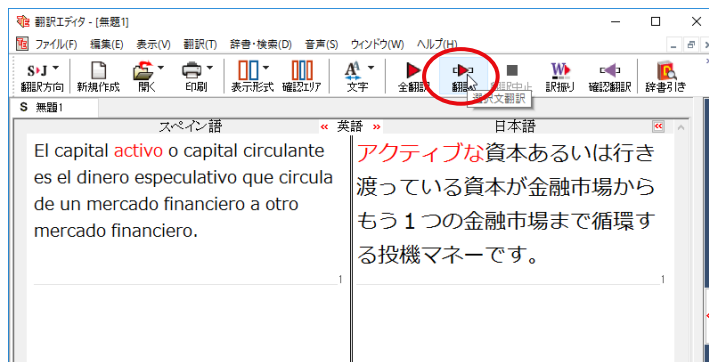
1



[翻訳方向] ボタンをクリックし、メニューから [ビジネス・法律] を選択します。

これで使用する翻訳スタイルが変更されます。

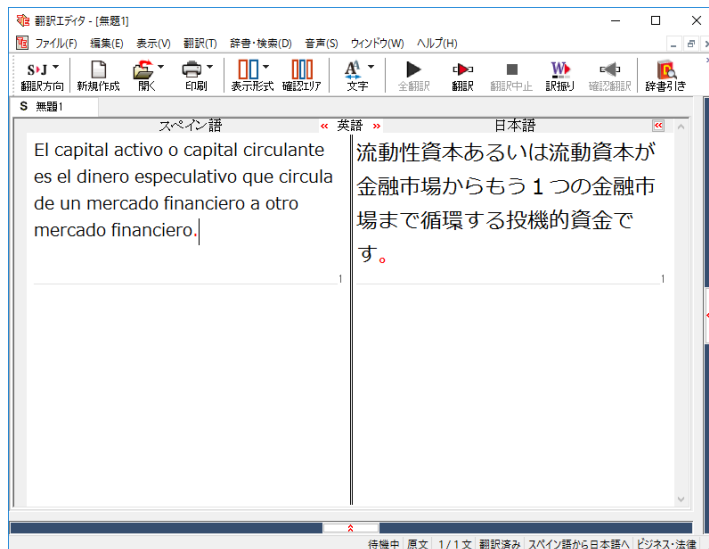
2



翻訳スタイルを「ビジネス・法律」に変更したことによって、翻訳結果がどのように変わるか見てみましょう。

ポインタを置き、[翻訳] ボタンをクリックします。

専門辞書を使って翻訳が行われ、以前の訳文が次の訳文に入れ替わります。



流動性資本あるいは流動資本が金融市場からもう1つの金融市場まで循環する投機資金です。

以前は「アクティブな」と訳されていた activo が「流動性」と解釈され、それに伴い訳文の前半部分がより適切に翻訳されていることがわかります。

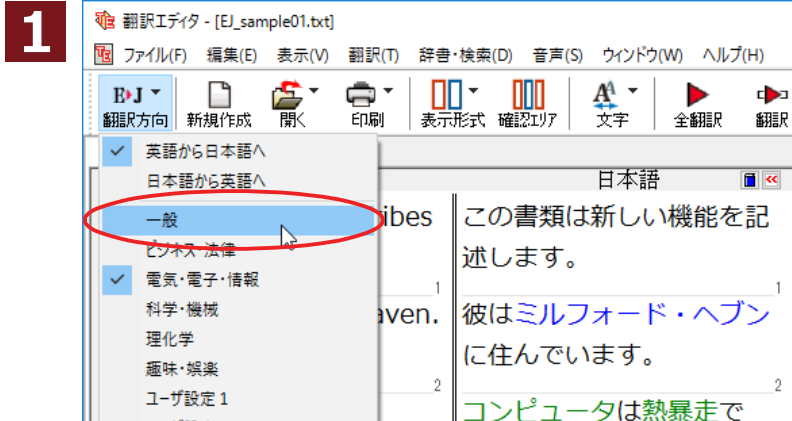
このように、専門辞書・分野辞書を使うことで、専門的な文章をより正しく翻訳することができます。

◆ 語句をグループや原語のままにする（英日翻訳のみ）

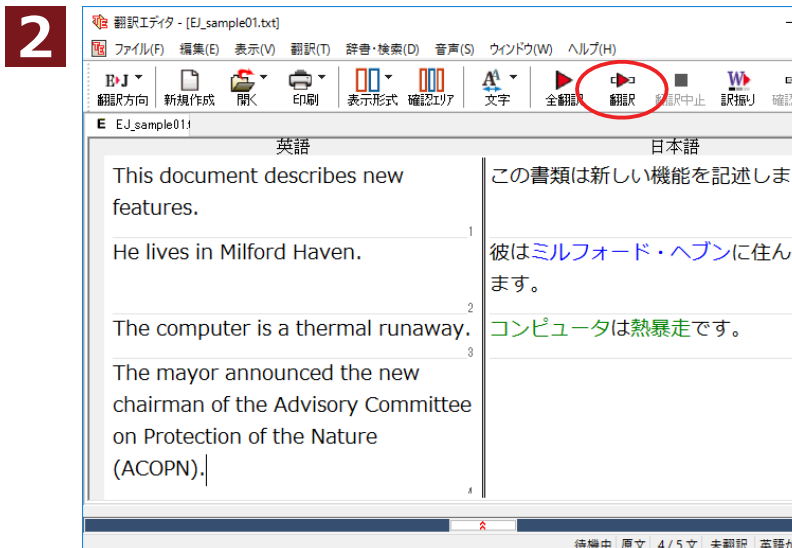
英日翻訳では、[グループ] ボタンをつかって、グループとしてひとまとまりに翻訳したい語句や、英語のまま訳出したい語句を指定できます。ここでは、[グループ] ボタンを使うことにより、翻訳結果がどのように変わるかを紹介します。

長い組織名を含む英文を、グループ指定をせずに翻訳してみる.....

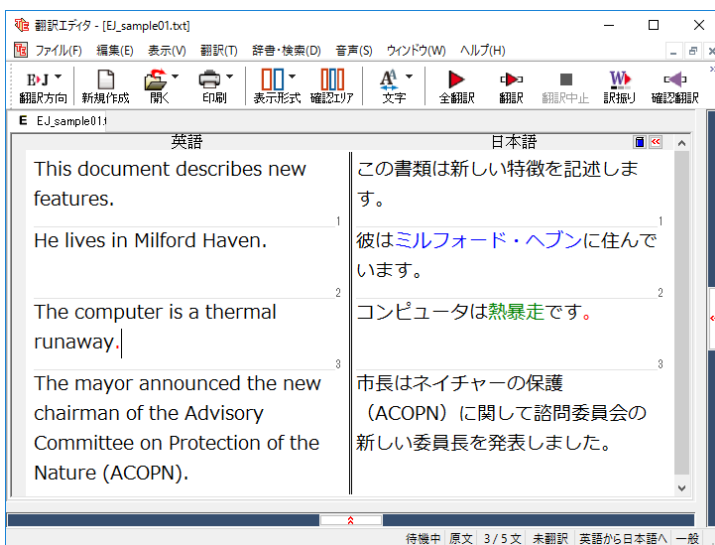
まずは、グループ指定をしない場合、どのように翻訳されるかを見てみましょう。



使用する翻訳スタイルを「一般」に戻しておきます。[翻訳方向] ボタンをクリックし、メニューから [一般] を選択します。



4文目の原文にポインタをおき、[翻訳] ボタンをクリックします。



次の訳文が表示されます。

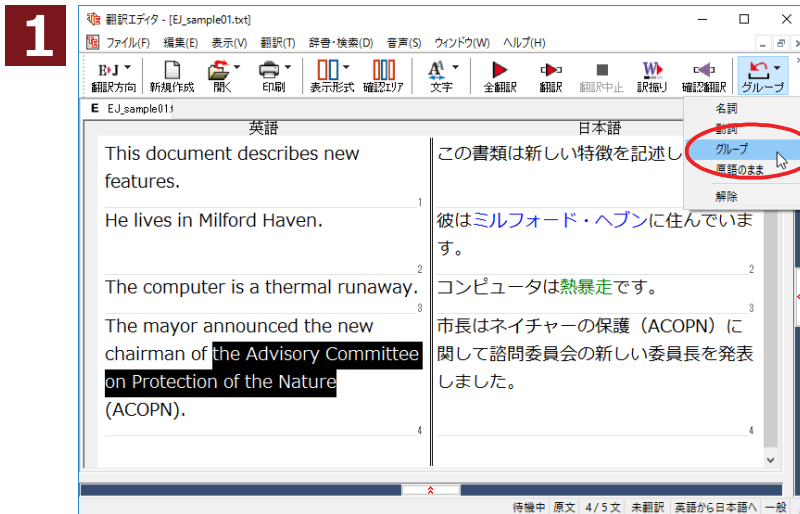
市長はネイチャーの保護 (ACOPN) に関して諮問委員会の新しい委員長を発表しました。

"the Advisory Committee on Protection of the Nature (ACOPN)"が、1つのまとまりとして訳されず、前置詞onの部分で区切られて解釈されていることがわかります。

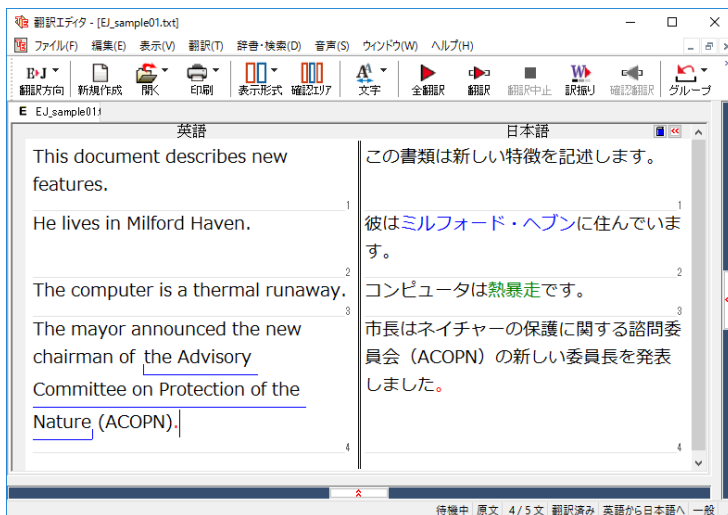
次では、グループを指定すると、この文がどのように訳されるか見ていきましょう。

組織名をグループ化する.....

組織名がひとまとまりに翻訳されるように、グループの指定をしましょう。



“ the Advisory Committee on Protection of the Nature” をマウスドラッグで選択して、[グループ] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [グループ] を選択します。



指定した部分がアンダーラインで表示され、再翻訳が行われます。以前の訳文が次の訳文に入れ替わります。

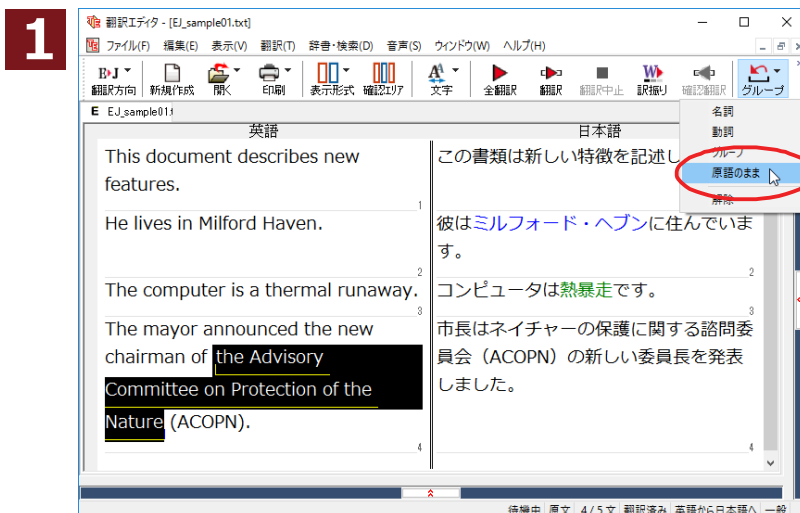
市長はネイチャーの保護に関する諮問委員会 (ACOPN) の新しい委員長を発表しました。

以前は二つに分けられて訳されていた組織名が、ひとまとまりの語句として「自然の保護に関する諮問委員会」と訳されていることがわかります。

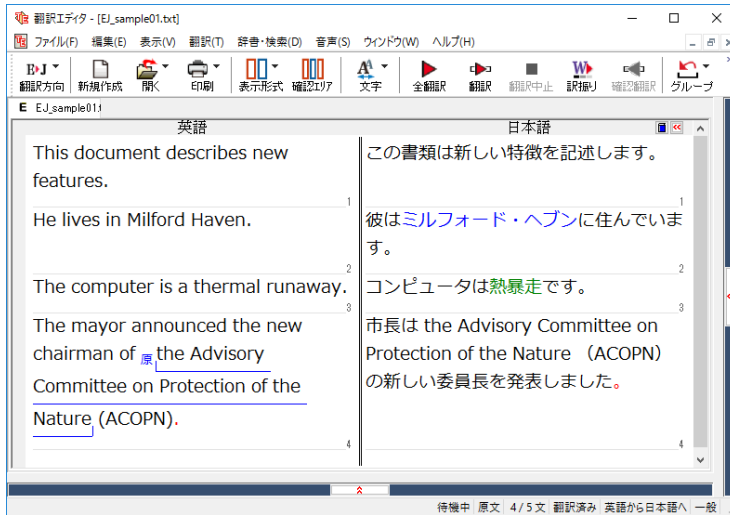
このように、複数の語句から成り立つ名称や、複文がうまく翻訳されないときは、グループを指定して翻訳することで、より正確に翻訳することができます。

組織名を原語のまま訳出する.....

名称などは、日本語に訳したくない場合があります。このときは、[原語のまま] を指定します。



“ the Advisory Committee on Protection of the Nature” をマウスドラッグで選択して、[グループ] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [原語のまま] を選択します。



指定した部分が、「原」の文字とアンダーラインで表示され、再翻訳が行われます。以前の訳文が次の訳文に入れ替わります。

市長は the Advisory Committee on Protection of the Nature (ACOPN) の新しい委員長を発表しました。

「原文のまま」を指定した部分は翻訳されずに、そのまま訳文になります。

このように、名称などで原語のまま訳出したいときは、[グループ] ボタンの [原語のまま] を使います。

◆よりよい翻訳結果を得るために

左右対訳形式で翻訳を行う翻訳エディタでは、原文と訳文を比較検討しながら、翻訳結果を改良していくことができます。改良方法を練習してみましょう。

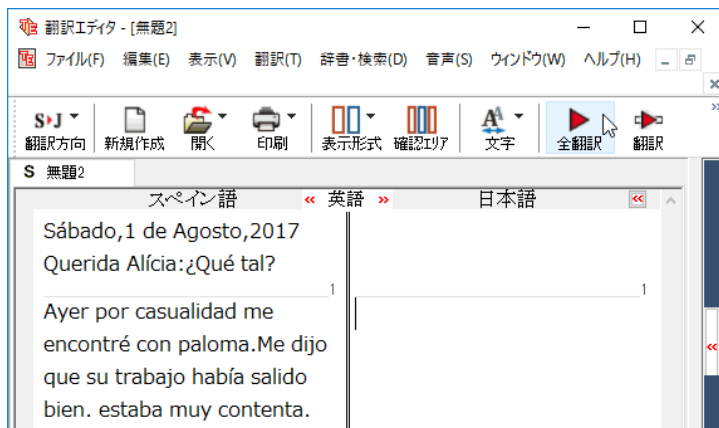
文末を正しく調整して翻訳する.....

複数の文章をまとめて翻訳するときは、各文の切れ目が明確になっていることが、正しい翻訳を得るためのポイントになります。このためには、ピリオドの後にスペースを挿入する、文頭が大文字になっている等、原文が正しく入力されていることが必要です。

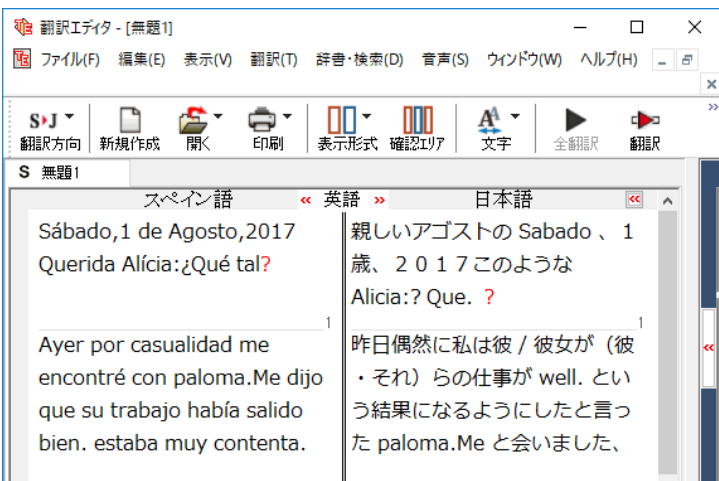
文末が正しくない場合、翻訳結果がどのようなようになるかを確認してみましょう。ここでは次の例文を翻訳します。

Sábado,1 de Agosto,2017 Querida Alicia:¿Qué tal?
Ayer por casualidad me encontré con paloma.Me dijo que su trabajo había salido bien. estaba muy contenta.

1



[全翻訳]ボタンをクリックします。翻訳が行われ、訳文が表示されます。



以下は、翻訳の結果です。文末が正しく認識されていなかったため、意味のわからない訳文になってしまいました。日付も翻訳されていません。

親しいアゴストの Sabado、1歳、2017このような Alicia:? Que. ? 昨日偶然に私は彼 / 彼女が (彼・それ) らの仕事が well. という結果になるようにしたと言った paloma.Me と会いました、それは非常に幸せでした。

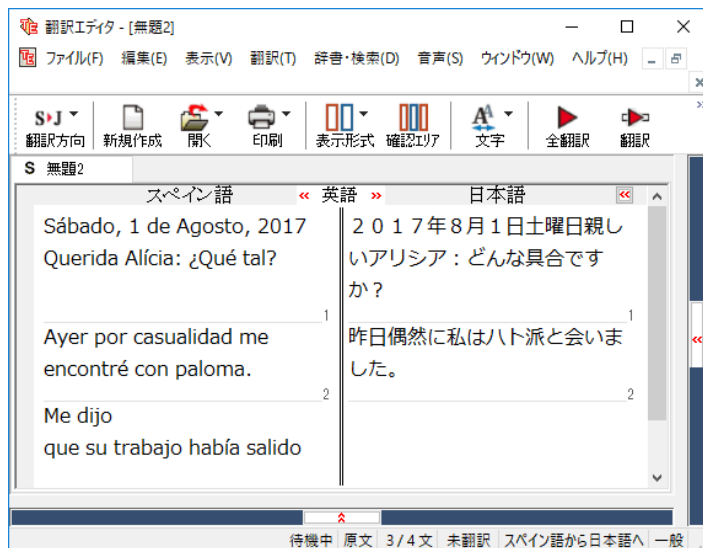
原文を修正して、文末を再判定する.....

それでは、前半部分も正しい翻訳になるように修正してみましょう。

- 1** 次の△で示した部分にスペース、↓で示した部分に改行を入力します。また、最後の文の文頭「e」（赤文字で表示）を大文字に修正します。

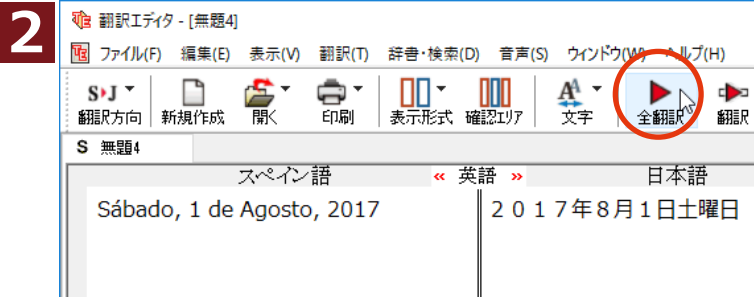
Sábado,△1 de Agosto,△2017 ↓ Querida Alicia:△¿Qué tal?
Ayer por casualidad me encontré con paloma.△Me dijo que su trabajo había salido bien. △estaba muy contenta.

修正すると、次の図のようになります。



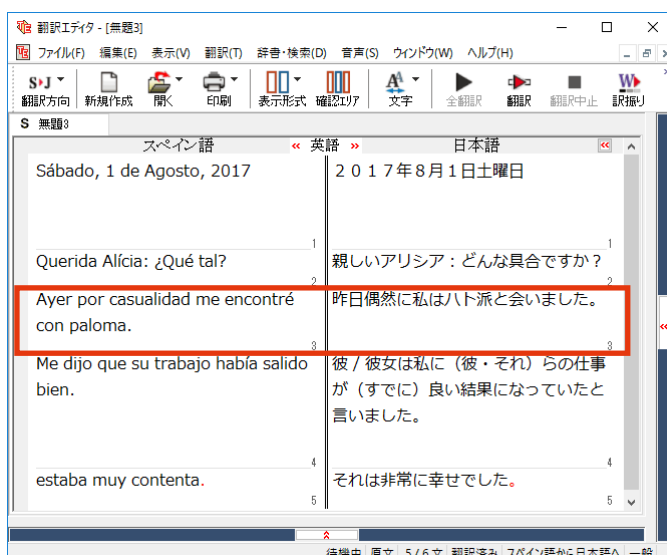
1文目は、スペースが入力されると再翻訳が実行され、日付が正しく翻訳されます。

2文目以降は、スペースが入力されると行末の再判定が実行され、2つの文に分けられます。また、最後の文はスペースの入力と、文頭を大文字にすることで文の始まりと認識されます。このようにカンやピリオドの後にスペースや改行を適切に入力し、文頭を大文字にすることで、文の区切りが正しく認識されます。新しく文と認識された部分を除き、再翻訳が実行されます。



[全翻訳]ボタンをクリックします。

新しく文を認識された未翻訳の原文が翻訳されます。

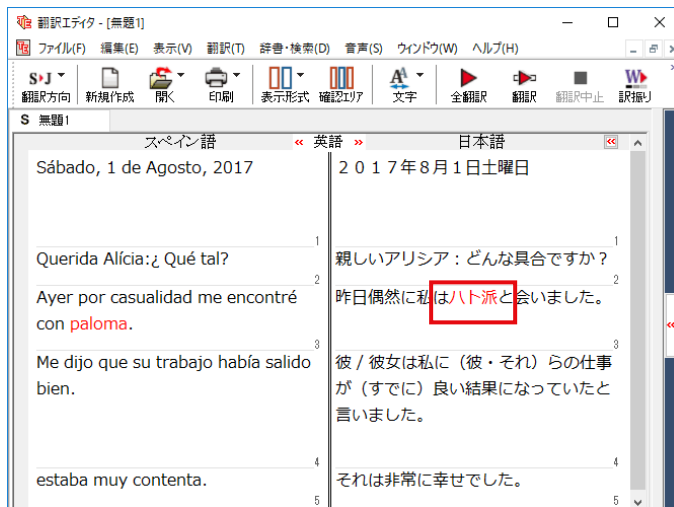


3文目を除いて、正しく翻訳されました。

大文字／小文字を正しく修正して翻訳する.....

3文目の原文を修正しましょう。

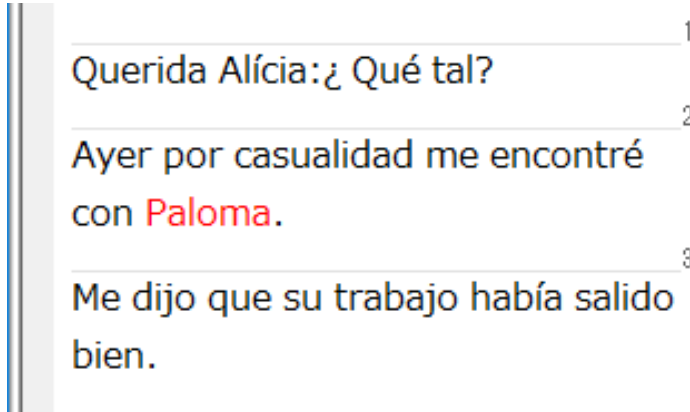
1



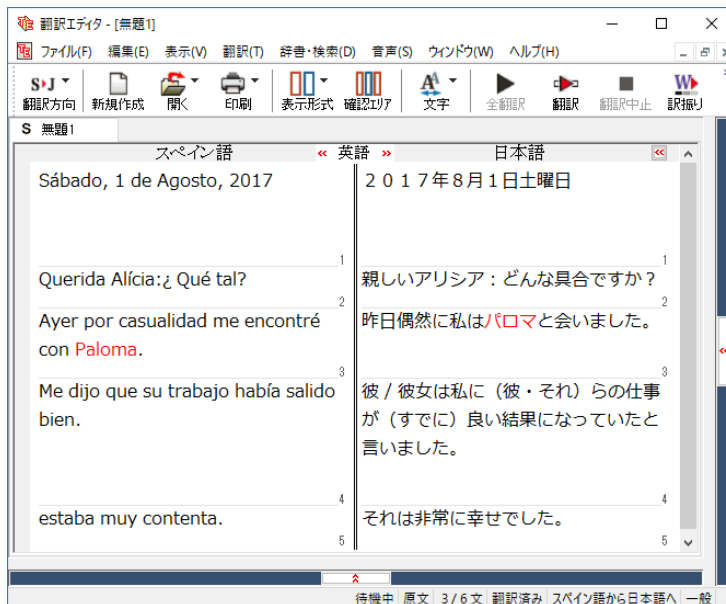
3文目の訳文で、不自然なのは“ハト派”という部分です。この訳語をクリックします。

“ハト派”と“paloma”が赤で表示され、対応していることがわかります。ここでは、人名である“paloma”が小文字で始まっていたために正しく翻訳されていません。

2



“paloma”を“Paloma”に修正します。

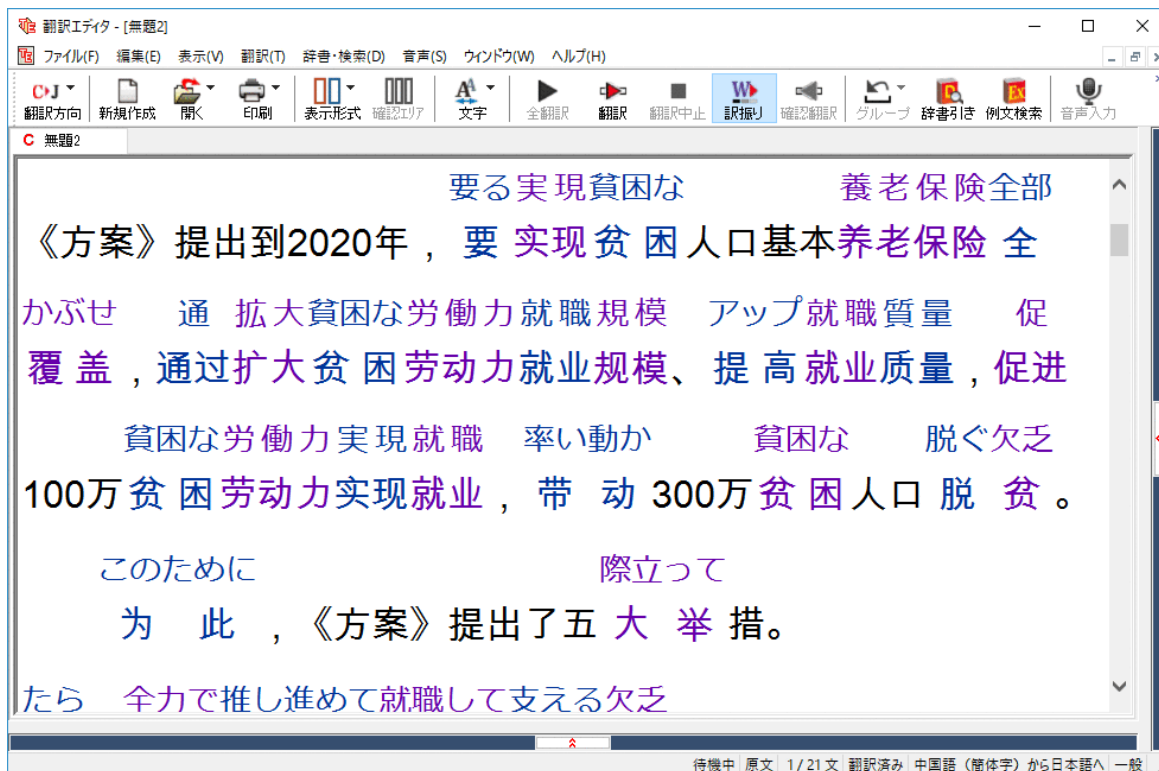


再翻訳されます。Paloma が人名と解釈され、それにともない文全体の訳出のされかたも変わり、全体を通して自然な訳文になりました。

◆ 訳振り機能

訳振り機能とは、文を単語単位で区切って訳をルビのように、単語の上部に表示する機能です。

翻訳ソフトが文法を重要視するために、かえってわかりにくい翻訳結果になってしまうことがあります。単語の意味だけわかったほうが理解しやすい場合に、直訳的に単語の意味だけを表示させるモードです。



訳振りでは原文編集はできません。原文を編集する場合は、「表示」メニューの表示形式から左右対訳などの原文編集のできるビューの表示形式を選択してください。

※ロシア語は訳振り機能に対応していません。

日本語を翻訳してみよう

日本語から外国語に翻訳する場合、文法の違いなどを考慮して原文を作成しておく必要があります。元になる文によっては意味が通らない訳文になってしまうことがあります。

翻訳エディタには、より適切な翻訳ができるようサポートする機能が用意されています。これらを利用しながら翻訳を行う方法を紹介します。

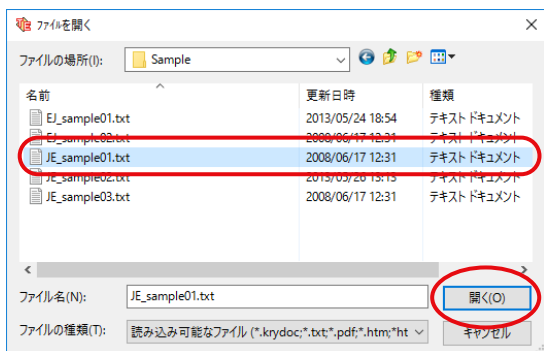
◆テキストファイルを読み込む

ここでは、サンプルのテキストファイル「JE_sample01.txt」を読み込んで翻訳してみます。サンプルのテキストファイル「JE_sample01.txt」は、製品をインストールしたフォルダの[Sample]フォルダ内にあります。規定値のままインストールした場合は以下のフォルダです。

C:\Program Files\LogoVista Corp\Korya2019P\Sample (32bit OS の場合)

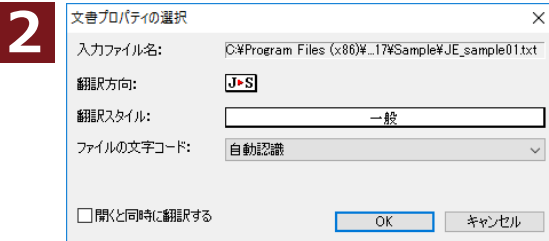
C:\Program Files (x86)\LogoVista Corp\Korya2019P\Sample (64bit OS の場合)

- 1 [翻訳エディタ]ウィンドウの[開く]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[ファイルを開く]コマンドを選択します。[ファイルを開く]ダイアログボックスが開きます。



[Sample]フォルダに移動し[JE_sample01.txt]を選択して[開く]ボタンをクリックします。

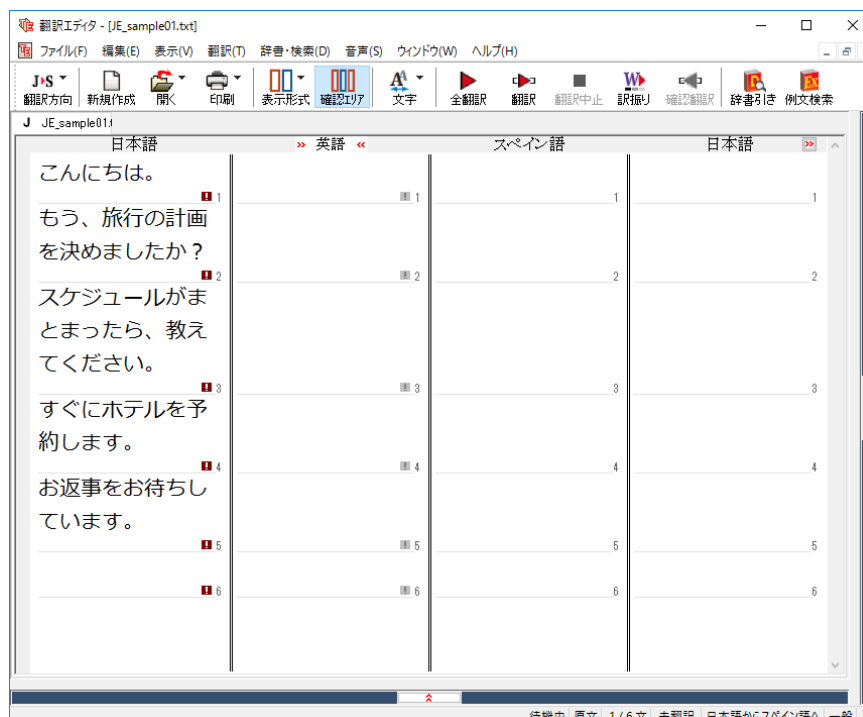
[文書プロパティの選択]ダイアログボックスが開きます。



[翻訳方向の選択]ボタンをクリックして、プルダウンリストを開き、翻訳方向を選択します。

その他は変更せずに [OK] ボタンをクリックします。

サンプルテキストが読み込まれます。



◆会話モードを活用する

親しい間柄でやりとりするメールや手紙、あるいは日記などの個人的な文章では、口語調の文体がよく使われます。口語調の文では、文語にくらべて、より主語が省略されやすくなります。

このような文を翻訳するときは、会話モードを使うと便利です。原文を解析し、主語を補いながら翻訳します。

注意！

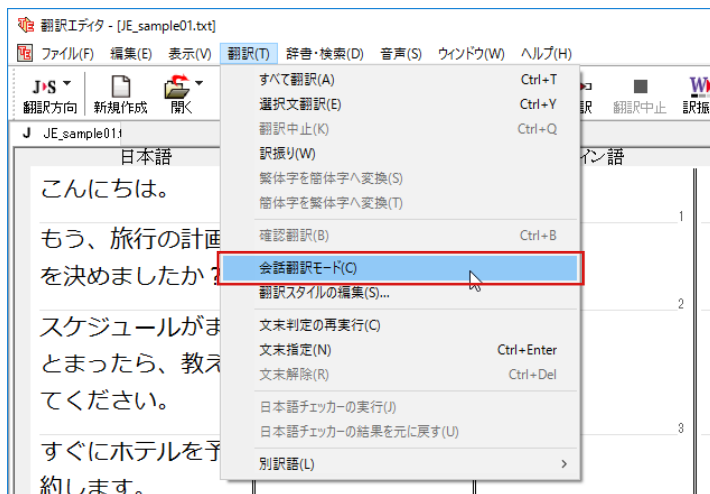
- ・会話モードは日本語から欧州言語に翻訳するときの機能です。中国語、韓国語では利用できません。
- ・初期設定では会話モードがオンになっています。

[会話モード]を使わずに翻訳してみる.....

1

まず会話モードを使わずに翻訳し、結果を見てみましょう。

この例では、単語情報バーを非表示にした画面例で説明します。



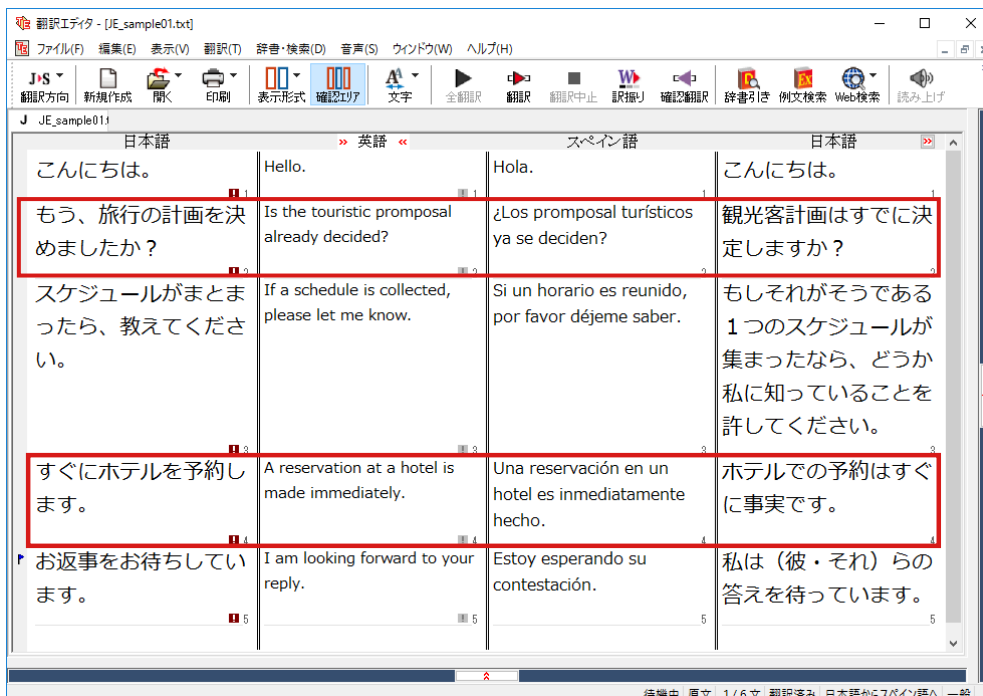
[翻訳]メニューの[会話翻訳モード]をオフ(チェックされていない状態)にします。

2



[全翻訳]ボタンをクリックします。

すべての文が翻訳され、結果が訳文エリアに表示されます。



2文目と4文目の翻訳結果と中間編訳結果に注目してみましょう。

2文目

もう、旅行の計画を決めましたか？ →[中間]Is the touristic promposal already decided?

→[訳文]¿Los promposal turísticos ya se deciden?

4文目

すぐにホテルを予約します。 →[中間]A reservation at a hotel is made immediately.

→[訳文]Una reservación en un hotel es inmediatamente hecho.

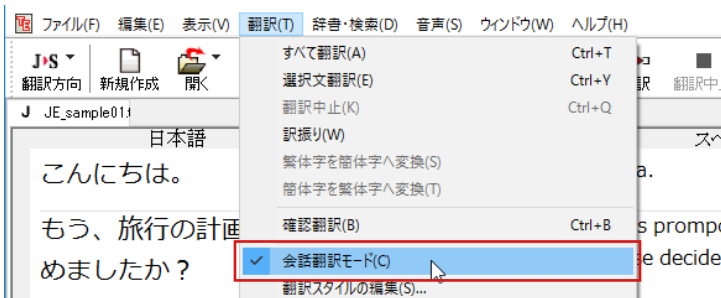
訳文の言語に詳しくない場合は、中間翻訳結果で判断します。

いずれの原文も主語が欠けているため、訳文が受動態の文章になっていることがわかります。

[会話モード]を使って翻訳してみる.....

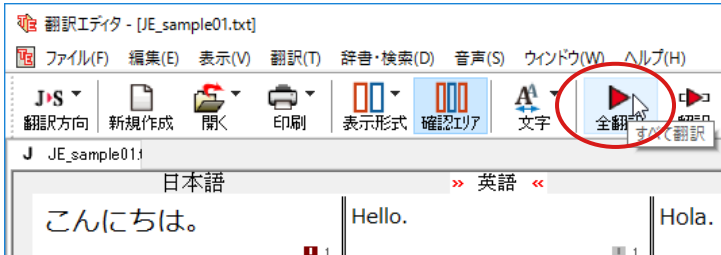
次に会話モードで翻訳し、結果を以前のものと比べてみましょう。

1



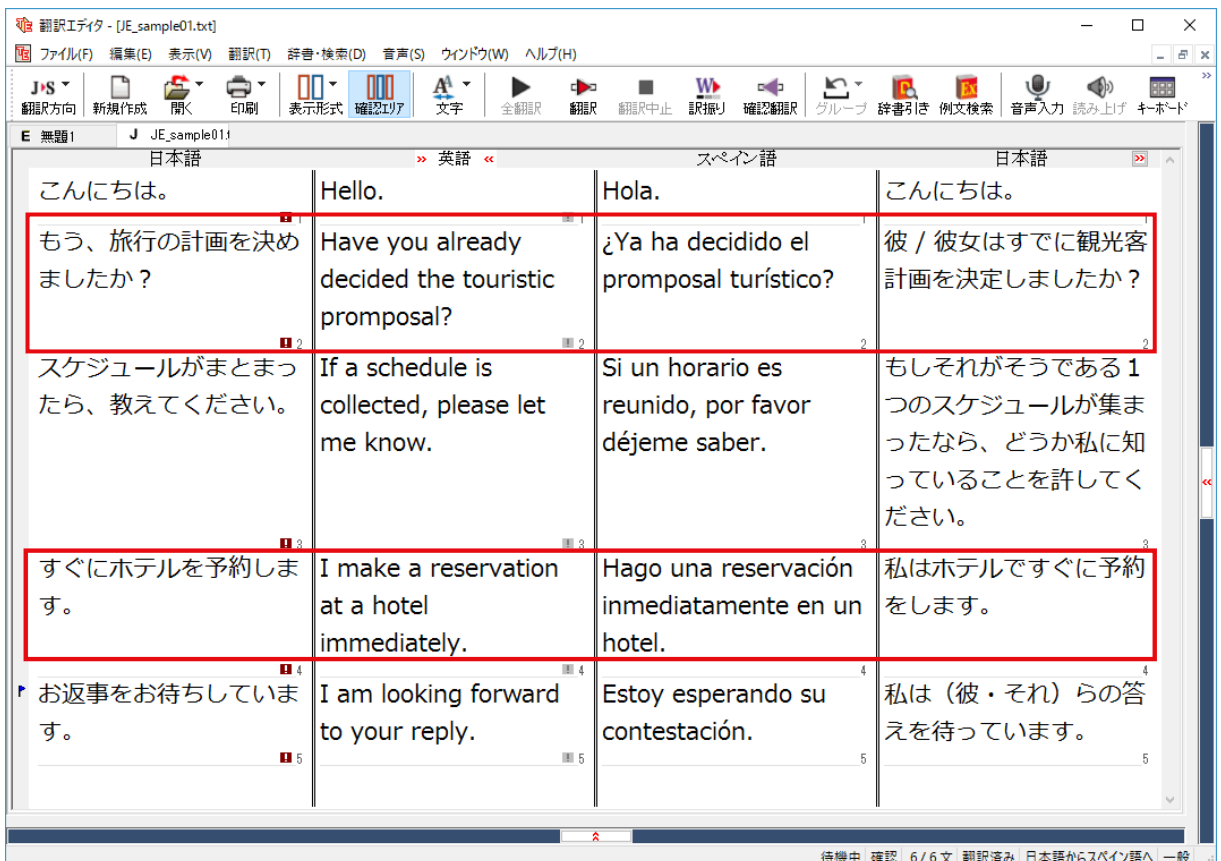
[翻訳]メニューの[会話翻訳モード]をオン(チェックされている状態)にします。

2



すべての原文を選択し、[翻訳]ボタンをクリックします。

再翻訳が行われます。2文目と4文目の訳文が入れ替わります。



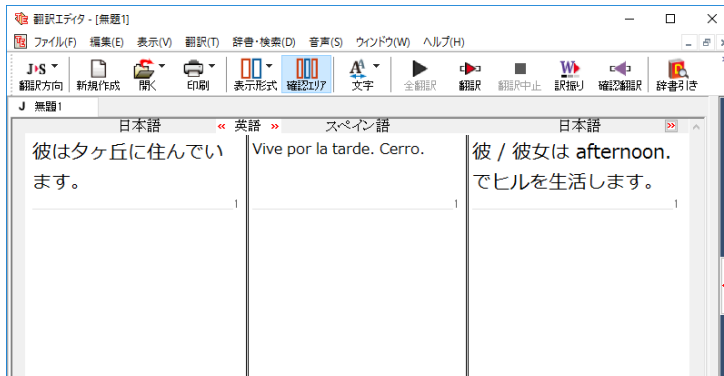
◆ユーザ辞書を使う

人名や地名、商品名等、システム辞書に登録されていない語句があると、訳文に日本語が残ったり、使われている漢字の意味で翻訳されてしまったりする場合があります。このような場合は、その語句をユーザ辞書に登録してください。



日本語から欧州言語への翻訳では、複数のユーザ辞書が使い分けできます。詳しくは第2章の「3 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方」をご覧ください。

1



「彼はタケ丘に住んでいます。」という文を翻訳してみます。

「タケ丘」がシステム辞書に登録されていないため、意味のなさない訳文になっています。そこで、「タケ丘」をユーザ辞書に登録します。

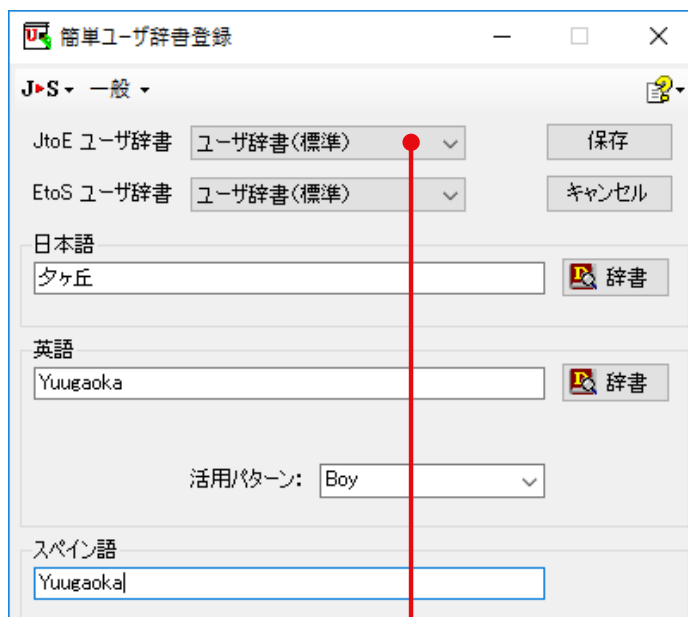
2



和文の「タケ丘」をマウスドラッグで選択し、[辞書・検索]メニューの[単ユーザ辞書登録]を選択します。

[単ユーザ辞書登録]ウィンドウが表示されます。

3



このウィンドウで新しい単語をユーザ辞書に登録できます。すでに「タケ丘」が[見出し語]フィールドの[日本語]入力ボックスに入力されています。

ここでは、次のように設定します。

[英語]：「Yuugaoka」を入力

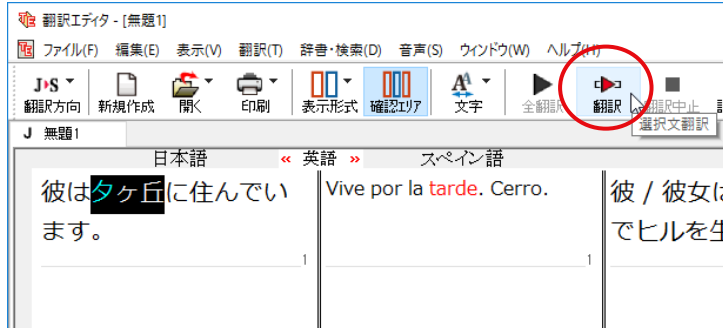
[スペイン語]：「Yuugaoka」を入力

入力したら[保存]ボタンをクリックします。これで「タケ丘」の登録が終了し、ダイアログボックスが閉じます。

選択中の翻訳スタイルに中間言語と日本語間のユーザ辞書が複数ロードされているときは、登録先のユーザ辞書を選択できます。

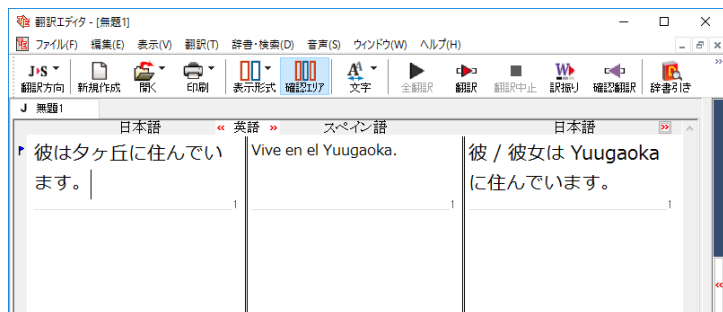
[会話モード] を使って翻訳してみる.....

1



[翻訳] ボタンをクリックして、再翻訳してみます。

2



再翻訳され、新しい訳文に入れ替わります。
"タケ丘"が"Yuugaoka"と訳されます。

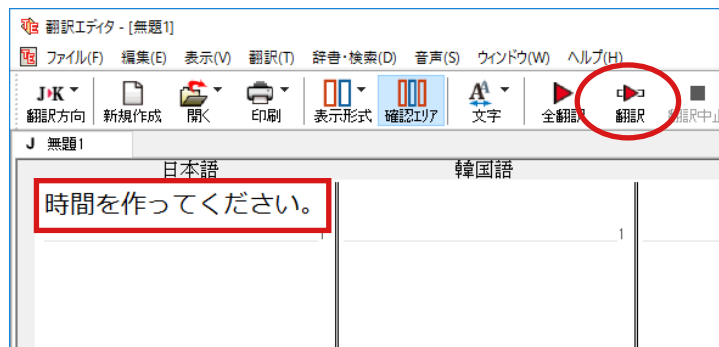
◆定型文を使う

手紙文やビジネス文書などでは、類似した文が繰り返されたり、決まり文句が使われたりすることがあります。これらを事例文として登録しておくことで、翻訳スピードがアップします。また、挨拶文など直訳すると意味が通らなくなってしまう文章も、正確に翻訳できるようになります。事例文を登録するためには、登録先の事例文ファイルを作成し、使用する翻訳スタイルにロードしておく必要があります。

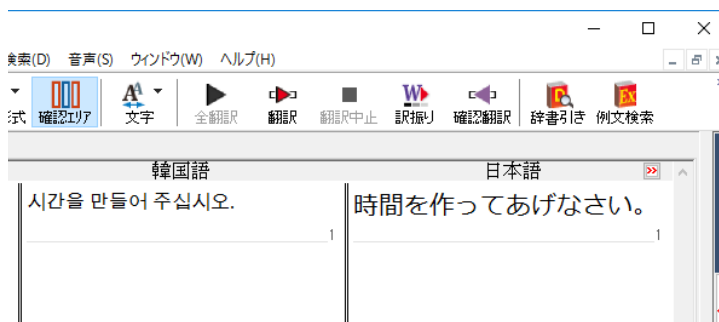
※英日・日英、韓日・日韓、中日・日中に対応しています。

事例文を登録しないで翻訳してみる.....

1



原文エリアに「時間を作ってください」と入力し、[翻訳] ボタンをクリックします。
翻訳結果が表示されます。



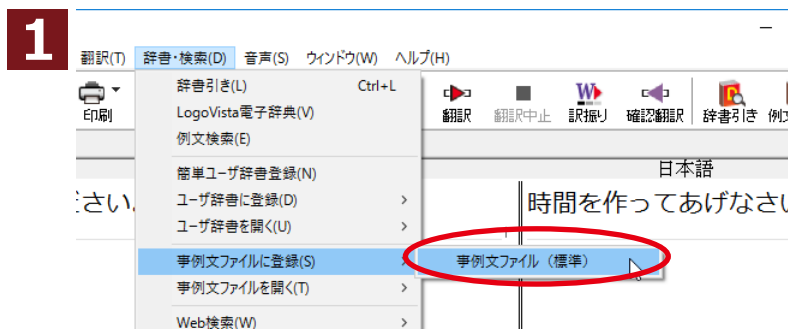
시간을 만들어 주십시오.

[確認翻訳] 時間を作ってあげなさい。

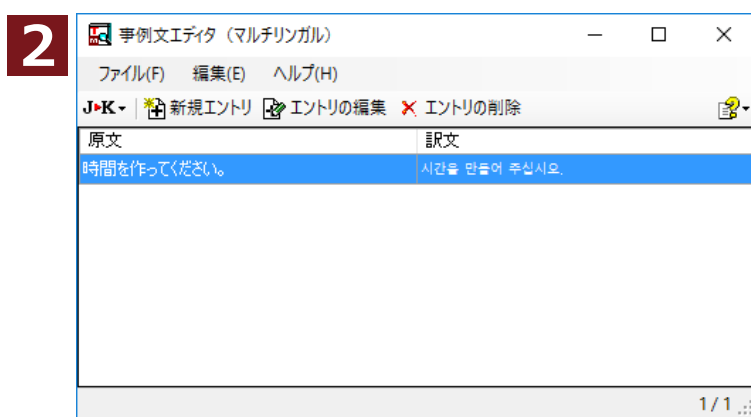
このように、元の和文が持つニュアンスからは、かけ離れてしまいました。

事例文を登録する.....

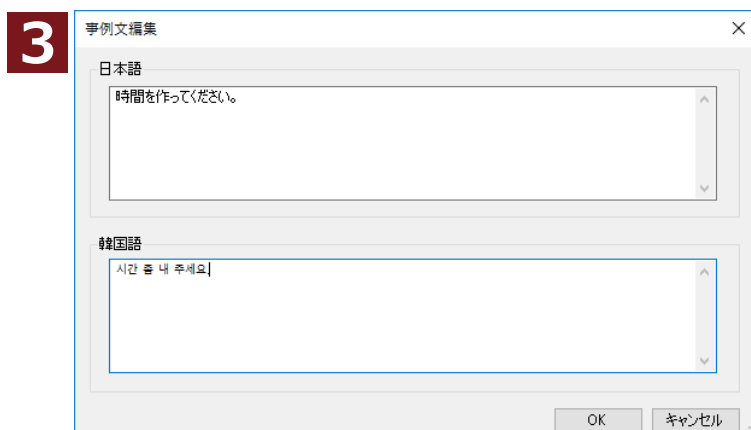
“時間を作ってください。”に相当する文として、韓国語では“시간 좀 내 주세요.”が使われます。この文を事例文として登録してみましょう。



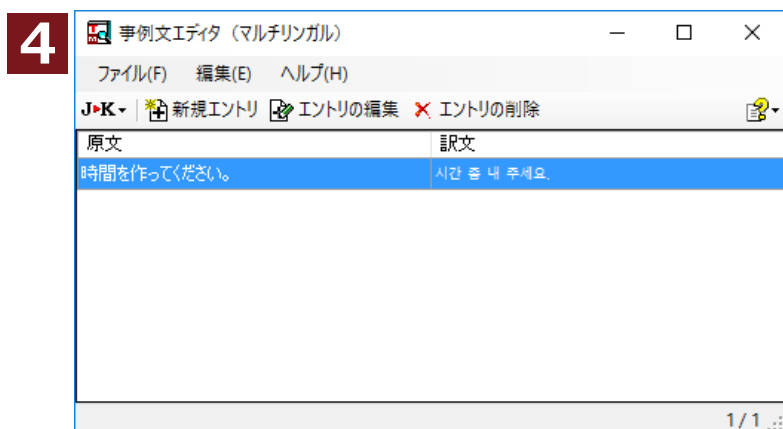
[辞書・検索]メニューの[事例文ファイルを開く]を選択し、サブメニューから登録先のファイルを選択します。



[事例文エディタ (マルチリンガル)] ダイアログボックスが表示されます。



[エントリの編集]をクリックすると、事例文編集画面が表示されます。韓国語に“시간 좀 내 주세요.”と入力し直し、[OK]ボタンをクリックします。

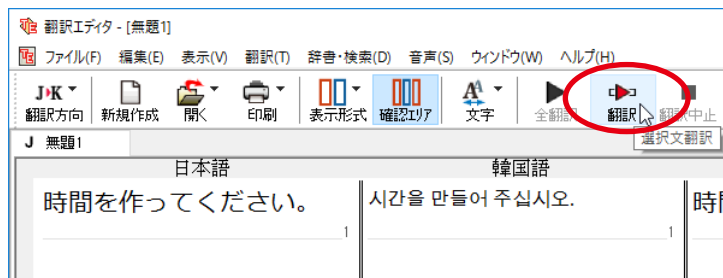


1つの事例文が登録できました。

[ファイル]メニューから[終了]を選択して[事例文エディタ]ダイアログボックスを閉じます。

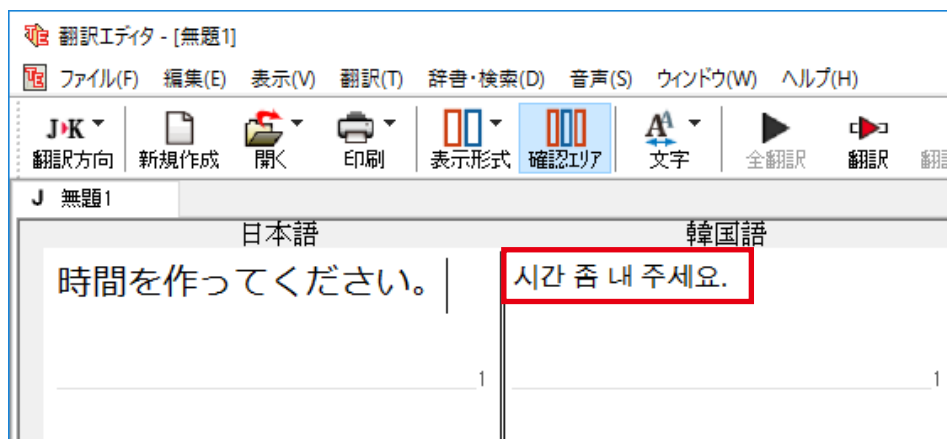
再翻訳する.....

1



原文にポインタを置き、翻訳エディタの[翻訳]ボタンをクリックして、再翻訳します。

再翻訳され、以前の訳文が新しい英訳に入れ替わります。今度は事例文に登録した通りに翻訳されました。

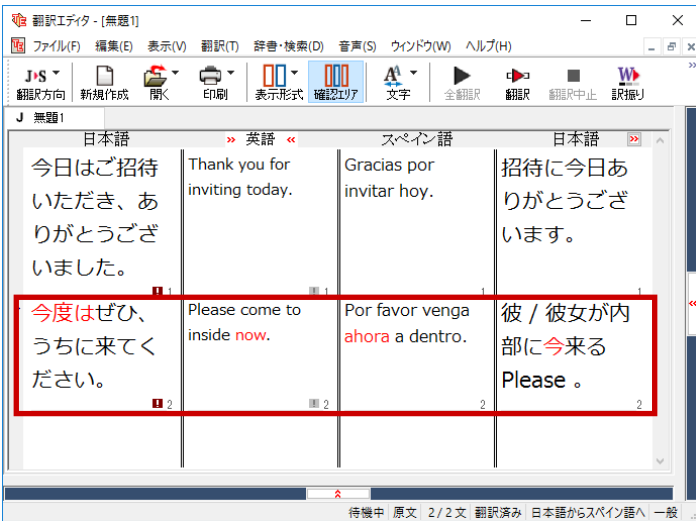


このように、事例文を使うと、決まり文句やあいさつ文をより正しく翻訳することができます。

◆4面エディタを活用して中間翻訳結果を編集する

日本語から欧州言語に翻訳する場合、中間翻訳結果である英語の文を編集して訳文を改良することもできます。

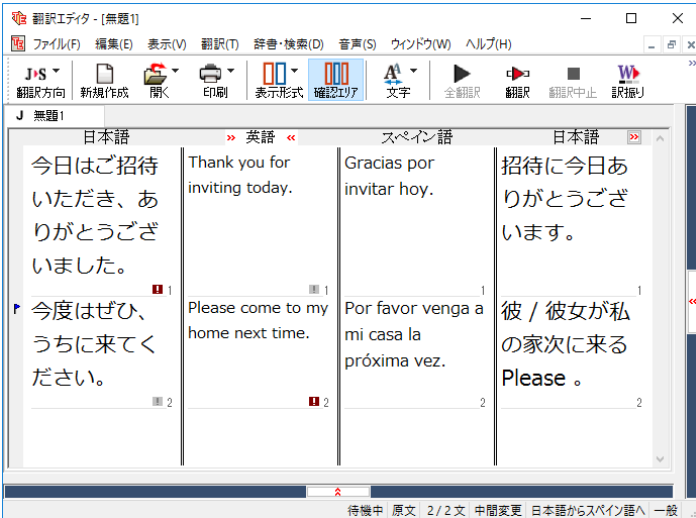
1



「今日のご招待いただき、ありがとうございます。今度はぜひ、うちに来てください。」という文を翻訳してみます。

2文目の中間翻訳結果は次のようになります。Please come to inside now.
"今度"が"今"の意味で、また"うち"が"内"の意味で解釈されてしまったことがわかります。

2



簡単な文章なので、英文を直接編集してみます。

"inside"を"my home"、"now"を"next time"に修正します。

文字を修正し、再翻訳します。


確認翻訳結果も原文に近くなりました。このように、英文を編集して間接翻訳をなくすことで、より精度の高い訳文が得られることが期待できます。

なお、中間翻訳結果を編集すると、その文の原文と中間翻訳結果・訳文の間の単語対応表示は解除されます。

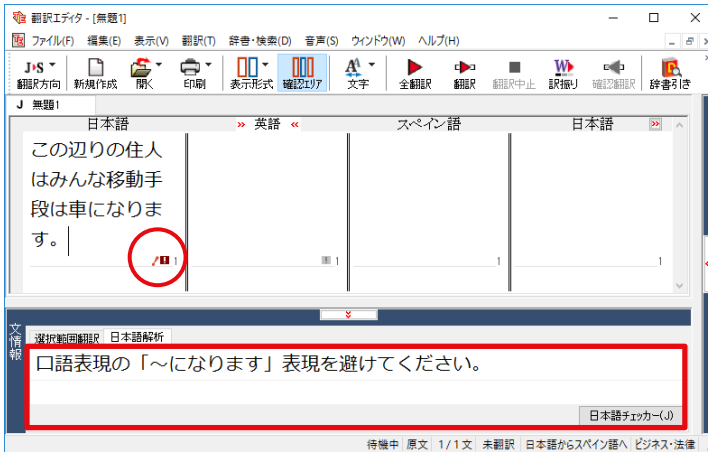
中間翻訳結果と訳文の間では単語対応表示が可能です。

◆日本語チェッカーで修正する

日本語からの翻訳⇒【日→英語→多言語→日】から【日→日→英語→多言語→日】と日本語を翻訳しやすい日本語に変換してから翻訳する機能です。※中国語、韓国語の場合は、【日→日→中(韓)→日】となります。

原文入力エリアに入力した日本語に問題がある場合、エリア右下に表示される  アイコンをクリックするか、日本語解析の[日本語チェッカー] ボタンをクリックすると、日本語チェッカーウィンドウが開きます。書き換え候補の日本語が表示され、[書き換え] ボタンをクリックすると原文が置き換わります。

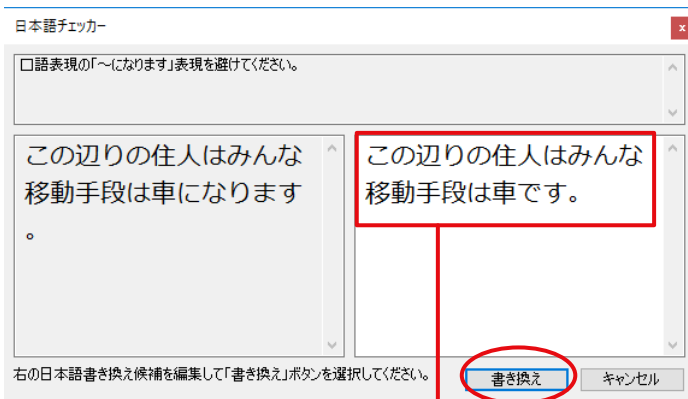
1



翻訳したい日本語を入力します。

入力した日本語に問題がある場合には、アイコンが表示され、日本語解析にメッセージが表示されます。

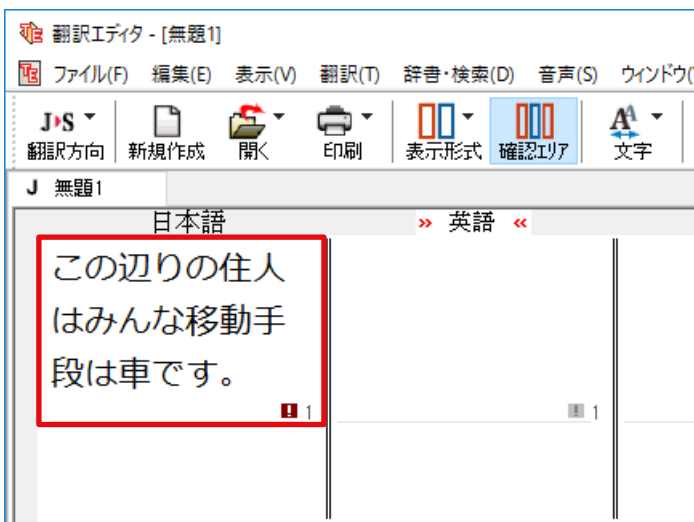
2



翻訳に適した日本語

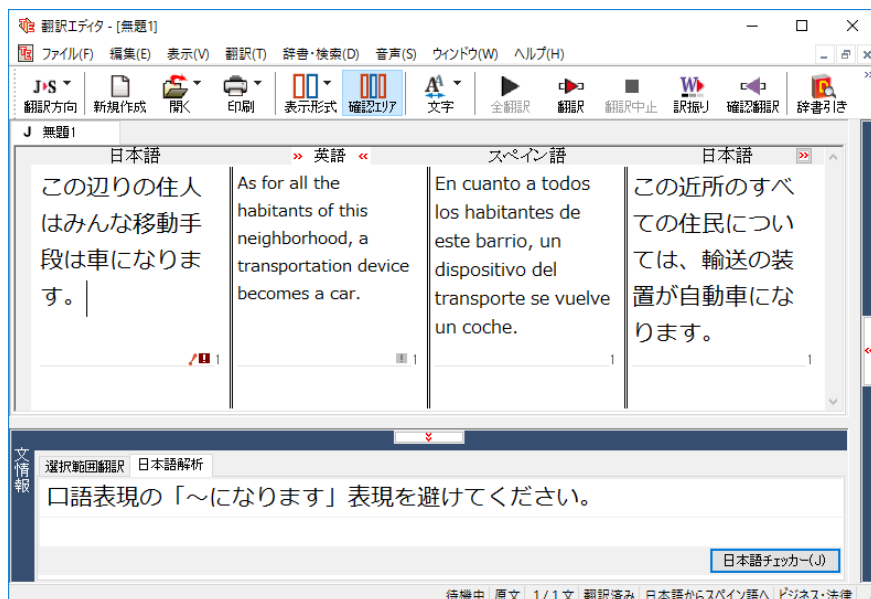
アイコンか、日本語解析の[日本語チェッカー] ボタンをクリックすると、[日本語チェッカー] ウィンドウが開きます。

翻訳に適した日本語が表示されますので、[書き換え] ボタンをクリックすると、入力した日本語が変換されます。



日本語チェッカーを使用した場合と、そうでない場合の翻訳結果(確認翻訳)を比較してみます。

●日本語チェッカーを使用しない場合

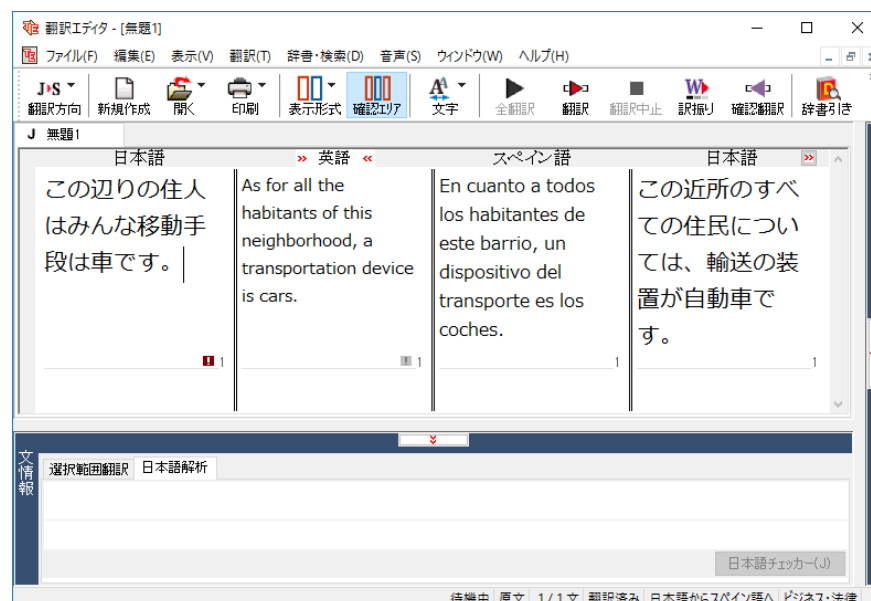


原文：この辺りの住民はみんな移動手段は車になります。

訳文：En cuanto a todos los habitantes de este barrio, un dispositivo del transporte se vuelve un coche.

確認翻訳：この近所のすべての住民については、輸送の装置が自動車になります。

●日本語チェッカーを使用した場合



原文：この辺りの住民はみんな移動手段は車になります。

日本語を変換：この辺りの住民はみんな移動手段は車です。

訳文：En cuanto a todos los habitantes de este barrio, un dispositivo del transporte es los coches.

確認翻訳：この近所のすべての住民のために、輸送の装置が自動車です。

このように、翻訳に適した日本語に変換することで、より正確な翻訳を実現することができます。

訳振り機能を利用する

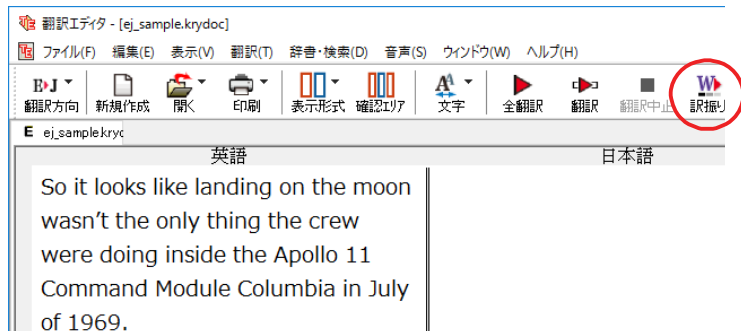
訳振り機能とは、文を単語単位で区切って訳をルビのように、単語の上部に表示する機能です。

翻訳ソフトが文法を重要視するために、かえってわかりにくい翻訳結果になってしまうことがあります。単語の意味だけわかったほうが理解しやすい場合に、直訳的に単語の意味だけを表示させるモードです。

※ロシア語は訳振り機能に対応していません。

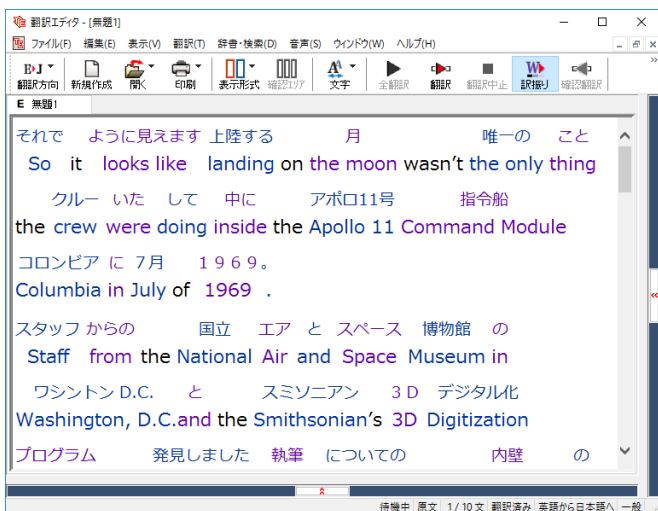
◆訳振りの実行

1



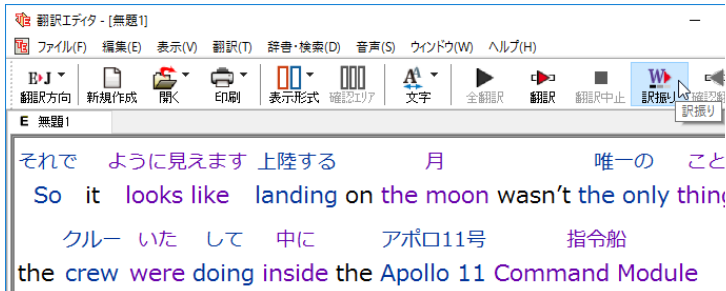
原文を入力し、[訳振り] ボタンをクリックします。

全翻訳が行われ、文書ウィンドウの表示が訳振りモードになります。

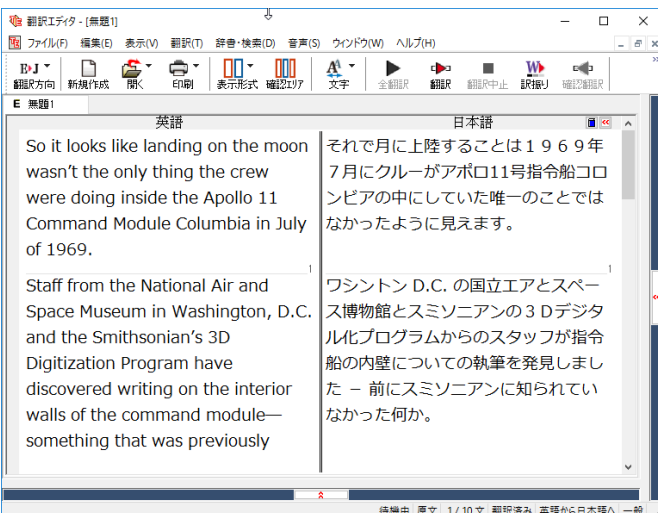


このように訳振りモードでは、冠詞や助動詞などの基本単語を除いた主要な単語の上に、訳語が表示されます。

2



訳文を確認したいときは、[訳振り] ボタンをクリックします。



訳振りモードが終了し、通常の原文ボックスと訳文ボックスの表示に戻ります。

訳振りモードでは原文編集はできません。

原文を編集する場合は、「表示」メニューの表示形式から左右対訳などの原文編集のできるビューの表示形式を選択してください。

ひな形や例文を利用しながら作文するには

例文検索には、手紙やビジネス文書に利用できるひな形や例文が豊富に用意されています。これらを検索して翻訳エディタで編集中の文書に入力して利用できます。

翻訳エディタでひな形や例文を利用する方法は2種類あります。

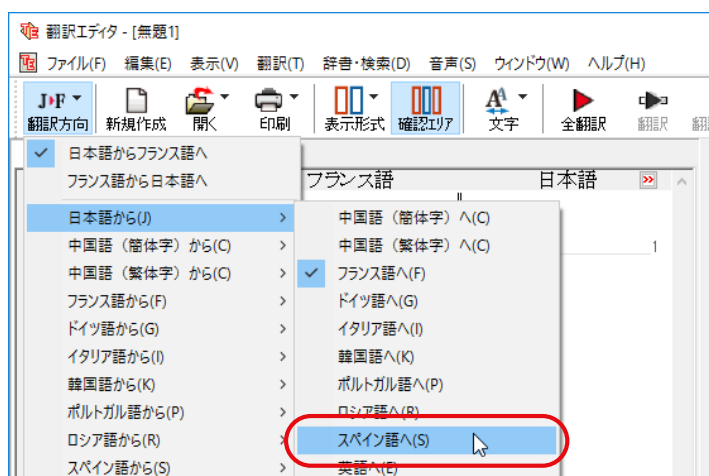
- ・編集中の文書に文や段落の単位で例文を入力する方法
- ・ひな形を文書として開き、必要な箇所を編集する方法（日英のみ）

ヒント 日本語から他言語に翻訳するときのみ、それぞれ別の例文データベースを利用できます。

◆編集中の文書に文や段落の単位で例文を入力するには

翻訳エディタで入力した語句をもとに例文を検索し、編集中の文書に入力する手順を説明します。

1



[翻訳方向]ボタンをクリックして、表示されるメニューから翻訳方向を選択します。ここでは、[日本語からスペイン語へ]を選択します。

2

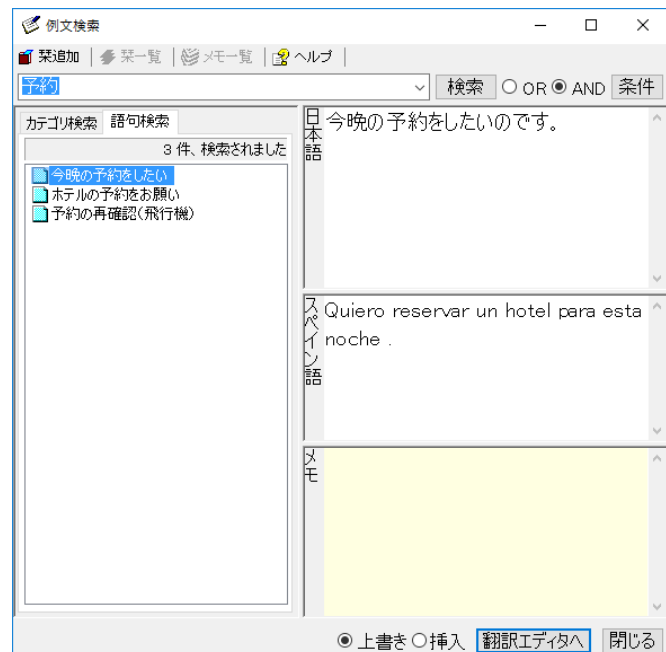


原文に「予約」と入力します。

次に入力した「予約」を選択し、[例文検索]ボタンをクリックします。

[例文検索]ウィンドウが表示され、検索結果が表示されます。

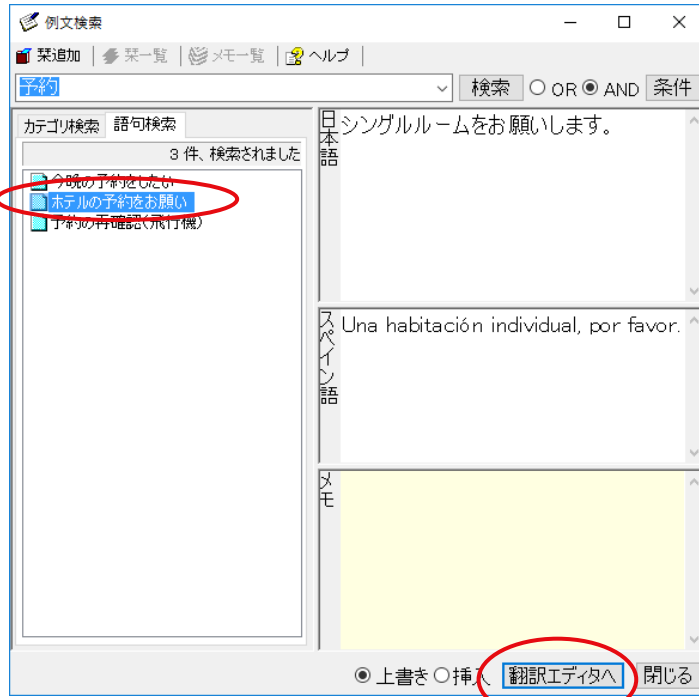
3



左のボックスにキーワードを含むテーマが一覧表示されます。

テーマをクリックすると、右のボックスに例文が表示され、内容を確認できます。

4



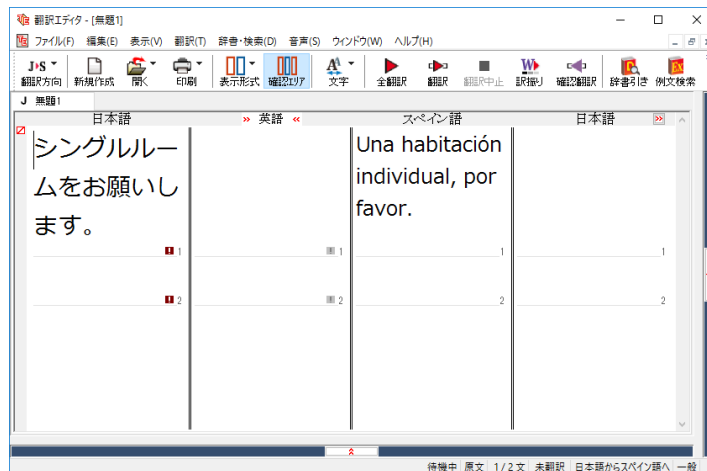
使いたい例文を選択します。

次に、[上書き] [挿入] いずれかのラジオボタンをクリックして、入力方法を選択します。

[上書き] を選択したときは、元の文書に上書きされます。[挿入] を選択したときは、ポイントがある文の1つ前に例文が挿入されます。

[翻訳エディタへ] ボタンをクリックします。

5



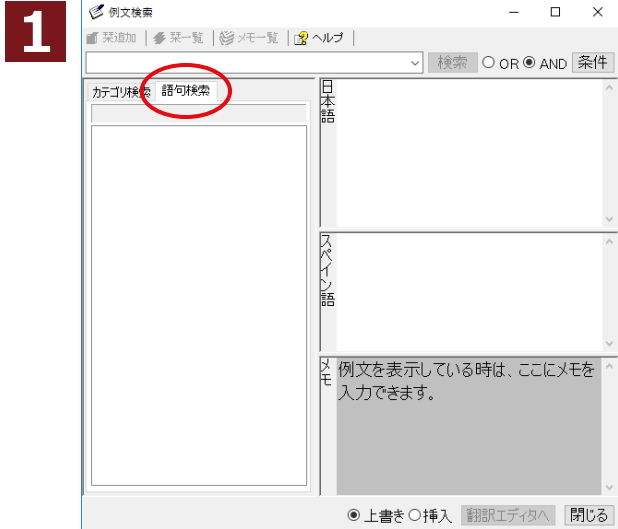
例文の日本語が原文ボックスに、スペイン語が訳文ボックスに入力されます。

中間翻訳ボックス、別訳語、確認翻訳は無効になります。

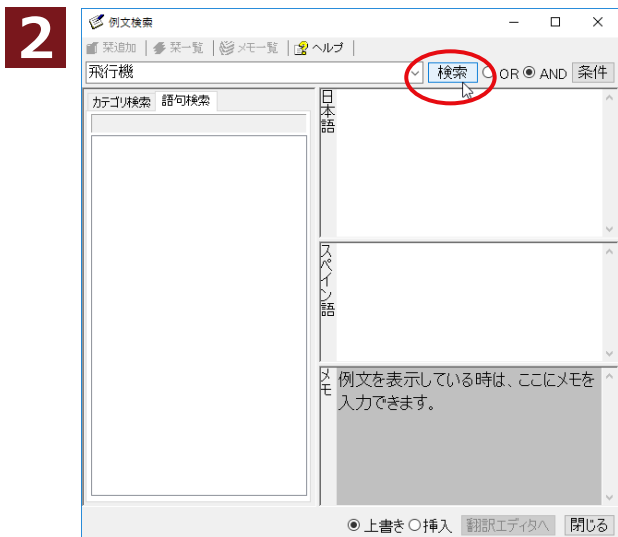
◆例文検索ウィンドウで例文を検索するには

翻訳エディタで語句を選択せずに [例文検索] ウィンドウを開き、直接例文を検索することもできます。検索方法は2つあります。1つはキーワードで検索していく「語句検索」です。もう1つは、カテゴリにしたがってツリー表示から検索していく「カテゴリ検索」です。

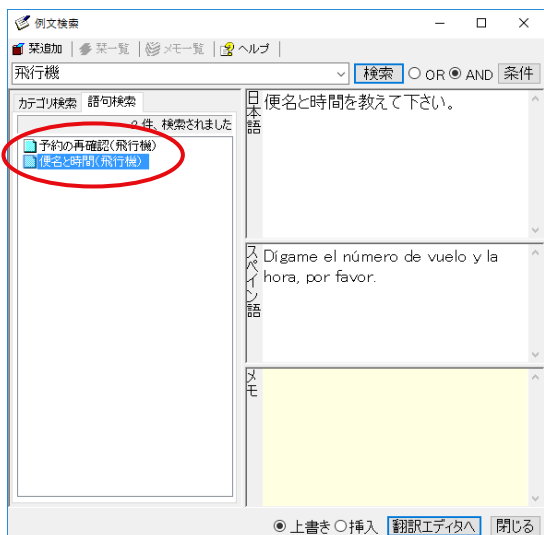
語句で検索する.....



[例文検索] ウィンドウの [語句検索] タブを開きます。



[検索文字列] 入力ボックスにキーワードを入力し、[検索] ボタンをクリックします。



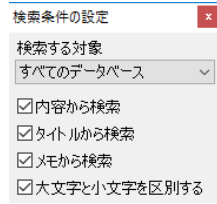
左のボックスにキーワードを含むテーマが一覧表示されます。

使いたいテーマをクリックすると、右のボックスに例文が表示されます。

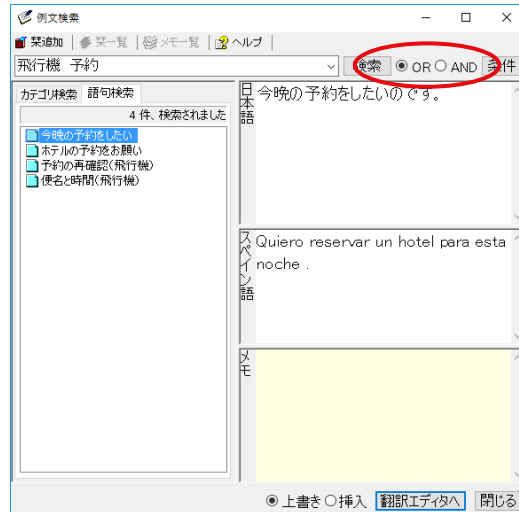
このように内容を確認しながら、使いたいテーマを検索します。



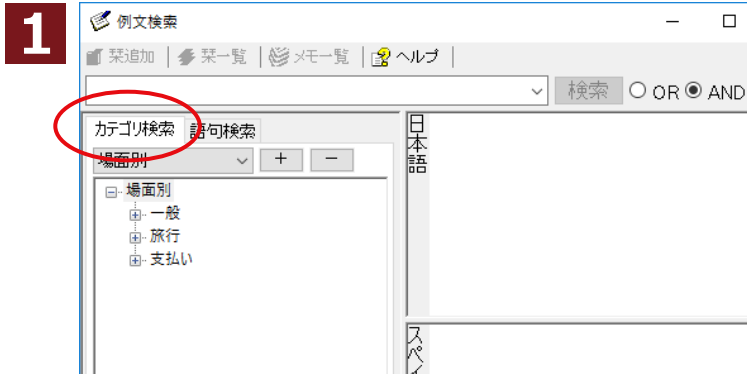
[条件]ボタンをクリックすると、例文を検索する範囲を設定することができます。



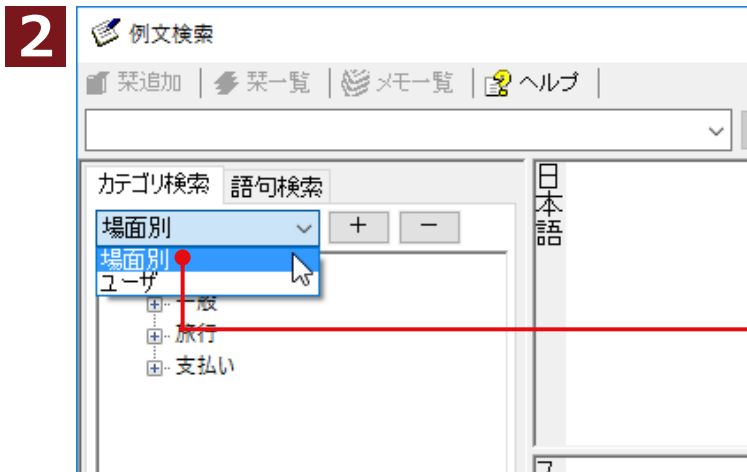
スペースで区切りながら、複数の語句を検索条件として入力することができます。[OR]が選択されているときは、入力した条件のいずれかに該当する例文が検索されます。[AND]が選択されているときは、入力したすべての条件に該当する例文が検索されます。



カテゴリで検索する.....



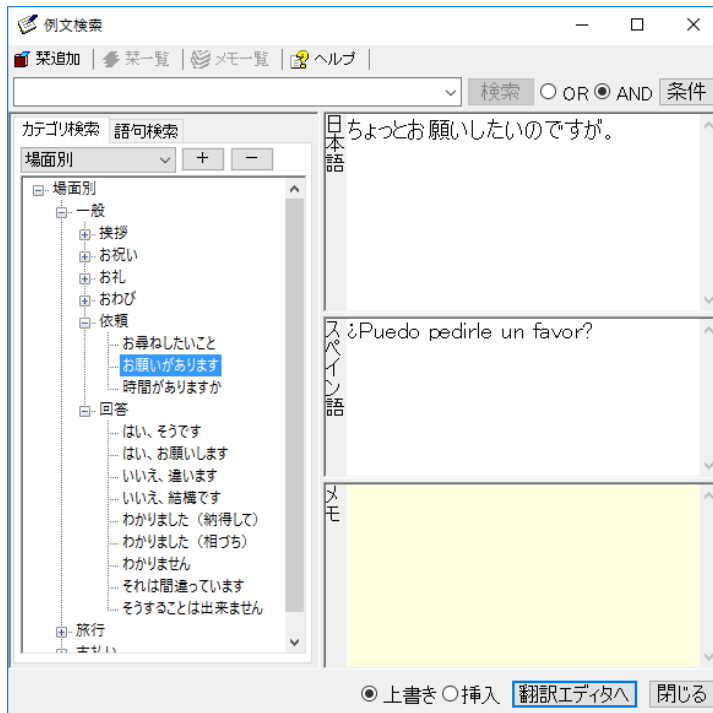
[例文検索] ウィンドウの [カテゴリ検索] タブを開きます。



[カテゴリ検索] タブの最上部のプルダウンメニューで、検索したいデータベースを選択します。上のボックスに、カテゴリと例文タイトルがツリー形式で表示されます。

データベースを選択するプルダウンメニュー

3



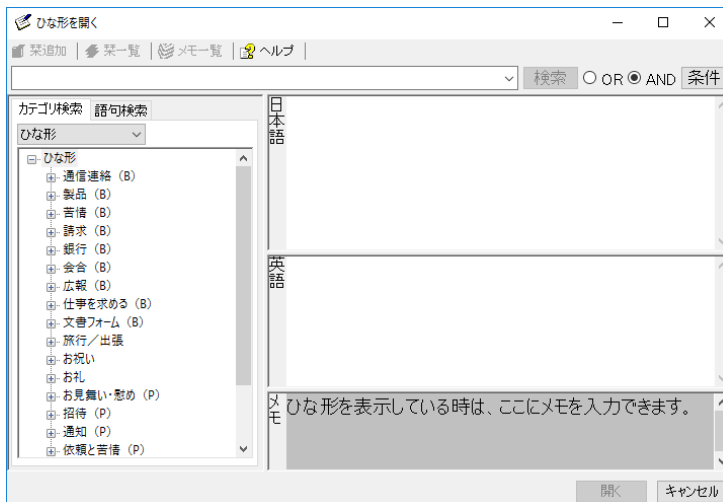
ツリー表示から参照したいカテゴリをクリックで選択すると、そのカテゴリに分類されているタイトル一覧が表示されます。タイトルを選択すると、右のボックスに例文が表示されます。

◆ひな形を文書として開き必要な箇所を修正する方法（日英のみ）

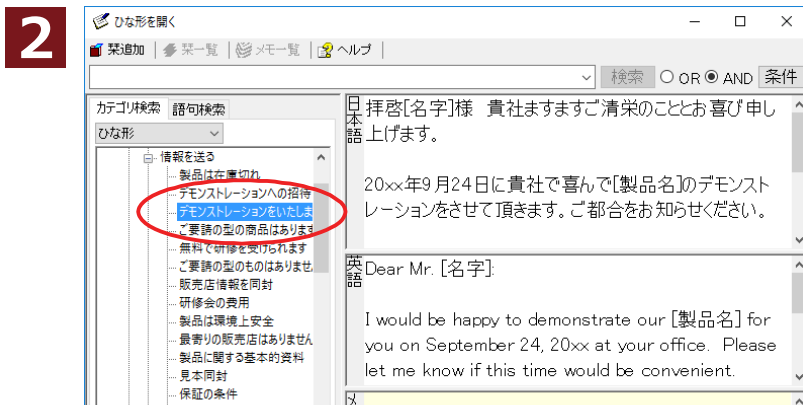
1つの文書としてのひな形を利用して必要な箇所を修正して目的の英文書を作成する手順を説明します。

1

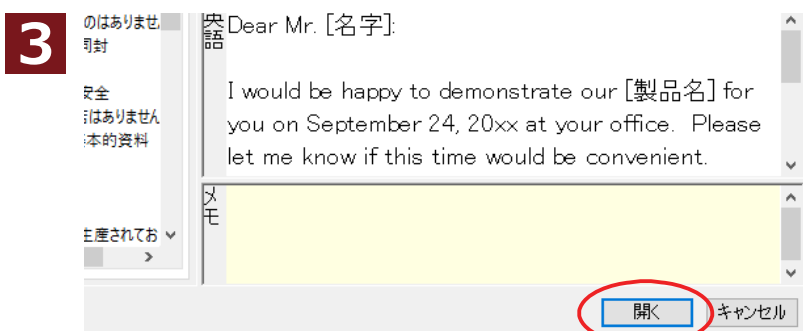
翻訳エディタを起動します。起動メニューから[ひな形例文を開く]を選択します。



[ひな形を開く]ウィンドウが表示されます。

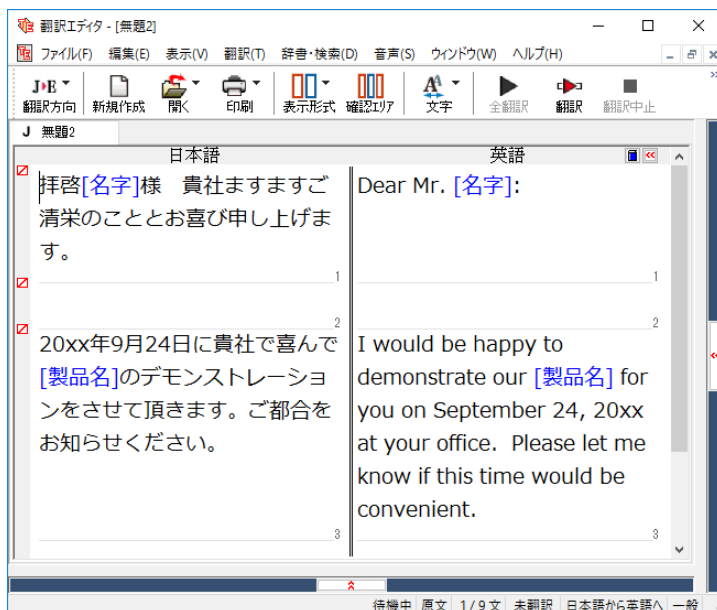


[ひな形を開く] ウィンドウで作成したい英文と似た例文を探して選択します。



[開く]を選択します。

[ひな形を開く]ウィンドウが閉じて、選択したひな形例文の文書が開きます。



例文には青い [] で囲まれたフィールドがある場合があります。これらに英語を埋め込むだけで目的の文書が完成させることができます。

WebページやPDFファイルを翻訳する

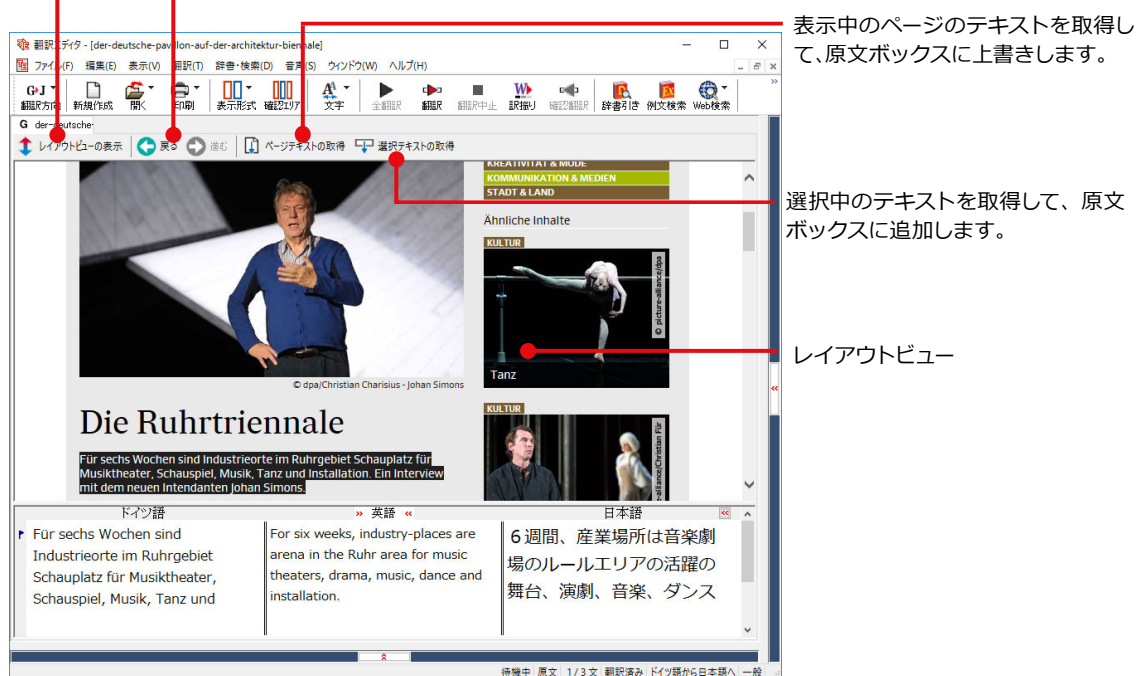
ネット上のWebページや、コンピュータに保存されているPDFファイルは、翻訳エディタのレイアウトビューでレイアウトを確認しながら翻訳できます。

◆レイアウトビューの機能

レイアウトビューは、翻訳エディタでネット上のWebページや、コンピュータに保存されているPDFファイルを開いたときに表示されます。レイアウト表示のほか、シンプルなWebブラウザ、PDFブラウザとしての機能も備えています。Webページから別のリンク先に移動したり、PDFの別のページを表示したりできます。

レイアウトビューの表示 / 非表示の切り替え

Web ページから他のページに移動したときに有効になります。
[戻る]をクリックすると、今までの表示履歴を1ページさかのぼります。
[進む]をクリックすると、[戻る]でさかのぼった表示履歴を、再度たどります。



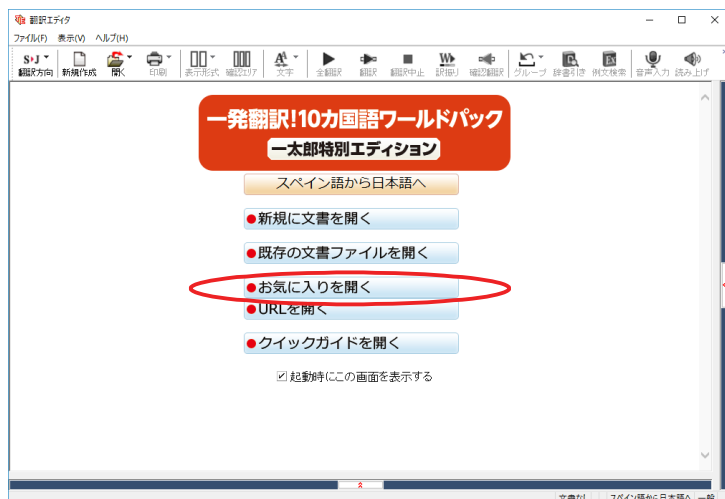
◆Webページを翻訳するには

翻訳エディタでWebページを開く方法は2種類あります。

お気に入りを開くには.....

Internet Explorerで登録したお気に入りページを、翻訳エディタから指定して開くことができます。

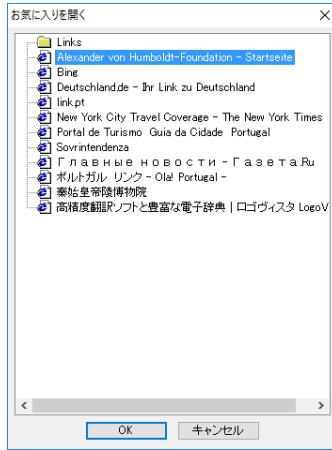
1



翻訳エディタを起動します。
起動メニューから[お気に入りを開く]ボタンをクリックします。

[お気に入りを開く] ダイアログが表示されます。

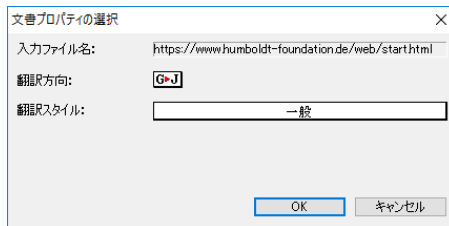
2



お気に入りの一覧から開きたいWebページを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

[文書プロパティの選択] ダイアログが表示されます。

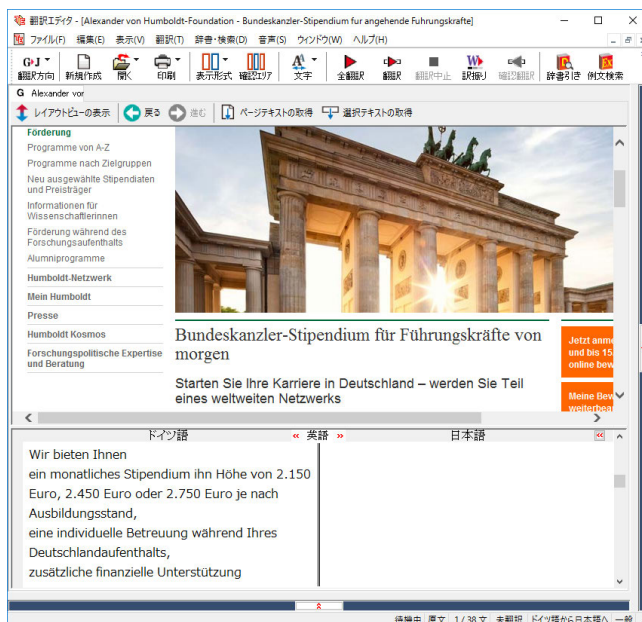
3



翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

選択したお気に入りのページが、レイアウトビューに表示されます。

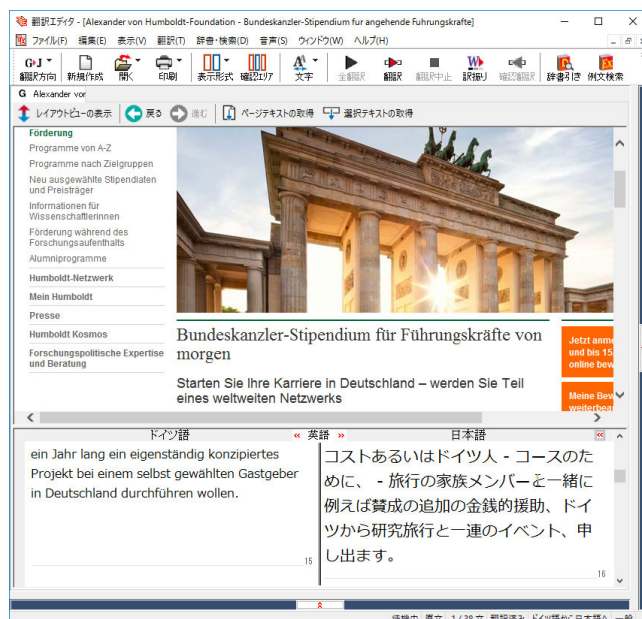
4



Webページのテキストを取得します。ここでは、[ページテキストの取得] ボタンをクリックします。

表示中のページのテキストが原文ボックスに上書きされます。

5

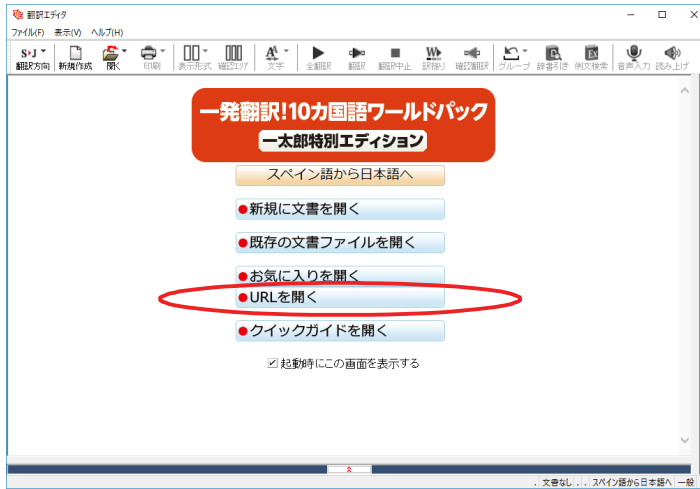


翻訳エディタの機能を使って、翻訳や訳文の編集を行います。

翻訳結果は、[テキストの書き出し] で保存できます。

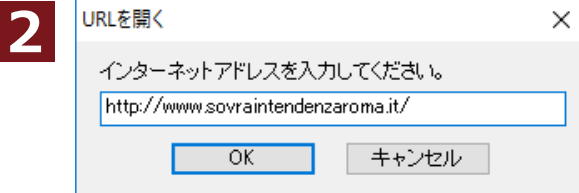
URLを指定してWebページを開くには.....

- 1** 翻訳したいWebページのURLがわかっているときは、翻訳エディタで指定して開くことができます。URLはインターネット上のデータを指定するためのアドレスです。「www.logovista.co.jp」といった形式で記述されます。



翻訳エディタを起動します。
起動メニューから [URL を開く] ボタンをクリックします。

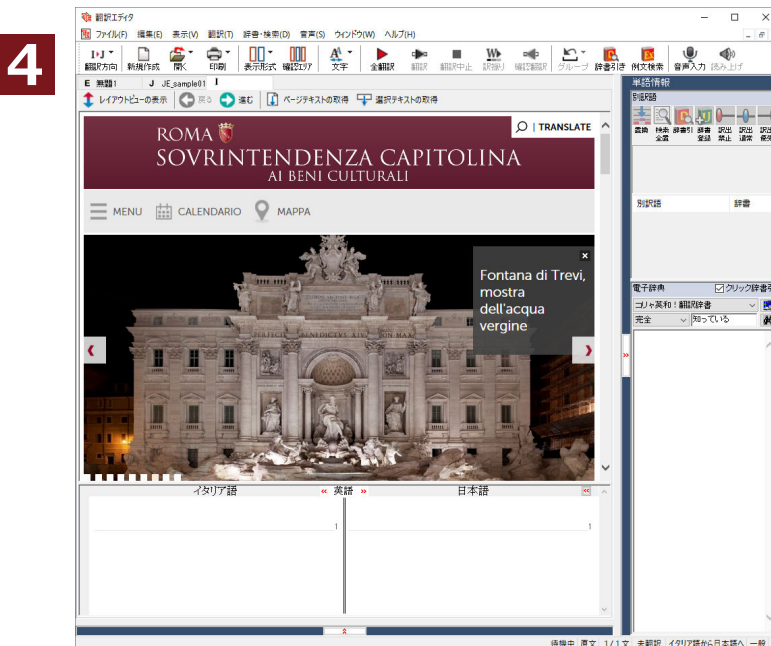
[URL を開く] ダイアログが表示されます。



URLを入力し、[OK]ボタンをクリックします。
[文書プロパティの選択] ダイアログが表示されます。



翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、[OK]ボタンをクリックします。
選択したお気に入りのページが、レイアウトビューに表示されます。



以降の操作は、前項「お気に入りの Web ページを開くには」の手順 4 以降と同じです。



Internet Explorer で表示中の Web ページは、Internet Explorer に表示された一発翻訳！ ツールバーの機能を使って翻訳エディタで開くことができます。詳しくは第 4 章「ホームページを翻訳するには」をお読みください。

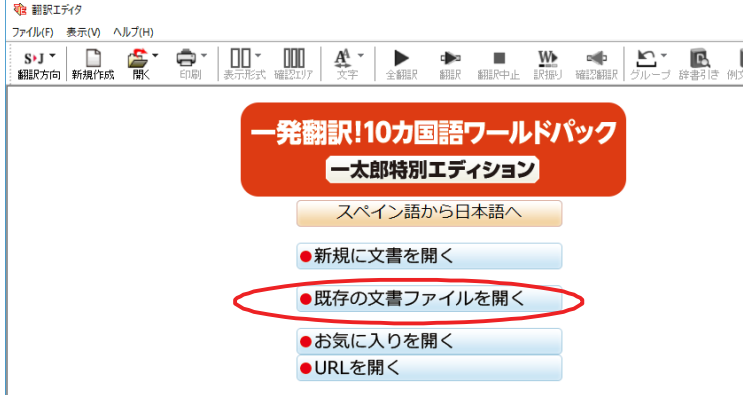
◆PDF ファイルを翻訳するには

PDFファイルも、Webページ同様にレイアウトビューを利用して翻訳できます。

PDFファイルを開くには.....

翻訳したいPDFファイルを、翻訳エディタから指定して開くことができます。

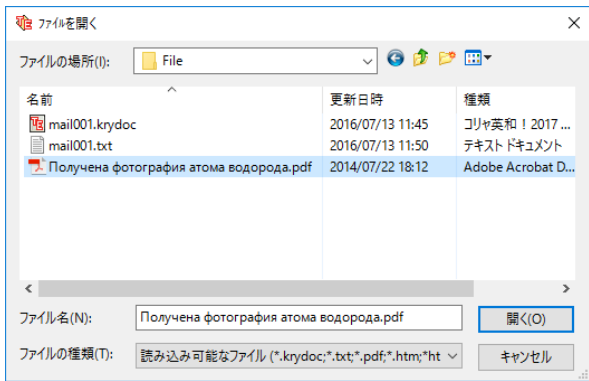
1



翻訳エディタを起動します。
起動メニューから [既存の文書ファイルを開く] ボタンをクリックします。

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

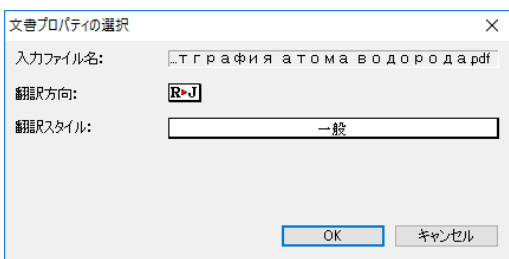
2



[ファイルを開く] ダイアログから翻訳するPDFファイルを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

[文書プロパティの選択] ダイアログが表示されます。

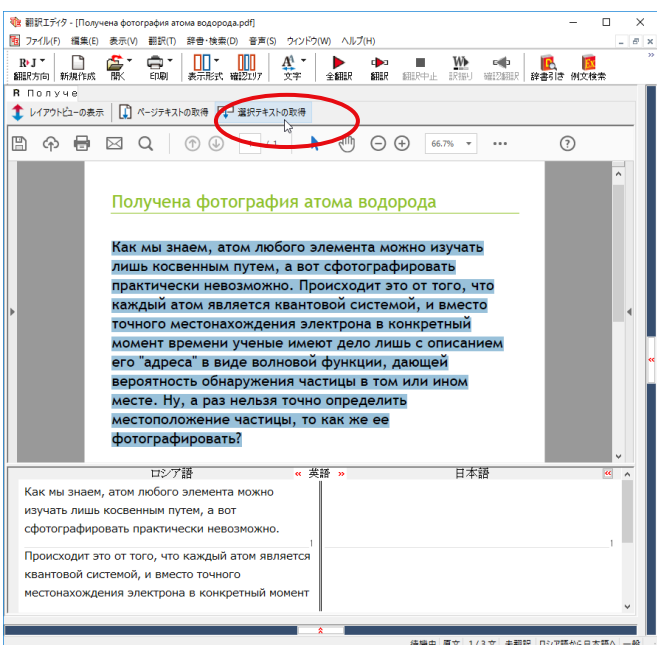
3



翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、[OK]ボタンをクリックします。

PDFファイルがレイアウトビューに表示されます。

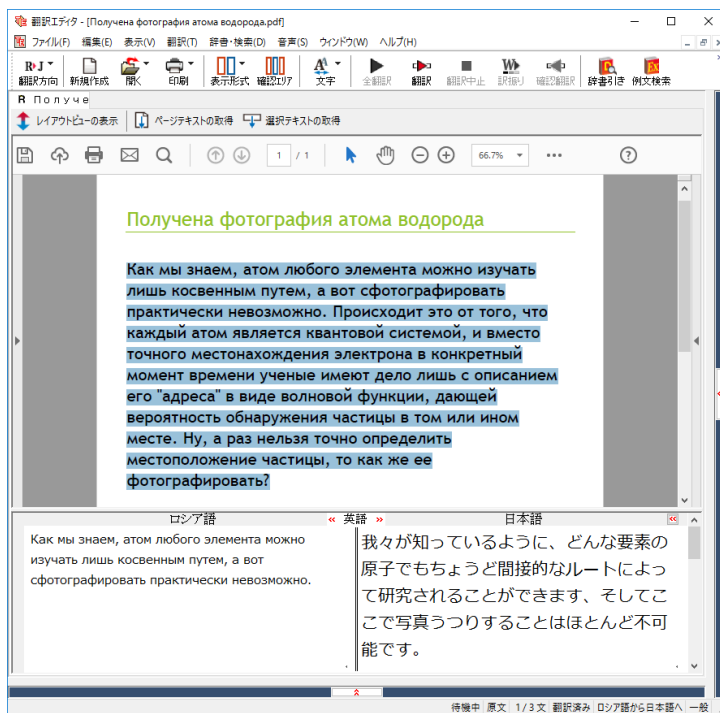
4



PDFファイルのテキストを取得します。ここでは、翻訳したい部分を選択し、[選択テキストの取得] ボタンをクリックします。

選択したテキストが原文ボックスに追加されます。

5



翻訳エディタの機能を使って、翻訳や訳文の編集を行います。



翻訳結果は翻訳エディタの文書ファイルへの保存、テキストファイルへの書き出しができます。文書ファイルにはレイアウトビューの内容は含まれません。

簡体字・繁体字変換、ピンイン表示 (中国語)

中国語の翻訳では、簡体字と繁体字の相互変換や、選択した文字のピンイン表示ができます。

◆簡体字・繁体字変換

原文ボックスで選択した簡体字を繁体字に、繁体字と簡体字に変換できます。

原文の簡体字を繁体字に変換したいときは、翻訳方向で「中国語(繁体字)から日本語へ」を選択しておく必要があります。反対に、原文の繁体字を簡体字に変換したいときは、翻訳方向で「中国語(簡体字)から日本語へ」を選択しておく必要があります。

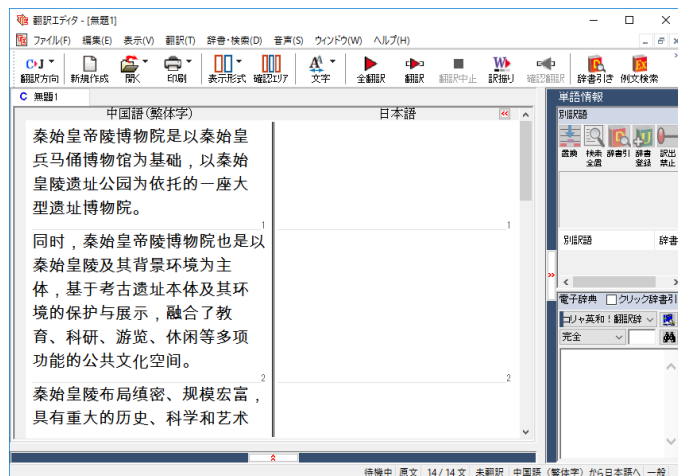
ここでは、簡体字を繁体字に変換する例で説明します。

1



[翻訳方向] ボタンをクリックし、メニューから [中国語(繁体字)から][日本語へ] を順に選択します。

2



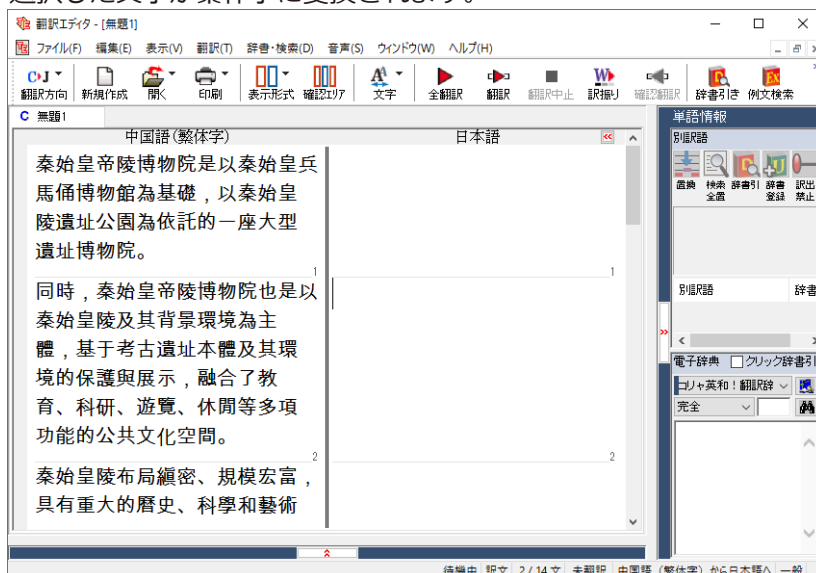
簡体字の文章を入力します。

3



変換する文字を選択し、[翻訳] メニューから [簡体字を繁体字へ変換] を選択します。

選択した文字が繁体字に変換されます。



日本語から翻訳した簡体字を繁体字に変換したいときは、翻訳方向を「日本語から中国語（繁体字）へ」に変更します。再翻訳が行われ、訳文が繁体字に変わります。
同様に、日本語から翻訳した繁体字を簡体字にしたいときは、翻訳方向を「日本語から中国語（簡体字）へ」に変更します。

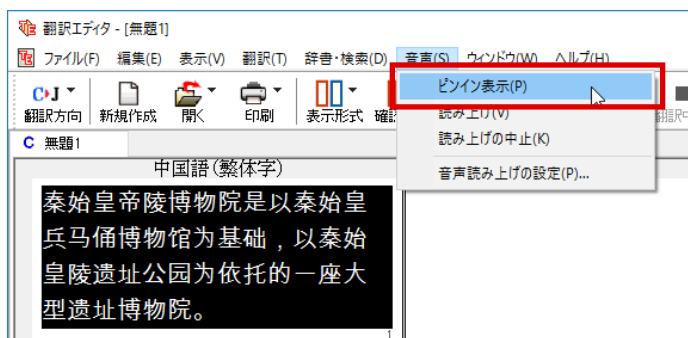
◆ピンイン表示

原語または訳語に中国語が選択されているときは、選択した中国語の文字のピンインを表示できます。簡体字、繁体字のいずれでも可能です。またピンインを確認しながら、音声読み上げを開くこともできます。

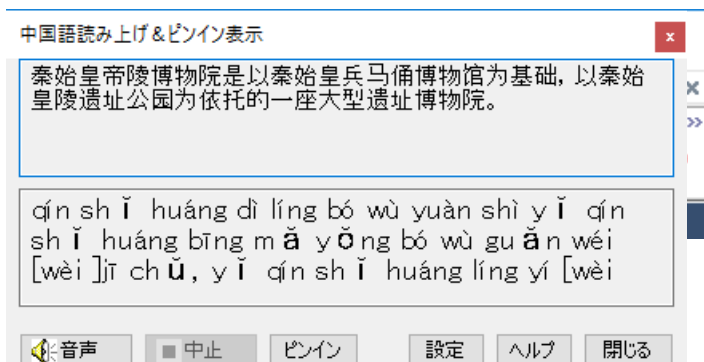
1

あらかじめ、中国語（簡体字）または中国語（繁体字）が含まれる翻訳方向を選択しておきます。

2



原文ボックスまたは訳文ボックスでピンイン表示する文字を選択し、[音声]メニューから[ピンイン表示]を選択します。



[中国語読み上げ&ピンイン表示] ウィンドウが表示され、選択した文字とそのピンインが表示されます。



- ・ [中国語読み上げ&ピンイン表示] ウィンドウの [音声] ボタンをクリックすると、表示されている文字が読み上げられます。
- ・ [中国語読み上げ&ピンイン表示] ウィンドウは [読み上げ] を選択したときにも表示されます。このとき [ピンイン] ボタンをクリックすると、表示されている文字のピンインを表示します。

Chapter 4

ホームページを翻訳するには

1

Internet Explorerでホームページを翻訳するには

本製品をインストールする前に、Internet Explorer 11がインストールされている場合、一発翻訳！10カ国語ワールドパック ツールバーが自動的に組み込まれます。ここでは、翻訳機能や翻訳方法を紹介します。

注意！

プロバイダなどによりカスタマイズされたInternet Explorerは使用できないことがあります。必ず、カスタマイズされていないInternet Explorerをお使いください。

◆Internet Explorerに組み込まれた翻訳機能について

翻訳機能が組み込まれたInternet Explorerには、一発翻訳！10カ国語ワールドパック ツールバーが表示されます。

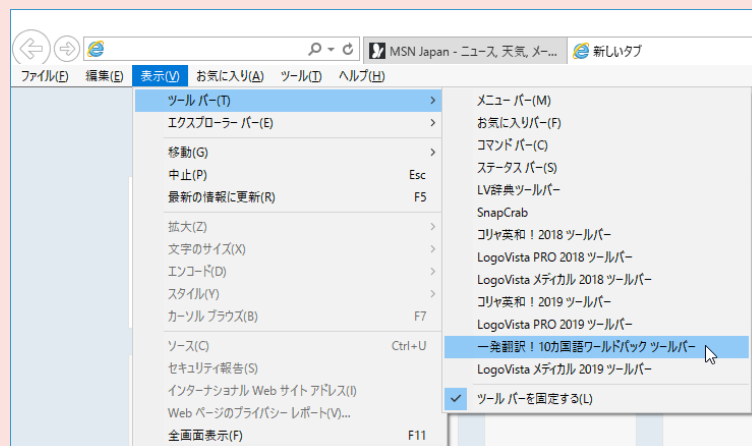


一発翻訳！10カ国語ワールドパック ツールバー

注意！

ツールバーが表示されていないときは、次の方法で一発翻訳！10カ国語ワールドパック ツールバーを表示させてください。

- ① [Alt]キーを押してメニューバーを表示させます。
- ② [表示]→[ツールバー]→[一発翻訳！10カ国語ワールドパック ツールバー] の順に選択して、チェックマークをオンにします。



この方法だけでは表示されない場合は、操作パネルを起動し、[サポート]ボタン→[IE アドインについて]を選択し、表示されるオンラインヘルプの手順に従って設定を行ってください。

一発翻訳！10カ国語ワールドパック ツールバーの主な機能

ツールバーには、主に次のような機能があります。

HTML 等で記述された Web ページの翻訳

Web ページを Internet Explorer 上で翻訳します。

[ページ翻訳]→[訳文のみ]/[上下対訳]/[ヘッダ・リンクタグのみ]



もとのWebページ



[訳文のみ]



[上下対訳]



[ヘッダ・リンクタグのみ]

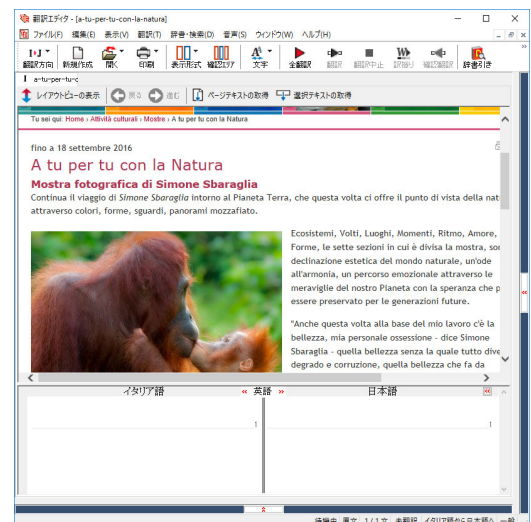
HTML 等で記述された Web ページの翻訳

[ページ翻訳]→[翻訳エディタで開く]/[選択文翻訳]

[翻訳エディタで開く]は、表示中の Web ページを翻訳エディタのレイアウトビューに転送して翻訳します。

[選択文翻訳]は、Internet Explorer 上で選択したテキスト部分を翻訳エディタで翻訳します。

どちらも、より詳細に訳文を検討したいときに便利です。



上記の他、辞書引き、音声読み上げなどの機能が利用できます。

一発翻訳! 10カ国語ワールドパック ツールバーの名称と機能.....

ツールバーには、コマンドボタンが用意されています。ツールバー上のボタンをクリックすると、そのコマンドの機能が実行できます。ボタンの右に▼がある各ボタンにはプルダウンメニューがあります。プルダウンメニューは、それぞれのボタンをクリックすると開きます。プルダウンメニューを開いて、メニューにあるコマンドをクリックすると、そのコマンドを実行できます。

The image shows a toolbar with several buttons: 'EJ', 'ページ翻訳', '選択文翻訳', '辞書', '読み上げ', 'ツール', and 'ヘルプ'. Red arrows point from callout boxes to specific parts of the toolbar and its menus.

- 辞書引き (Dictionary):** A callout box lists options: 訳文のみ, 上下対訳, ヘッダ・リンクタグのみ, and 翻訳エディタで開く.
- 辞書 (Dictionary):** A callout box lists: 翻訳エディタ, タイピング翻訳, ファイル翻訳, ユーザ辞書エディタ, ユーザ辞書エディタ (マルチリンガル), 電子辞書 (研究社 新英和・和英中辞典), ユーザ辞書エディタ (日中・中日), メールの書き方, and 英文法ヘルプ.
- 読み上げ (Read Aloud):** A callout box lists: 音声読み上げ (英語), 音声読み上げ (日本語), 音声読み上げ (簡体字中国語), 音声読み上げ (繁体字中国語), 音声読み上げ (フランス語), 音声読み上げ (ドイツ語), 音声読み上げ (イタリア語), 音声読み上げ (韓国語), 音声読み上げ (ポルトガル語), 音声読み上げ (ロシア語), 音声読み上げ (スペイン語), and 音声読み上げの設定.
- 辞書方向の選択 (Dictionary Direction Selection):** A callout box lists: 英語から日本語へ, 日本語から英語へ, 英語から, 日本語から, 中国語 (簡体字) から, 中国語 (繁体字) から, フランス語から, ドイツ語から, イタリア語から, 韓国語から, ポルトガル語から, ロシア語から, and スペイン語から.
- 翻訳スタイルの選択 (Translation Style Selection):** A callout box lists: 一般, ビジネス・法律, 電気・電子・情報, 科学・機械, 理化学, 趣味・娯楽, ユーザ設定 1, ユーザ設定 2, ユーザ設定 3, ユーザ設定 4, and 翻訳スタイルの編集(S)...
- ヘルプ (Help):** A callout box points to the 'ヘルプ' button.

翻訳方向と翻訳スタイルの選択

翻訳する方向および翻訳スタイルを切り替えるボタンです。

翻訳方向の選択	翻訳したい方向を切り替えることができます。
翻訳スタイルの選択	翻訳する原文の性質にあわせて、よりよい翻訳結果を得るために使用する翻訳スタイルを切り替えることができます。翻訳スタイルには、あらかじめ「一般」、「ビジネス・法律」、「電気・電子・情報」、「科学・機械」、「理化学」、「趣味・娯楽」などが用意されています。ただし、製品パッケージにより異なります。
翻訳スタイルの編集	翻訳スタイルマネージャを起動します。翻訳スタイルを編集することができます。

ページ翻訳

Internet Explorerに表示されている Web ページ全体を翻訳したり、ページ全体を他の翻訳ツールに転送したりするときに使います。以下の翻訳方法や転送先を選べます。

訳文のみ	Web ページ上の原文をページごと翻訳し、訳文のみを表示します。
上下対訳	Webページ上の原文をページごと翻訳し、原文と訳文を上下に表示します。
ヘッダ・リンクタグのみ	Webページ上のヘッダとリンクタグだけを翻訳し、原文に続けて訳文を表示します。
翻訳エディタで開く	[翻訳エディタ]を起動し、表示されている Web ページをレイアウトビューに転送します。同時に、転送したページ全体のテキストが原文ボックスに入力されます。

選択文翻訳

Internet Explorer 上で選択したテキストを [翻訳エディタ] に転送して翻訳します。翻訳したい原文テキストを選択してこの ボタンをクリックすると、[翻訳エディタ]が起動し、翻訳結果を表示します。

辞書

Internet Explorer 上で選択したテキストを辞書引きします。調べたい語句を選択してこのボタンをクリックすると、[辞書ビューワ]が開き、研究社 新英和・和英中辞典から辞書引きが行えます。本製品で使われている翻訳用の辞書(システム辞書)やクイック辞書からも辞書引きが行えます。

読み上げ

音声合成エンジンがインストールされているときに表示されます。音声による読み上げの実行と、音声読み上げの設定ができます。

注意！

音声がかげや聞こえないときは、Windows の [Volume Control] パネルの音量を確認してください。

ツール

本製品で使用できる各種のツールを呼び出すことができます。

☞ [ツール] ボタンに登録されている各ツールについては、「第 2 章 操作パネルの使い方」をご覧ください。

ヘルプ

オンラインヘルプを表示します。

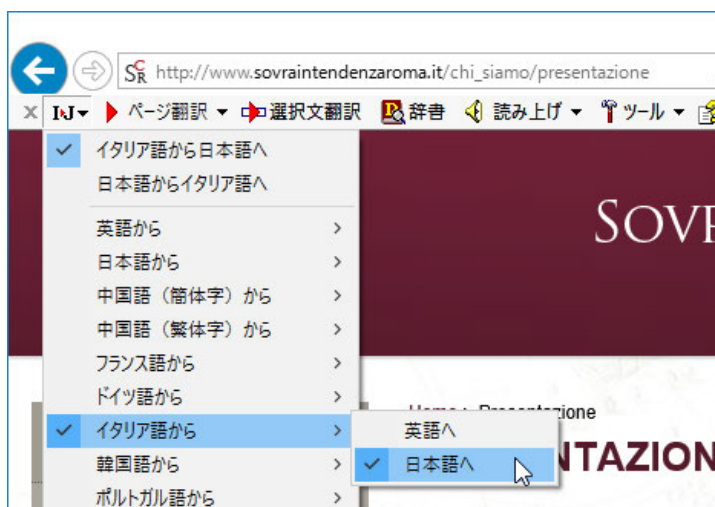
◆WebページをInternet Explorer上で翻訳する

HTML等で記述された通常のWebページは、Internet Explorer上でレイアウトを保ったまま翻訳できます。また、お気に入り翻訳の機能を使えば、頻繁に閲覧するページが自動的に翻訳されるようになります。

表示したWebページを翻訳するときは.....

Internet Explorer 上に表示されている Web ページの翻訳には、[ページ翻訳ボタン]の[訳文のみ]、[上下対訳]、[ヘッダ・リンクタグのみ]のいずれかを使います。いずれも元のページのレイアウトやリンクを生かしながら、原文を翻訳結果に入れ替えて表示します。訳文のみを表示したい場合は [訳文のみ]、原文と訳文の両方を表示したい場合は [上下対訳]、タイトルやリンク部分だけを確認したい場合は[ヘッダ・リンクタグのみ]を選択します。ここでは、[上下対訳]の場合を例にとりて説明します。

1

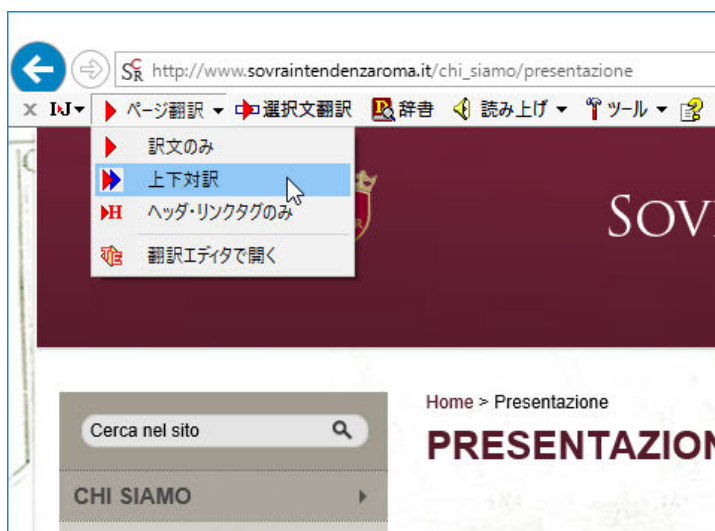


インターネットにアクセスし、翻訳したい Web ページを開きます。

[翻訳方向の選択]ボタンをクリックして、翻訳方向と翻訳スタイルを選択します。

この例では、[イタリア語から日本語へ]、[一般]を選択します。

2



[ページ翻訳]をクリックし、表示されるメニューから[上下対訳]を選択します。

The screenshot shows a web browser window displaying the homepage of the Roma Sovrintendenza Capitolina. The browser's address bar shows a URL with a translation extension. The page content is in Italian, but the browser interface and some text are in Japanese, indicating a translation process. The main heading is "ROMA SOVRINTENDENZA CAPITOLINA AI BENI CULTURALI". Below it, there is a search bar and a navigation menu. The main content area features a large heading "PRESENTAZIONE" and "プレゼンテーション" (Presentation) with a background image of a map of Rome. The text describes the role of the Sovrintendenza Capitolina in managing and preserving the cultural heritage of Rome. A sidebar on the left contains various menu items in Japanese, such as "CHI SIAMO", "そうなの", "我々がすること", "場所", "ローマのためのマエケナス", "深くなるために", "市民に対するサービス", and "透明なアドミニストレーション".

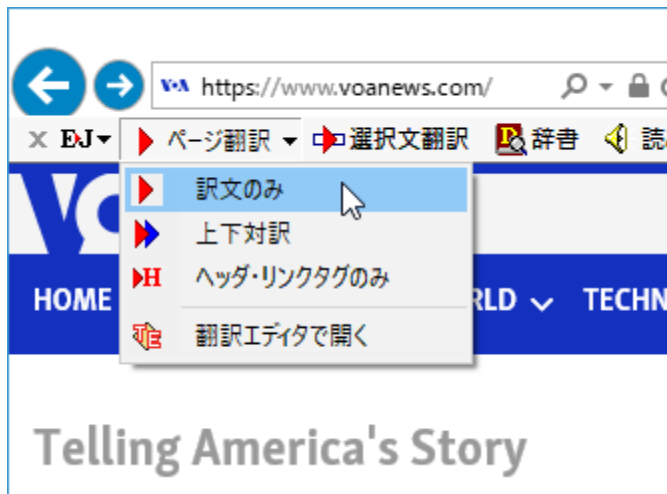


[ページ翻訳]ボタンでページ全体を翻訳する場合、ページ構造によっては、翻訳・表示ができない場合があります。その場合は、「Web ページを翻訳エディタに転送して翻訳する」で紹介している[選択文翻訳]コマンドをご利用ください。

お気に入りへの翻訳するには.....

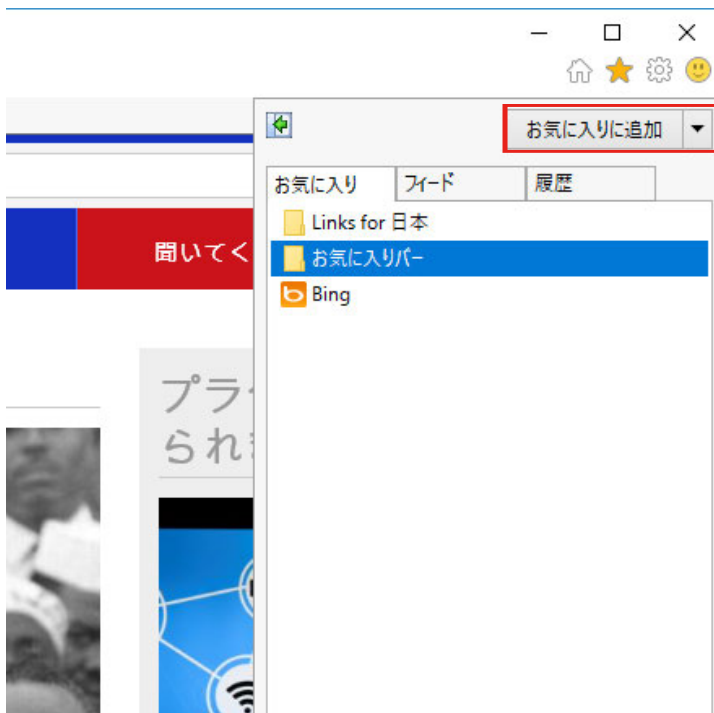
ニュースサイトなど、頻繁に翻訳して閲覧するページは、翻訳したページをお気に入りに追加しておく便利です。お気に入りを選択するたびに、自動的に翻訳が行われ、最新内容の翻訳結果が表示されるようになります。

1



登録する Web ページを表示し、ツールバーの [ページ翻訳] からページ翻訳を実行します。[訳文のみ][上下対訳][ヘッダ・リンクタグのみ]のいずれかでも構いません。

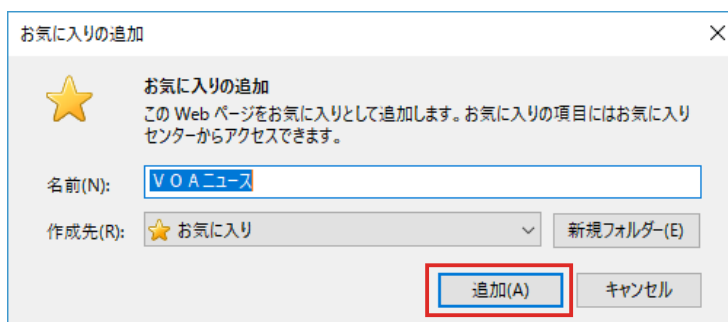
2



IE のお気に入りボタン、または IE 上を右クリックして開くコンテキストメニューから [お気に入りに追加] を選択し、翻訳されたページをお気に入りに追加します。

[お気に入りに追加] ダイアログが表示されます。

3



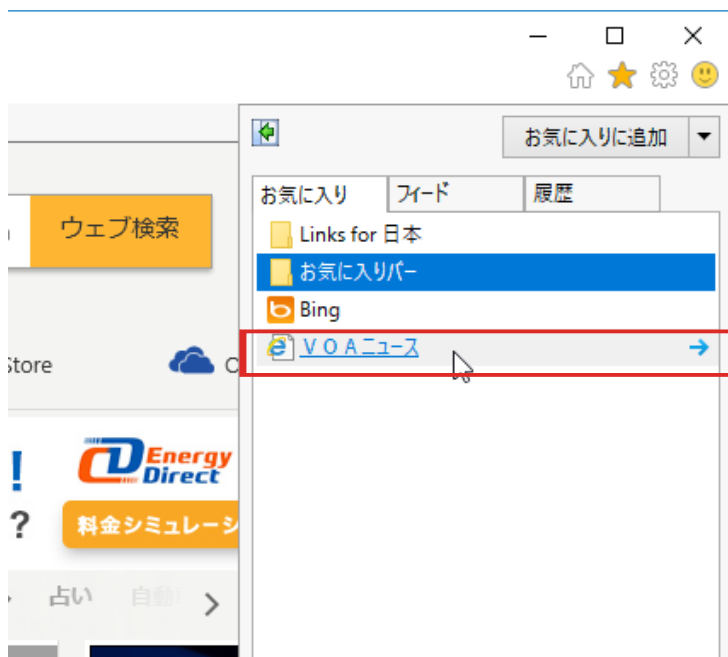
名前を入力し、作成先を選択して [追加] ボタンをクリックします。

これでお気に入りへ登録されます。

お気に入りの翻訳を実行する.....

通常のお気に入りページの表示と同じように、お気に入りを選択するだけで最新内容の翻訳結果が表示されます。

1



お気に入りを選択します。



自動的に翻訳が行われ、最新内容の翻訳結果が表示されます。



翻訳方向や翻訳形式は、お気に入りに追加した時点のものが適用されます。

注意!

ツールバーが表示されていない場合、お気に入り翻訳はできません。

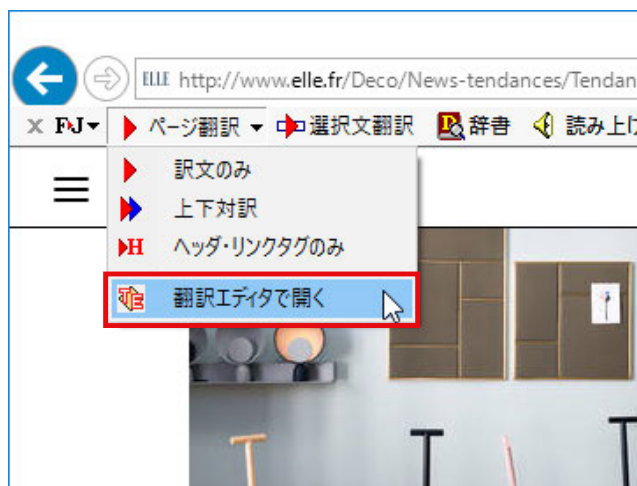
◆Webページを翻訳エディタに転送して翻訳するには

Internet Explorerで表示中のWebページを翻訳して、より詳細に訳文を検討したいときは、翻訳エディタに転送します。Webページに含まれるテキストを対訳表示で検討しながら翻訳できます。より適切な訳文が得られるように、原文を編集することもできます。ページ全体を転送して、レイアウトを確認しながら翻訳する方法と、選択したテキストのみ転送する方法があります。

表示したWebページを翻訳するときは.....

翻訳エディタでは、ホームページに含まれるテキストを、対訳表示で検討しながら翻訳できます。より適切な訳文が得られるように、原文を編集することもできます。

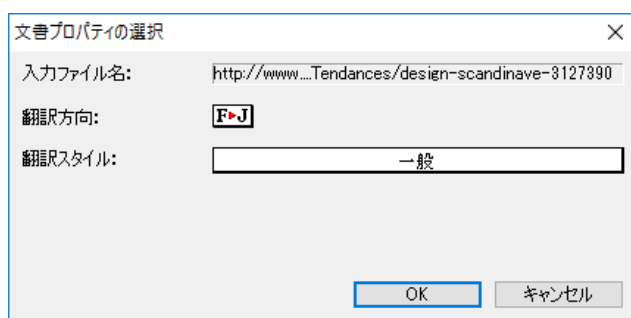
1



インターネットにアクセスし、翻訳エディタに転送したいページがあったら、[ページ翻訳] ボタンの [翻訳エディタで開く] を選択します。

[文書プロパティの選択] が表示されます。

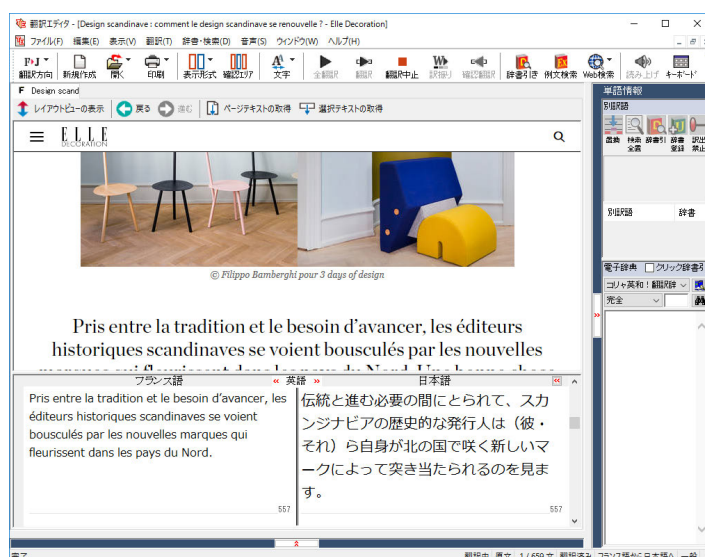
2



翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

翻訳エディタが起動し、転送したページがツレアウトビューに表示されます。

3



翻訳エディタの機能を使いながら、翻訳や訳文の修正を行います。

☞ [翻訳エディタ] については、第3章「翻訳エディタで翻訳するには」をご覧ください。



フレーム機能で画面が分割されている場合など、Web ページによっては Internet Explorer 上での表示中の部分とは別の部分が翻訳エディタのレイアウトビューに表示される場合があります。この場合は、レイアウトビュー内でリンク先を選択するなどの操作を行い、目的の部分を表示してください。

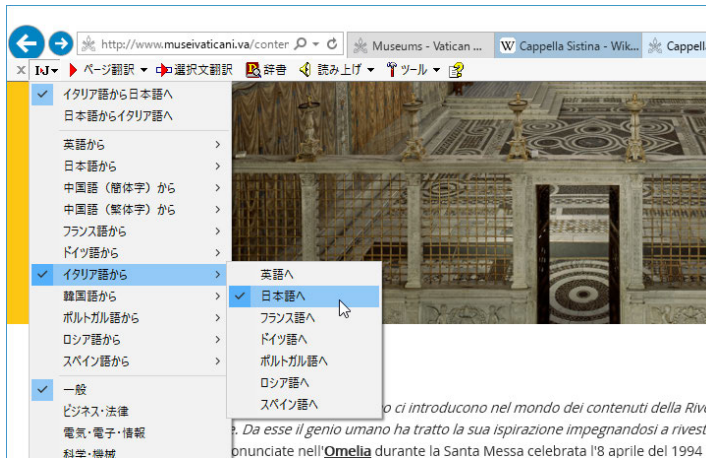


Web ページによっては、自動的にテキストが取得されないことがあります。このような場合は、レイアウトビュー内で翻訳したいテキストを選択して、[選択テキストの取得]をクリックしてください。

選択したテキストを翻訳するときは.....

こんどは、[選択文翻訳]で行う翻訳操作の例を紹介します。一部の文章だけを翻訳するときに便利です。

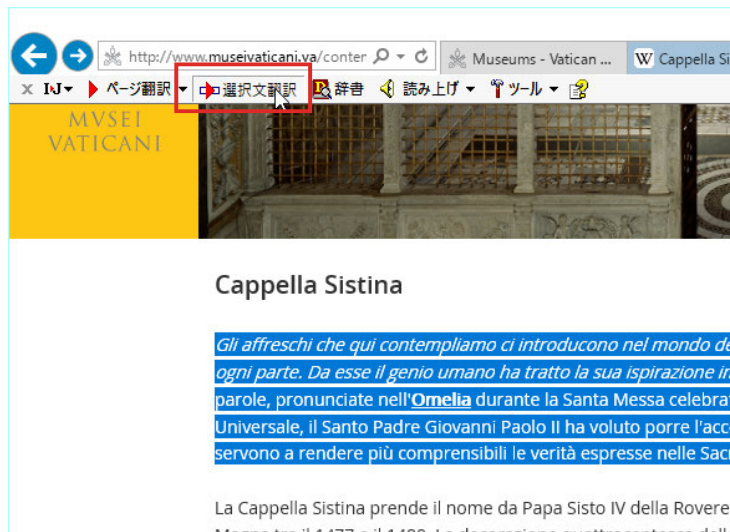
1



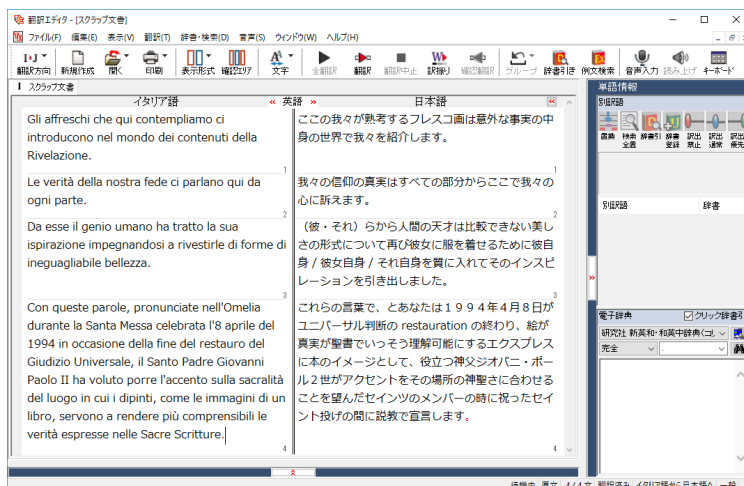
インターネットにアクセスし、翻訳したい Web ページを開きます。

[翻訳方向の選択]ボタンをクリックして、表示されるメニューから翻訳方向を設定します。再度、[翻訳方向の選択]ボタンをクリックし、Web ページの内容に合わせて翻訳スタイルを選択します。この例では、[イタリア語から日本語へ]、[一般]を選択します。

2



翻訳したい文を選択し、[選択文翻訳] ボタンをクリックします。



[翻訳エディタ] が起動し、選択した部分の翻訳が開始されます。終了すると、翻訳結果が対訳で表示されます。



テキストを選択しないで [選択文翻訳] ボタンをクリックすると原文を入力する状態になります。

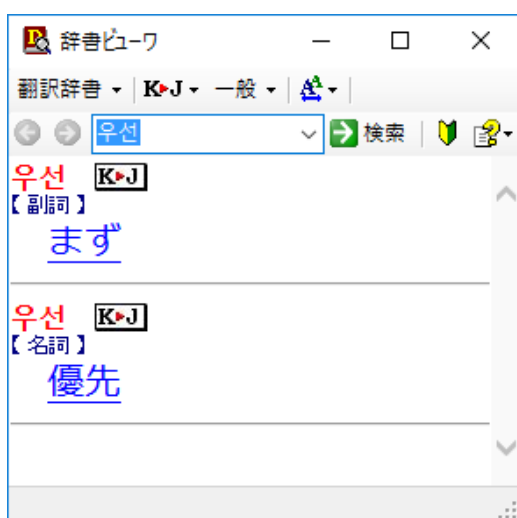
◆辞書引きするには

ホームページ上の語句を研究社 新英和・和英中辞典や、本製品の翻訳辞書、クイック辞書で辞書引きすることができます。

1



[翻訳方向の選択] ボタンをクリックして辞書引きしたい言語の方向を選択しておきます。辞書引きする語句を選択し、[辞書] ボタンをクリックします。



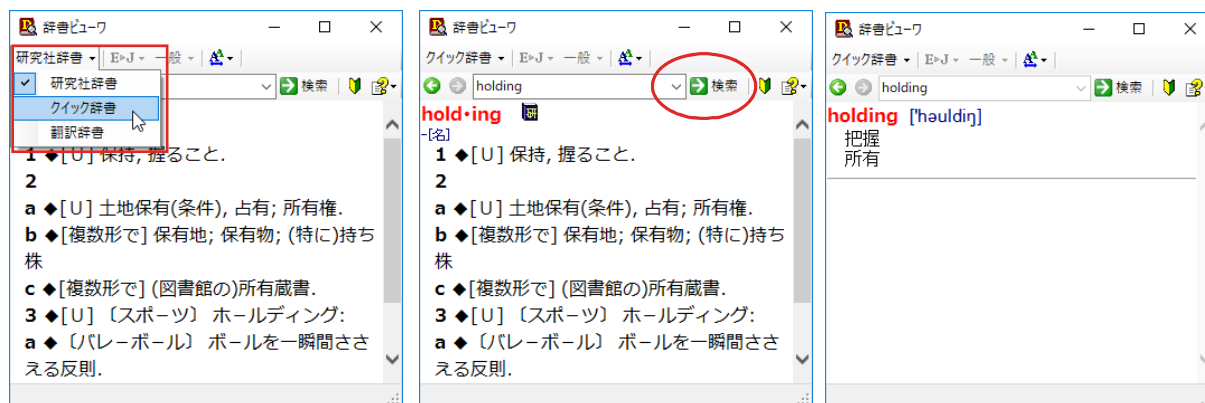
[辞書ビュー] ウィンドウが開き、辞書引き結果が表示されます。初期値では、研究社新英和・和英中辞典で辞書引きされます。



語句を選択せずに[辞書]ボタンをクリックしたときは、空の[辞書ビュー]ウィンドウが開きます。

◆検索対象の辞書を変更するときは

[辞書ビュー]ウィンドウの辞書ボタンをクリックして開くリストから、辞書を選択して変更することができます。辞書を変更したときは[検索]ボタンをクリックすると、変更した辞書で辞書引きが行われ、結果が表示されます。



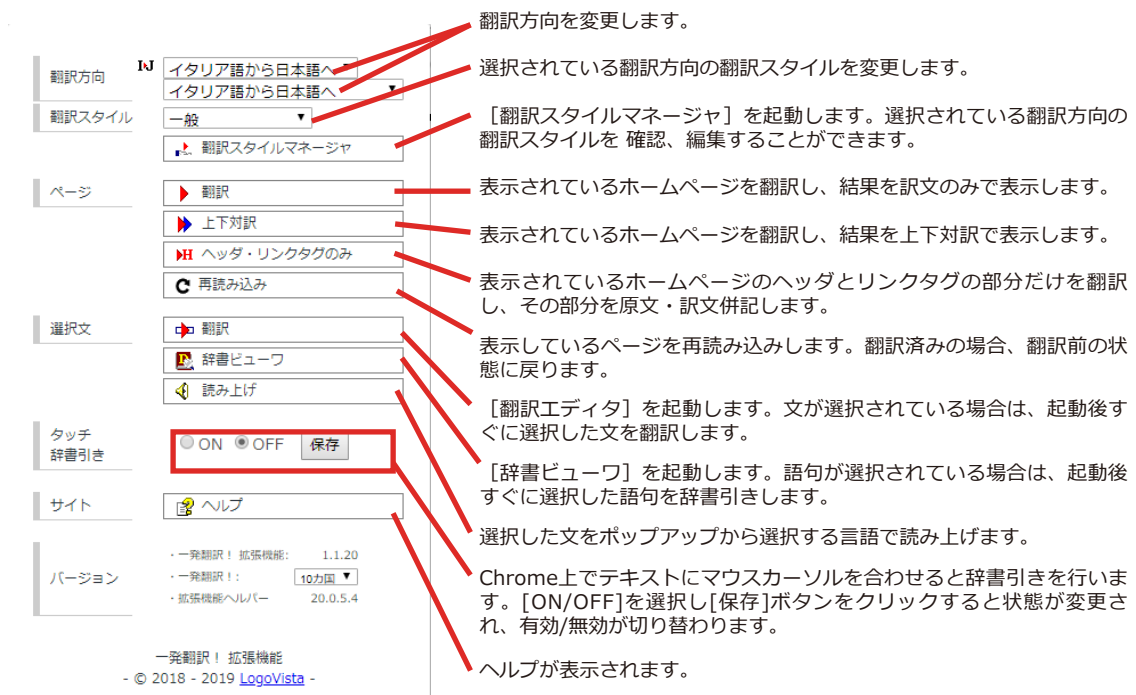
Google Chromeでホームページを翻訳するには

Google Chromeに機能拡張を利用してホームページを翻訳します。



一発翻訳！翻訳拡張機能の名称と機能.....

一発翻訳！翻訳拡張機能には、コマンドボタンが用意されています。ボタンをクリックすると、そのコマンドの機能が実行できます。ボタンの右に▼がある各ボタンにはプルダウンメニューがあります。プルダウンメニューは、それぞれのボタンをクリックすると開きます。プルダウンメニューを開いて、メニューにあるコマンドをクリックすると、そのコマンドを実行できます。



◆一発翻訳！拡張機能をインストールする

インストールするには.....

Chrome 拡張機能をご利用いただくには下記のアドレスにアクセスして「1. 一発翻訳！拡張機能」と「2. 拡張機能ヘルパー」を順にインストールする必要があります。

<https://www.logovista.co.jp/LVERP/information/support/download/koryaIPSPwin/Chrome.html>



注意！

- 翻訳エディタや操作パネルなどを起動している場合は必ず終了してください。
- アドインをしているアプリケーションがある場合は、アドインを解除ください。
- 常駐ソフトが起動していると、インストールに失敗することがあります。起動中のアプリケーションや常駐ソフトは全て終了してから、インストールを行ってください。

Chapter 5

メールを翻訳するには

ジャストシステム Shurikenでメールを翻訳するには

ジャストシステム Shurikenにアドイン機能を使って翻訳機能のメニューをアドインできます。これにより、翻訳したいメールを翻訳エディタに転送できます。ここでは、アドインの設定方法をShuriken 2018の例で紹介합니다。

◆Shurikenに翻訳機能をアドインするには

Shurikenがインストールされているとき、[アドイン設定] ダイアログボックスで翻訳機能をアドインします。

注意!

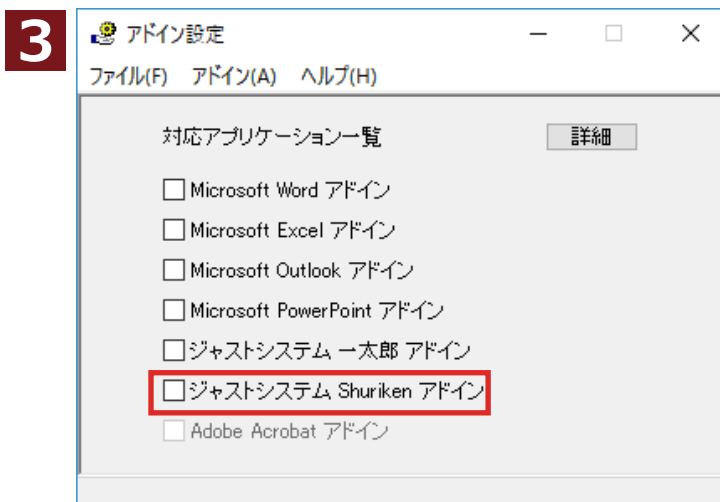
Shurikenが起動していると正しくアドインできません。起動している場合、必ず終了させてから作業してください。アドイン機能については、[第6章アプリケーションで翻訳するには]を参照してください。

- 1 デスクトップにある[一発翻訳! 10 カ国語 操作パネル]アイコンをダブルクリックして[操作パネル]を表示させます。



操作パネルの[アドイン設定]ボタンをクリックします。

[アドイン設定] ダイアログボックスが表示されます。



[ジャストシステム Shuriken アドイン]をクリックしてONにします。

[アドイン設定] ダイアログボックスを閉じます。

これで、Shurikenに翻訳機能のメニューが組み込まれます。



アドインを解除するときは、[ジャストシステム Shuriken アドイン]をクリックしてOFFにします。

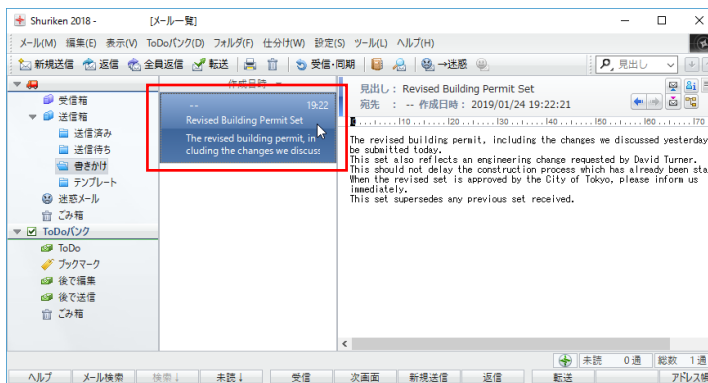
[ツール]メニューに組み込まれた翻訳機能.....



翻訳機能が組み込まれたShurikenでは、[ツール]メニューに翻訳メニューが追加されます。

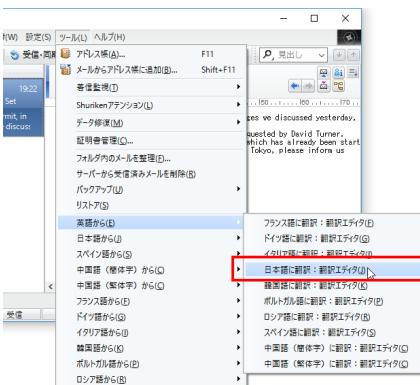
◆メールを翻訳するには

1



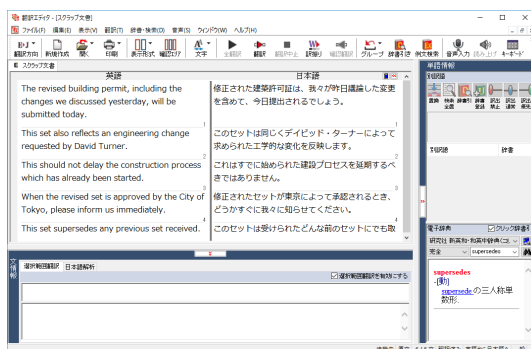
インターネットに接続し、メールを受信します。翻訳を行う英文メールのタイトルを選択します。

2



メニューバーの[ツール]から翻訳方向を選択します。

3



翻訳エディタが起動して翻訳を実行します。

2

Microsoft Outlookでメールを翻訳するには

Microsoft Outlook 2016/2013/2010には、アドイン機能を使って翻訳機能のツールバーをアドインできます。これにより、操作パネルを使用せずにメールを翻訳できます。ここでは、アドインの設定方法をOutlook 2013の例で紹介します。

◆ Outlookに翻訳機能をアドインするには

Outlookがインストールされているとき、[アドイン設定] ダイアログボックスで翻訳機能をアドインします。

注意！

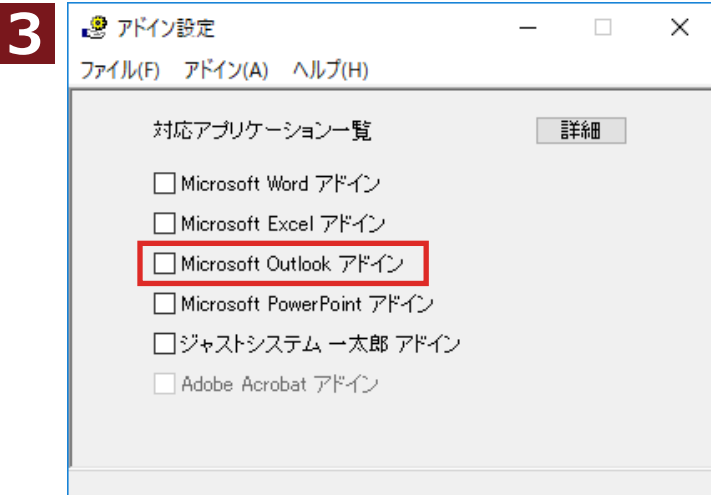
Outlookが起動していると正しくアドインできません。起動している場合、必ず終了させてから作業してください。アドイン機能については、[第6章アプリケーションで翻訳するには]を参照してください。

- 1 デスクトップにある[一発翻訳! 10 カ国語 操作パネル]アイコンをダブルクリックして[操作パネル]を表示させます。



操作パネルの[アドイン設定]ボタンをクリックします。

[アドイン設定] ダイアログボックスが表示されます。



[Microsoft Outlook アドイン] をクリックして ON にすると [Microsoft Office カスタマイズインストーラー] が起動しますのでインストールを行ってください。

[アドイン設定] ダイアログボックスを閉じます。

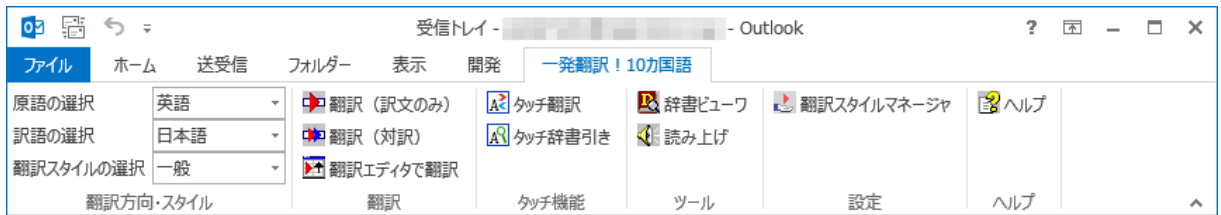
これで、Outlook に翻訳機能が組み込まれます。



アドインを解除するときは、[Microsoft Outlook アドイン]をクリックして OFF にします。

リボンに組み込まれた翻訳機能.....

翻訳機能が組み込まれたMicrosoft Outlookでは、リボンに「一発翻訳!10カ国語」タブが表示されます。



翻訳方向の選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから翻訳方向を選択します。
翻訳スタイルの選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから翻訳スタイルを選択します。
翻訳 (訳文のみ)	選択した文、アイテムを翻訳し、翻訳結果を翻訳ビューフに表示、または原文と訳文を入れ替えたアイテムを作成します。受信メッセージやRSSフィードを新規ウィンドウで開いたときには利用できません。
翻訳 (対訳)	選択したアイテムの本文を翻訳し、原文と訳文が上下対訳になったアイテムを作成、表示します。
翻訳エディタで翻訳	選択したアイテムの本文を翻訳エディタに取り込んで翻訳します。
タッチ翻訳	テキストにマウスカーソルを合わせるとその文章を翻訳します。
タッチ辞書引き	単語にマウスカーソルを合わせるとその単語を辞書引きします。
辞書ビューフ	[辞書ビューフ]ウィンドウを開き、選択した語句を辞書引きします。
読み上げ	音声エンジンがインストールされているとき、選択した文を読み上げます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	オンラインヘルプを表示します。

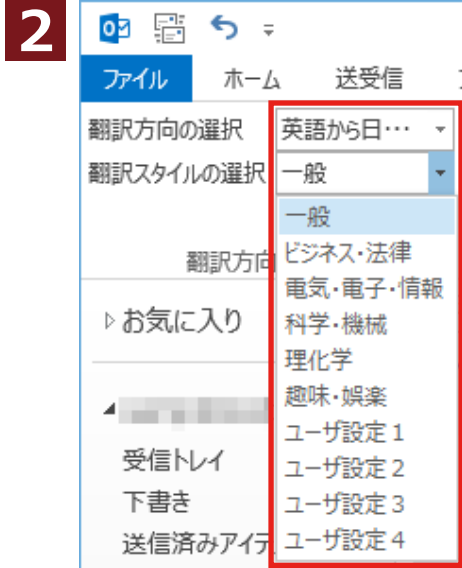
◆英文メールを翻訳するには

ここでは、「一発翻訳!10カ国語」タブの「翻訳 (訳文のみ)」ボタンで行う翻訳操作の例を紹介します。

1



インターネットに接続し、メールを受信します。翻訳を行う英文メールのタイトルを選択します。

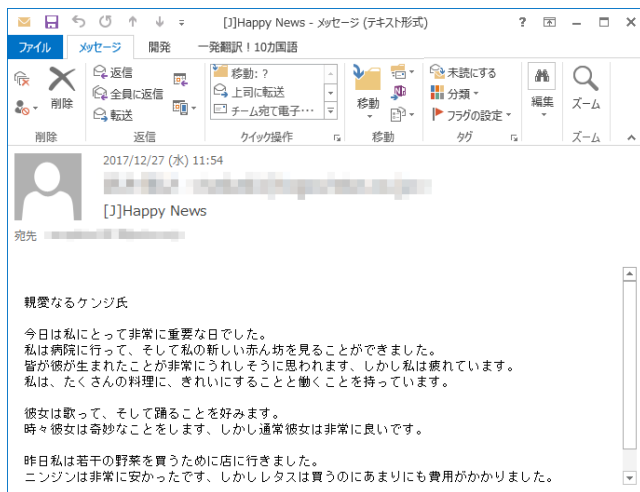


メッセージの内容に合わせてツールの翻訳方向と翻訳スタイルを設定します。



ツールの [翻訳 (訳文のみ)] ボタンをクリックします。

翻訳が開始されます。



終了すると、翻訳結果が表示されます。



翻訳結果は新しいアイテムとして保存されます。保存されたアイテムのタイトルには、英日翻訳をした場合には [J] 日英翻訳の場合は [E] が表示されます。

日英翻訳で保存されたアイテム

英日翻訳で保存されたアイテム

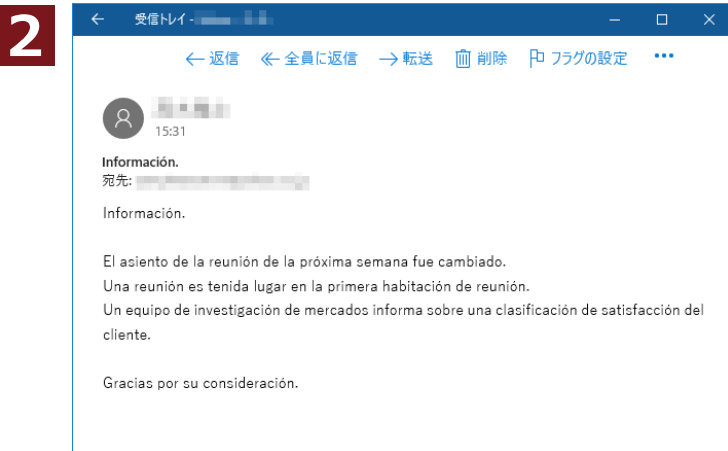
操作パネルを使ってメールを翻訳するには

メールソフトを通常通りに使ってメールを受信し、必要に応じて翻訳したいときは、操作パネルを使います。ここでは、Windows 10の「メール」で受け取ったメールを、操作パネルのツールで翻訳する例を紹介します。Windows Live メールなど、ほとんどのメールソフトでも同様に翻訳できます。操作パネルの機能と使い方については、「第2章 操作パネルの使い方」を参照してください。

◆メールを受信し翻訳するには

ここでは、Windows 10の「メール」で英文メールを受信し、操作パネルの「翻訳」ボタンで翻訳する方法を紹介します。

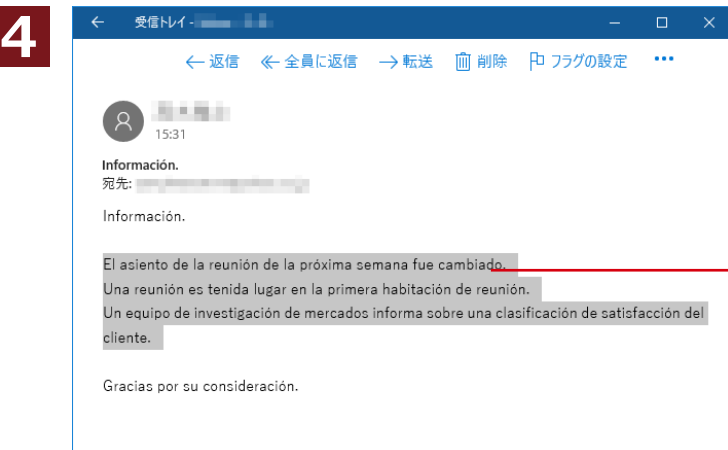
1 デスクトップにある「一発翻訳！10カ国語 操作パネル」アイコンをクリックして、「操作パネル」を表示させておきます。



インターネットに接続し、メールソフトでメールを受信します。



翻訳したいメールがあった場合、「操作パネル」でメールの内容と合った翻訳方向と翻訳スタイルを選択します。



メールソフトで翻訳したい文を選択します。

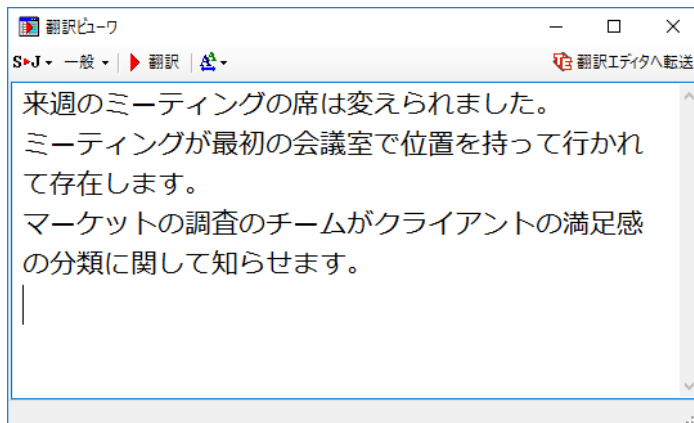
選択された文

5



[選択翻訳]ボタンをクリックします。

6



[翻訳ビューフ]が開き、選択した文の翻訳結果が表示されます。

Chapter 6

アプリケーションで翻訳するには

翻訳機能を組み込めるアプリケーションについて

本製品の翻訳機能はいろいろなアプリケーションソフトに組み込んで、アプリケーションから直接翻訳を行えるようにできます。これを「アドイン機能」といいます。ここでは、組み込めるアプリケーションのチェック方法などを説明します。

◆ 翻訳機能を組み込めるアプリケーションをチェックするには

対応しているアプリケーションは以下ですが、実際には[対応アプリケーション一覧]ダイアログボックスで検出されたアプリケーションに組み込むことができます。

ジャストシステム 一太郎 2019/2018/2017/2016/2015/2014/2013

Microsoft Word 2016/2013/2010

Microsoft Excel 2016/2013/2010

Microsoft PowerPoint 2016/2013/2010

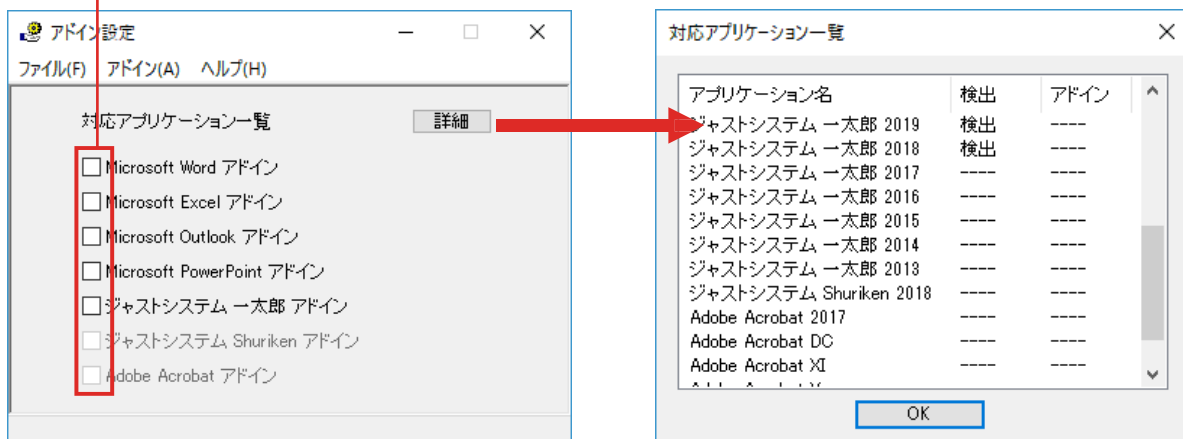
Microsoft Outlook 2016/2013/2010

Adobe Acrobat 9.0/X/XI/DC (Standard/Pro)

・Adobe Reader XI, Adobe Acrobat Reader DCについては、操作パネルと連携した翻訳や辞書引きが可能です。

[対応アプリケーション一覧]ダイアログボックスは、[操作パネル]→[アドイン設定]を選択し、[アドイン設定]ダイアログボックスを開き、[詳細]ボタンをクリックします。

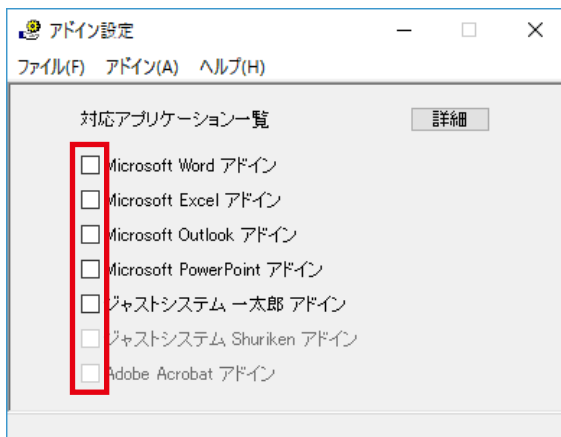
翻訳機能を組み込むときは、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます、解除するときは、チェックマークを外します。



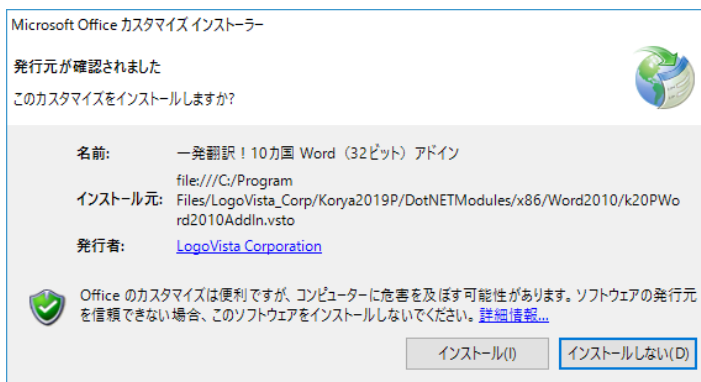
アドイン対象のソフトの状態が一覧で確認できます。

翻訳機能を組み込むときは.....

[アドイン設定] ダイアログボックスで翻訳機能を組み込むアプリケーション名の左側のチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます。これで翻訳機能が組み込まれます。



次のようなメッセージが表示されます。[インストール] をクリックしてください。



ヒント

アドインを解除するときは、チェックマークを外します。

ジャストシステム一太郎で翻訳を行うには

ジャストシステムの「一太郎」に翻訳機能を組み込んで活用することができます。組み込める一太郎のバージョンは、2019/2018/2017/2016/2015/2014/2013です。ここでは、一太郎2019に翻訳機能を組み込んで翻訳を行う方法を説明します。他のバージョンでも同様です。

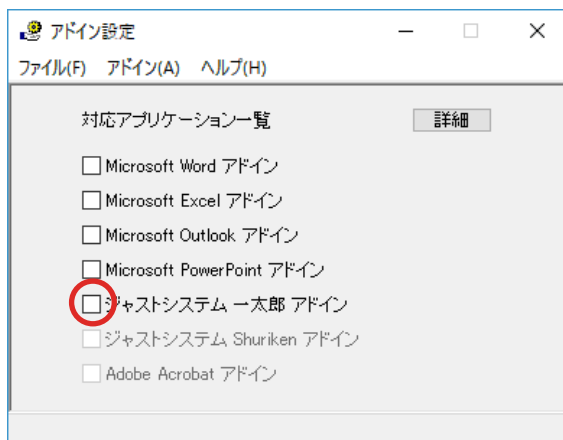
◆一太郎2019に翻訳機能を組み込むには

翻訳機能に組み込む手順を説明します。

1 [操作パネル]→[アドイン設定]の順に選択します。

[アドイン設定]ダイアログボックスが開きます。

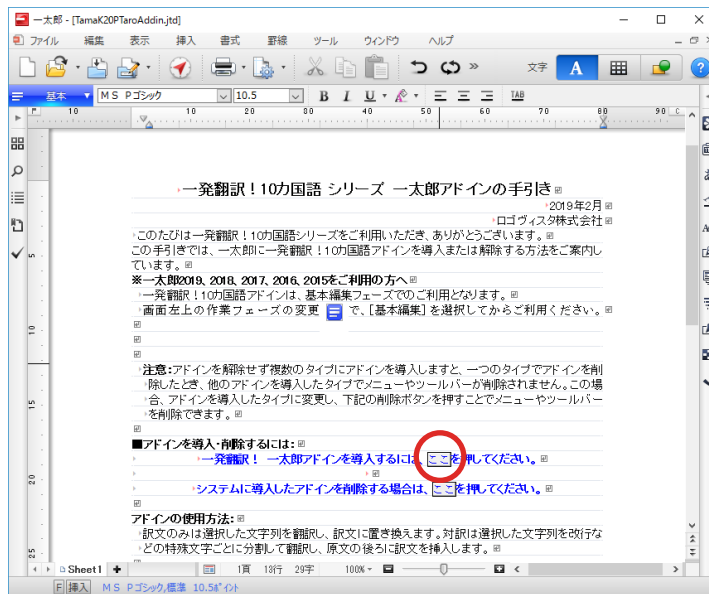
2



[ジャストシステム一太郎アドイン]を ON にします。

一太郎が起動し、「一発翻訳！ 10カ国語 一太郎アドインの手引き」が開きます。

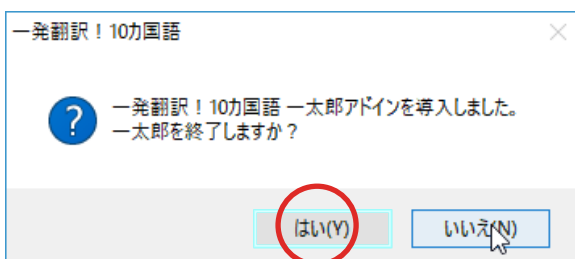
3



「一発翻訳！ 一太郎アドインを導入するには～」の[ここ]ボタンをクリックします。

これで、翻訳機能の組み込みが開始され、確認メッセージが表示されます。

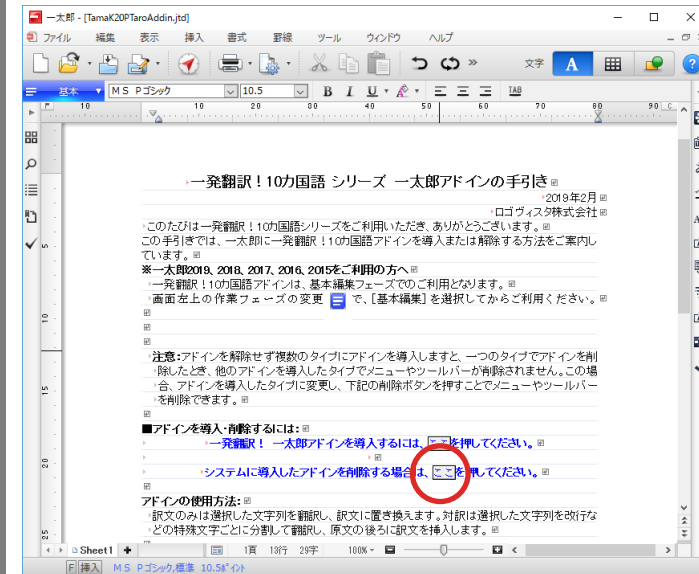
4



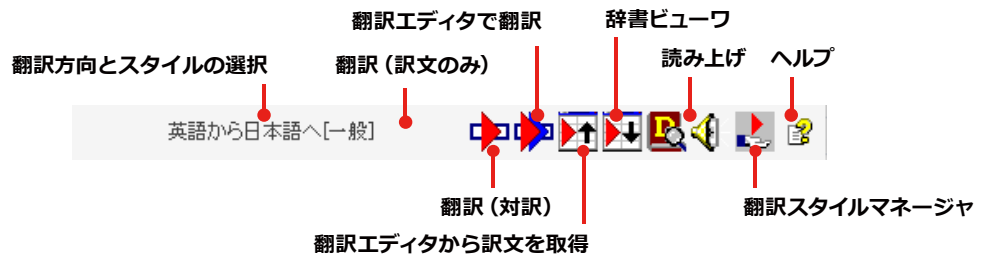
[はい]ボタンをクリックして終了します。



翻訳機能を解除するときは、一太郎を終了してから[アドイン設定]ダイアログボックスを開き、[ジャストシステム一太郎アドイン]をOFFにします。一太郎が起動し、「一発翻訳！10カ国語 一太郎アドインの手引き」が開きます。「システムに導入したアドインを削除する場合は～」の[ここ]ボタンをクリックし、画面の表示に従って操作します。



◆一太郎に組み込まれた翻訳機能

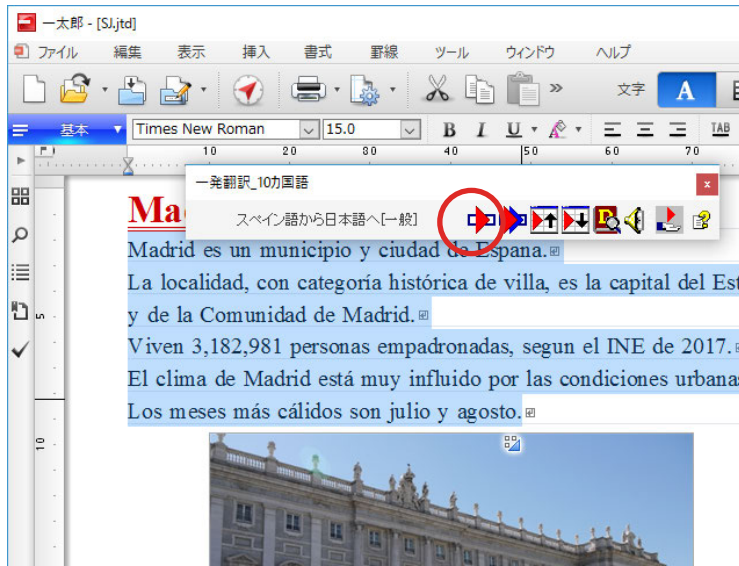


翻訳方向とスタイルの設定	[翻訳エンジンとスタイルの設定]ダイアログが開きます。翻訳方向の変更、翻訳スタイルの変更、選択した翻訳スタイルの編集を行えます。 翻訳スタイルについては、第1章の「3.翻訳スタイルについて」をご覧ください。
翻訳 (訳文のみ)	選択されているテキストの翻訳を行い、訳文のみを表示します。
翻訳 (対訳)	選択されているテキストの翻訳を行い、上下対訳形式で表示します。
翻訳エディタで翻訳	翻訳エディタを起動し、選択されたテキストを翻訳します。
翻訳エディタから訳文を取得	[翻訳エディタで翻訳]ボタンで原文を翻訳したのち、翻訳エディタから訳文を取得し、選択したテキストと入れ替えます。
辞書ビューフ	辞書ビューフを起動し、研究社 新英和・和英中辞典、クイック辞書、翻訳辞書で選択したテキストの辞書引きを行います。
読み上げ	音声合成エンジンがインストールされているとき、選択されたテキストを読み上げます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	一太郎アドイン翻訳機能のオンラインヘルプを起動します。

◆基本的な翻訳操作

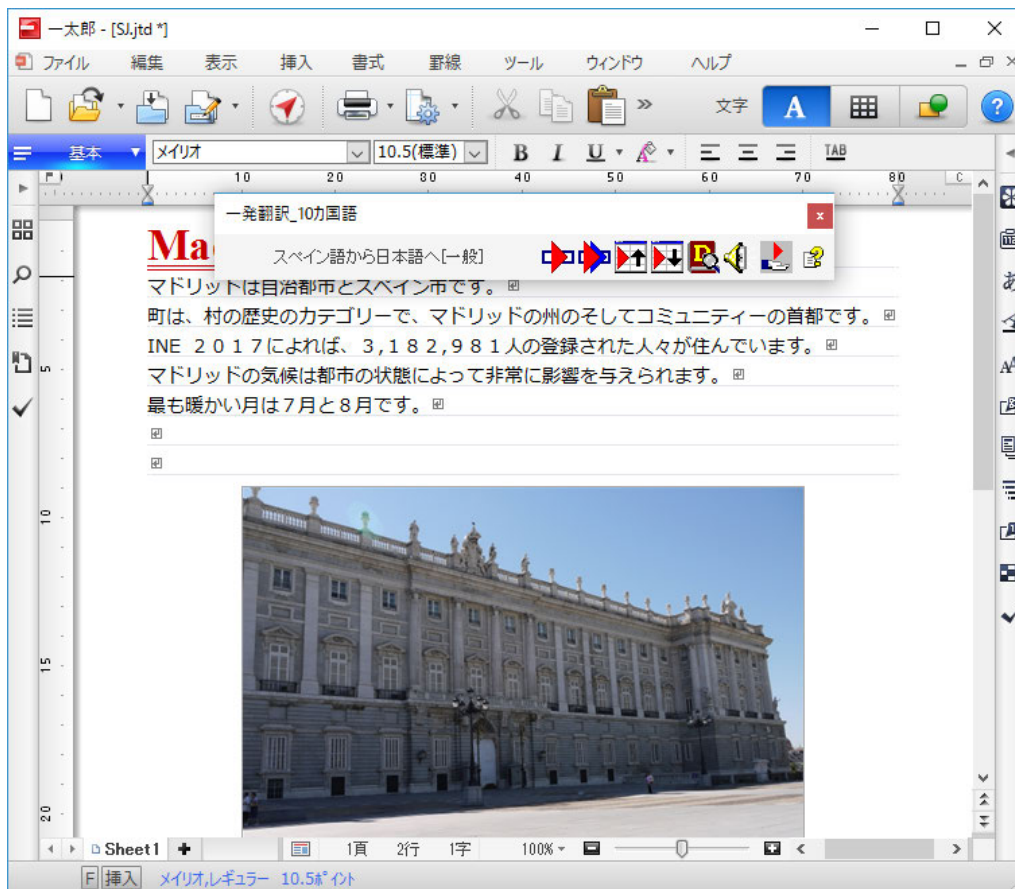
ここでは、[一発翻訳!10カ国語_翻訳(訳文のみ)]ボタンで行う翻訳操作の例を紹介します。

1



一太郎に文書を入力し、翻訳する文を選択します。次に[一発翻訳!10カ国語_翻訳(訳文のみ)]ボタンをクリックします。

翻訳が開始され、翻訳中を示すダイアログが表示されます。終了すると、翻訳結果が表示されます。



Microsoft Wordで翻訳を行うには

ここでは、Microsoft Word 2016に翻訳機能を組み込んで、翻訳を行う方法を説明します。Microsoft Word 2013/2010も同様です。

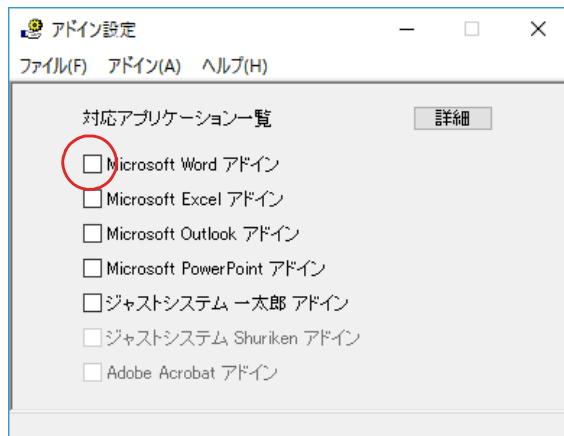
注意！

制限ユーザでMicrosoft Officeアプリケーション（Word、Excel、PowerPoint、Outlook）のアドイン機能をご使用になる場合は、本製品がインストールされる前に、Officeアプリケーションがインストールされている必要があります。後からOfficeアプリケーションのインストールを行った場合、本製品の修正インストールを行ってください。修正インストールについては、インストールガイド「11 [重要] 一発翻訳！10カ国語ワールドバック 一太郎特別エディションの変更と削除を行うには」をご覧ください。

◆Microsoft Word 2016に翻訳機能を組み込むには

翻訳機能に組み込む手順を説明します。

- 1 [操作パネル]→[アドイン設定]の順に選択します。[アドイン設定]ダイアログボックスが開きますので、「Microsoft Word アドイン」のチェックボックスを選択します。



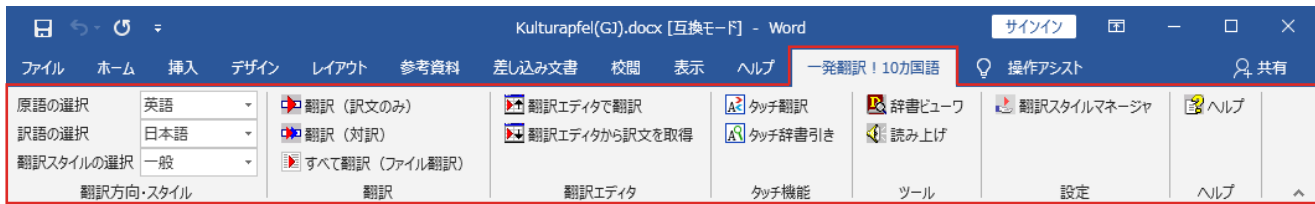
- 2 次のようなメッセージが表示されます。[インストール]をクリックしてください。



アドインを解除するときは、チェックマークを外します。

◆Microsoft Wordに組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれたMicrosoft Wordでは、リボンに翻訳機能のタブが表示されます。



一発翻訳！10カ国語 タブ

翻訳方向の選択	クリックして開く、プルダウンメニューから翻訳方向を選択します。
翻訳スタイルの選択	クリックして開く、プルダウンメニューから翻訳スタイルを選択します。
翻訳（訳文のみ）	選択されたテキストを翻訳し、訳文のみを表示します。
翻訳（対訳）	選択されたテキストを翻訳し、原文と訳文を表示します。
翻訳エディタで翻訳	翻訳エディタを起動し、選択されたテキストを翻訳します。
すべて翻訳（ファイル翻訳）	表示されている分をすべて翻訳して、翻訳結果を出力します。
翻訳エディタから訳文を取得	[翻訳エディタで翻訳]ボタンで原文を翻訳したのち、翻訳エディタから訳文を取得し、選択したテキストと入れ替えます。
タッチ翻訳	テキストにマウスカーソルを合わせるとその文章を翻訳します。
タッチ辞書引き	単語にマウスカーソルを合わせるとその単語を辞書引きします。
辞書ビューフ	辞書ビューフを起動し、研究社新英和・和英中辞典、クイック辞書、翻訳辞書で選択したテキストの辞書引きを行います。
読み上げ	音声合成エンジンがインストールされているとき、選択されたテキストを読み上げます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	オンラインヘルプを表示します。

◆基本的な翻訳操作

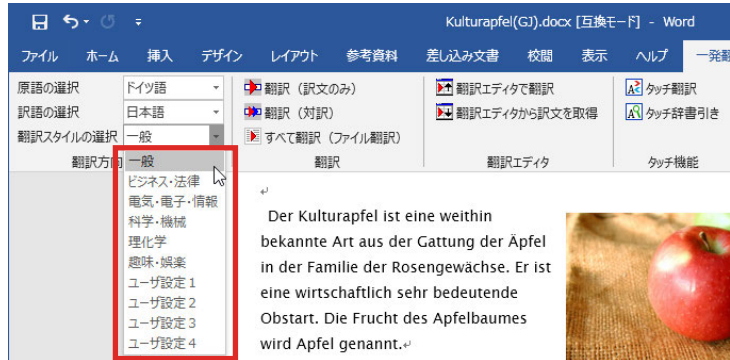
ここでは「翻訳（対訳）」ボタンで翻訳を行う例を紹介します。

1



Word に文書を入力し、翻訳方向を設定します。

2



必要に応じて、翻訳スタイルを選択します。

3



翻訳するテキストをマウスの左ボタンを押しながら、なぞって強調表示させます（この操作を「選択する」といいます）。次に「翻訳（対訳）」ボタンをクリックします。

翻訳が開始されます。

4



終了すると、原文と訳文が上下に表示されます。

このように、Word の文書を簡単に翻訳することができます。

Microsoft Excelで翻訳を行うには

ここでは、Microsoft Excel 2016に翻訳機能を組み込んで、翻訳を行う方法を説明します。Microsoft Excel 2013/2010も同様です。なお、Excelでの翻訳はセル単位で行われます。

注意！

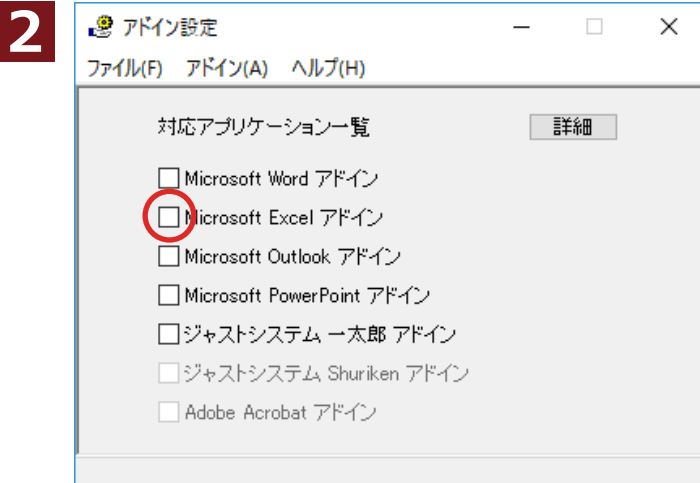
制限ユーザでMicrosoft Officeアプリケーション（Word、Excel、PowerPoint、Outlook）のアドイン機能をご使用になる場合は、本製品がインストールされる前に、Officeアプリケーションがインストールされている必要があります。後からOfficeアプリケーションのインストールを行った場合、本製品の修正インストールを行ってください。修正インストールについては、インストールガイド「11 [重要] 一発翻訳！10カ国語ワールドバック 一太郎特別エディションの変更と削除を行うには」をご覧ください。

◆Microsoft Excel 2016に翻訳機能を組み込むには

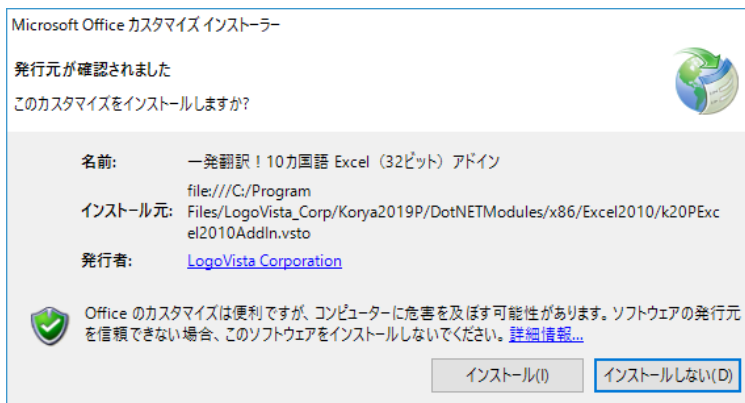
翻訳機能に組み込む手順を説明します。

1 [操作パネル] → [アドイン設定] の順に選択します。

[アドイン設定] ダイアログボックスが開きます。



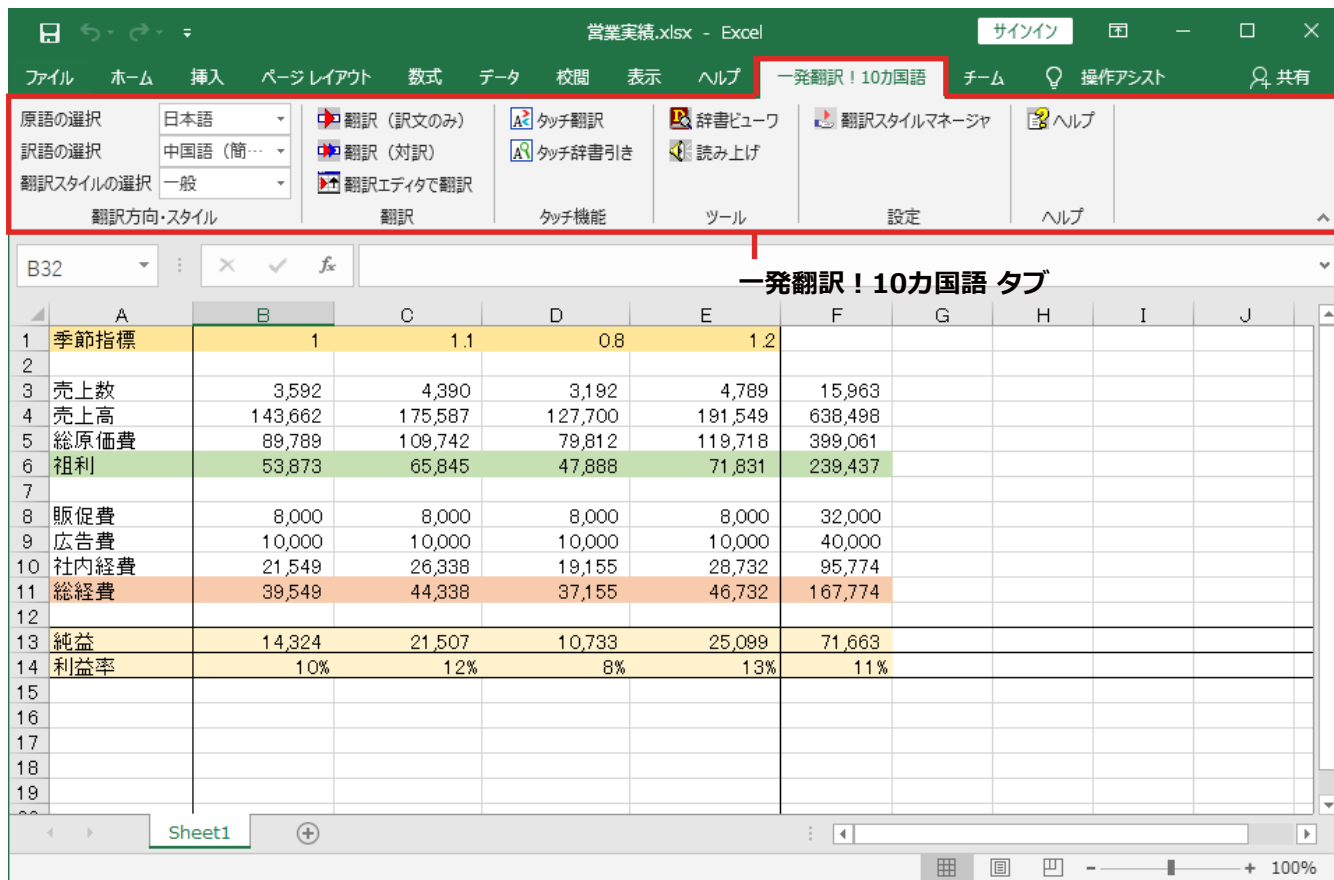
次のようなメッセージが表示されます。[インストール] をクリックしてください。



ヒント アドインを解除するときは、チェックマークを外します。

◆Microsoft Excelに組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれたMicrosoft Excelでは、リボンに翻訳機能のタブが表示されます。

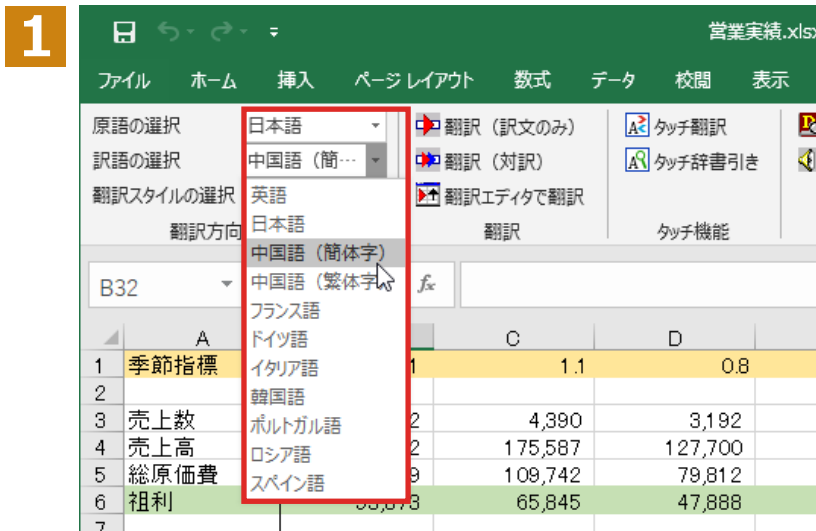


タブのコマンドの名称と機能.....

それぞれのコマンドの機能については、「2 Microsoft Word で翻訳を行うには」を参照してください。

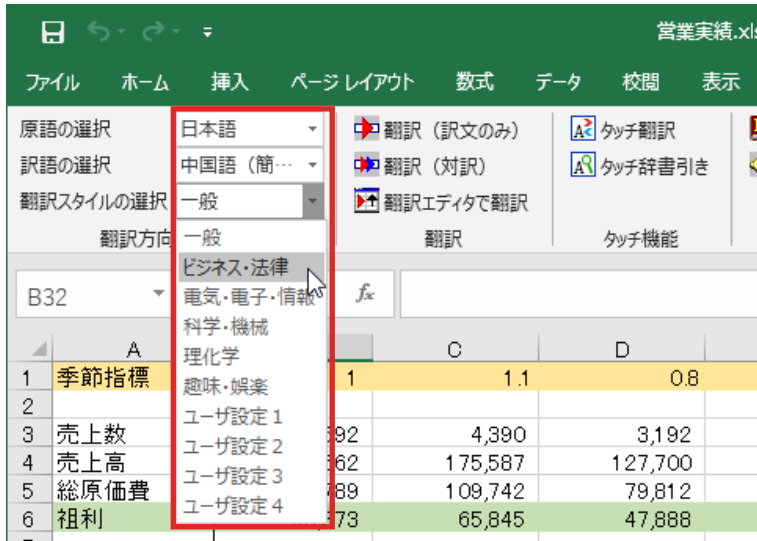
◆基本的な翻訳操作

ここでは「翻訳 (訳文のみ)」ボタンで翻訳を行う例を紹介します。



Excelにデータを入力し、翻訳方向を設定します。

2 必要に応じて翻訳スタイルを選択します。

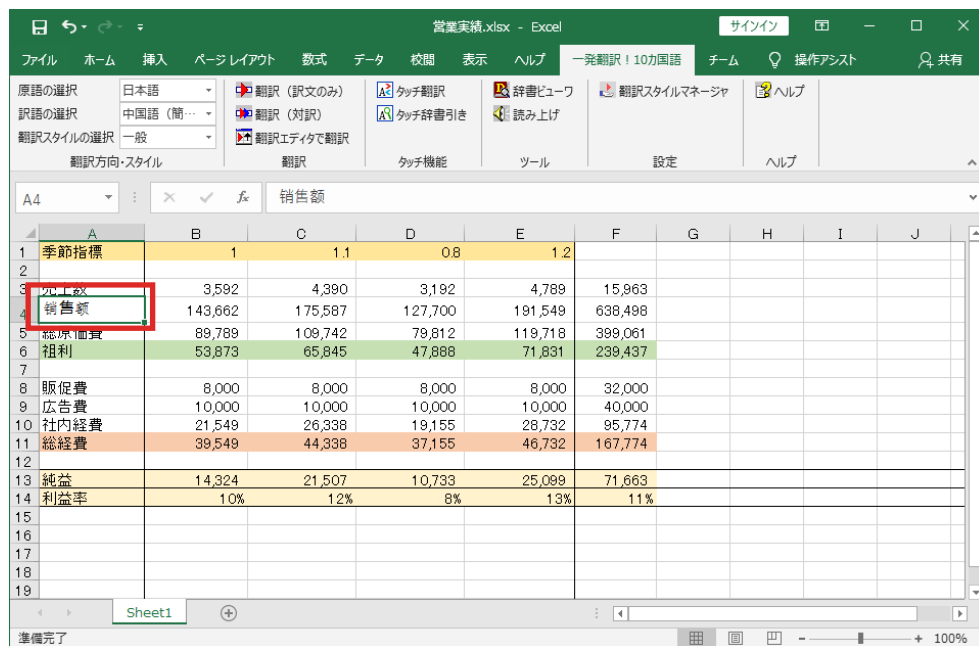


3 翻訳するセルを選択します。次に [翻訳 (訳文のみ)] ボタンをクリックします。



翻訳が開始されます。

翻訳が終了すると、原文が訳文に入れ替わります。



このように、Excelのセルを簡単に翻訳することができます。
 なお、複数のセルを選択して翻訳することもできます。

Adobe Acrobatで翻訳を行うには

ここでは、Adobe Acrobatに翻訳機能を組み込んで翻訳する方法を説明します。

注意！

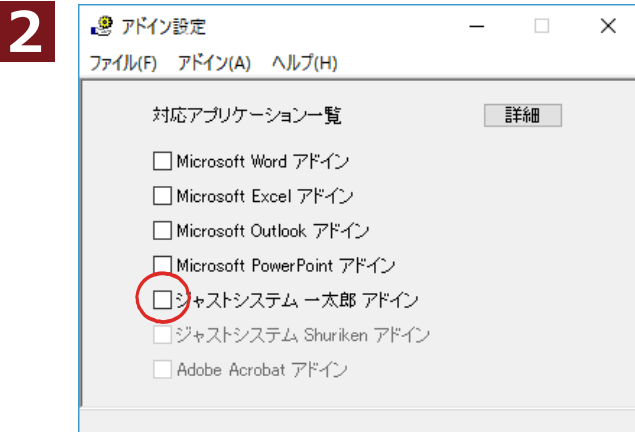
- 他のLogoVista製品に含まれるAdobe Acrobatアドインと、本製品のAdobe Acrobatまたはアドインを併用することはできません。アドインを利用する場合は、他のLogoVista製品に含まれるアドインを解除してください。
- 制限ユーザの場合、そのままではアドイン機能を利用できないことがあります。Adobe Acrobatアドインが機能するためには、本製品のモジュールがAdobe Acrobatの [plug_in] フォルダにコピーされる必要があります。この処理をアドイン設定機能が実行しています。制限ユーザの場合、システムドライブの [Program Files] フォルダへの書き込み権限がありません。そのため、Adobe Acrobatをシステムドライブの [Program Files] フォルダにインストールしている場合は、制限ユーザの権限ではアドイン設定機能でアドインを設定できません。あらかじめ、管理者権限を持ったユーザでアドインを設定しておく必要があります。

◆Adobe Acrobatに翻訳機能を組み込むには

翻訳機能に組み込む手順を説明します。

1 [操作パネル]→[アドイン設定]の順に選択します。

[アドイン設定]ダイアログボックスが開きます。



[Adobe Acrobat アドイン]を ON にし、ダイアログボックスを閉じます。











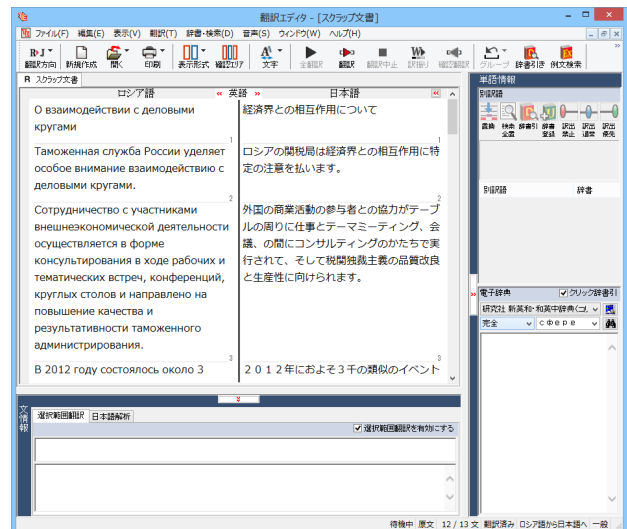
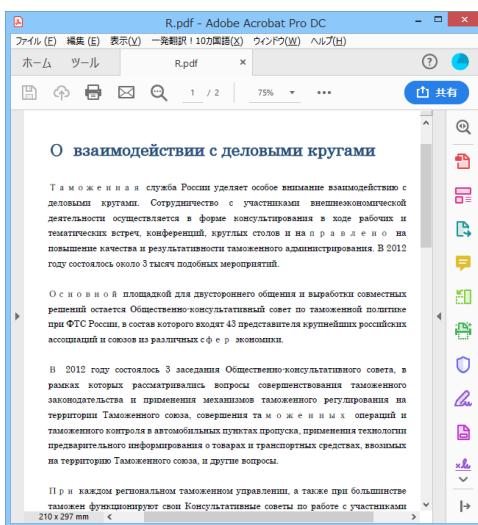
[Adobe Acrobat アドイン]OFF にすると、翻訳機能を解除できます。

◆Adobe Acrobatに組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が埋め込まれた Adobe Acrobat は、本製品のメニューやツールバーが表示されます。DC ではツールへの登録が可能です。

コマンドの名称と機能

-  **EJ** 翻訳方向の選択
-  翻訳スタイルの選択（DC以外のバージョンでは、アイコンではなくスタイル名が表示）
-  **PDF全体のテキスト部分を選択し、レイアウトを保持したまま訳文を別のPDFファイルに出力します。**
-  **PDF全体のテキストを取得して翻訳（全てのテキスト翻訳）**
-  **表示されているページのテキストを取得して翻訳（ページテキスト翻訳）**
-  **選択されているテキストを取得して翻訳（選択範囲テキスト翻訳）**
-  **辞書ビューフ**
-  **読み上げ**



PDF全体のテキストを取得して翻訳（全てのテキスト翻訳）

◆制限事項

翻訳アドインには、次のような制限事項があります。

- 翻訳が可能なのは本文だけです。しおりやサムネイル、注釈、署名、PDFフォームの入力文字列など、特殊な文字列は翻訳の対象となりません。
- セキュリティのかかったドキュメントの対してはいかなる処理も行つることができないため、翻訳を行うことはできません。
- ヘッダ・フッタを含む文書やページをまたいだ文など、一部の文書において単語の区切り、および翻訳が部分的に正常でない場合があります。

一発翻訳! 10カ国語ワールドパック

一太郎特別エディション

ユーザーズガイド

ロゴヴィスタ株式会社